Ⅱ　施設別統計

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	国立大学法人熊本大学病院

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所在地	熊本市中央区本荘1丁目1番1号		
病床数	845床（一般795；精神50）		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2006.08.24		
がん登録開始基準日	2006.08.01		
平均在院日数	13.6（日）		
入院患者数	17,755（人）		
外来患者延数	343,401（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	5
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	14,414（件）		
院内がん登録件数	3,267（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　3　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

本院は熊本県の中心部に位置し、都道府県がん診療連携拠点病院であり、県内唯一の特定機能病院である。特徴として、県内全域及び隣県の幅広い地域の患者様や、様々ながん腫の診療を行っていることが挙げられる。

2020年の院内がん登録数は3,267件で、2019年より310件(約8.7%)減少した。同じく上記入院患者数で2019年より3.0%減、外来患者延数は6.6%減少した。院内がん登録数の減少幅が大きかったいくつかの診療科へ調査を行ったところ、新型コロナウイルスの影響で本院への他施設からの紹介控え（患者様の受診控えも含む）が影響している等の意見が寄せられた。この集計を行った2021年12月は次の2021年診断症例を収集しているが、この影響はまだ続きそうであり、患者様の治療時期に影響しないか危惧している。

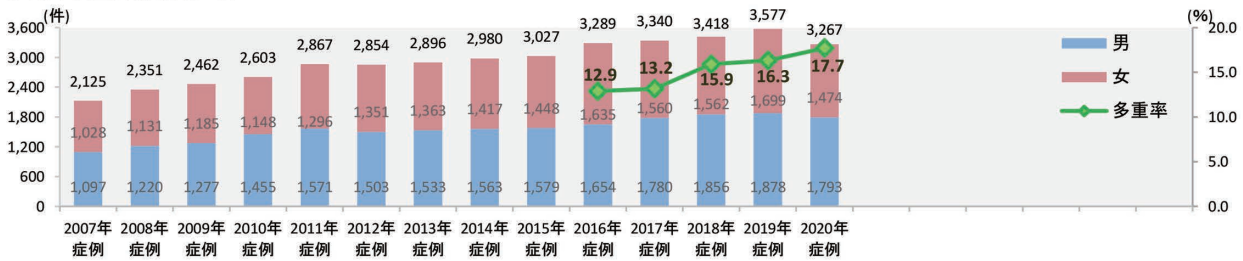
部位別の上位5部位は、「肺（314）」・「口腔咽頭（276）」・「悪性血液疾患（260）」・「乳房（244）」・「皮膚（222）」であった。また本院では毎年「その他（384）」区分が最多となるが、その上位内訳は「喉頭（54）」・「胆管（49）」・「腎（46）」であった。2020年はほとんどの部位が前年より減少している。

2020年登録における平均年齢は66.3歳であった。前年より微増となったが、登録件数減少の影響もあると思われる。ただし2016年から経年で見ると確実に上がっている。

治療については各々積算ではあるが、手術(外科、鏡視下、内視鏡)1675件、放射線療法350件、化学療法813件、内分泌療法150件、その他治療（RFA、レーザー治療、免疫療法など）141件、経過観察のみ(症状緩和治療のみ含む)140件であり、手術が最も多くなっている。

最後に本院は、院内がん登録の登録精度向上のため研修会等の実施にも力を入れている。2020年は新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれたが、関係各位のご協力により、無事Webによる研修会を開催することができた。今後研修会についても検証を行い、より実務者の役に立てるような研修を計画していきたい。

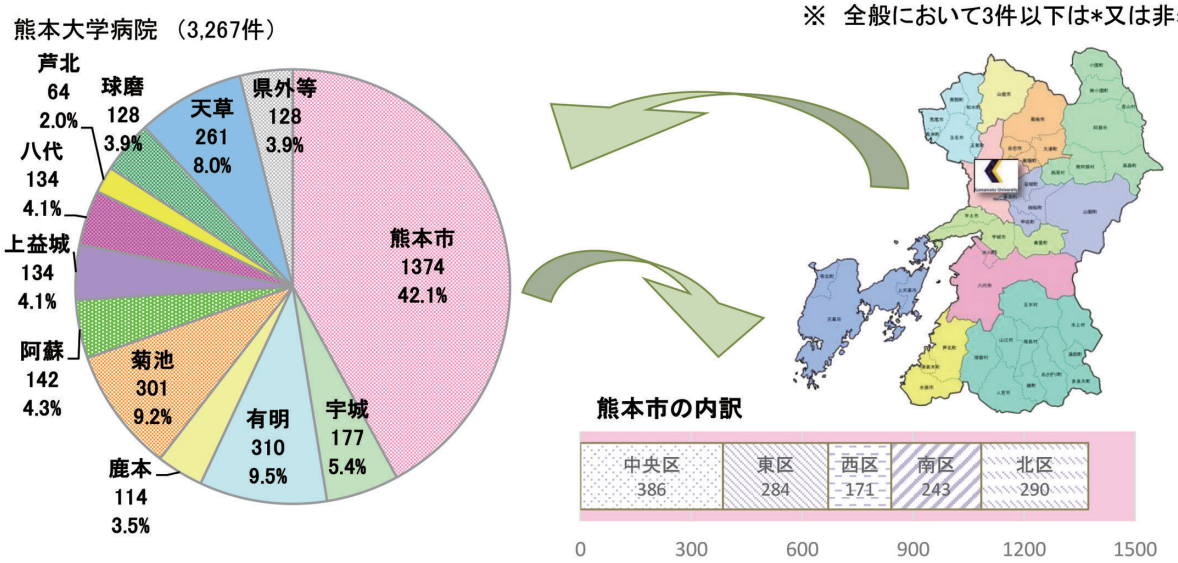
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

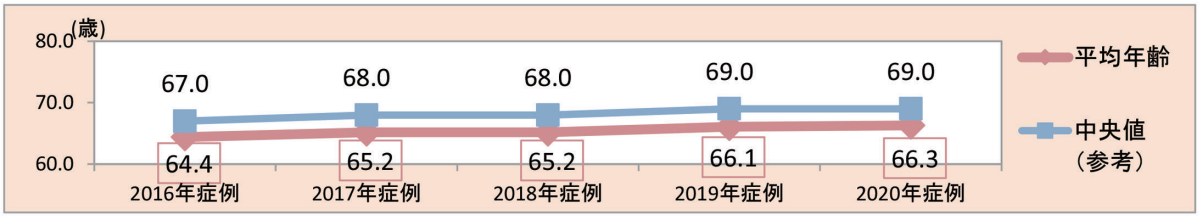


◇　医療圏別上位5部位

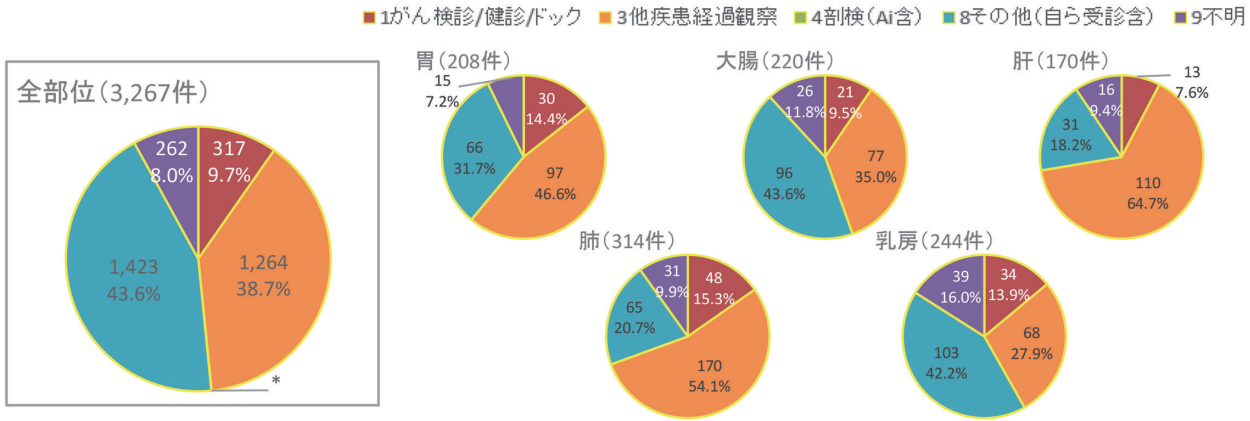
熊本市	その他	156	鹿本	乳房	27	上益城	その他	19	球磨	皮膚	20
	肺	150		悪性血液	15		口腔咽頭	16		口腔咽頭	19
	大腸	113		その他	11		皮膚	12		その他	17
	口腔咽頭	108		該当部位	各8		食道	10		悪性血液	13
	乳房	103					肺	9		肺	10
宇城	その他	18	菊池	肺	37	八代	皮膚	30	天草	その他	31
	脳脊髄	16		胃	33		口腔咽頭	22		肺	27
	悪性血液	16		その他	30		その他	14		食道	22
	胃	15		大腸	24		子宮頸部	11		大腸	22
	該当部位	各14		口腔咽頭	22		脳脊髄	11		悪性血液	22
有明	その他	41	阿蘇	その他	17	芦北	その他	10	県外等	その他	20
	乳房	39		胃	16		口腔咽頭	9		食道	15
	肺	30		悪性血液	16		膵	7		皮膚	13
	口腔咽頭	29		膵	12		肺	6		口腔咽頭	12
	悪性血液	27		該当部位	各11		悪性血液	6		脳脊髄	12

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

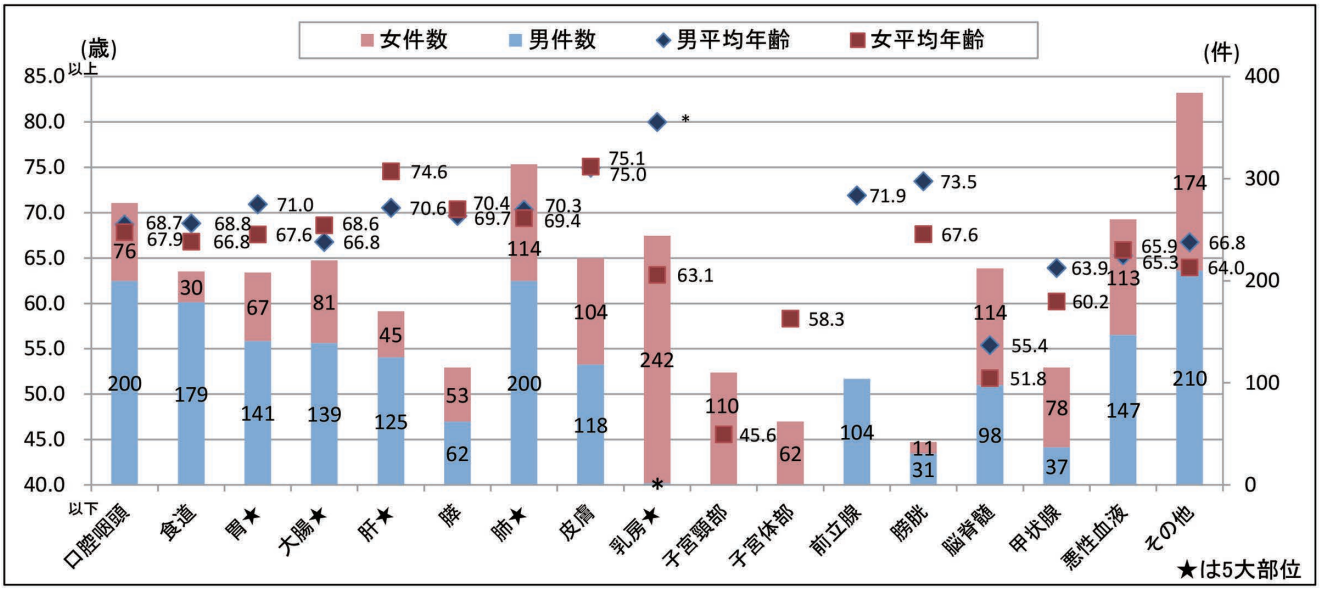
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
その他	210
口腔咽頭	200
肺	200
食道	179
悪性血液	147
胃	141
大腸	139
肝	125
皮膚	118
前立腺	104
脳脊髄	98
膵	62
甲状腺	37
膀胱	31
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	1,793

0～14歳	
悪性血液	8
脳脊髄	7
その他	4
計	19

15～39歳	
脳脊髄	18
悪性血液	8
その他	8
口腔咽頭	4
該当部位	各*
計	49

40～49歳	
その他	11
口腔咽頭	9
大腸	9
肝	8
該当部位	各7
など	
計	74

50～59歳	
大腸	24
食道	23
その他	23
口腔咽頭	20
該当部位	各16
など	
計	187

60～69歳	
食道	63
口腔咽頭	61
肺	56
その他	53
大腸	44
など	
計	481

70～79歳	
肺	86
口腔咽頭	77
その他	77
食道	68
胃	56
など	
計	653

80～89歳	
皮膚	35
肺	34
悪性血液	34
その他	33
口腔咽頭	28
など	
計	297

90歳～	
皮膚	18
該当部位	各*
計	33

女性全体	
乳房	242
その他	174
肺	114
脳脊髄	114
悪性血液	113
子宮頸部	110
皮膚	104
大腸	81
甲状腺	78
口腔咽頭	76
胃	67
子宮体部	62
膵	53
肝	45
食道	30
膀胱	11
前立腺	
計	1,474

0～14歳	
脳脊髄	8
その他	5
悪性血液	4
該当部位	各*
計	18

15～39歳	
子宮頸部	48
脳脊髄	23
その他	12
乳房	10
甲状腺	9
など	
計	130

40～49歳	
乳房	40
子宮頸部	23
脳脊髄	15
その他	15
甲状腺	11
など	
計	146

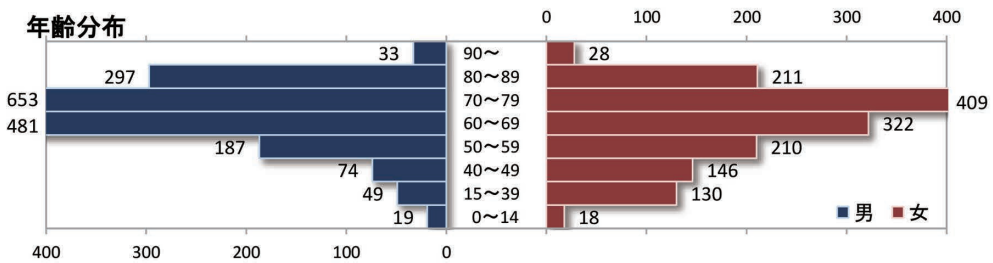
50～59歳	
乳房	43
子宮体部	26
その他	22
脳脊髄	17
子宮頸部	15
など	
計	210

60～69歳	
乳房	59
その他	44
悪性血液	33
肺	31
脳脊髄	29
など	
計	322

70～79歳	
乳房	65
肺	52
その他	44
皮膚	31
悪性血液	29
など	
計	409

80～89歳	
皮膚	40
その他	30
悪性血液	23
乳房	22
口腔咽頭	18
など	
計	211

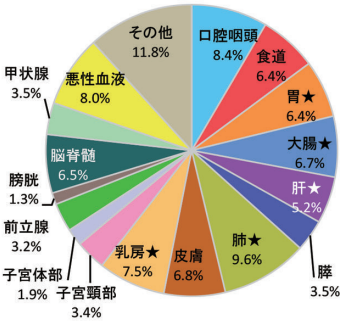
90歳～	
皮膚	8
該当部位	各*
計	28



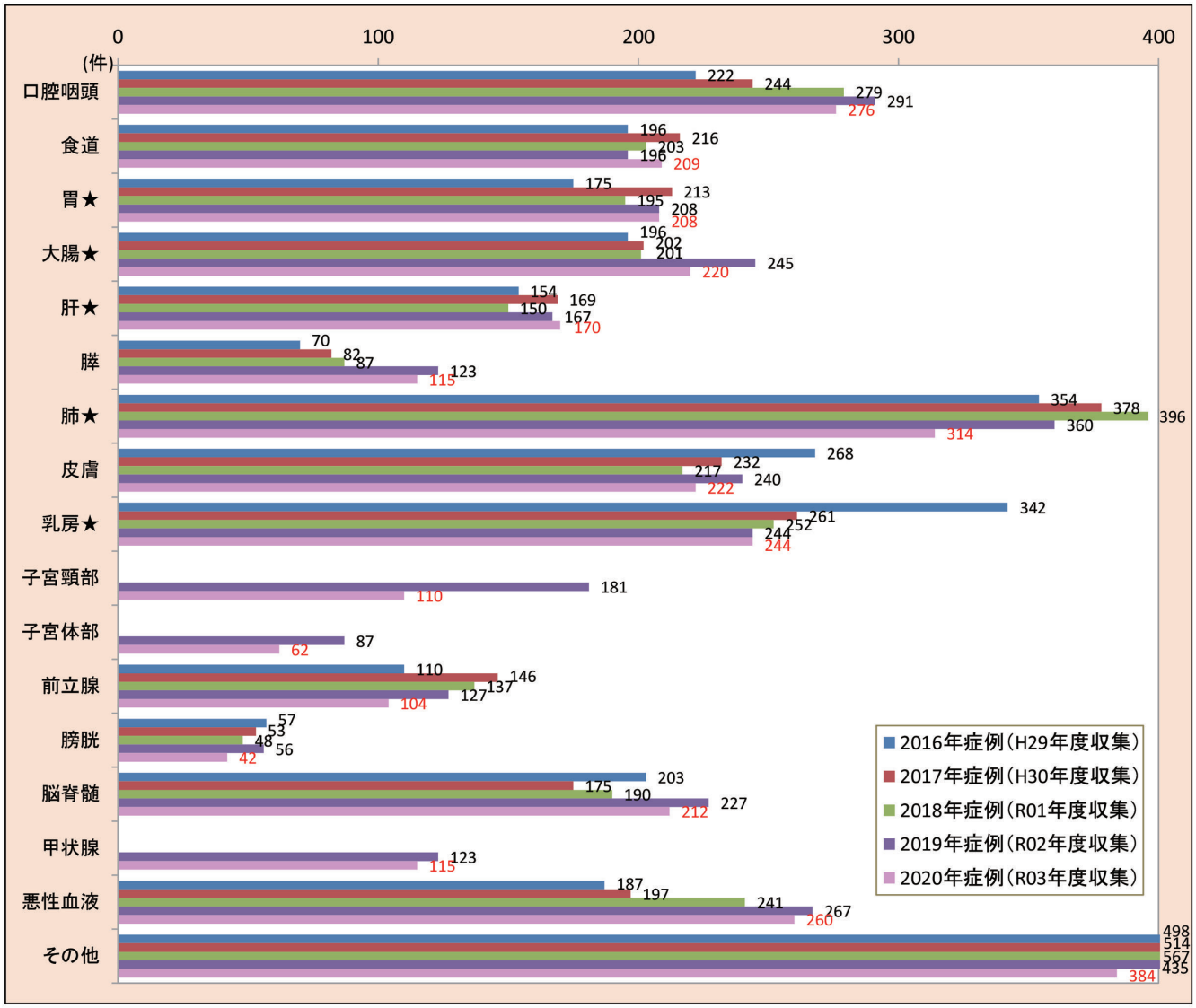
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	222	244	279	291	276
食道	196	216	203	196	209
胃★	175	213	195	208	208
大腸★	196	202	201	245	220
肝★	154	169	150	167	170
膵	70	82	87	123	115
肺★	354	378	396	360	314
皮膚	268	232	217	240	222
乳房★	342	261	252	244	244
子宮頸部	257（頸部・体部）	258（頸部・体部）	255（頸部・体部）	181	110
子宮体部				87	62
前立腺	110	146	137	127	104
膀胱	57	53	48	56	42
脳脊髄	203	175	190	227	212
甲状腺				123	115
悪性血液疾患	187	197	241	267	260
その他	498	514	567	435	384
計	3,289	3,340	3,418	3,577	3,267

2020年診断症例　主要部位別割合

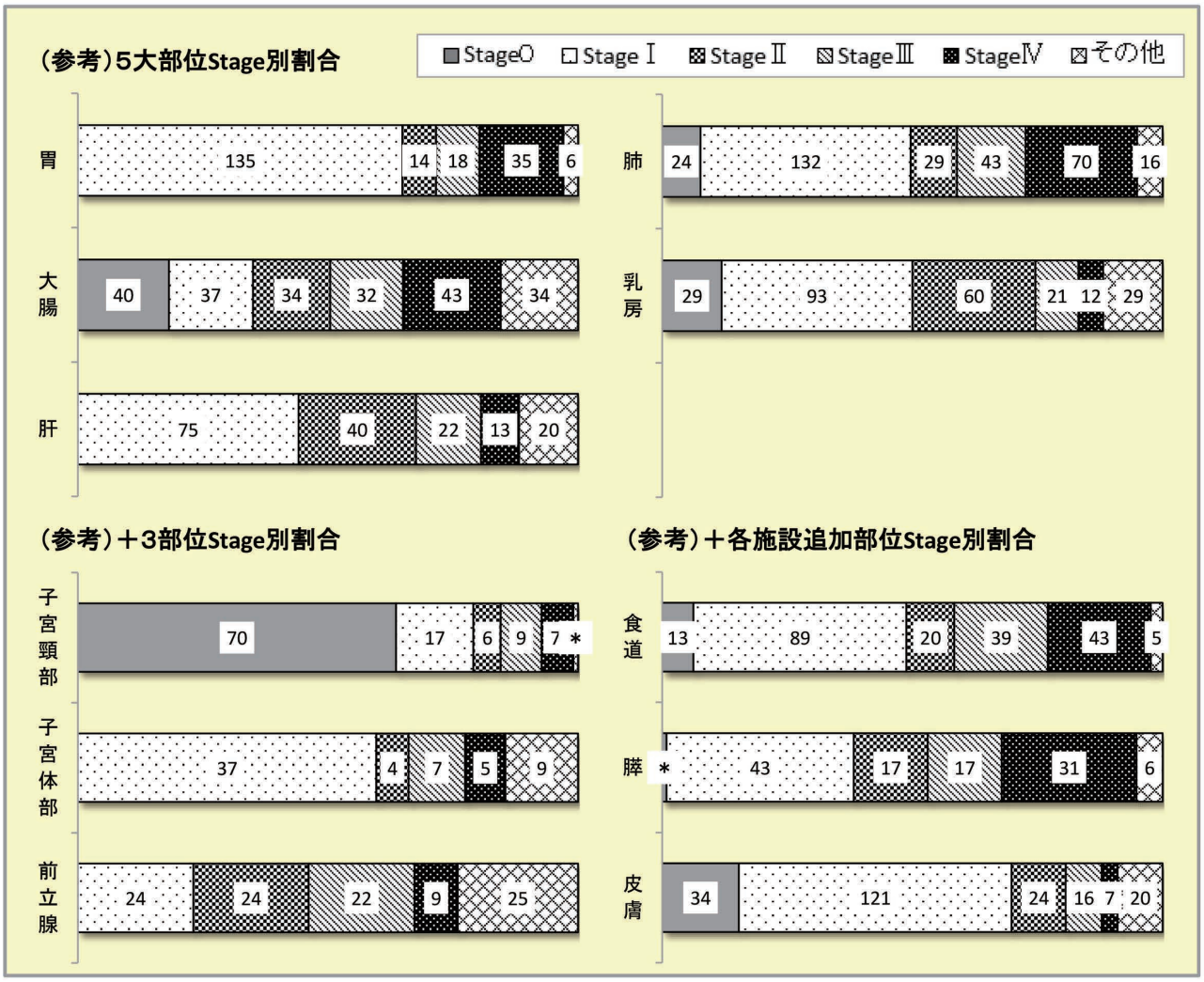


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

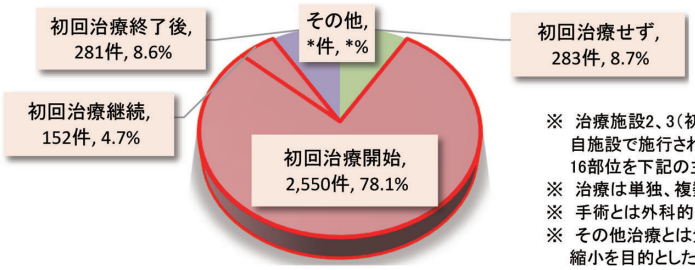
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	276	23	71	49	29	85	19
食道	209	13	89	20	39	43	5
胃★	208		135	14	18	35	6
大腸★	220	40	37	34	32	43	34
肝★	170		75	40	22	13	20
膵	115	*	43	17	17	31	6
肺★	314	24	132	29	43	70	16
皮膚	222	34	121	24	16	7	20
乳房★	244	29	93	60	21	12	29
子宮頸部	110	70	17	6	9	7	*
子宮体部	62		37	4	7	5	9
前立腺	104		24	24	22	9	25
膀胱	42	19	5	7	6	*	*
脳脊髄	212						212
甲状腺	115		58	23	7	6	21
悪性血液疾患	260		46	24	13	41	136
その他	384	17	123	47	53	58	86
計	3,267	270	1106	422	354	467	648



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

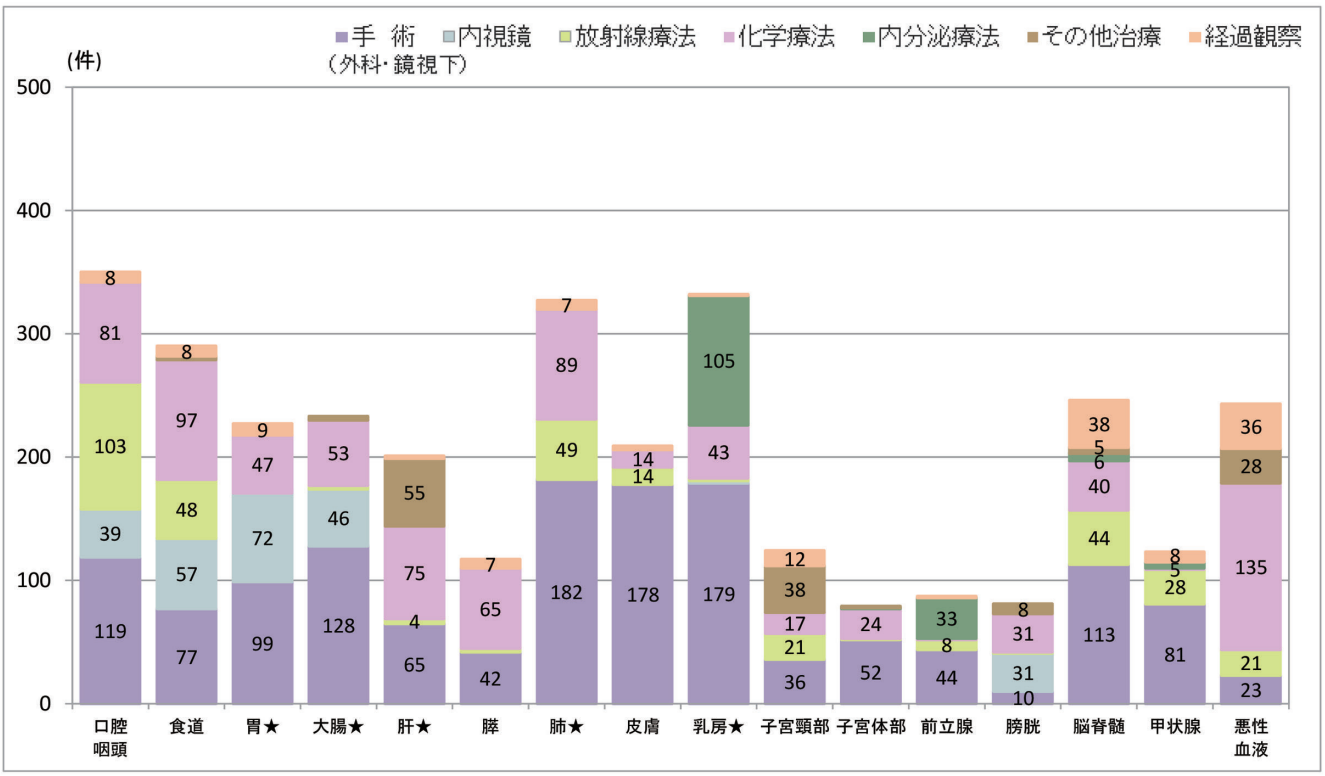
治療施設	件数
1初回治療せず	283
2初回治療開始	2,550
3初回治療継続	152
4初回治療終了後	281
8その他	*
計	3,267



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	119	39	103	81			8	350	76.3%	4.5%	19.2%
食道	77	57	48	97		*	8	290	75.0%	4.5%	20.5%
胃★	99	72		47			9	227	80.5%	4.3%	15.2%
大腸★	128	46	*	53		*		233	80.4%	7.4%	12.3%
肝★	65		4	75		55	*	201	95.4%	1.5%	3.1%
膵	42		*	65			7	117	71.8%	15.4%	12.8%
肺★	182		49	89			7	327	90.4%	5.1%	4.5%
皮膚	178		14	14			*	209	91.6%	1.7%	6.7%
乳房★	179	*	*	43	105		*	332	94.5%	2.2%	3.3%
子宮頸部	36		21	17		38	12	124	77.1%	0.0%	22.9%
子宮体部	52		*	24	*	*		79	84.6%	0.0%	15.4%
前立腺	44		8	*	33		*	87	70.5%	15.9%	13.6%
膀胱	10	31	*	31		8		81	79.4%	14.7%	5.9%
脳脊髄	113		44	40	6	5	38	246	30.1%	44.2%	25.7%
甲状腺	81		28	*	5		8	123	76.5%	14.8%	8.6%
悪性血液疾患	23		21	135		28	36	243	4.5%	77.3%	18.2%
計	1,428	247	350	813	150	141	140	3,269			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本大学病院

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人労働者健康安全機構　熊本労災病院

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

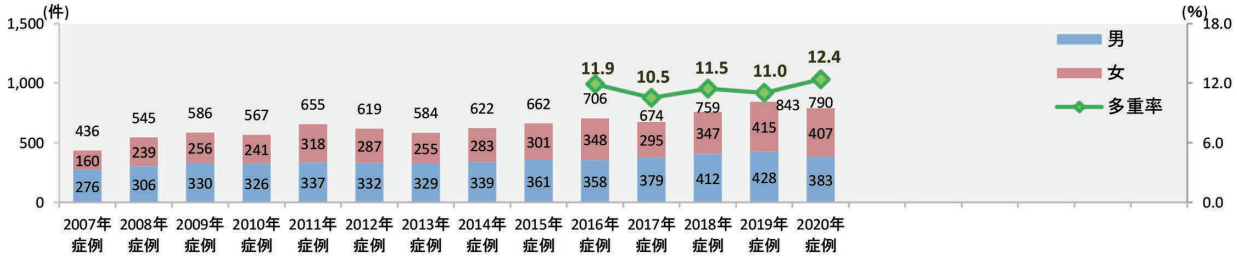
所在地	八代市竹原町1670		
病床数	410床（一般410）		
診療科数	26科		
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31		
がん登録開始基準日	2007.01.01		
平均在院日数	13.7（日）		
入院患者数	9,410（人）		
外来患者延数	135,860（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ｹｰｽﾌｧｲﾝﾄﾞ/施設によっては概算）	10,200（件）		
院内がん登録件数	790（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　0　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

本院は熊本県第二の都市である八代市に位置し、熊本県南地域における中核病院の1つとして救急医療をはじめとする地域の高度専門医療を担っている。がん診療においても担当医療圏である八代が75%を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると思われる。
◇2020年登録件数　790件（前年比▲53件）
◇部位別登録件数（上位5部位）　①肺128件　②大腸93件　③乳房86件　④胃56件　⑤前立腺51件
◇男女別登録件数　男性383件（48．5%）　女性407件（51．5%）
◇平均年齢　71．7歳（男性73．2歳　女性70．3歳）
◇患者住所の割合　①八代75．1%　②芦北10．1%　③球磨5．8%　④宇城4．9%

登録件数は前年より53件減少した。最も多かった部位は前年同様、肺128件であった。
自施設初回治療もしくはその継続治療を行った症例622件は手術（外科、鏡視下、内視鏡）367件、放射線療法82件、化学療法154件、内分泌療法79件であり手術が最も多くなっている。中でも手術件数が多いのは大腸76件、乳房60件であった。
登録患者の平均年齢は71．7歳で、例年同様高い傾向にある。これは地域特性として、若年層の都市部への流出により地域全体に高齢者が多いこと、また、若い検診受診者はインターネットなどで情報を集め移動も容易であるため熊本市内の病院を受診する傾向にあること、交通手段の少ない高齢者は検診を受けず、症状が出現して地域の基幹病院を受診する傾向にあることなどが影響しているものと思われる。
治療に関しては、高齢者・若年層に関わらず、症状が出現した状態で受診し、それらの多くが進行癌であることなどから外科的治療が出来ない場合が少なくない。しかし、治療が可能な症例については熊本県が推進している「医科歯科連携」などを積極的に行い、がん患者が安心して治療を受けることができるような体制づくりを行っている。
八代医療圏からの紹介が多く、「私のカルテ」による連携、治療初期段階からの必要に応じた相談支援「がんサロン」の開催、緩和ケアの実施、「私の日記」の導入など、地域医療の質の充実を推進している。がんに関する情報提供と啓発活動として、がん相談支援センターを中心としたくまもと森都心プラザでの出張相談参加、令和2年豪雨災害の支援活動など地域へ向けた取り組みも行っている。

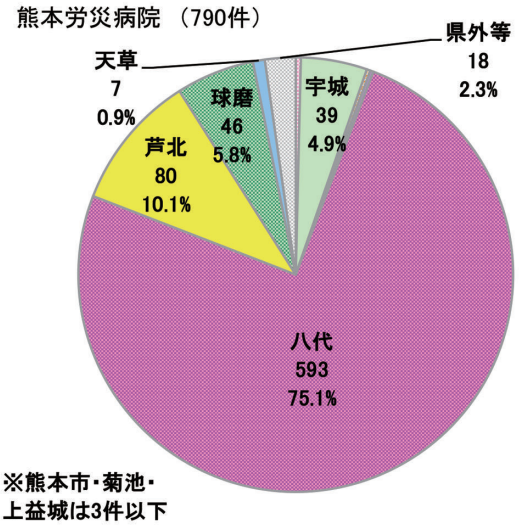
診断年別登録件数（参考）

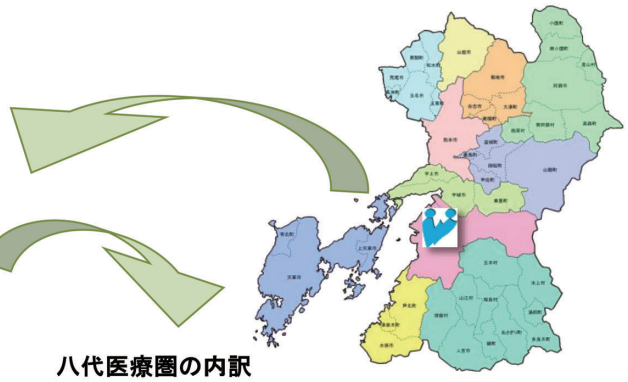


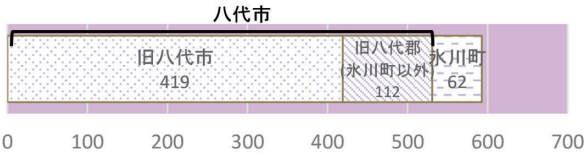
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示





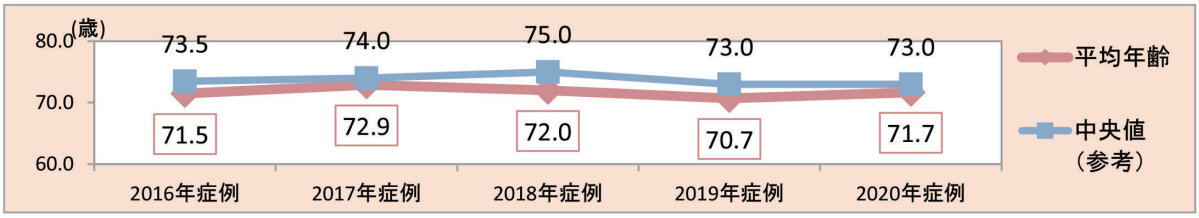


◇　医療圏別上位5部位

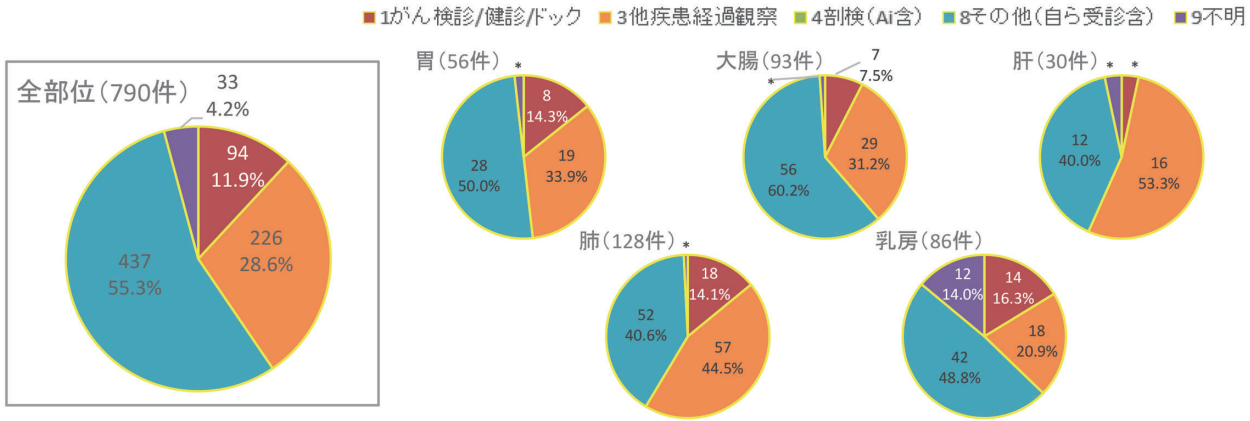
熊本市	該当部位	各*	鹿本			上益城	該当部位	各*	球磨	子宮頸部	8
										子宮体部	6
										皮膚	4
										乳房	4
										前立腺	4
宇城	乳房	9	菊池	該当部位	各*	八代	肺	99	天草	該当部位	各*
	肺	7					大腸	73			
	その他	5					乳房	57			
	大腸	4					その他	57			
	該当部位	各*					胃	46			
有明			阿蘇			芦北	肺	17	県外等	該当部位	各*
							乳房	13			
							大腸	9			
							その他	9			
							該当部位	各5			

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

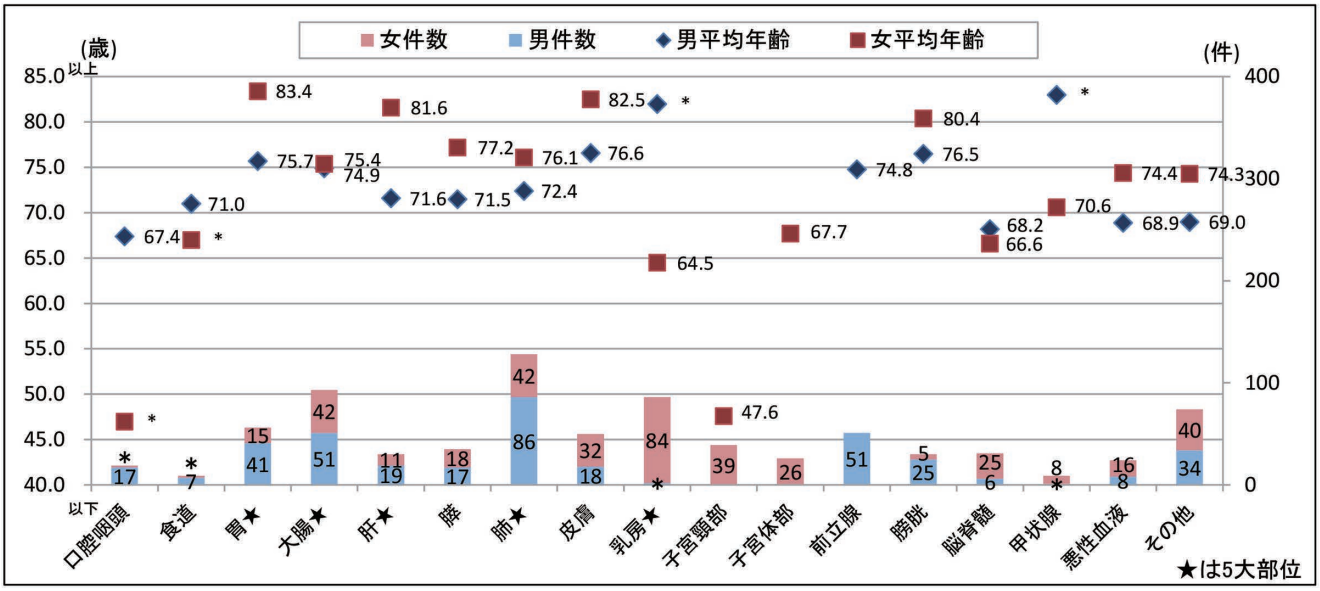
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	86
大腸	51
前立腺	51
胃	41
その他	34
膀胱	25
肝	19
皮膚	18
口腔咽頭	17
膵	17
悪性血液	8
食道	7
脳脊髄	6
乳房	*
甲状腺	*
子宮頸部	
子宮体部	
計	383

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	6

40～49歳	
該当部位	各*
計	10

50～59歳	
肺	8
大腸	4
該当部位	各*
計	26

60～69歳	
肺	14
胃	9
その他	8
該当部位	各7
など	
計	69

70～79歳	
肺	37
大腸	24
前立腺	23
胃	18
その他	13
など	
計	155

80～89歳	
肺	21
前立腺	16
大腸	12
胃	9
皮膚	9
など	
計	97

90歳～	
胃	4
該当部位	各*
計	20

女性全体	
乳房	84
大腸	42
肺	42
その他	40
子宮頸部	39
皮膚	32
子宮体部	26
脳脊髄	25
膵	18
悪性血液	16
胃	15
肝	11
甲状腺	8
膀胱	5
口腔咽頭	*
食道	*
前立腺	
計	407

0～14歳	
計	

15～39歳	
子宮頸部	15
該当部位	各*
計	22

40～49歳	
乳房	16
子宮頸部	8
該当部位	各*
計	33

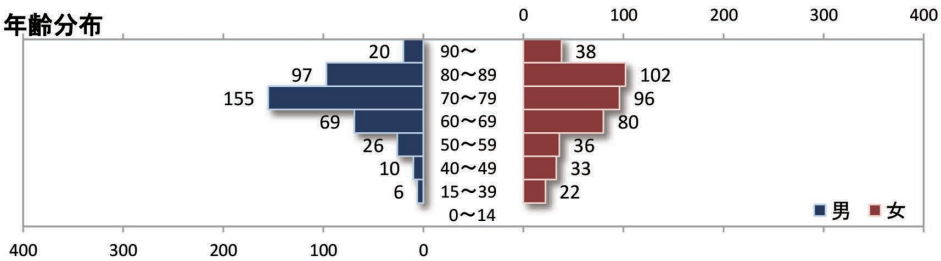
50～59歳	
乳房	8
子宮頸部	6
子宮体部	5
該当部位	各*
計	36

60～69歳	
乳房	23
大腸	10
脳脊髄	9
子宮体部	8
該当部位	各7
など	
計	80

70～79歳	
乳房	21
肺	17
その他	8
脳脊髄	7
該当部位	各6
など	
計	96

80～89歳	
大腸	17
肺	13
皮膚	12
乳房	12
その他	12
など	
計	102

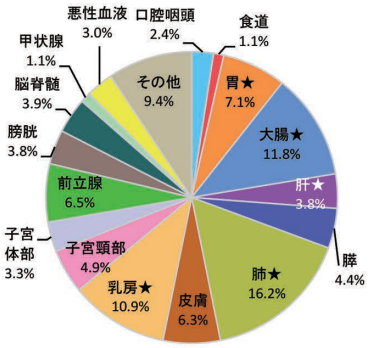
90歳～	
皮膚	10
その他	6
大腸	4
肺	4
該当部位	各*
計	38



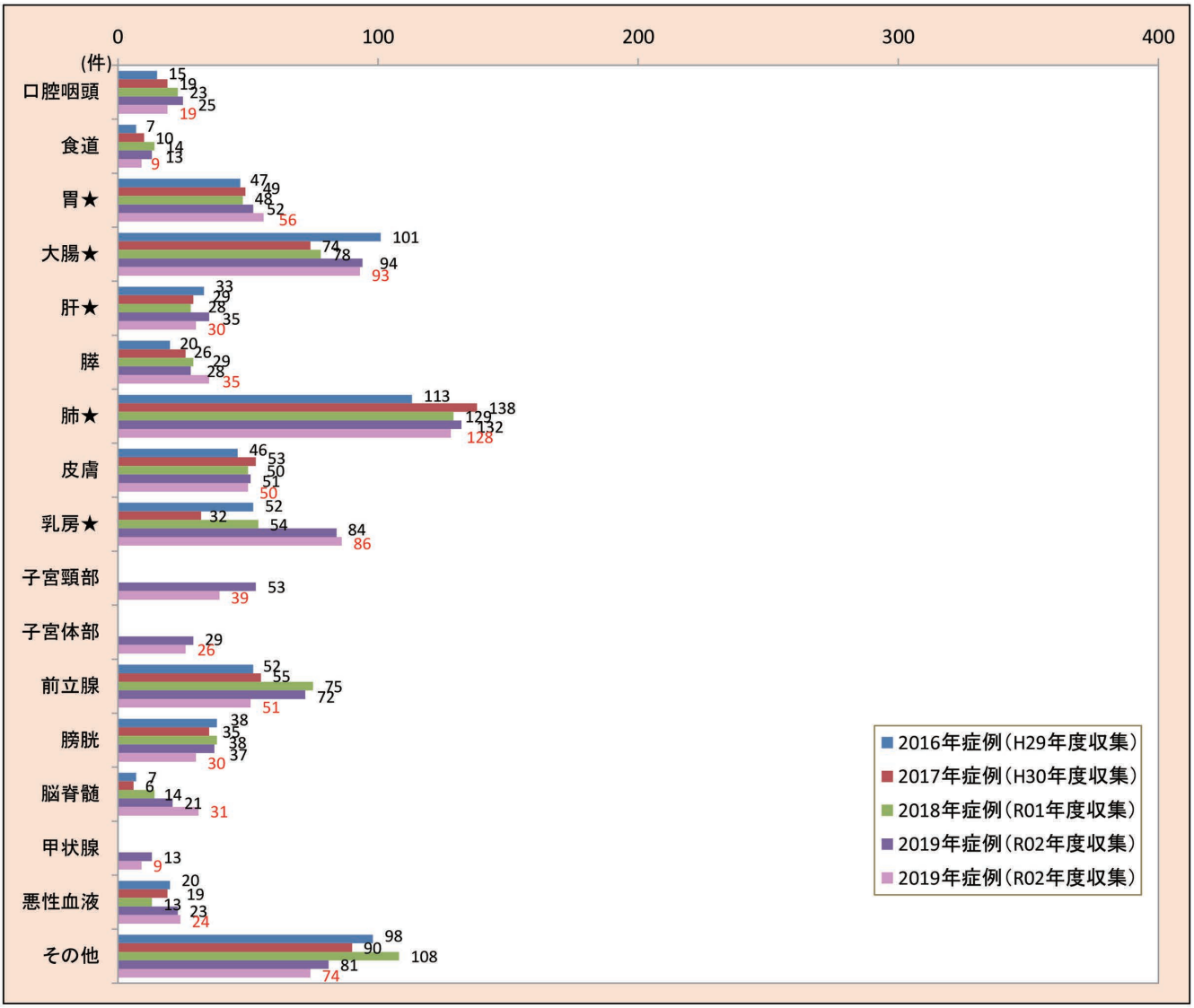
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	15	19	23	25	19
食道	7	10	14	13	9
胃★	47	49	48	52	56
大腸★	101	74	78	94	93
肝★	33	29	28	35	30
膵	20	26	29	28	35
肺★	113	138	129	132	128
皮膚	46	53	50	51	50
乳房★	52	32	54	84	86
子宮頸部	57（頸部・体部）	39（頸部・体部）	58（頸部・体部）	53	39
子宮体部				29	26
前立腺	52	55	75	72	51
膀胱	38	35	38	37	30
脳脊髄	7	6	14	21	31
甲状腺				13	9
悪性血液疾患	20	19	13	23	24
その他	98	90	108	81	74
計	706	674	759	843	790

2020年診断症例　主要部位別割合



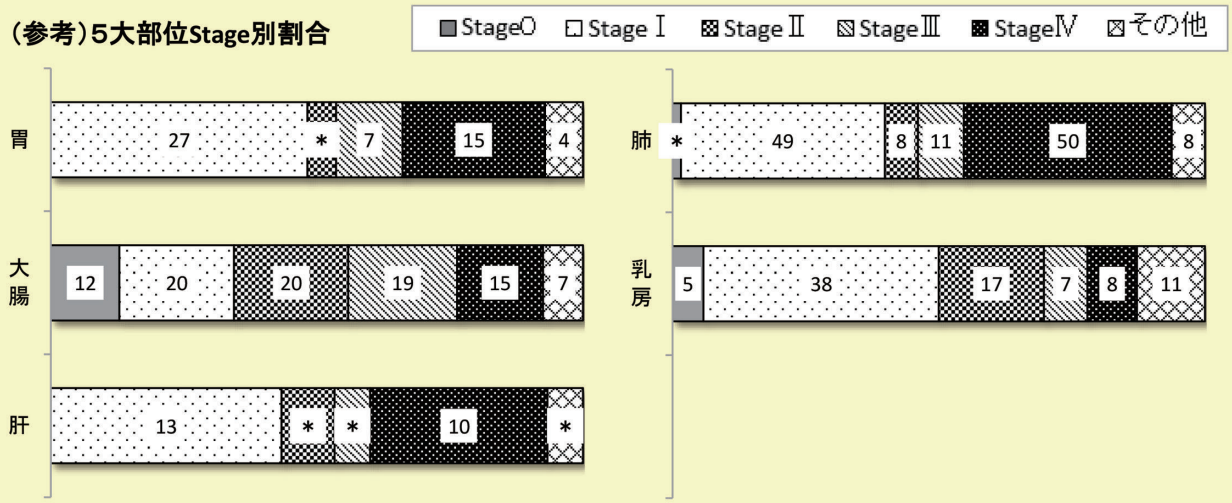
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



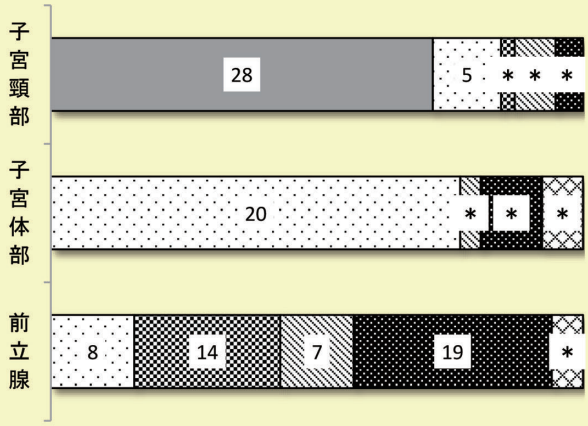
⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	19		4	4	*	8	
食道	9	*	4		*	*	*
胃★	56		27	*	7	15	4
大腸★	93	12	20	20	19	15	7
肝★	30		13	*	*	10	*
膵	35		4	*	4	22	*
肺★	128	*	49	8	11	50	8
皮膚	50	10	32	*	*	*	*
乳房★	86	5	38	17	7	8	11
子宮頸部	39	28	5	*	*	*	
子宮体部	26		20		*	*	*
前立腺	51		8	14	7	19	*
膀胱	30	12	9	5		*	*
脳脊髄	31						31
甲状腺	9		*	*	*	*	*
悪性血液疾患	24		5	*	*	*	11
その他	74	*	23	8	13	10	19
計	790	71	262	94	84	170	109

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

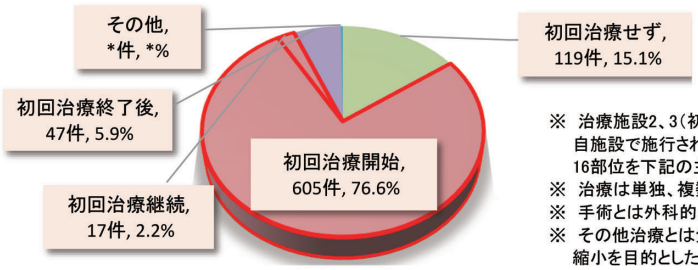


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

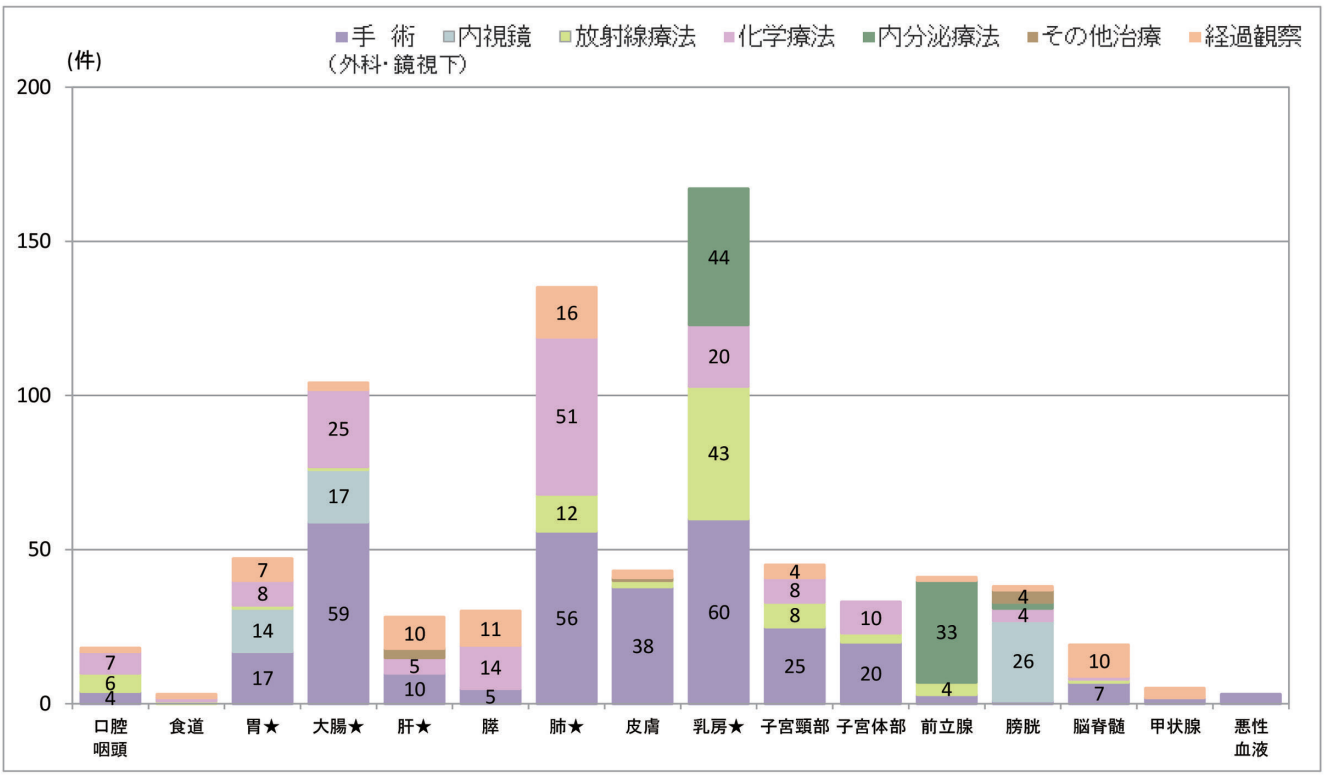
治療施設	件数
1初回治療せず	119
2初回治療開始	605
3初回治療継続	17
4初回治療終了後	47
8その他	*
計	790



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	4		6	7			*	18	100.0%	0.0%	0.0%
食道			*	*			*	*			
胃★	17	14	*	8			7	47	93.1%	6.9%	0.0%
大腸★	59	17	*	25			*	104	90.5%	8.1%	1.4%
肝★	10			5		*	10	28	90.0%	10.0%	0.0%
膵	5			14			11	30	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	56		12	51			16	135	92.9%	7.1%	0.0%
皮膚	38		*			*	*	43	92.1%	7.9%	0.0%
乳房★	60		43	20	44			167	76.7%	21.7%	1.7%
子宮頸部	25		8	8			4	45	96.0%	4.0%	0.0%
子宮体部	20		*	10				33	90.0%	10.0%	0.0%
前立腺	*		4		33		*	41	66.7%	33.3%	0.0%
膀胱	*	26		4	*	4	*	38	44.4%	55.6%	0.0%
脳脊髄	7		*	*			10	19	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	*						*	5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
計	310	57	82	154	79	8	69	759			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構 人吉医療センター

○基本情報

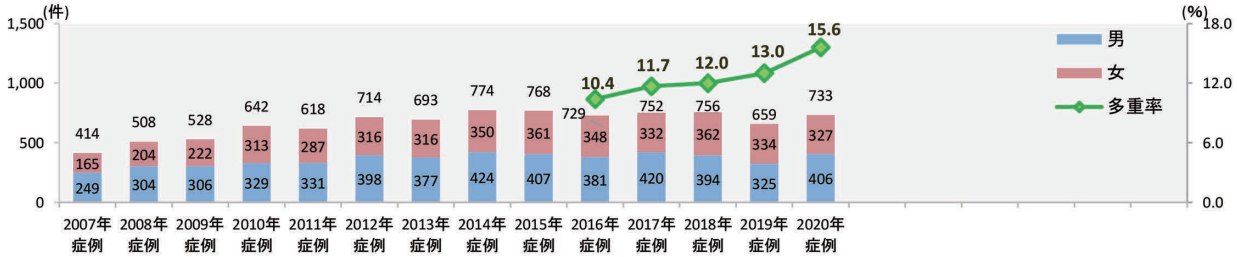
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	人吉市老神町35番地		
病床数	252床（一般248；感染症4）		
診療科数	27科		
がん診療連携拠点病院指定日	2007.01.31		
がん登録開始基準日	2006.10.01		
平均在院日数	11.7（日）		
入院患者数	6,544（人）		
外来患者延数	78,519（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	30
該当年の対象候補調査件数 （ケースファインド/施設によっては概算）	1,617（件）		
院内がん登録件数	733（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は熊本県の南部に位置しており、担当医療圏のみならず、県境の宮崎県・鹿児島県からの受診も多い。がん診療は、手術、化学療法、放射線治療、温熱療法等の集学的治療から緩和ケアまで行える体制を整えている。泌尿器科については、これまで非常勤医師による外来診療のみであったが、2020年4月より常勤医師2名が加わり、更なる地域完結型医療が可能となった。また「私のカルテ」による連携、「がんサロン」の開催、臨床心理士による精神面のサポート等、地域のがん診療拠点病院としてチーム医療、地域連携の充実に努めている。
【登録件数】 2020年登録件数は733件（男性406件、女性327件）。前年（659件）と比較すると74件の増加となった。泌尿器科での入院加療が可能となったことに伴い、前立腺、膀胱、腎・尿路系の登録件数がそれぞれ倍増していた。その他の部位については大きな変動は見られなかった。男女比は男性が55.4%（前年49.3%）、女性が44.6%（前年50.7%）。
【患者住所医療圏】 担当医療圏の割合は85.4%であった。圏外の割合は14.6%で、その内90%が県外であった。近県からの患者の占める割合は前年までは年々増加傾向であったが、2020年は割合、件数ともに減少しており、コロナ禍の中で県を跨いだ受診控えの影響が少なからずあった可能性が考えられた。
【年齢】 平均年齢は、全体72.2歳（前年71.5歳）、男性73.8歳（前年73.7歳）、女性70.2歳（前年69.4歳）で男女共に高くなっており、地域の高齢化によるものと考えられる。
【部位】 登録数の上位5部位は①大腸②肺③悪性血液④前立腺⑤乳房の順であった。前年、6番目であった前立腺が乳房を上回り、4番目となった。その他の部位については変動はなかった。
【主要部位別Stageと治療内容】
[胃]StageⅠの割合が45%と高かった。治療は外科手術が多く行われており、内視鏡的手術は前年と比べ減少していた。
[大腸]Stage0-Ⅰの割合が47.9%と半数近くが早期がんであった。手術では81.4%が鏡視下により行われていた。
[肺]他の部位と比べStageⅣの割合が55.4%と高く、積極的治療を行わず、経過観察を選択する症例も多かった。
[肝]TA(C)Eが多く行われていた。外科手術の件数は前年より減少していた。
[乳房]StageⅣの割合が11.9%と前年（3.7%）より増加しており、発見経緯別でも「その他（自覚症状によるものを含む）」が38.9%→45.8%と増加、逆に「がん検診・健康診断・人間ドック」が44.4%→30.5%と減少していた。

診断年別登録件数（参考）

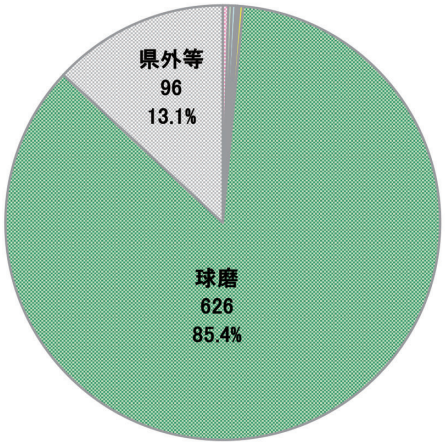


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

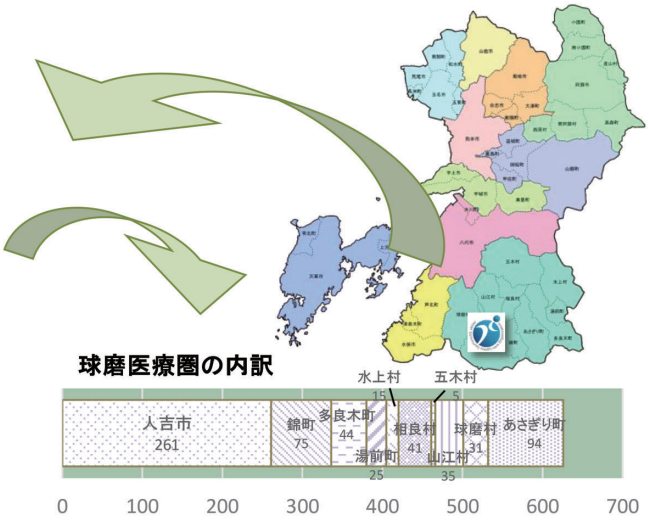
①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

人吉医療センター　（733件）



※熊本市・宇城・有明・菊池・八代・芦北は 3件以下

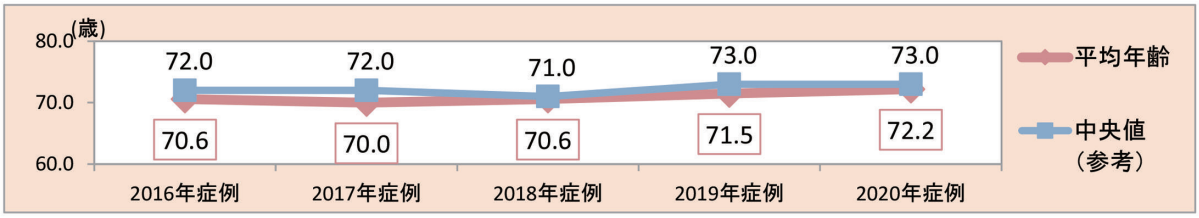


◇　医療圏別上位5部位

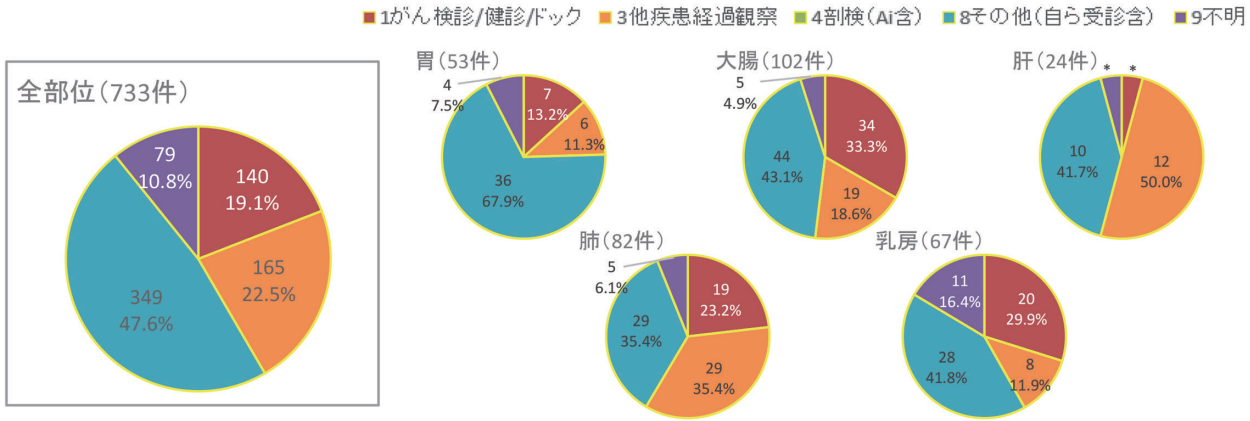
熊本市	該当部位	各*	鹿本			上益城			球磨	大腸	87
										肺	70
										前立腺	62
										悪性血液	60
										乳房	58
宇城	該当部位	各*	菊池	該当部位	各*	八代	該当部位	各*	天草		
有明	該当部位	各*	阿蘇			芦北	該当部位	各*	県外等	悪性血液	17
										大腸	14
										肺	11
										前立腺	10
										乳房	8

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

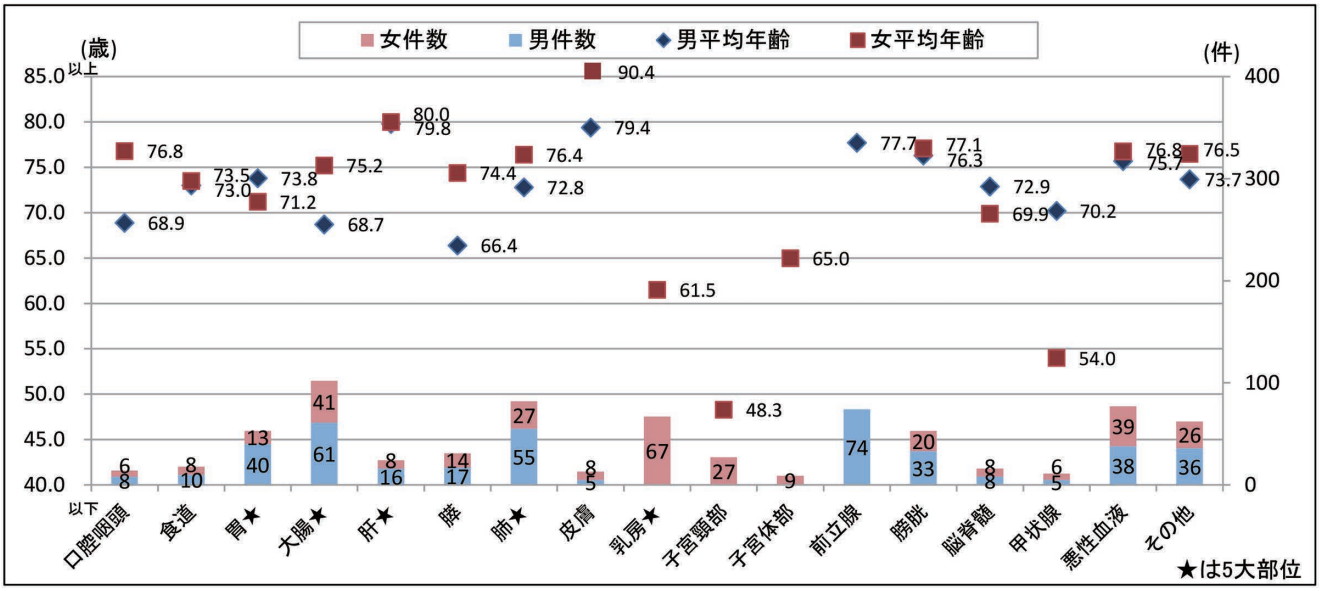
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	74
大腸	61
肺	55
胃	40
悪性血液	38
その他	36
膀胱	33
膵	17
肝	16
食道	10
口腔咽頭	8
脳脊髄	8
皮膚	5
甲状腺	5
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	406

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	9

50～59歳	
肺	7
大腸	6
該当部位	各*
計	30

60～69歳	
大腸	23
肺	17
前立腺	13
胃	9
膀胱	8
など	
計	93

70～79歳	
前立腺	30
大腸	20
その他	19
胃	16
肺	15
など	
計	139

80～89歳	
前立腺	27
悪性血液	16
肺	12
胃	11
該当部位	各9
など	
計	109

90歳～	
膀胱	5
肺	4
前立腺	4
該当部位	各*
計	24

女性全体	
乳房	67
大腸	41
悪性血液	39
肺	27
子宮頸部	27
その他	26
膀胱	20
膵	14
胃	13
子宮体部	9
食道	8
肝	8
皮膚	8
脳脊髄	8
口腔咽頭	6
甲状腺	6
前立腺	
計	327

0～14歳	
計	

15～39歳	
子宮頸部	8
該当部位	各*
計	12

40～49歳	
乳房	14
子宮頸部	8
該当部位	各*
計	29

50～59歳	
乳房	19
子宮頸部	5
該当部位	各*
計	39

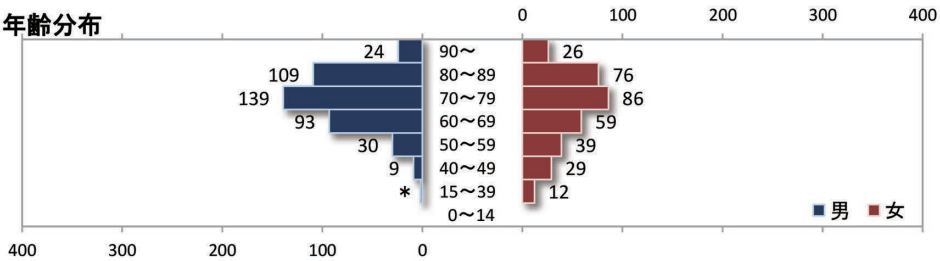
60～69歳	
大腸	11
乳房	11
悪性血液	8
膀胱	5
その他	5
など	
計	59

70～79歳	
肺	15
悪性血液	13
乳房	12
大腸	10
該当部位	各7
など	
計	86

80～89歳	
悪性血液	14
大腸	11
肺	9
乳房	9
膀胱	7
など	
計	76

90歳～	
大腸	5
その他	5
皮膚	4
該当部位	各*
計	26

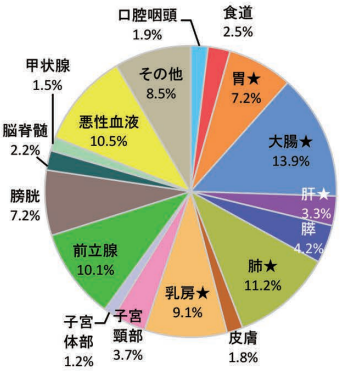
年齢分布



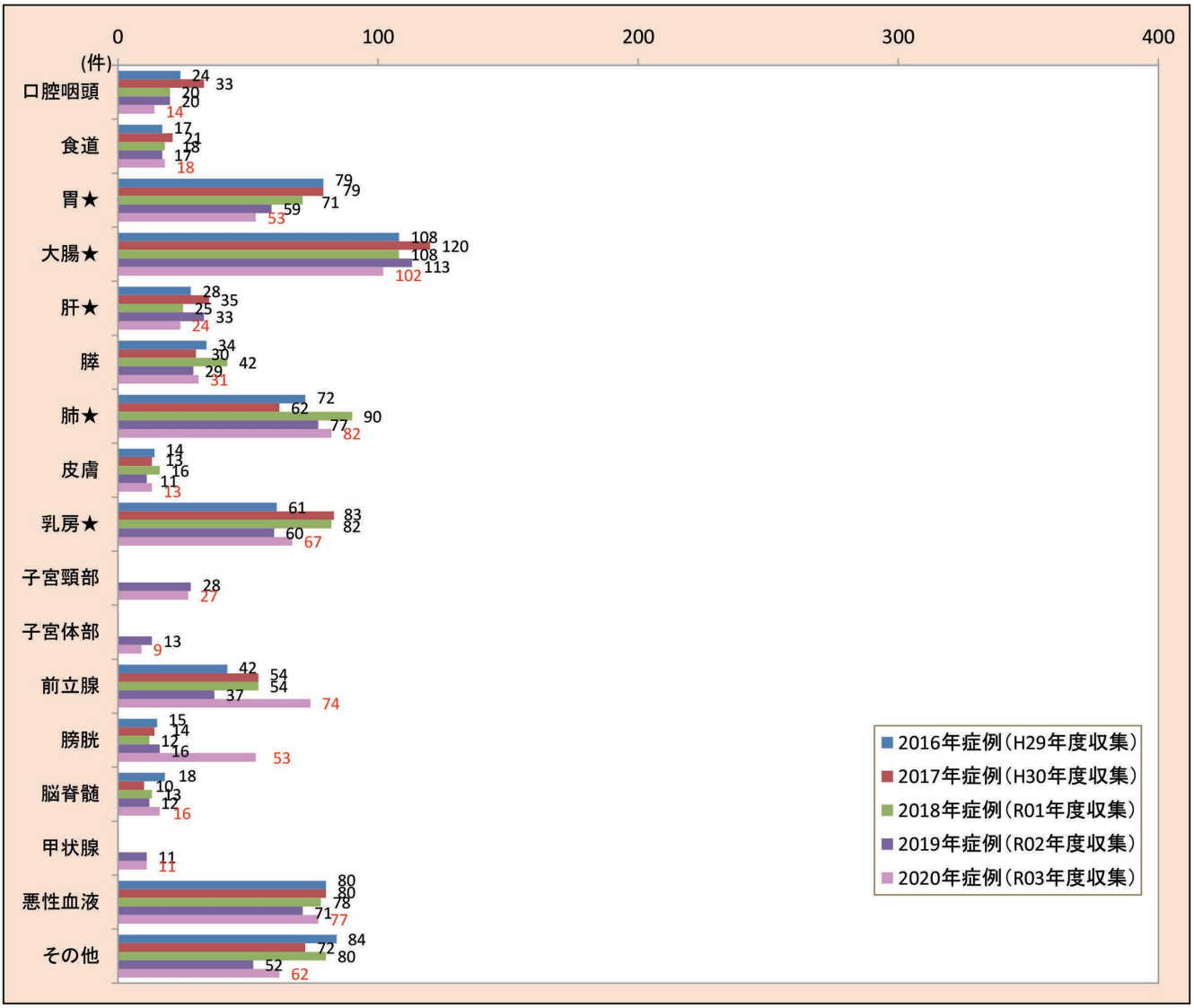
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	24	33	20	20	14
食道	17	21	18	17	18
胃★	79	79	71	59	53
大腸★	108	120	108	113	102
肝★	28	35	25	33	24
膵	34	30	42	29	31
肺★	72	62	90	77	82
皮膚	14	13	16	11	13
乳房★	61	83	82	60	67
子宮頸部	53（頸部・体部）	46（頸部・体部）	47（頸部・体部）	28	27
子宮体部				13	9
前立腺	42	54	54	37	74
膀胱	15	14	12	16	53
脳脊髄	18	10	13	12	16
甲状腺				11	11
悪性血液疾患	80	80	78	71	77
その他	84	72	80	52	62
計	729	752	756	659	733

2020年診断症例　主要部位別割合



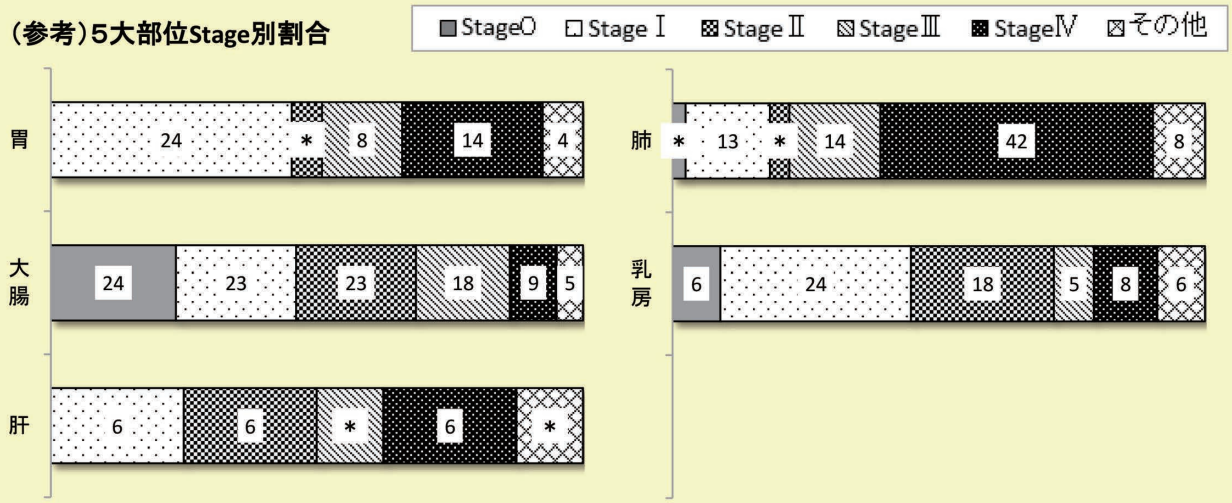
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



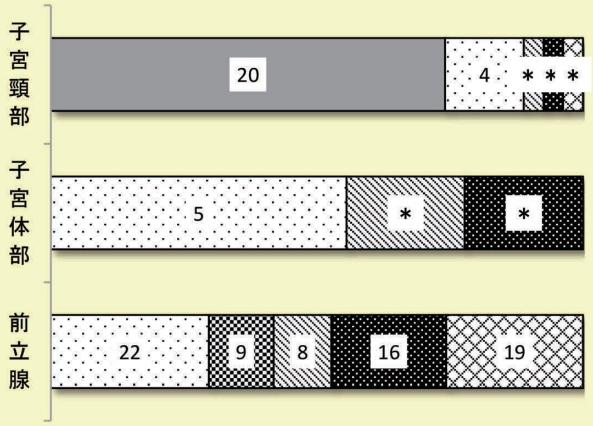
⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	14			*	5	7	*
食道	18	*	7	*		5	*
胃★	53		24	*	8	14	4
大腸★	102	24	23	23	18	9	5
肝★	24		6	6	*	6	*
膵	31		6	4	4	15	*
肺★	82	*	13	*	14	42	8
皮膚	13	*	6	*			4
乳房★	67	6	24	18	5	8	6
子宮頸部	27	20	4		*	*	*
子宮体部	9		5		*	*	
前立腺	74		22	9	8	16	19
膀胱	53	24	5	4	8	4	8
脳脊髄	16						16
甲状腺	11		8		*	*	
悪性血液疾患	77		*	4	5	17	50
その他	62	*	12	8	13	9	19
計	733	79	166	88	95	157	148

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

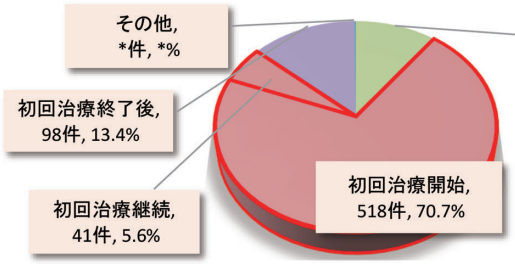


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

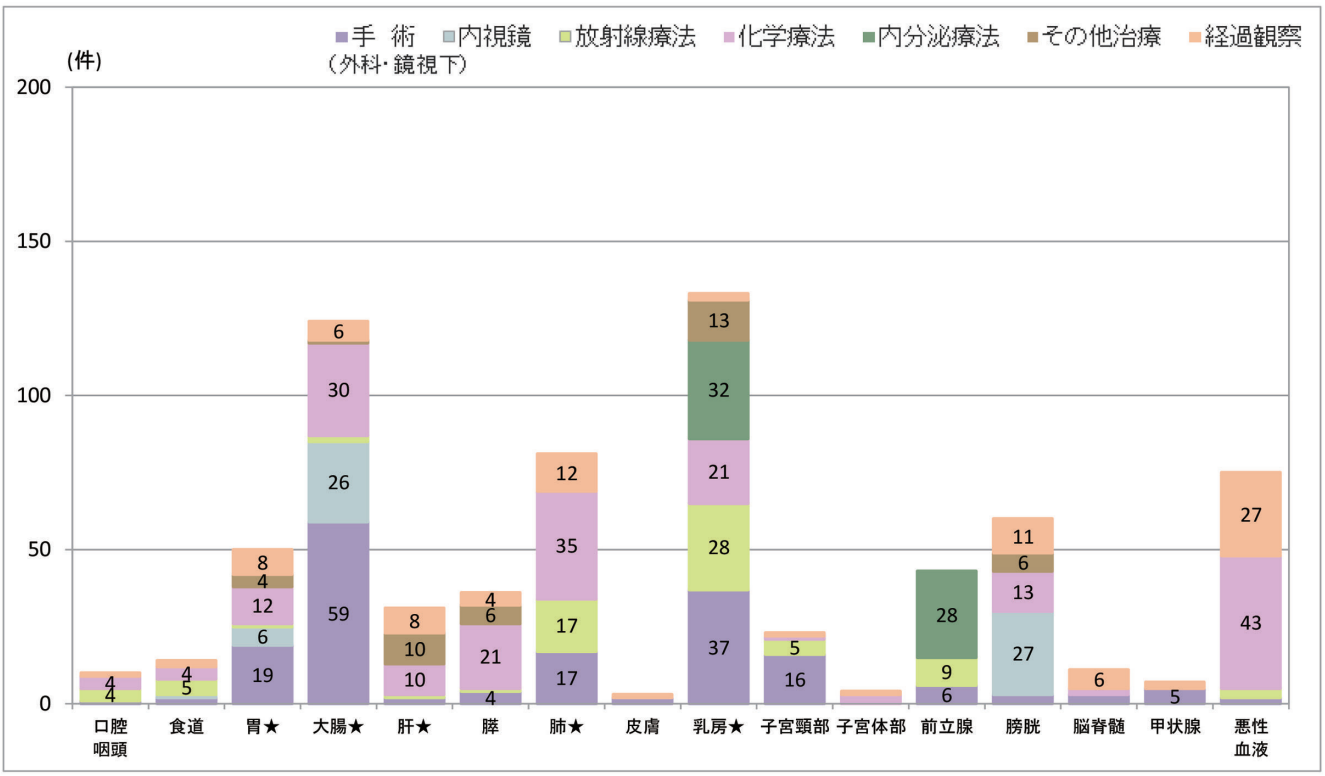
治療施設	件数
1初回治療せず	75
2初回治療開始	518
3初回治療継続	41
4初回治療終了後	98
8その他	*
計	733



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*		4	4			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
食道	*	*	5	4			*	14	66.7%	0.0%	33.3%
胃★	19	6	*	12		4	8	50	96.0%	4.0%	0.0%
大腸★	59	26	*	30		*	6	124	98.8%	1.2%	0.0%
肝★	*		*	10		10	8	31	100.0%	0.0%	0.0%
膵	4		*	21		6	4	36	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	17		17	35			12	81	82.4%	17.6%	0.0%
皮膚	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	37		28	21	32	13	*	133	94.6%	0.0%	5.4%
子宮頸部	16		5	*			*	23	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部				*			*	4			
前立腺	6		9		28			43	83.3%	16.7%	0.0%
膀胱	*	27		13		6	11	60	85.7%	7.1%	7.1%
脳脊髄	*			*			6	11	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	5						*	7	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*		*	43			27	75	50.0%	50.0%	0.0%
計	178	60	76	199	60	40	92	705			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



大腸癌はこちら

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	荒尾市民病院

○基本情報

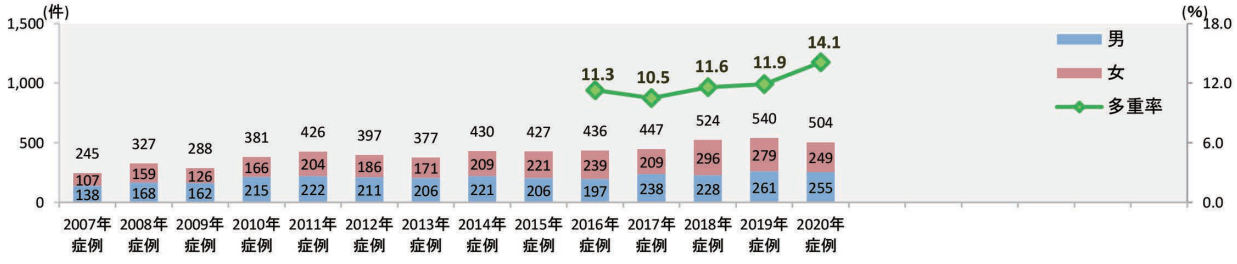
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	荒尾市荒尾2600番地		
病床数	274床（一般270；感染症4）		
診療科数	25科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08		
がん登録開始基準日	2008.01.01		
平均在院日数	14.9（日）		
入院患者数	3,854（人）		
外来患者延数	78,354（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	3,498（件）		
院内がん登録件数	504（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　2　／他　1（名）		

○医療機関からのコメント

【登録件数】
2020年症例は504件で前年（540件）と比較して、36件減少した。
【患者住所医療圏別】
登録症例の89.7%を有明医療圏在住の患者が占める。当院は、福岡県との県境に位置しており、県外からの受診48件中、45件が福岡県大牟田市在住の患者である。
【性別・年齢別】
男性：255件、女性：249件。全体平均年齢は、73.0歳だった。
【主要部位別登録件数】
全体①大腸（83件）②乳房（68件）③悪性血液（48件）④胃（47件）⑤肺（46件）で、前年と比較して、肝（18件→22件）、膵（17件→20件）、皮膚（15件→25件）、前立腺（27件→34件）が増加し、大腸（100件→83件）胃（51件→47件）、悪性血液（57件→48件）、肺（59件→46件）脳脊髄（30件→21件）食道（7件→5件）乳腺（70件→68件）が減少している。
男性では、①大腸（49件）②胃（35件）③前立腺（34件）④肺（28件）⑤悪性血液（27件）。
女性では、①乳房（68件）②大腸（34件）③悪性血液（21件）④肺（18件）⑤子宮頸部（14件）の結果であった。
【主要部位別病期分類（総合stage）】
登録症例全体では、Stage0が6.2%StageⅠが29.0%、StageⅡが14.5%、StageⅢが14.7%、StageⅣが15.5%であった。特に膵癌のStageⅣが40.0%、肺癌のStageⅣが32.6%と多かった。
【主要部位別治療の内訳】
自施設の初回治療・継続治療の症例407件の治療別内訳は、観血的治療（手術+内視鏡）48.9%、放射線治療19.7%、化学療法24.6%、内分泌療6.1%、その他の治療1.7%、経過観察11.5%であった。

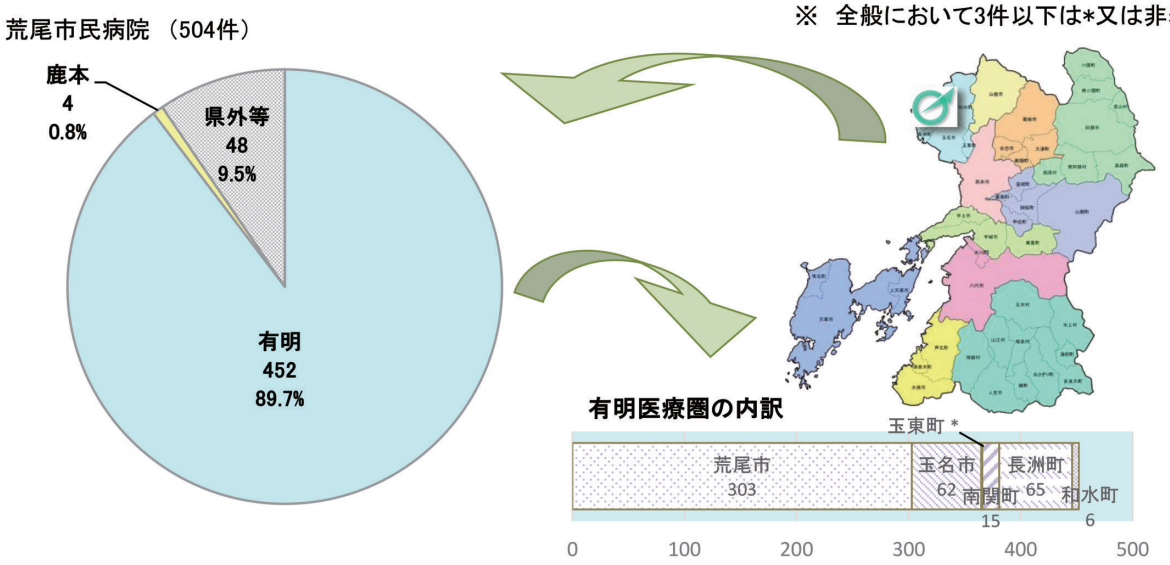
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

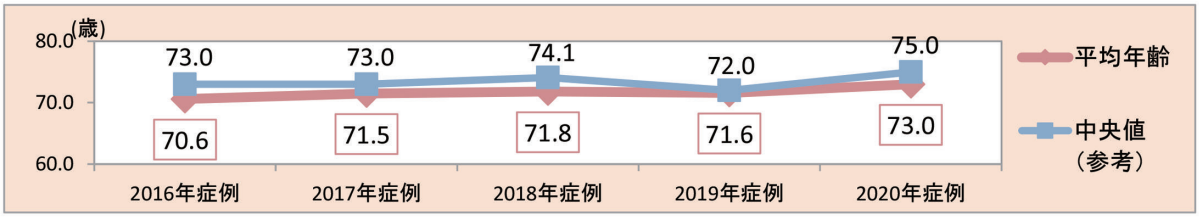


◇　医療圏別上位5部位

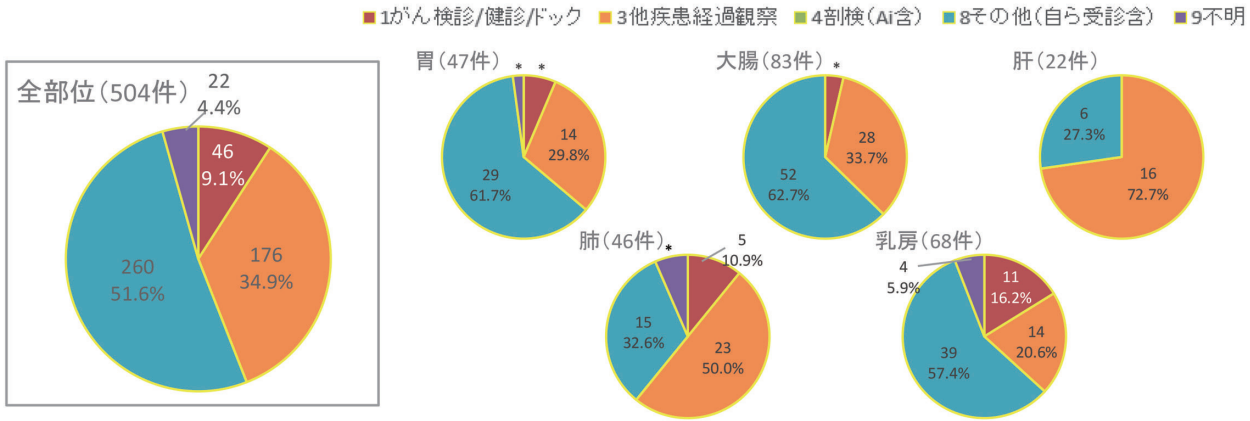
熊本市			鹿本	該当部位	各*	上益城			球磨		
宇城			菊池			八代			天草		
有明	大腸	75	阿蘇			芦北			県外等	悪性血液	13
	乳房	60								肺	11
	その他	47								大腸	8
	胃	44								乳房	5
	肺	35								該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

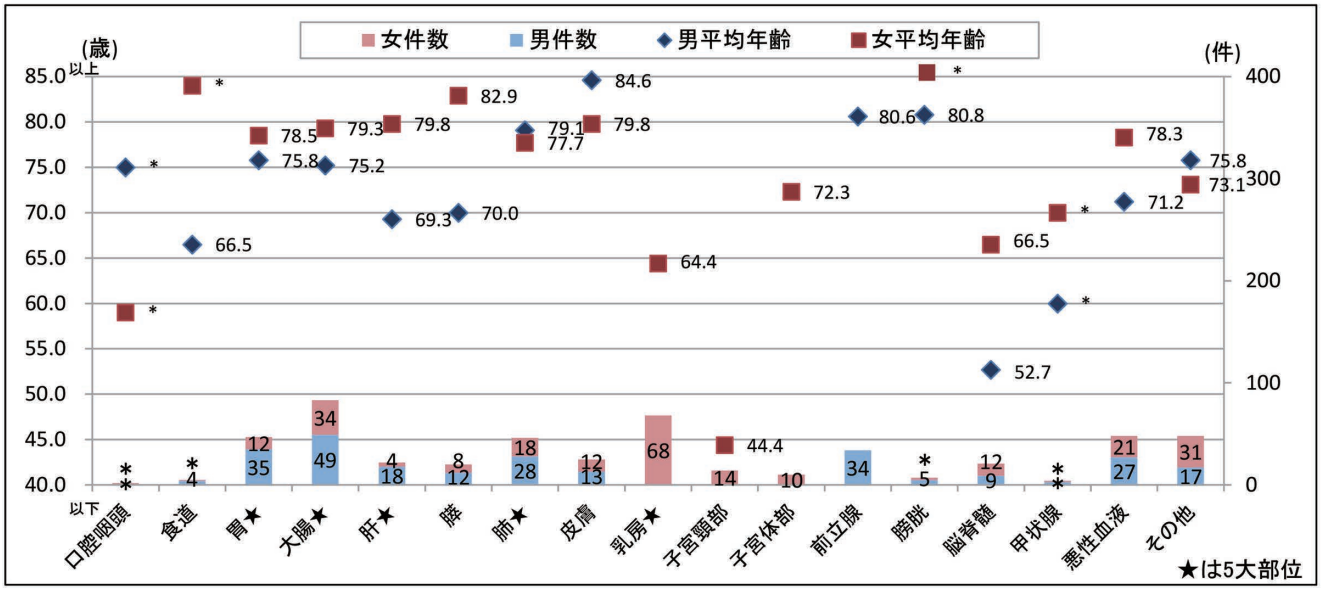
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	49
胃	35
前立腺	34
肺	28
悪性血液	27
肝	18
その他	17
皮膚	13
膵	12
脳脊髄	9
膀胱	5
食道	4
甲状腺	*
口腔咽頭	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	255

0～14歳	
該当部位	各*
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	4

40～49歳	
該当部位	各*
計	4

50～59歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	15

60～69歳	
大腸	10
悪性血液	10
胃	5
膵	5
該当部位	各*
計	35

70～79歳	
胃	20
肺	14
大腸	12
前立腺	12
該当部位	各9
など	
計	100

80～89歳	
大腸	19
前立腺	19
肺	11
胃	8
その他	7
など	
計	82

90歳～	
皮膚	4
該当部位	各*
計	14

女性全体	
乳房	68
大腸	34
その他	31
悪性血液	21
肺	18
子宮頸部	14
胃	12
皮膚	12
脳脊髄	12
子宮体部	10
膵	8
肝	4
膀胱	*
口腔咽頭	*
食道	*
甲状腺	*
前立腺	
計	249

0～14歳	
計	

15～39歳	
子宮頸部	7
該当部位	各*
計	13

40～49歳	
乳房	9
該当部位	各*
計	13

50～59歳	
乳房	11
その他	4
該当部位	各*
計	24

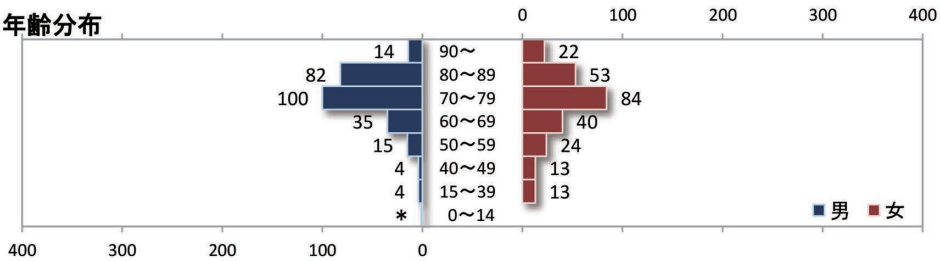
60～69歳	
乳房	23
大腸	4
該当部位	各*
計	40

70～79歳	
乳房	18
大腸	12
悪性血液	10
その他	10
肺	9
など	
計	84

80～89歳	
大腸	12
肺	7
皮膚	7
悪性血液	7
該当部位	各4
など	
計	53

90歳～	
その他	7
大腸	5
該当部位	各*
計	22

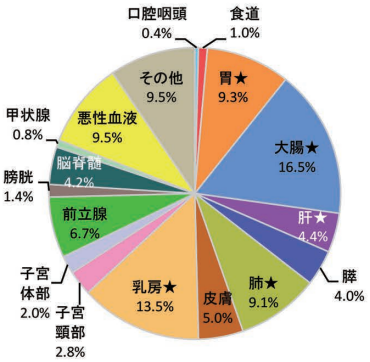
年齢分布



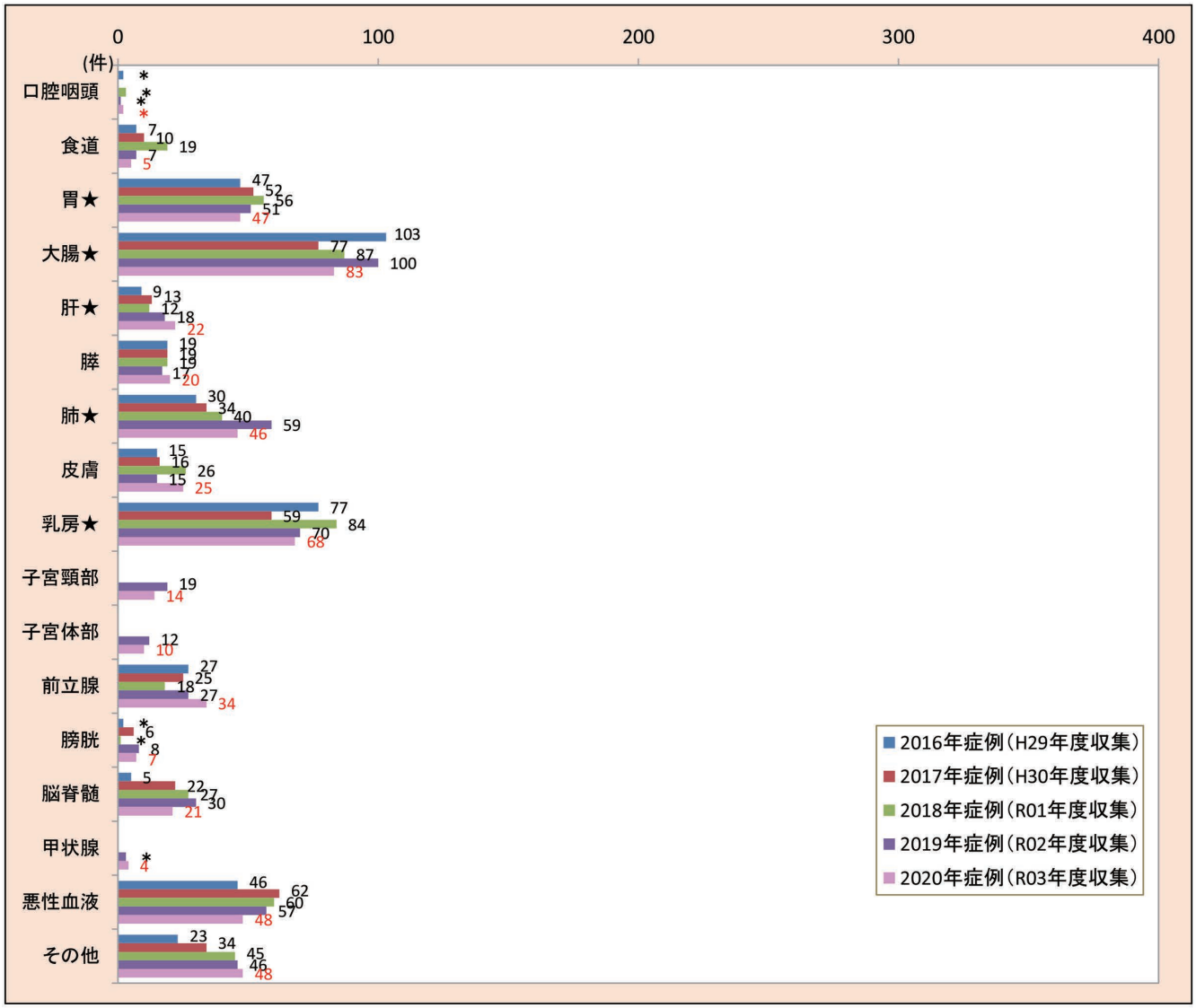
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	*		*	*	*
食道	7	10	19	7	5
胃★	47	52	56	51	47
大腸★	103	77	87	100	83
肝★	9	13	12	18	22
膵	19	19	19	17	20
肺★	30	34	40	59	46
皮膚	15	16	26	15	25
乳房★	77	59	84	70	68
子宮頸部	24（頸部・体部）	18（頸部・体部）	27（頸部・体部）	19	14
子宮体部				12	10
前立腺	27	25	18	27	34
膀胱	*	6	*	8	7
脳脊髄	5	22	27	30	21
甲状腺				*	4
悪性血液疾患	46	62	60	57	48
その他	23	34	45	46	48
計	436	447	524	540	504

2020年診断症例　主要部位別割合

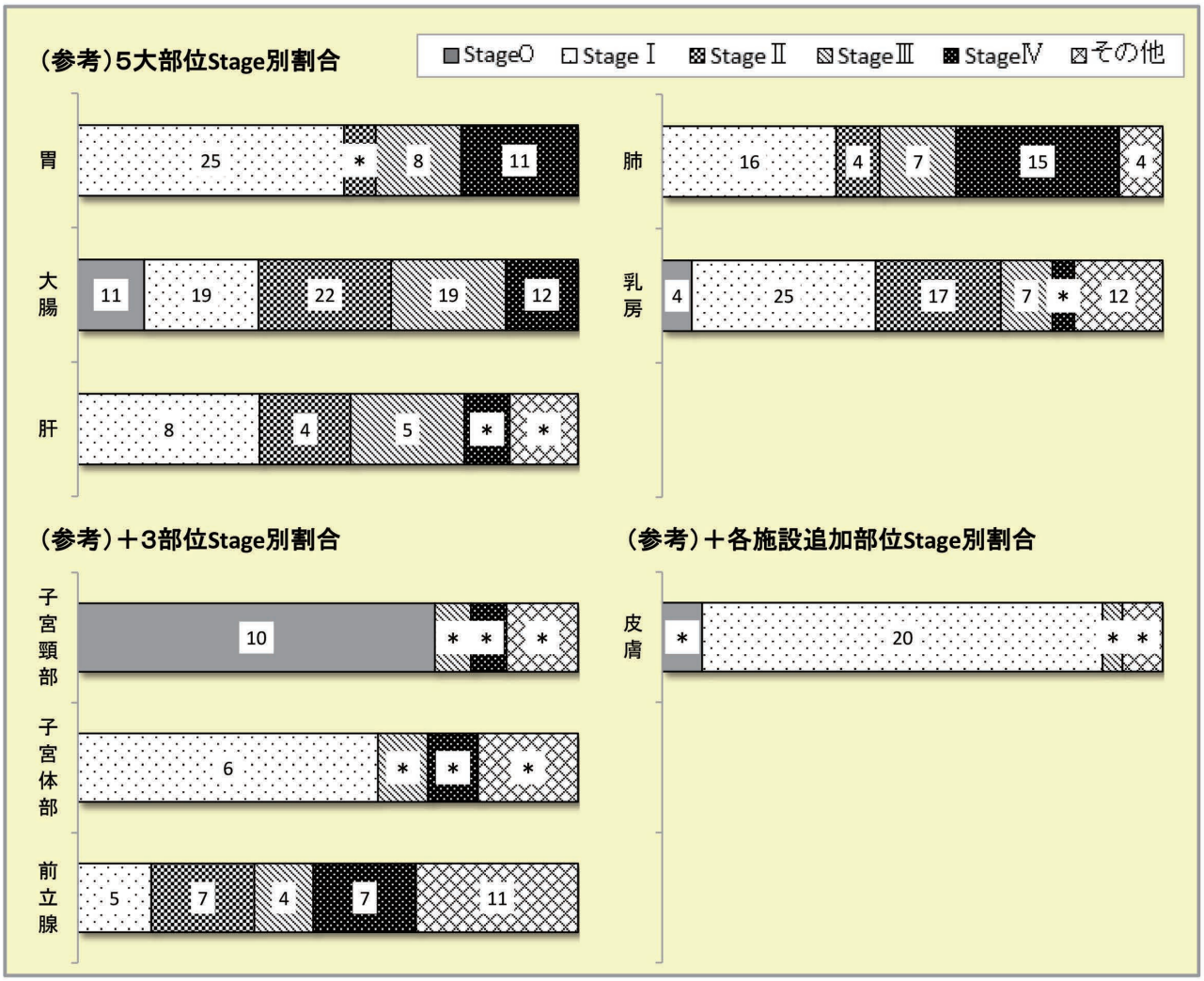


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

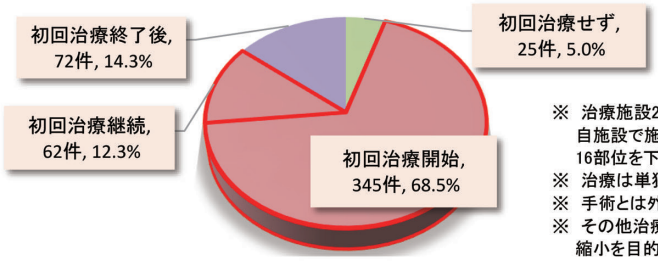
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	*				*	*	
食道	5		*	*			*
胃★	47		25	*	8	11	
大腸★	83	11	19	22	19	12	
肝★	22		8	4	5	*	*
膵	20	*	*	*	5	8	*
肺★	46		16	4	7	15	4
皮膚	25	*	20		*		*
乳房★	68	4	25	17	7	*	12
子宮頸部	14	10			*	*	*
子宮体部	10		6		*	*	*
前立腺	34		5	7	4	7	11
膀胱	7	*		*	*	*	*
脳脊髄	21						21
甲状腺	4		*	*		*	
悪性血液疾患	48		4	*	5	9	28
その他	48		11	8	9	6	14
計	504	31	146	73	74	78	102



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

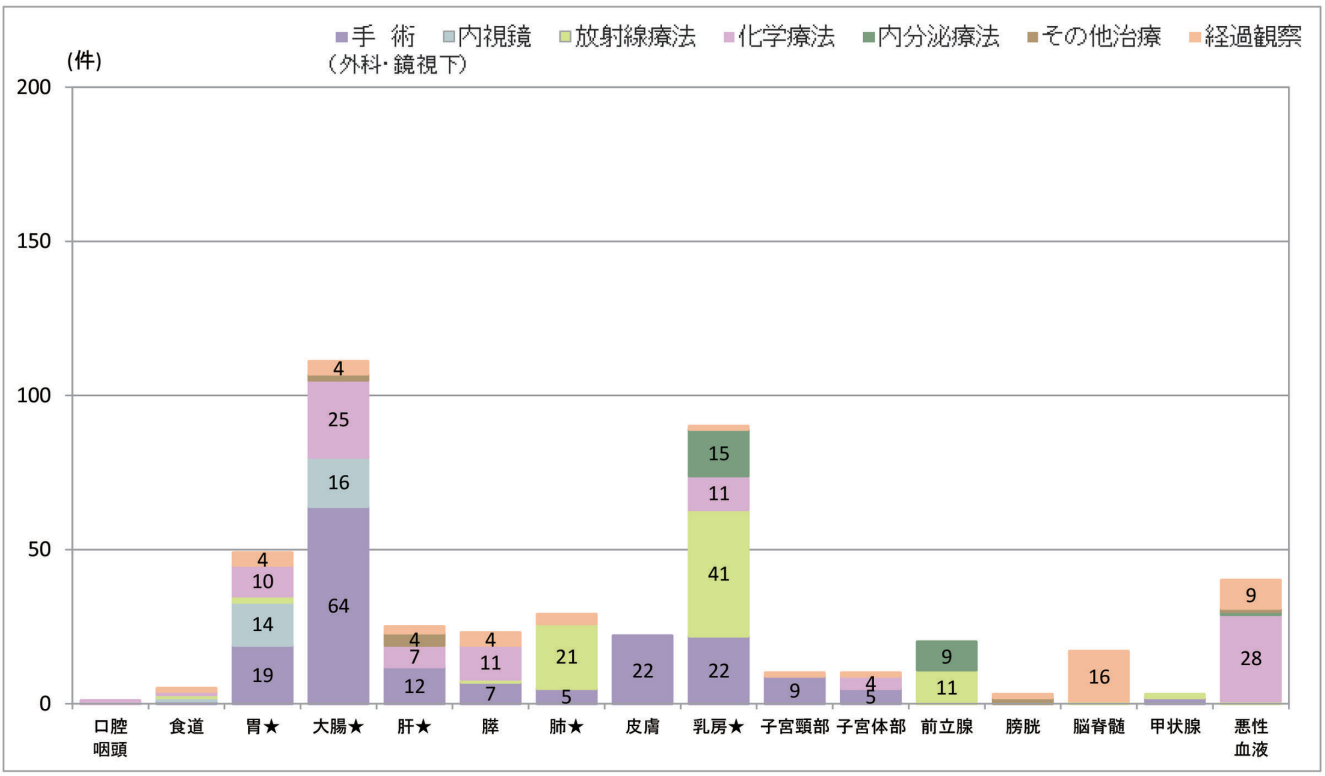
治療施設	件数
1初回治療せず	25
2初回治療開始	345
3初回治療継続	62
4初回治療終了後	72
8その他	0
計	504



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭				*				*			
食道	*	*	*	*			*	5	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	19	14	*	10			4	49	90.9%	9.1%	0.0%
大腸★	64	16		25		*	4	111	86.8%	13.2%	0.0%
肝★	12			7		4	*	25	80.0%	20.0%	0.0%
膵	7		*	11			4	23	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	5		21				*	29	80.0%	20.0%	0.0%
皮膚	22							22	90.9%	9.1%	0.0%
乳房★	22		41	11	15		*	90	95.5%	4.5%	0.0%
子宮頸部	9						*	10	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	5			4			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			11		9			20			
膀胱						*	*	*			
脳脊髄			*				16	17			
甲状腺	*		*					*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患			*	28	*	*	9	40			
計	168	31	80	98	25	9	47	458			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



無断転載禁止

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構　熊本医療センター

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	熊本市中央区二の丸1-5		
病　床　数	550床（一般500；精神50）		
診療科数	34科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08		
がん登録開始基準日	2007.09.01		
平均在院日数	13.0（日）		
入院患者数	13,967（人）		
外来患者延数	132,913（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	18,360（件）		
院内がん登録件数	1,858（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　0　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

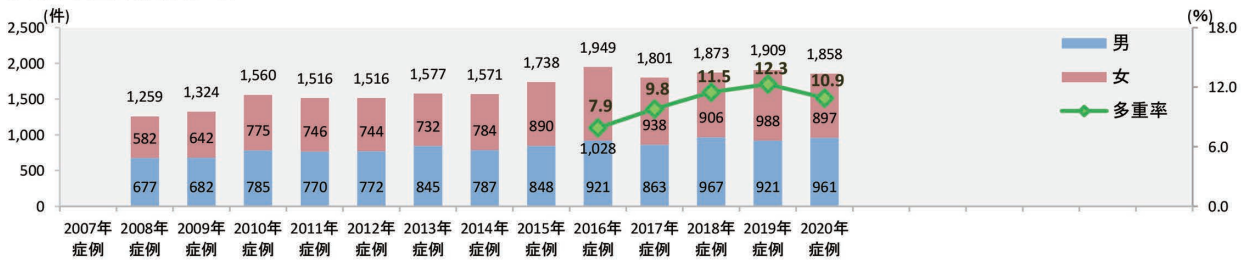
【登録件数・症例数の多い登録部位】
国立病院機構熊本医療センターの2020年診断症例の院内がん登録件数は1858件であった。例年通り悪性血液疾患(白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄異形成症候群等)が最も多く296件、次いで大腸(結腸・直腸)246件、前立腺150件であった。(その他237件除く)

【性別・件数が多い部位別罹患平均年齢】
男性：①悪性血液疾患　166件 69.1歳　②大腸　150件 72.5歳　③前立腺　150件 75.6歳
女性：①乳房　144件 62.6歳　②悪性血液疾患　130件 68.7歳　③子宮頸部　127件 48.9歳

【症例数の多い部位の主な治療方法・特色】
1)『悪性血液疾患』日本骨髄バンクと日本臍帯血バンクの認定施設として、同種造血幹細胞移植を実践している。
2)『大腸』症例に応じて、患者様の身体的に負担の少ない鏡視下手術を積極的に取り入れている。また化学療法、放射線療法と組み合わせた集学的治療を実践している。
3)『前立腺』切除しない密封小線源治療(ブラキセラピー)を推進しており、2018年から全例にスペースOARシステムを導入し、放射線合併症防止にも努めている。また、前立腺がん部分治療(Focal therapy)について開始予定である。

【熊本医療センターの特徴・役割】
精神科を有しており、精神障害を合併されたがん患者様の治療に対応している。
2015年より腫瘍内科が新設され、がん薬物療法を専門に扱う腫瘍内科医4名の体制となったことで、全ての種類のがん診療に対応することが可能になった。
2020年より新館にがん総合医療センターが開設したことで、より多くの患者様に寄り添ったがん治療を提供する体制を整えた。今後も地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすため、チーム医療、医療連携の充実を図っていく。

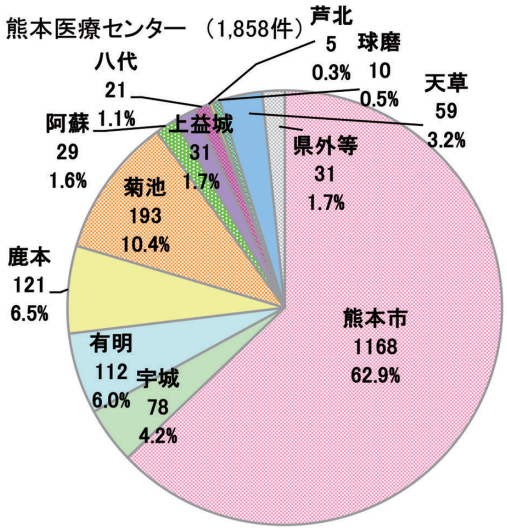
診断年別登録件数(参考)

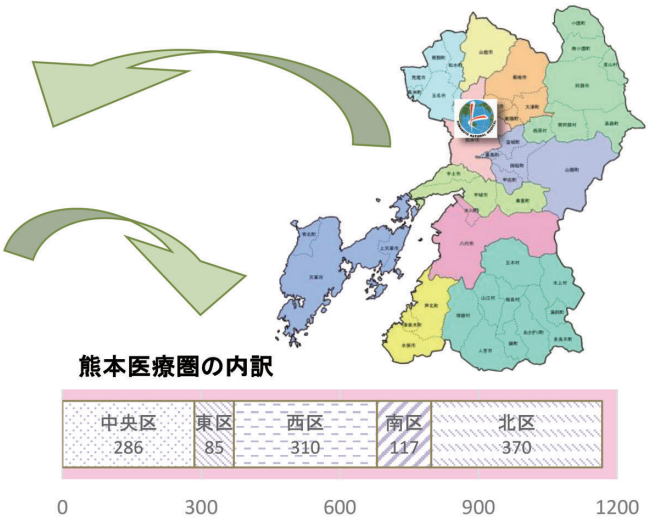


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



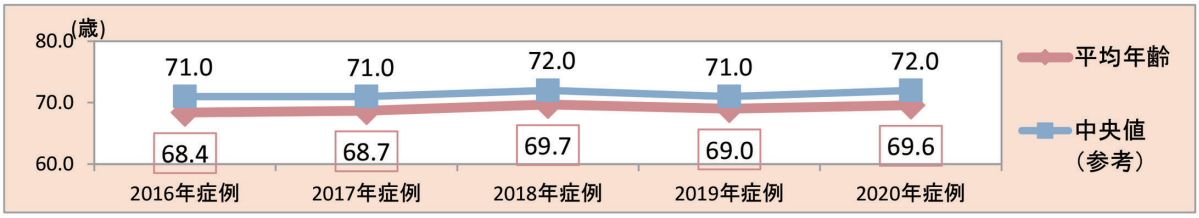


◇　医療圏別上位5部位

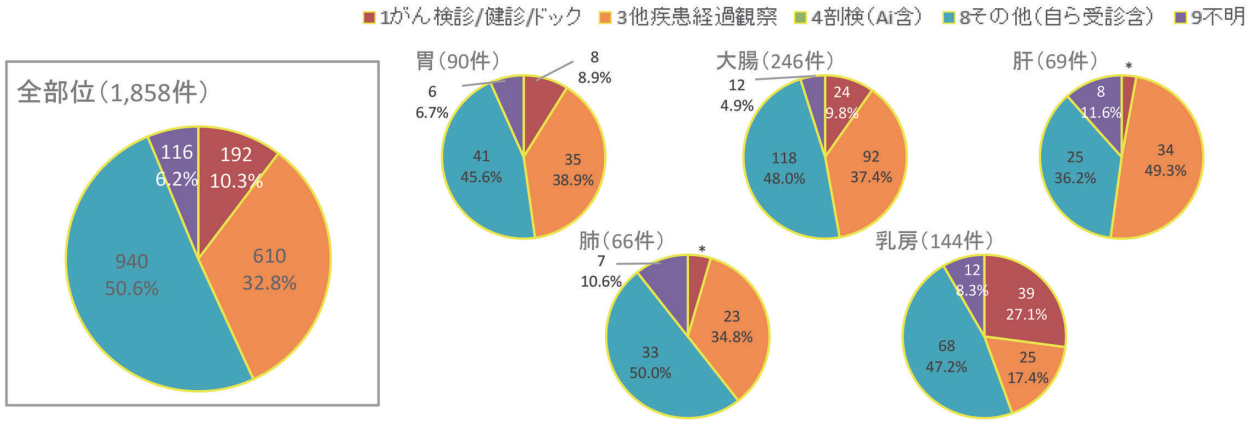
熊本市	大腸	167	鹿本	その他	16	上益城	悪性血液	8	球磨	該当部位	各*
	悪性血液	167		大腸	15		大腸	4			
	その他	141		悪性血液	15		肝	4			
	乳房	108		前立腺	14		該当部位	各*			
	前立腺	94		皮膚	10						
宇城	悪性血液	21	菊池	悪性血液	32	八代	大腸	4	天草	悪性血液	17
	その他	11		その他	24		該当部位	各*		子宮頸部	11
	大腸	8		膀胱	17					その他	11
	子宮体部	8		胃	15					前立腺	6
	子宮頸部	6		前立腺	15					該当部位	各*
有明	悪性血液	22	阿蘇	大腸	4	芦北	該当部位	各*	県外等	大腸	7
	大腸	19		子宮頸部	4					その他	7
	その他	19		膀胱	4					悪性血液	6
	子宮頸部	11		その他	4					該当部位	各*
	乳房	7		該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

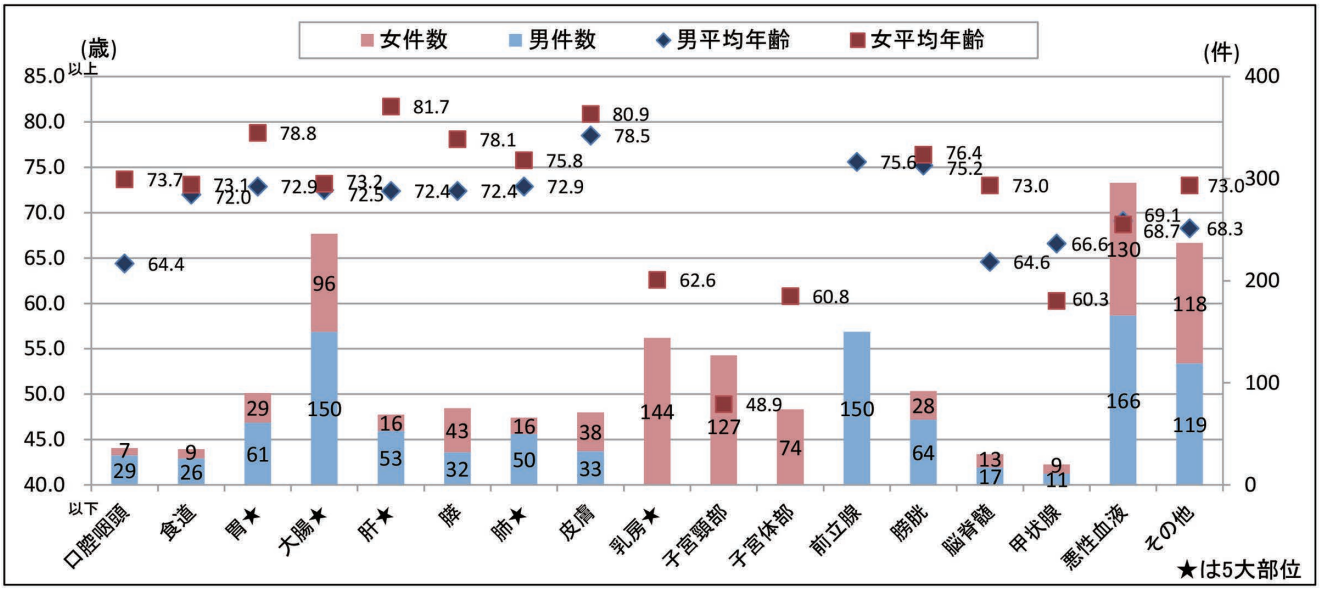
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	
悪性血液	166
大腸	150
前立腺	150
その他	119
膀胱	64
胃	61
肝	53
肺	50
皮膚	33
膵	32
口腔咽頭	29
食道	26
脳脊髄	17
甲状腺	11
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	961

0～14歳	
該当部位	各*
計	*

15～39歳	
その他	8
悪性血液	5
該当部位	各*
計	22

40～49歳	
悪性血液	13
その他	6
該当部位	各*
計	30

50～59歳	
大腸	16
その他	16
悪性血液	15
肝	6
口腔咽頭	5
など	
計	77

60～69歳	
悪性血液	43
前立腺	34
大腸	33
その他	21
膀胱	18
など	
計	216

70～79歳	
大腸	62
前立腺	61
悪性血液	49
その他	38
胃	28
など	
計	346

80～89歳	
前立腺	44
悪性血液	35
大腸	29
その他	26
膀胱	20
など	
計	222

90歳～	
大腸	8
前立腺	8
皮膚	6
悪性血液	5
該当部位	各4
など	
計	46



女性全体	
乳房	144
悪性血液	130
子宮頸部	127
その他	118
大腸	96
子宮体部	74
膵	43
皮膚	38
胃	29
膀胱	28
肝	16
肺	16
脳脊髄	13
食道	9
甲状腺	9
口腔咽頭	7
前立腺	
計	897

0～14歳	
該当部位	各*
計	*

15～39歳	
子宮頸部	42
悪性血液	9
乳房	4
該当部位	各*
計	59

40～49歳	
子宮頸部	37
乳房	22
子宮体部	18
悪性血液	8
その他	5
該当部位	各*
計	99

50～59歳	
乳房	32
子宮頸部	18
子宮体部	17
悪性血液	11
その他	11
など	
計	107

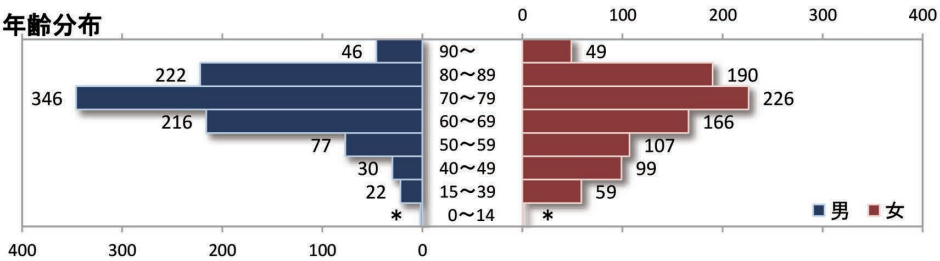
60～69歳	
乳房	39
その他	26
悪性血液	25
大腸	16
子宮体部	16
など	
計	166

70～79歳	
悪性血液	37
乳房	34
大腸	33
その他	33
子宮体部	16
など	
計	226

80～89歳	
悪性血液	31
その他	31
大腸	25
皮膚	19
膵	18
など	
計	190

90歳～	
その他	11
悪性血液	8
大腸	7
膵	5
皮膚	5
該当部位	各*
計	49

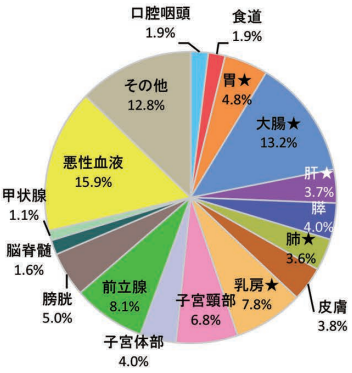
年齢分布



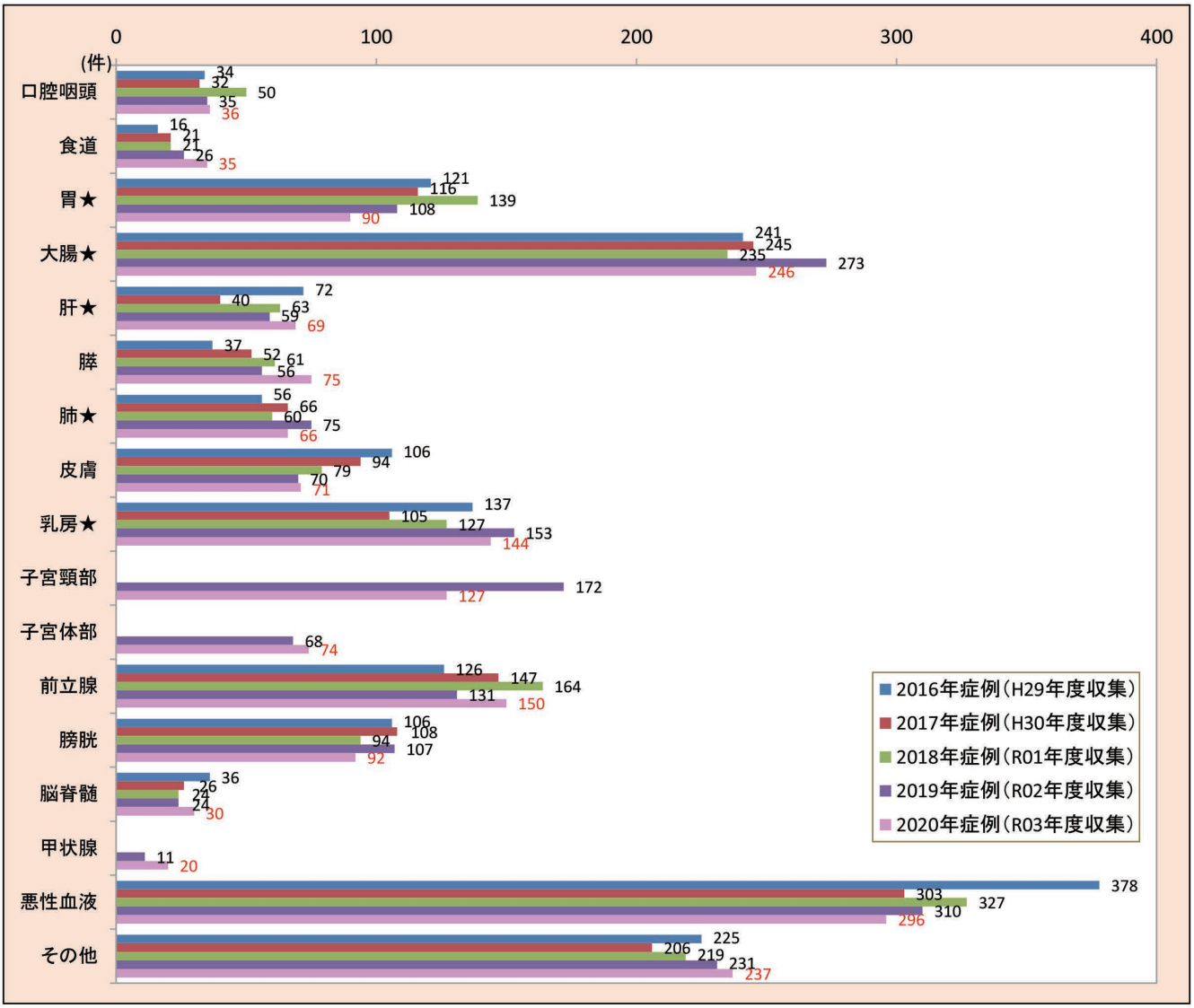
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	34	32	50	35	36
食道	16	21	21	26	35
胃★	121	116	139	108	90
大腸★	241	245	235	273	246
肝★	72	40	63	59	69
膵	37	52	61	56	75
肺★	56	66	60	75	66
皮膚	106	94	79	70	71
乳房★	137	105	127	153	144
子宮頸部	258（頸部・体部）	240（頸部・体部）	210（頸部・体部）	172	127
子宮体部				68	74
前立腺	126	147	164	131	150
膀胱	106	108	94	107	92
脳脊髄	36	26	24	24	30
甲状腺				11	20
悪性血液疾患	378	303	327	310	296
その他	225	206	219	231	237
計	1,949	1,801	1,873	1,909	1,858

2020年診断症例　主要部位別割合

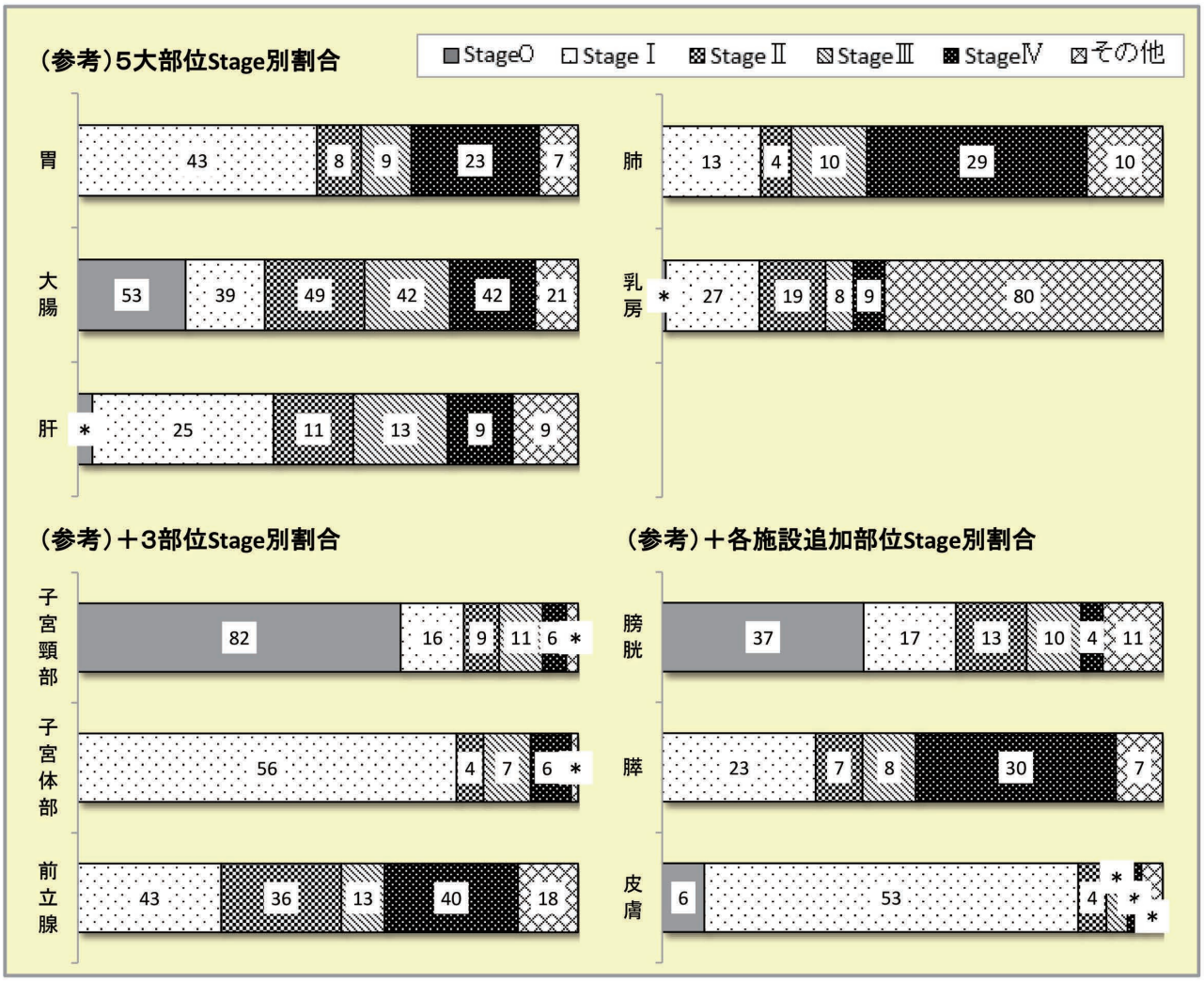


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

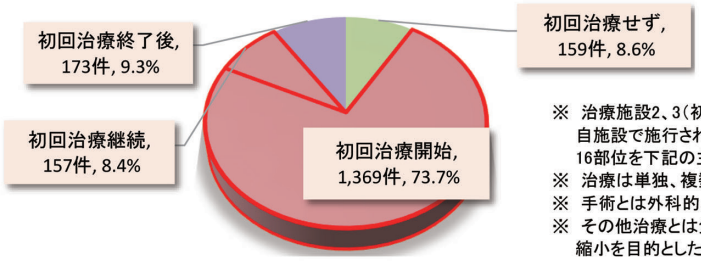
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	36	*	6	6	7	11	4
食道	35	7	*	5	5	10	5
胃★	90		43	8	9	23	7
大腸★	246	53	39	49	42	42	21
肝★	69	*	25	11	13	9	9
膵	75		23	7	8	30	7
肺★	66		13	4	10	29	10
皮膚	71	6	53	4	*	*	*
乳房★	144	*	27	19	8	9	80
子宮頸部	127	82	16	9	11	6	*
子宮体部	74		56	4	7	6	*
前立腺	150		43	36	13	40	18
膀胱	92	37	17	13	10	4	11
脳脊髄	30						30
甲状腺	20		5	*		*	10
悪性血液疾患	296		20	10	14	43	209
その他	237	13	73	17	24	44	66
計	1,858	203	462	204	184	311	494



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

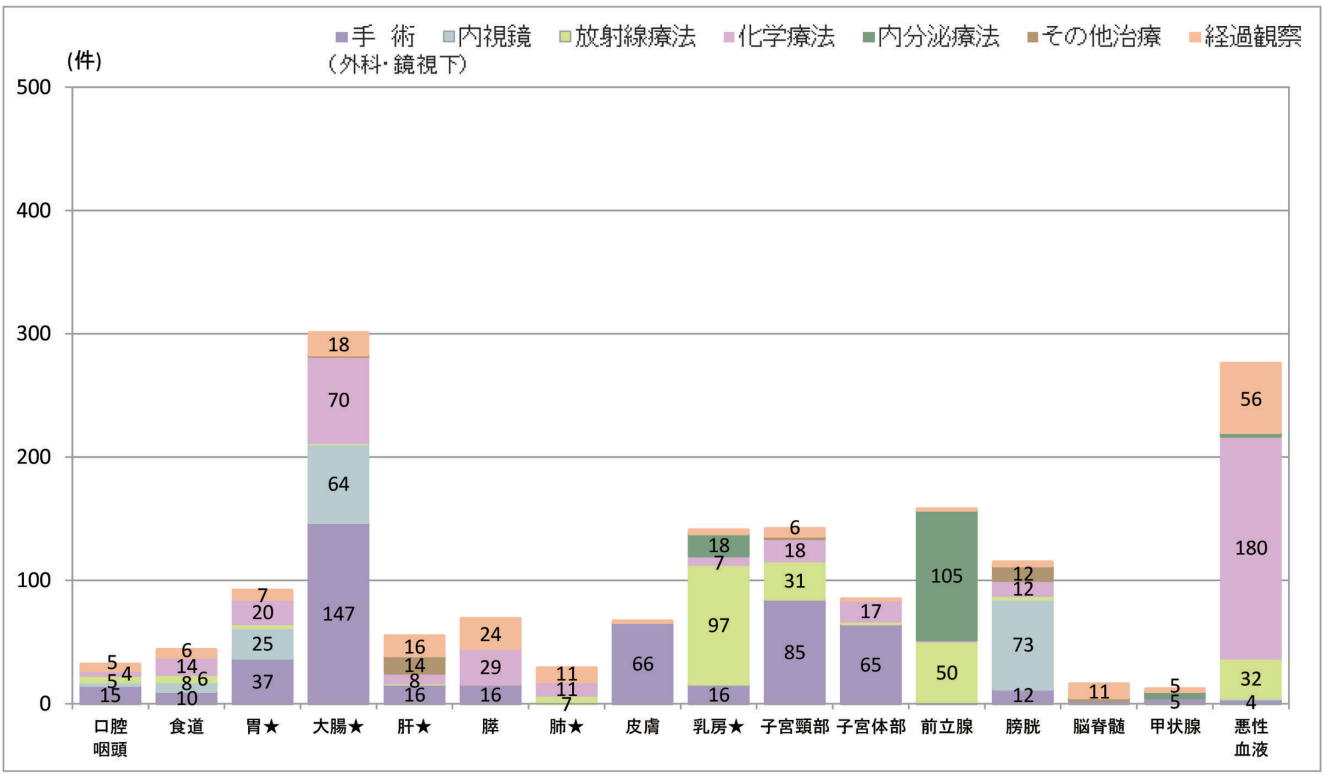
治療施設	件数
1初回治療せず	159
2初回治療開始	1,369
3初回治療継続	157
4初回治療終了後	173
8その他	0
計	1,858



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

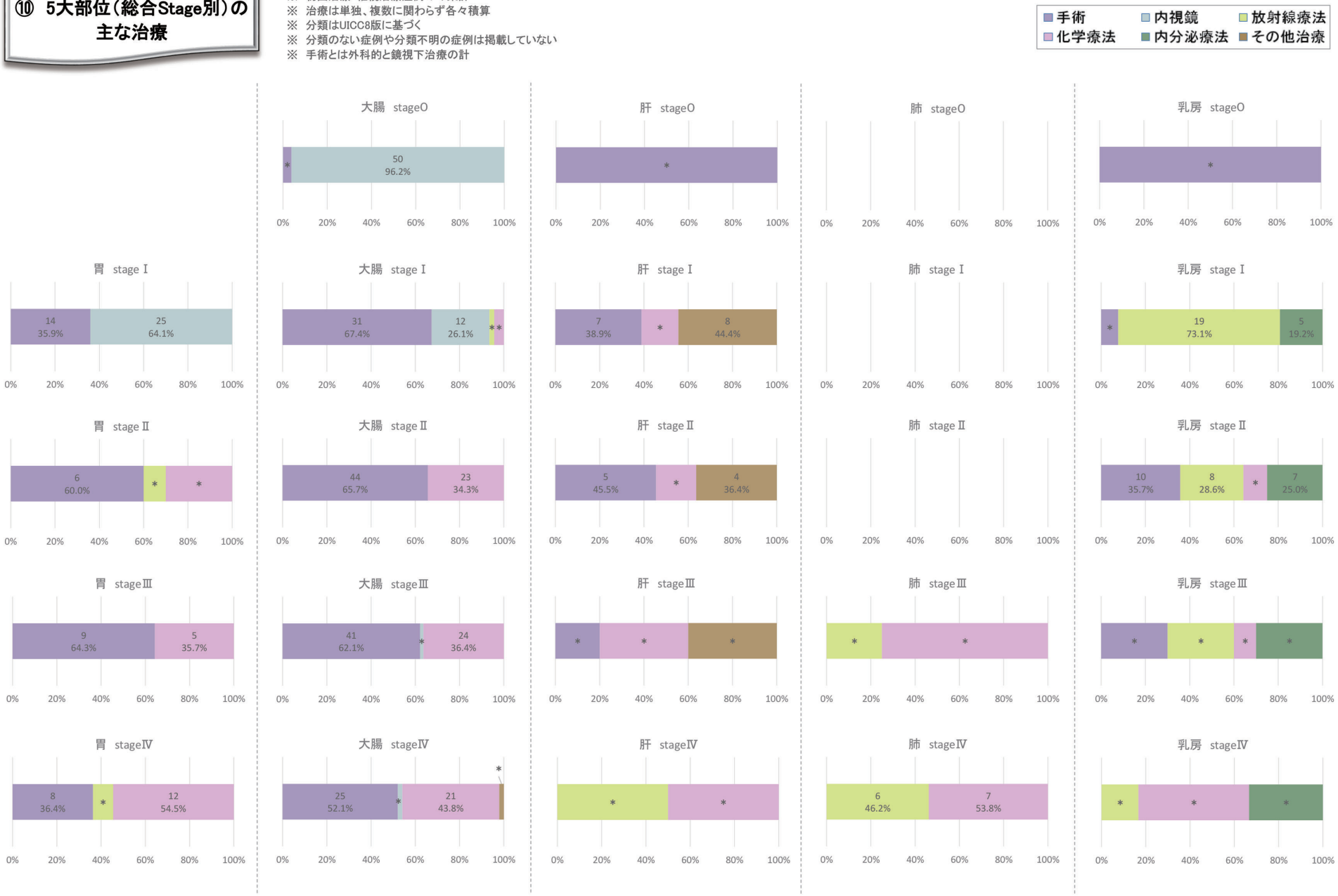
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	15	*	5	4			5	32	77.8%	16.7%	5.6%
食道	10	8	6	14			6	44	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	37	25	*	20			7	92	82.3%	16.1%	1.6%
大腸★	147	64	*	70		*	18	301	87.7%	9.9%	2.5%
肝★	16		*	8		14	16	55	81.3%	6.3%	12.5%
膵	16			29			24	69	81.3%	12.5%	6.3%
肺★			7	11			11	29			
皮膚	66						*	67	93.9%	3.0%	3.0%
乳房★	16		97	7	18		*	141	93.8%	0.0%	6.3%
子宮頸部	85		31	18		*	6	142	98.8%	1.2%	0.0%
子宮体部	65		*	17			*	85	95.4%	4.6%	0.0%
前立腺	*		50	*	105		*	158	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	12	73	*	12		12	*	115	53.9%	46.1%	0.0%
脳脊髄	*					*	11	16	33.3%	66.7%	0.0%
甲状腺	5				5		*	12	80.0%	0.0%	20.0%
悪性血液疾患	4	*	32	180	*		56	276	80.0%	0.0%	20.0%
計	498	174	238	391	131	31	171	1,634			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	熊本赤十字病院

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	熊本市東区長嶺南二丁目1番1号		
病　床　数	490床（一般490）		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08		
がん登録開始基準日	2007.01.01		
平均在院日数	9.5（日）		
入院患者数	15,919（人）		
外来患者延数	234,244（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	13,088（件）		
院内がん登録件数	1,936（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　0　／他　2（名）		

○医療機関からのコメント

【医療圏】
熊本市47.3%（前年44.6%）　菊池26.1%（前年25.4%）
阿蘇10.6%（前年11.2%）
○担当医療圏である熊本、菊池、阿蘇が約8割を占め、地域がん診療連携拠点病院の役割を果たしていると考えられる。

【件数の比較】
・全体件数　1,936件（前年:2,053件）
・部位別件数（『その他』を除く上位3部位）
全体　『乳房』246件（前年231件）、『大腸』236件（前年269件）、『肺』176件（前年208件）
男性　『大腸』130件（前年153件）、『肺』126件（前年132件）、『胃』117件（前年136件）
女性　『乳房』246件（前年230件）、『子宮頸部』149件（前年175件）、『大腸』106件（前年116件）
○全体の部位別件数では、『乳癌』が最も多くを占めた。5大がん（胃・大腸・肝・肺・乳房）の件数は876件で全体の約半数を占める。

【治療内容の特徴】
○胃のステージⅠ、大腸のステージ0では内視鏡治療を積極的に行う。手術、化学療法、放射線治療などそれぞれの専門家がいることにより集学的治療が可能となっている。
○2019年から手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入（適応：肺がん・縦隔腫瘍・直腸がん・子宮体がん）し、患者の状況に合わせた治療提案を行っている。
○呼吸器領域については、県内唯一の単孔式胸腔鏡手術を実施している。

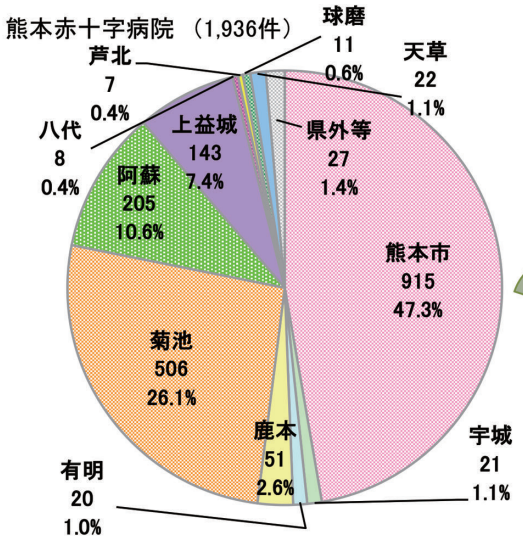
診断年別登録件数（参考）

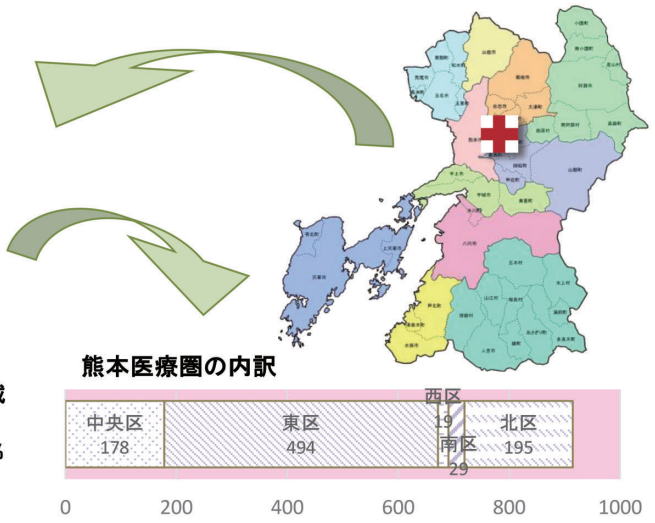


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



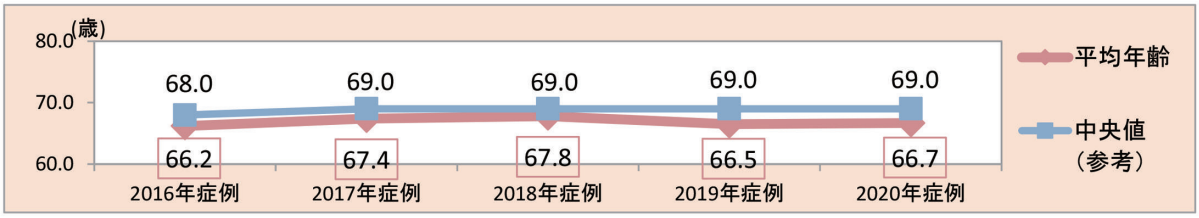


◇　医療圏別上位5部位

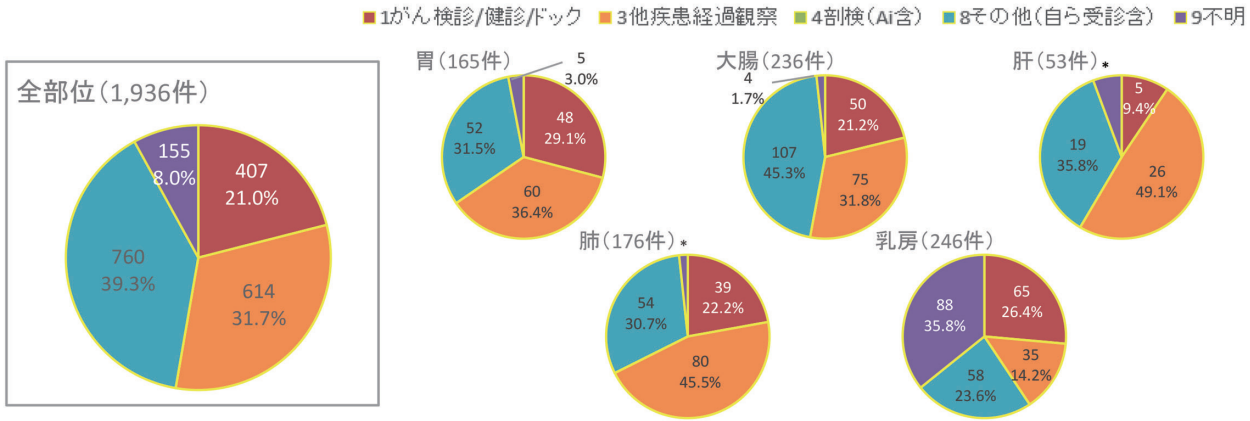
熊本市	乳房	125	鹿本	乳房	9	上益城	大腸	18	球磨	該当部位	各*
	大腸	116		悪性血液	7		胃	16			
	その他	101		その他	6		その他	15			
	肺	93		肺	4		肺	14			
	子宮頸部	82		前立腺	4		前立腺	13			
宇城	その他	6	菊池	乳房	79	八代	該当部位	各*	天草	その他	4
	該当部位	各*		大腸	66					該当部位	各*
				その他	59						
				胃	53						
				悪性血液	43						
有明	肺	5	阿蘇	その他	30	芦北	該当部位	各*	県外等	肺	4
	胃	4		大腸	23					該当部位	各*
	該当部位	各*		悪性血液	22						
				肺	21						
				前立腺	20						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

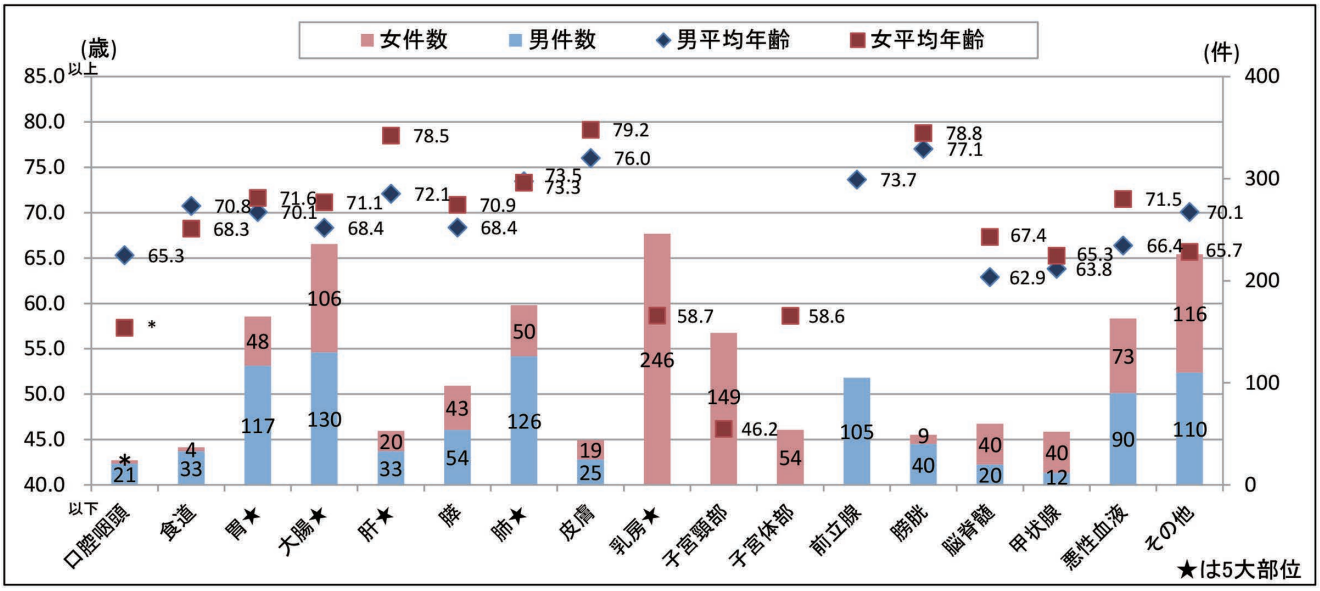
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	130
肺	126
胃	117
その他	110
前立腺	105
悪性血液	90
膵	54
膀胱	40
食道	33
肝	33
皮膚	25
口腔咽頭	21
脳脊髄	20
甲状腺	12
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	916

0～14歳	
悪性血液	7
計	7

15～39歳	
大腸	5
その他	4
該当部位	各*
計	20

40～49歳	
大腸	6
胃	5
悪性血液	5
該当部位	各*
計	30

50～59歳	
胃	11
大腸	11
その他	10
膵	8
該当部位	各7
など	
計	72

60～69歳	
大腸	44
その他	37
胃	35
肺	33
前立腺	23
など	
計	249

70～79歳	
前立腺	56
大腸	43
胃	41
肺	41
その他	30
など	
計	327

80～89歳	
肺	35
その他	25
胃	22
悪性血液	21
大腸	19
など	
計	186

90歳～	
肺	6
該当部位	各*
計	25

女性全体	
乳房	246
子宮頸部	149
その他	116
大腸	106
悪性血液	73
子宮体部	54
肺	50
胃	48
膵	43
脳脊髄	40
甲状腺	40
肝	20
皮膚	19
膀胱	9
食道	4
口腔咽頭	*
前立腺	
計	1020

0～14歳	
その他	4
該当部位	各*
計	7

15～39歳	
子宮頸部	50
乳房	14
その他	4
該当部位	各*
計	81

40～49歳	
乳房	60
子宮頸部	53
その他	11
子宮体部	9
大腸	5
など	
計	156

50～59歳	
乳房	58
子宮体部	24
その他	21
子宮頸部	19
大腸	15
など	
計	168

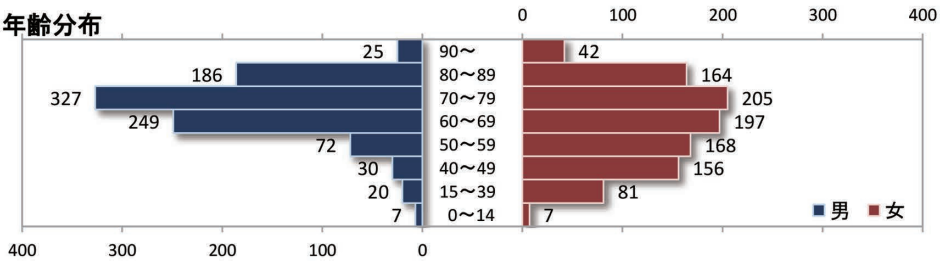
60～69歳	
乳房	55
大腸	22
その他	22
子宮頸部	17
悪性血液	13
など	
計	197

70～79歳	
乳房	37
その他	26
大腸	25
肺	20
該当部位	各17
など	
計	205

80～89歳	
大腸	30
悪性血液	22
その他	22
乳房	20
皮膚	11
など	
計	164

90歳～	
悪性血液	8
大腸	6
その他	6
該当部位	各4
など	
計	42

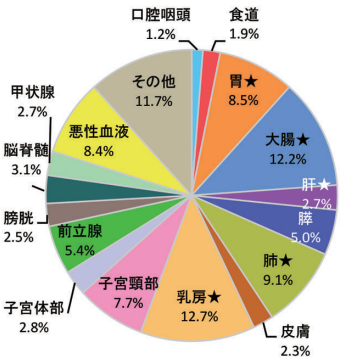
年齢分布



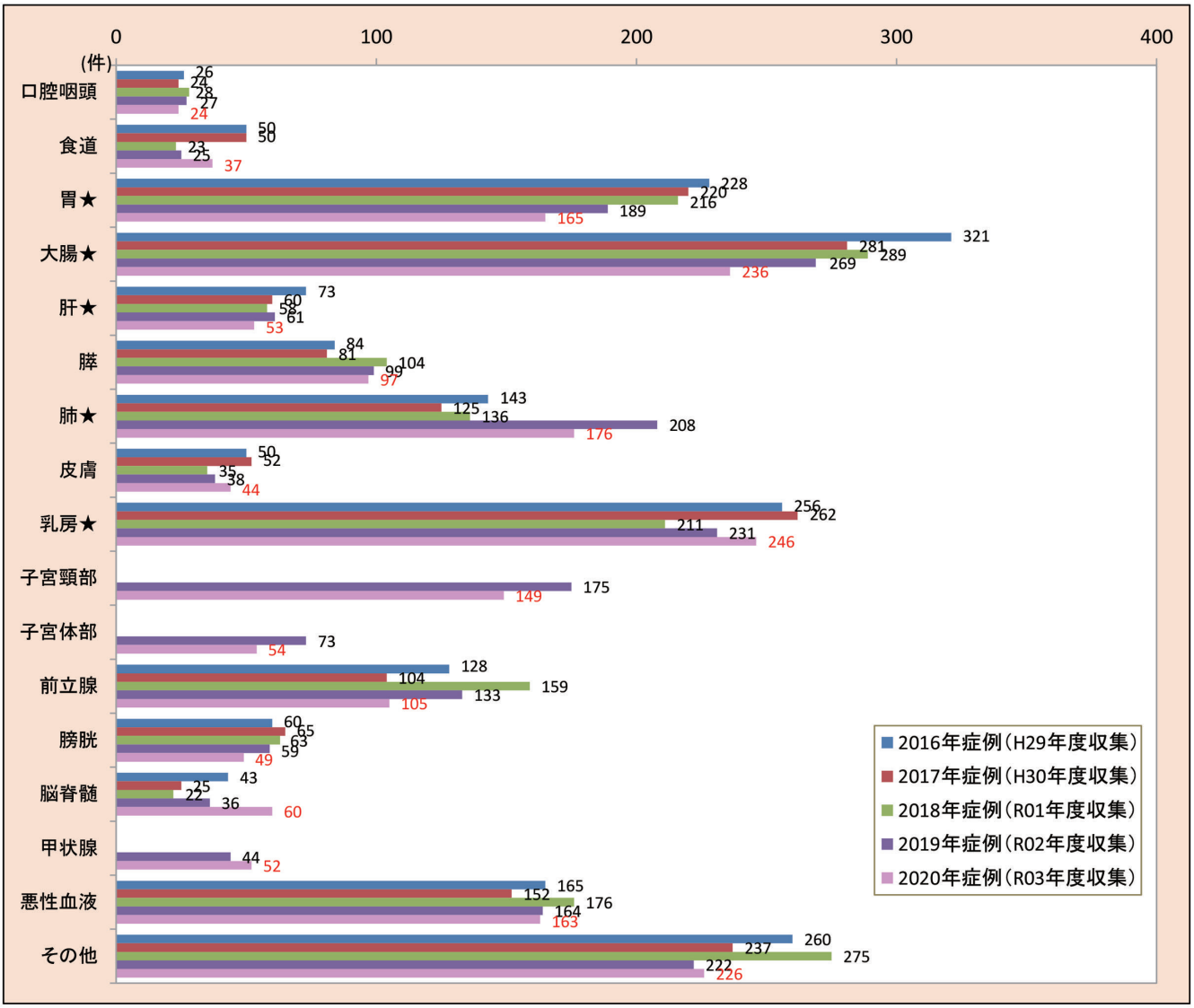
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	26	24	28	27	24
食道	50	50	23	25	37
胃★	228	220	216	189	165
大腸★	321	281	289	269	236
肝★	73	60	58	61	53
膵	84	81	104	99	97
肺★	143	125	136	208	176
皮膚	50	52	35	38	44
乳房★	256	262	211	231	246
子宮頸部	252（頸部・体部）	201（頸部・体部）	186（頸部・体部）	175	149
子宮体部				73	54
前立腺	128	104	159	133	105
膀胱	60	65	63	59	49
脳脊髄	43	25	22	36	60
甲状腺				44	52
悪性血液疾患	165	152	176	164	163
その他	260	237	275	222	226
計	2,139	1,939	1,981	2,053	1,936

2020年診断症例　主要部位別割合

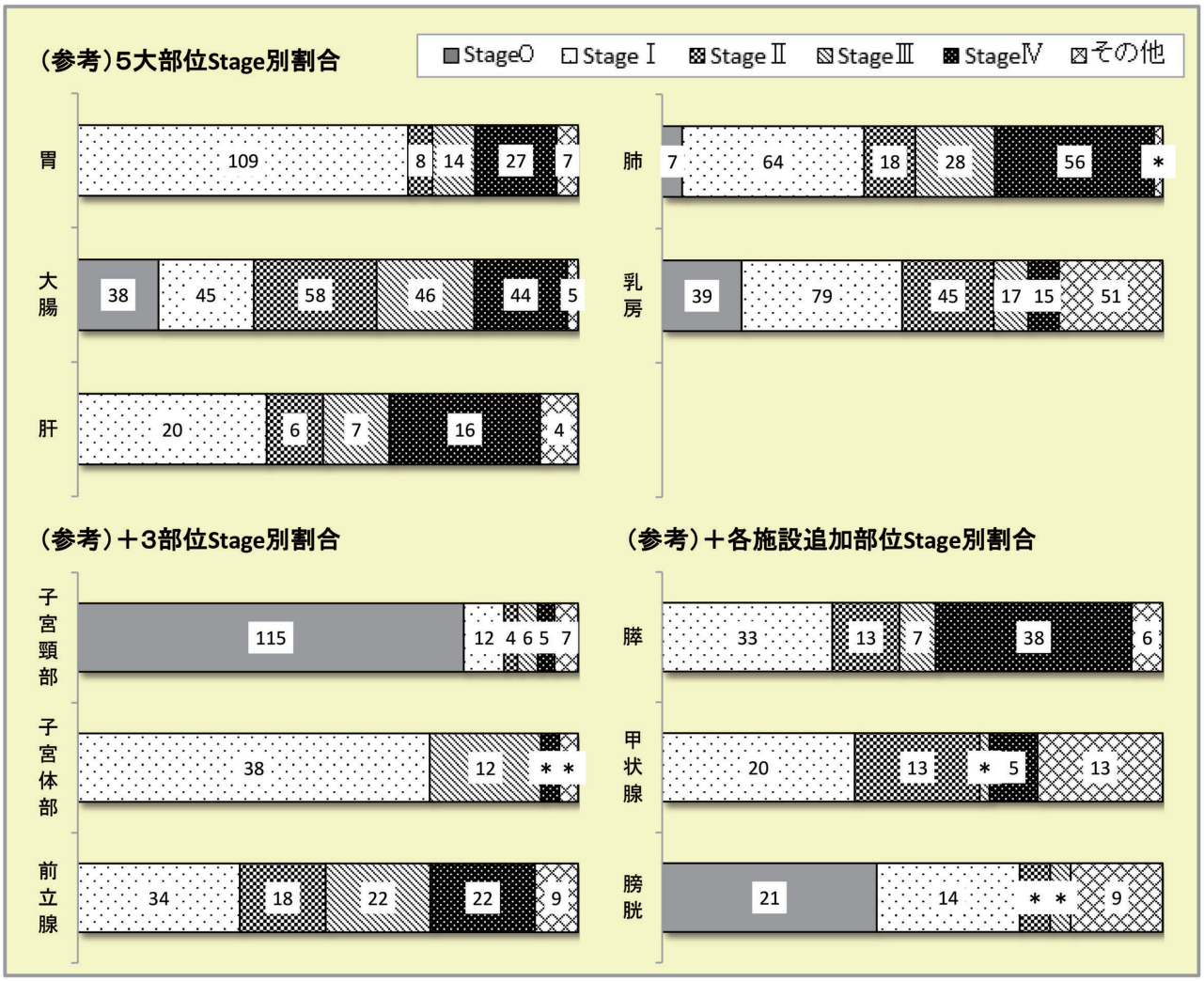


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

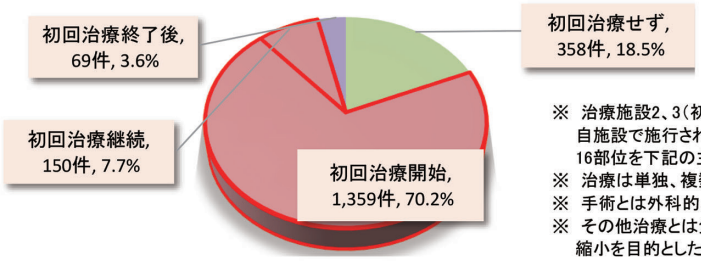
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	24	*	5	*	5	6	*
食道	37	5	20	*	*	7	*
胃★	165		109	8	14	27	7
大腸★	236	38	45	58	46	44	5
肝★	53		20	6	7	16	4
膵	97		33	13	7	38	6
肺★	176	7	64	18	28	56	*
皮膚	44	6	25	*	*	*	6
乳房★	246	39	79	45	17	15	51
子宮頸部	149	115	12	4	6	5	7
子宮体部	54		38		12	*	*
前立腺	105		34	18	22	22	9
膀胱	49	21	14	*	*		9
脳脊髄	60						60
甲状腺	52		20	13	*	5	13
悪性血液疾患	163		25	15	6	26	91
その他	226		89	17	27	40	53
計	1,936	234	632	224	204	310	332



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

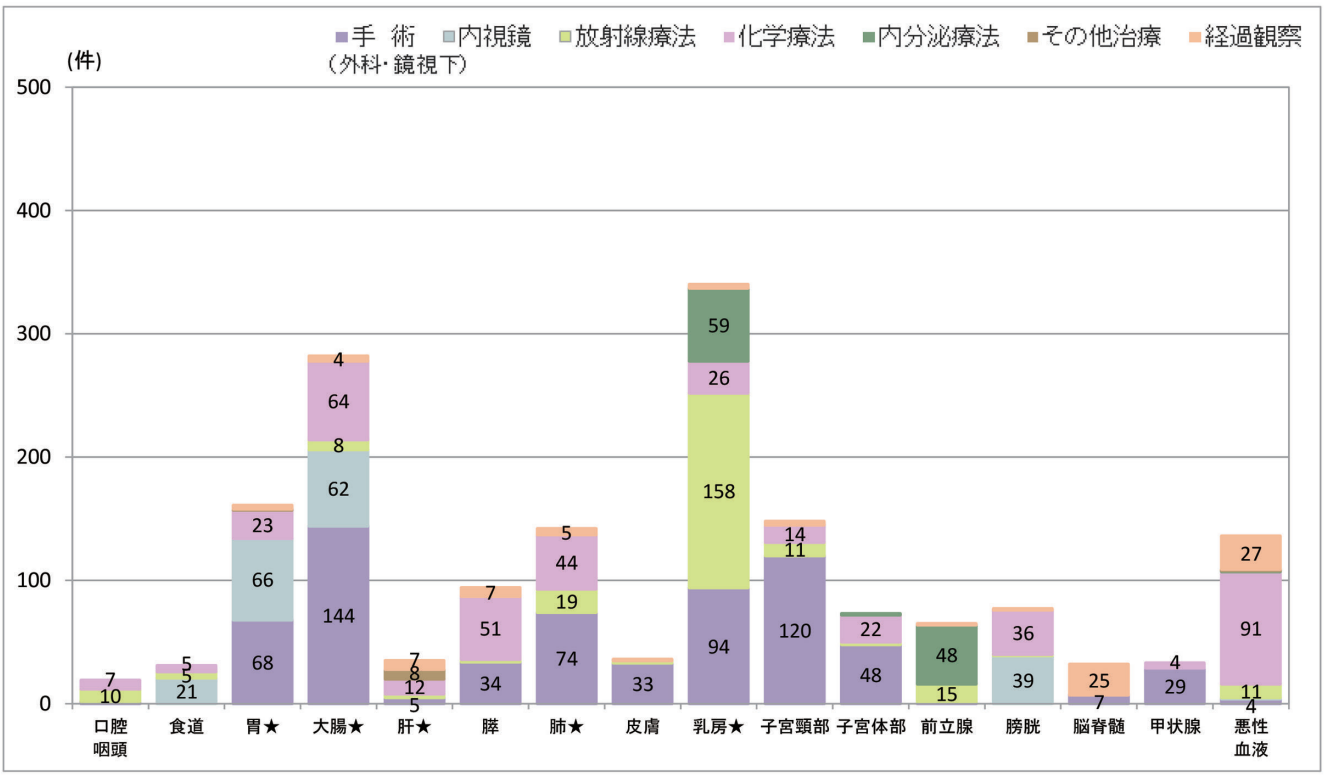
治療施設	件数
1初回治療せず	358
2初回治療開始	1,359
3初回治療継続	150
4初回治療終了後	69
8その他	0
計	1,936



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

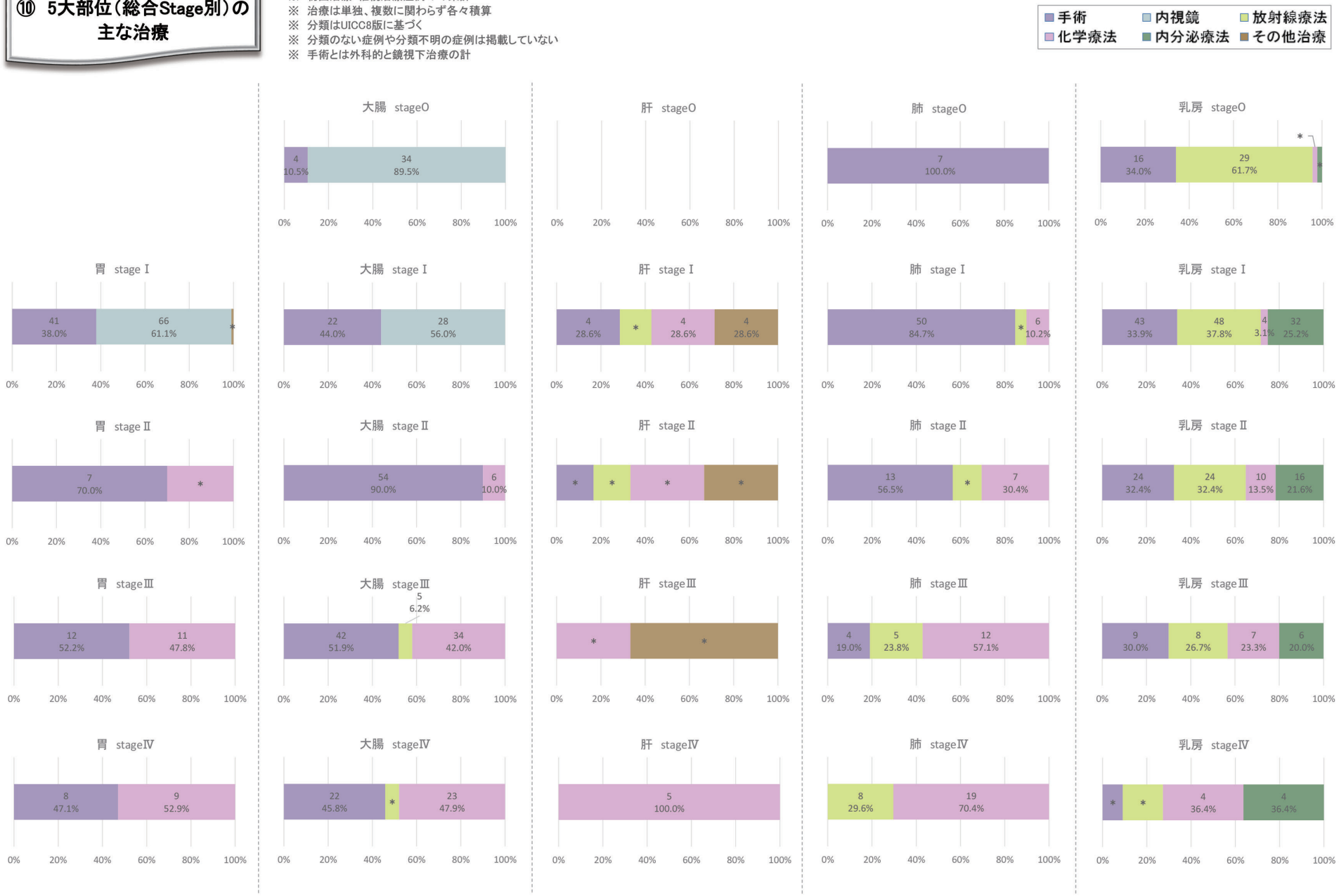
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*		10	7				19	50.0%	50.0%	0.0%
食道		21	5	5				31	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	68	66		23		*	*	161	95.3%	4.7%	0.0%
大腸★	144	62	8	64			4	282	90.9%	9.1%	0.0%
肝★	5		*	12		8	7	35	100.0%	0.0%	0.0%
膵	34		*	51			7	94	91.2%	8.8%	0.0%
肺★	74		19	44			5	142	98.6%	1.4%	0.0%
皮膚	33		*				*	36	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	94		158	26	59		*	340	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	120		11	14			*	148	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	48		*	22	*			73	97.9%	2.1%	0.0%
前立腺	*		15		48		*	65	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱		39	*	36			*	77	82.1%	17.9%	0.0%
脳脊髄	7						25	32	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	29			4				33	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	4	*	11	91	*	*	27	136	100.0%	0.0%	0.0%
計	663	189	247	399	109	10	87	1,704			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	社会福祉法人恩賜財団　済生会熊本病院

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	熊本市南区近見5丁目3番1号		
病　床　数	400床（一般400）		
診療科数	19科		
がん診療連携拠点病院指定日	2008.02.08		
がん登録開始基準日	2007.01.01		
平均在院日数	9.2（日）		
入院患者数	14,032（人）		
外来患者延数	135,905（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	4,544（件）		
院内がん登録件数	1,680（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　2　／初級者　3　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

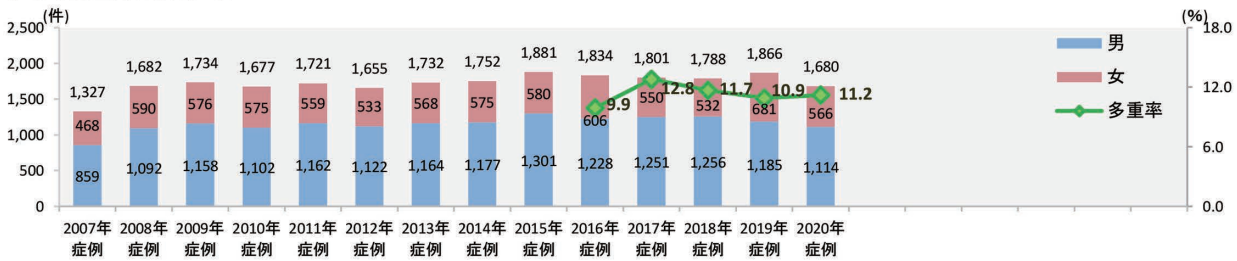
【患者住所医療圏別登録状況】
熊本市(45.0%)、宇城(18.5%)2つの医療圏で6割を占めていた。

【年齢＝()内は2019年診断症例との比較】
全体平均:71.0歳(-0.1歳)　男性平均:70.9歳(-0.2歳)　女性平均:71.2歳(+0.2歳)
男女ともに平均年齢71歳。年齢分布をみると、2019年と同様、男女ともに70～79歳の罹患数が一番多い結果となった。

【登録件数】
登録件数は1,680件(男性1,114件、女性566件)で、前年より186件減少。
男女比に関してはほぼ変化なく、男性が66.3%(前年63.5%)、女性が33.7%(前年36.5%)であった。

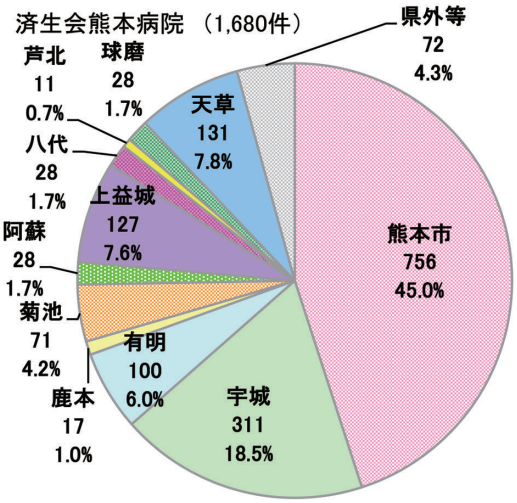
なお、上位5部位の割合についての状況は以下の通りである。
<<2019年>>1.肺(16.2%)　2. 前立腺(14.5%)　3. 大腸(14.5%)　4.胃(11.3%)　5.乳房(5.5%)
<<2020年>>1.前立腺(16.8%)　2. 肺(15.7%)　3. 大腸(15.2%)　4.胃(10.4%)　5.膵(6.0%)

診断年別登録件数(参考)

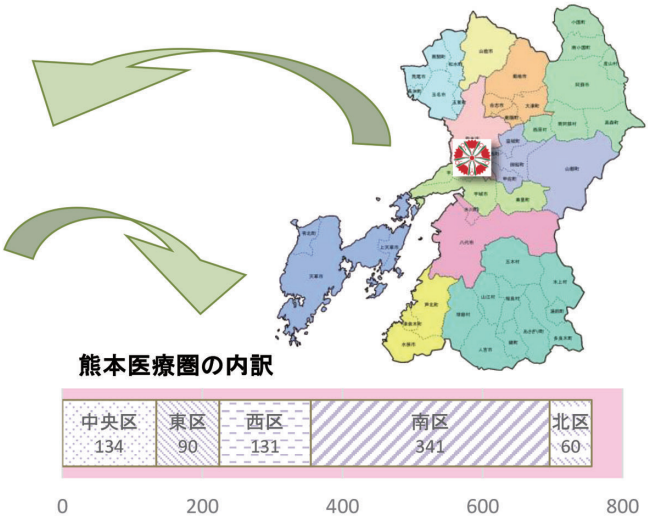


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）



※　全般において3件以下は*又は非表示

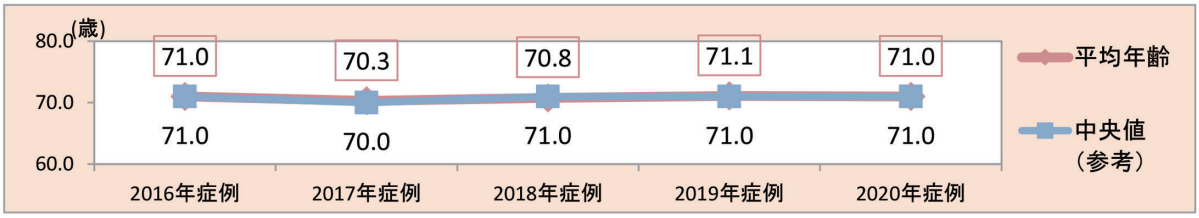


◇　医療圏別上位5部位

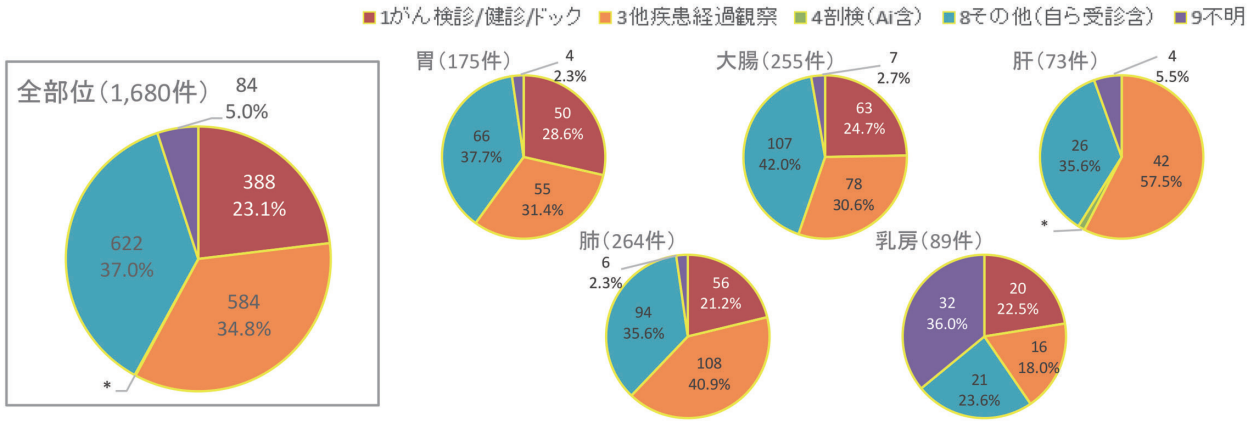
熊本市	大腸	132	鹿本	胃	4	上益城	胃	22	球磨	前立腺	6
	前立腺	124		該当部位	各*		前立腺	21		その他	5
	肺	119					肺	18		該当部位	各*
	その他	83					大腸	16			
	胃	73					その他	12			
宇城	大腸	54	菊池	前立腺	18	八代	前立腺	6	天草	肺	36
	肺	51		大腸	11		その他	5		大腸	18
	前立腺	41		脳脊髄	10		胃	4		前立腺	17
	胃	37		その他	9		該当部位	各*		その他	14
	その他	30		膵	7					胃	13
有明	肺	20	阿蘇	前立腺	9	芦北	前立腺	4	県外等	前立腺	20
	前立腺	15		その他	8		該当部位	各*		その他	12
	その他	15		該当部位	各*					脳脊髄	11
	胃	13								肺	8
	大腸	12								該当部位	各6

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

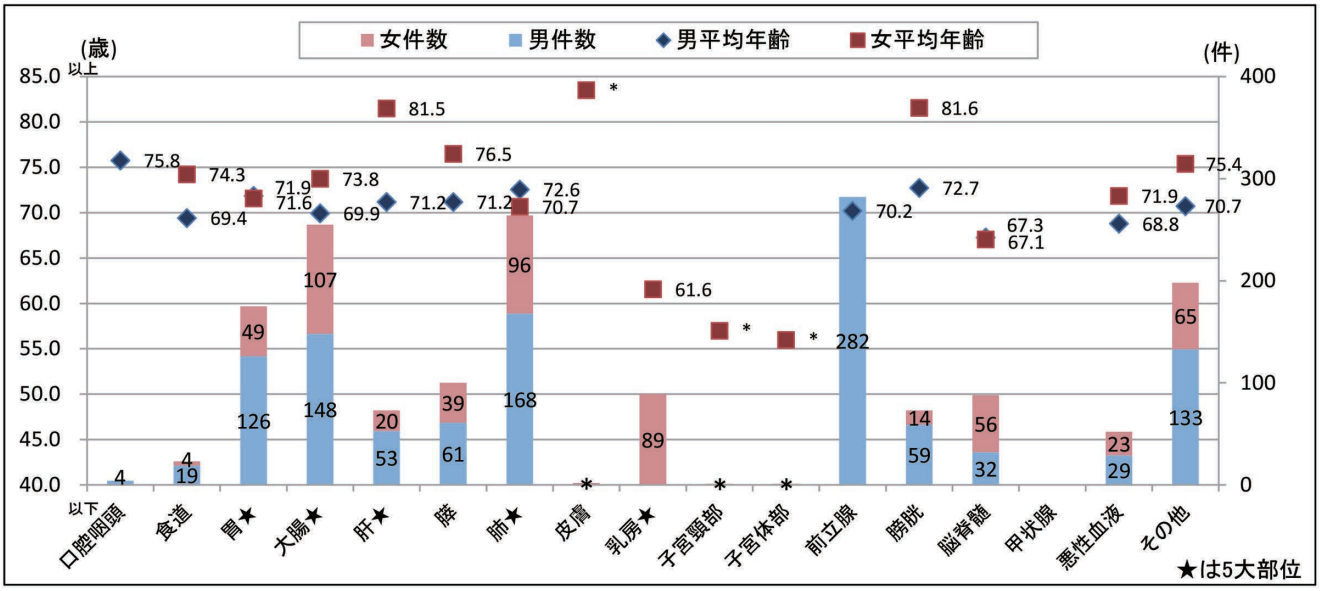
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	282
肺	168
大腸	148
その他	133
胃	126
膵	61
膀胱	59
肝	53
脳脊髄	32
悪性血液	29
食道	19
口腔咽頭	4
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	1114

0～14歳	
計	

15～39歳	
大腸	5
脳脊髄	4
該当部位	各*
計	13

40～49歳	
その他	7
大腸	6
胃	5
膵	4
該当部位	各*
計	30

50～59歳	
肺	14
前立腺	14
その他	14
大腸	13
胃	11
など	
計	88

60～69歳	
前立腺	115
肺	52
大腸	40
その他	30
胃	28
など	
計	319

70～79歳	
前立腺	127
肺	55
胃	54
その他	51
大腸	50
など	
計	441

80～89歳	
肺	39
大腸	30
その他	26
前立腺	23
胃	22
など	
計	196

90歳～	
肺	7
胃	6
大腸	4
その他	4
該当部位	各*
計	27

女性全体	
大腸	107
肺	96
乳房	89
その他	65
脳脊髄	56
胃	49
膵	39
悪性血液	23
肝	20
膀胱	14
食道	4
皮膚	*
子宮頸部	*
子宮体部	*
口腔咽頭	
前立腺	
甲状腺	
計	566

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	9

40～49歳	
乳房	16
脳脊髄	5
該当部位	各*
計	28

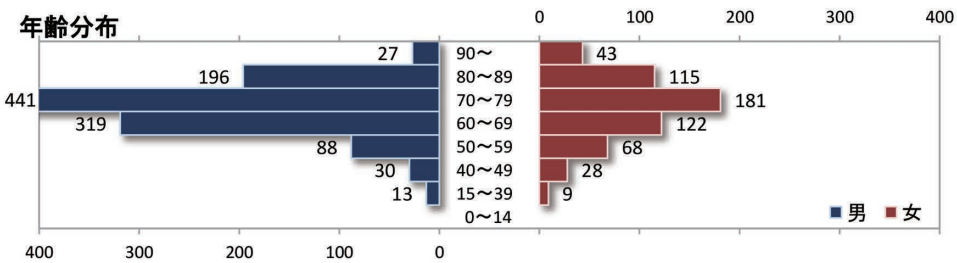
50～59歳	
乳房	21
肺	13
大腸	11
脳脊髄	9
該当部位	各5
など	
計	68

60～69歳	
肺	25
大腸	20
乳房	19
脳脊髄	16
その他	15
など	
計	122

70～79歳	
肺	42
大腸	30
乳房	28
胃	20
その他	18
など	
計	181

80～89歳	
大腸	25
膵	18
その他	18
脳脊髄	12
該当部位	各10
など	
計	115

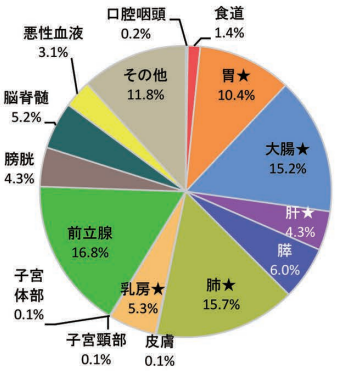
90歳～	
大腸	16
その他	8
肝	4
肺	4
膀胱	4
該当部位	各*
計	43



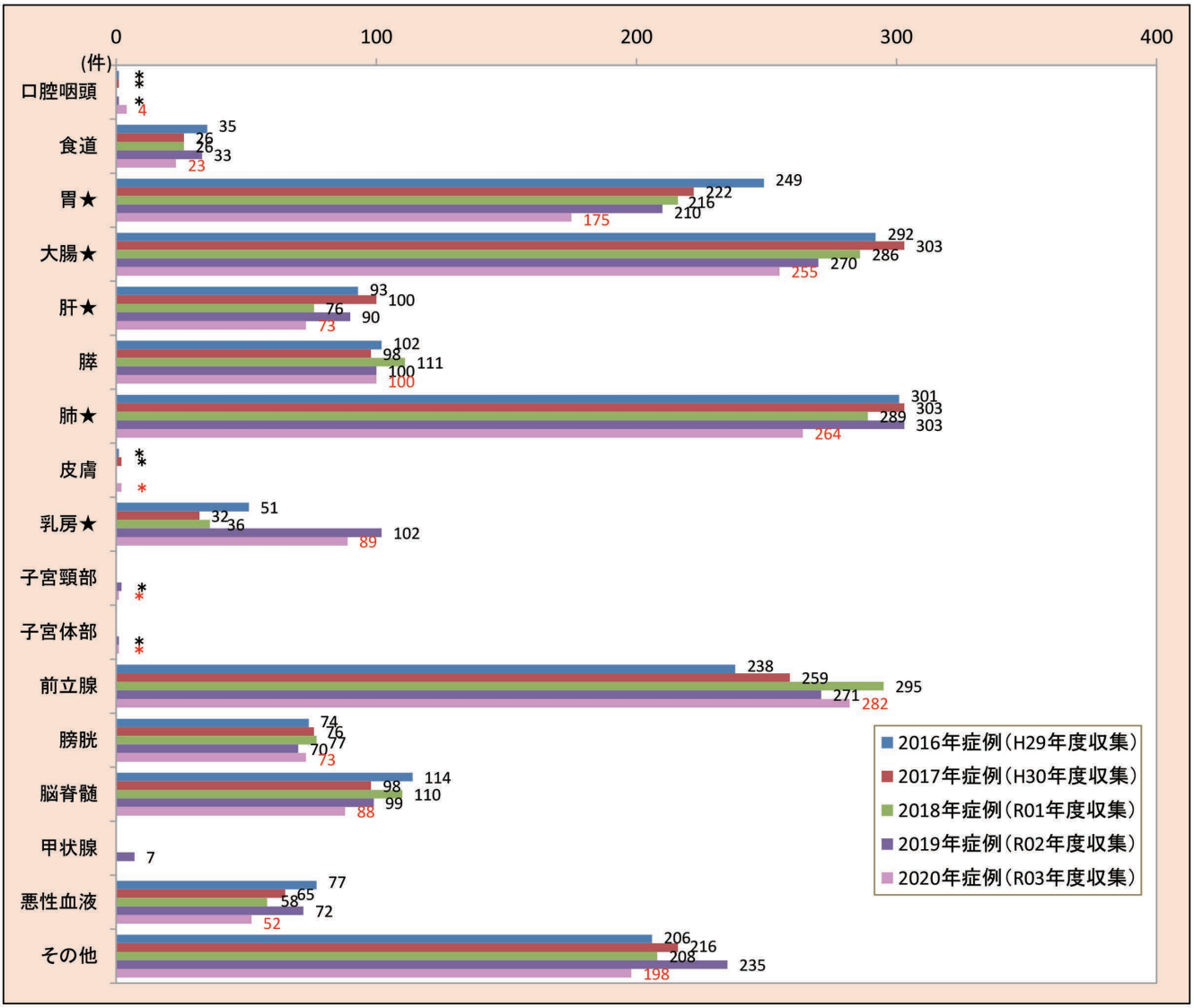
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	*	*		*	4
食道	35	26	26	33	23
胃★	249	222	216	210	175
大腸★	292	303	286	270	255
肝★	93	100	76	90	73
膵	102	98	111	100	100
肺★	301	303	289	303	264
皮膚	*	*			*
乳房★	51	32	36	102	89
子宮頸部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	*	*
子宮体部				*	*
前立腺	238	259	295	271	282
膀胱	74	76	77	70	73
脳脊髄	114	98	110	99	88
甲状腺				7	
悪性血液疾患	77	65	58	72	52
その他	206	216	208	235	198
計	1,834	1,801	1,788	1,866	1,680

2020年診断症例　主要部位別割合

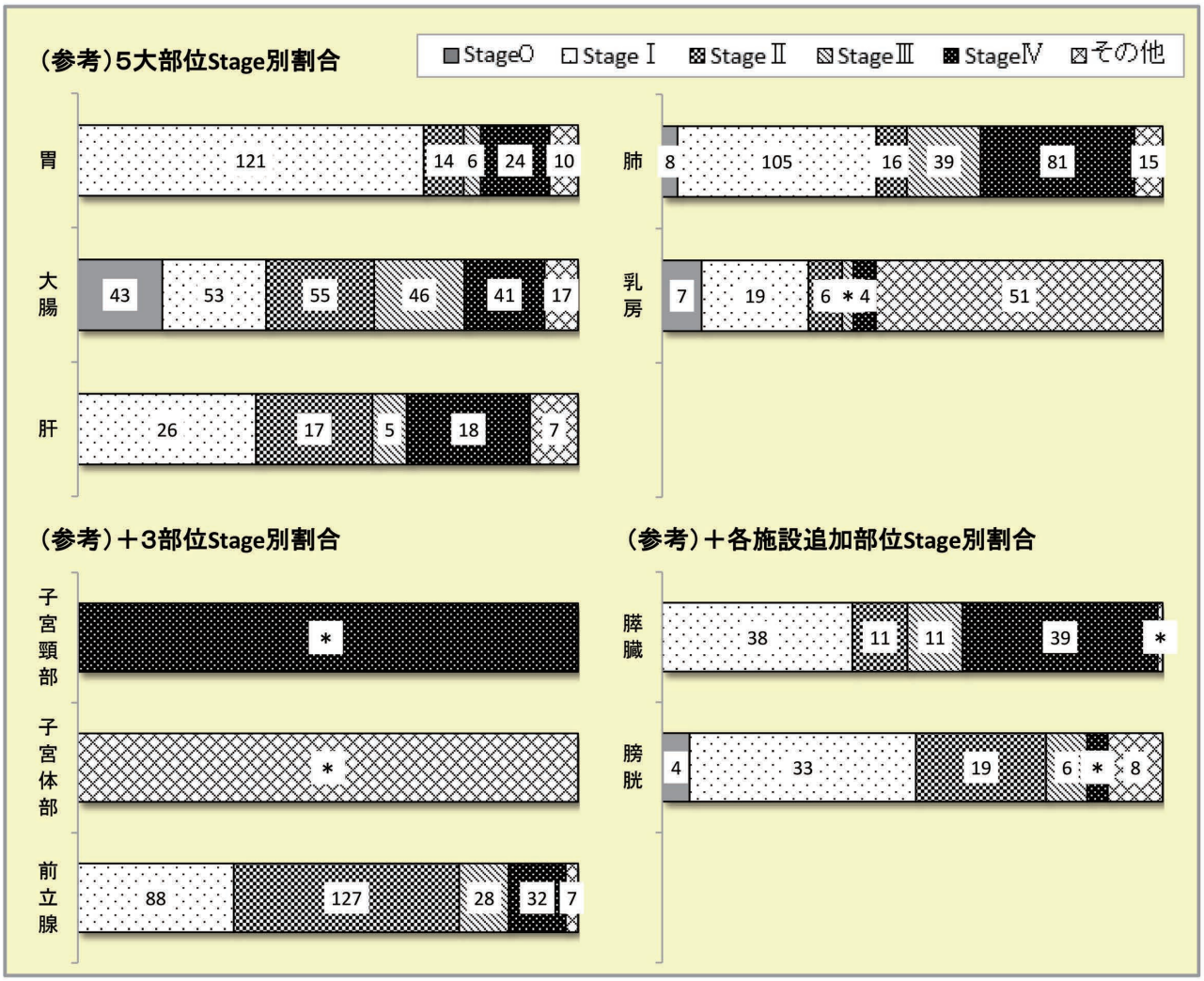


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

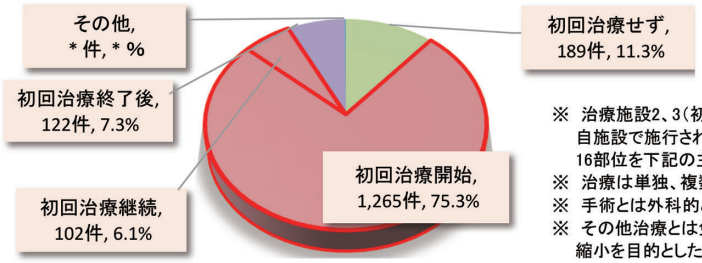
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	4		*				*
食道	23		13	*	*	*	*
胃★	175		121	14	6	24	10
大腸★	255	43	53	55	46	41	17
肝★	73		26	17	5	18	7
膵	100		38	11	11	39	*
肺★	264	8	105	16	39	81	15
皮膚	*						*
乳房★	89	7	19	6	*	4	51
子宮頸部	*					*	
子宮体部	*						*
前立腺	282		88	127	28	32	7
膀胱	73	4	33	19	6	*	8
脳脊髄	88						88
甲状腺	0						
悪性血液疾患	52		14	6	*	14	16
その他	198	*	84	21	28	25	37
計	1,680	65	595	295	175	285	265



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

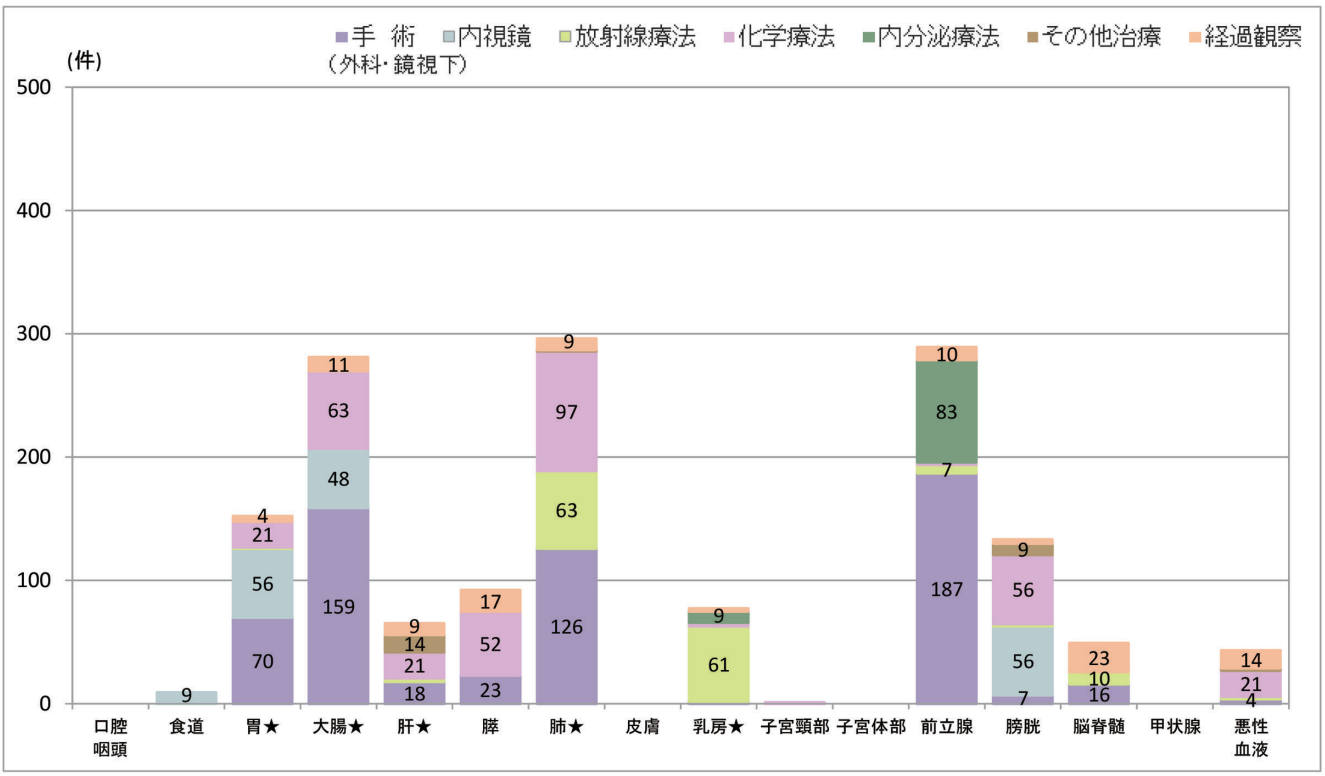
治療施設	件数
1初回治療せず	189
2初回治療開始	1,265
3初回治療継続	102
4初回治療終了後	122
8その他	*
計	1,680



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		9						9	77.8%	22.2%	0.0%
胃★	70	56	*	21			4	152	94.3%	5.7%	0.0%
大腸★	159	48		63			11	281	88.9%	11.1%	0.0%
肝★	18		*	21		14	9	65	100.0%	0.0%	0.0%
膵	23			52			17	92	91.3%	8.7%	0.0%
肺★	126		63	97		*	9	296	92.9%	6.3%	0.8%
皮膚								0			
乳房★	*		61	*	9		*	77	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部				*				*			
子宮体部								0			
前立腺	187		7	*	83		10	289	84.0%	16.0%	0.0%
膀胱	7	56	*	56		9	*	133	16.9%	83.1%	0.0%
脳脊髄	16		10				23	49	87.5%	12.5%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患	4		*	21		*	14	43	75.0%	25.0%	0.0%
計	612	169	149	337	92	26	102	1,487			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



院外処方箋発行

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	一般社団法人天草郡市医師会立 天草地域医療センター

○基本情報

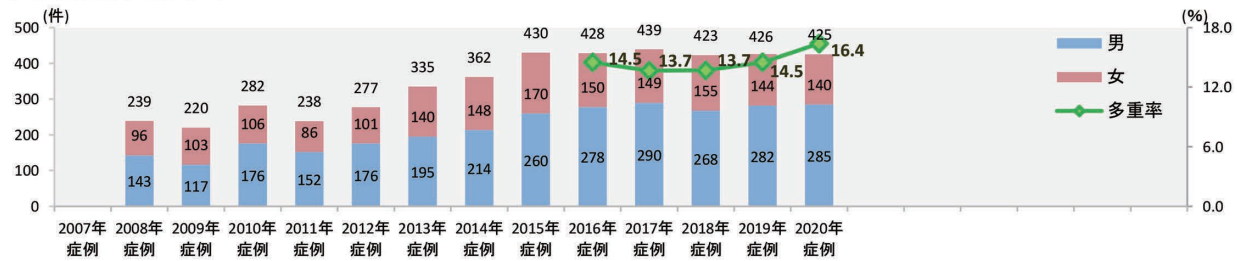
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	天草市亀場町食場854番1		
病床数	210床(一般210)		
診療科数	13科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17		
がん登録開始基準日	2007.04.01		
平均在院日数	14.4（日）		
入院患者数	4,724（人）		
外来患者延数	57,492（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	2,365（件）		
院内がん登録件数	425（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　0　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

【【登録件数】2020登録件数は425件(前年426件)と微減であった。
男性が67%(前年66%)女性が33%(前年34%)であった。
男性では1位:大腸癌(74)、2位:前立腺癌(49)、3位:胃癌(49)、女性では1位:大腸癌(32)、2位:乳癌(32)、3位:胃癌(17)。
【年齢・性別】平均年齢73.6才であり2019年74.3才と高齢化傾向は変わらない。
【地域】登録症例425件中424件(99.8%)が天草二次医療圏となっている。
【部位】5大癌は254件(59.8%)、2019年は243件(57.0%)。登録件数は大腸癌(106件)、胃癌(66件)、肺癌(32件)、肝癌(18件)、乳癌(32件)。
【病期】登録症例全体ではStage Ⅰが32.5%。胃癌ではStage Ⅰ期(64%)、Ⅱ期(6%)、Ⅲ期(6%)、Ⅳ期(12%)と早期発見の割合が高いが、大腸癌においてはpStage0期(33%)、Ⅰ期(20%)、Ⅱ期(15%)、Ⅲ期(11%)、Ⅳ期(14%)と差は認められない。
【治療】自施設初回治療・継続治療の症例341件の治療内訳は、観血的手術(手術、鏡視下、内視鏡)58.9%、化学療法20.0%、内分泌療法13.2%、その他2.6%、経過観察10.3%であった。当院を受診する5大部位癌の治療において、手術、化学療法、内視鏡的治療、体腔鏡治療などは、ほぼ自施設において治療を行っているが放射線治療が必要な場合は、放射線照射可能施設へ紹介を行っている。血液、リンパ系の悪性症例は、専門医不在のため他院(主に熊本市内)へ紹介を行っている。
◆2014年8月よりスタートした『天草メディカルネット』は7年を経過した2021年11月現在、利用者は24,100人となっており、ICT医療連携による天草医療圏全体の医療水準の底上げや、地域医療再生の一助となるよう機能の充実を進めています。また「くまもとメディカルネットワーク」の利用を積極的に推進しています。

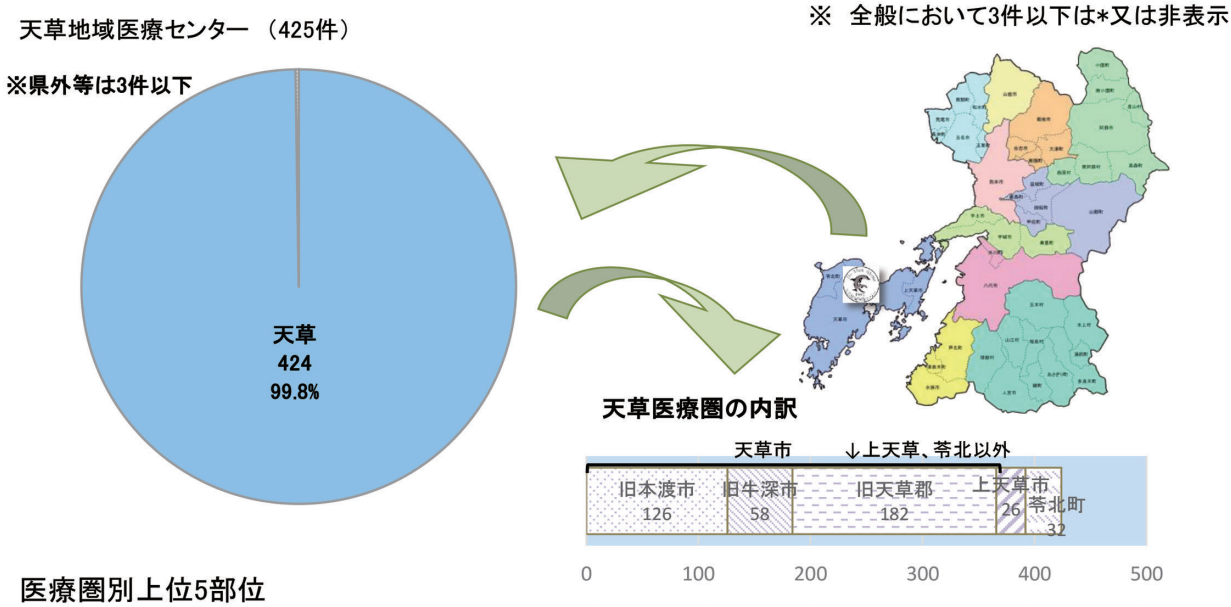
診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

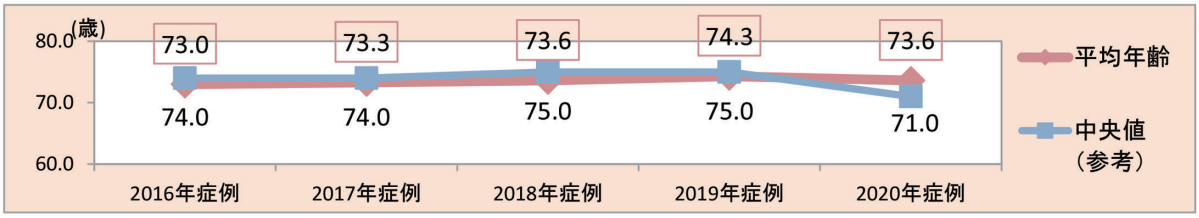


◇　医療圏別上位5部位

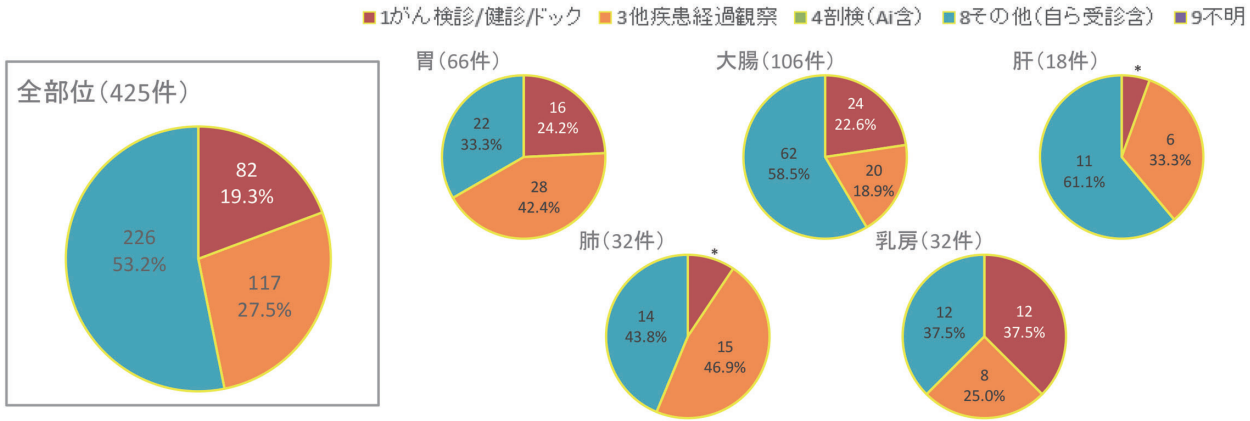
熊本市			鹿本			上益城			球磨		
宇城			菊池			八代			天草	大腸	106
										胃	66
										その他	50
										前立腺	49
										該当部位	各32
有明			阿蘇			芦北			県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

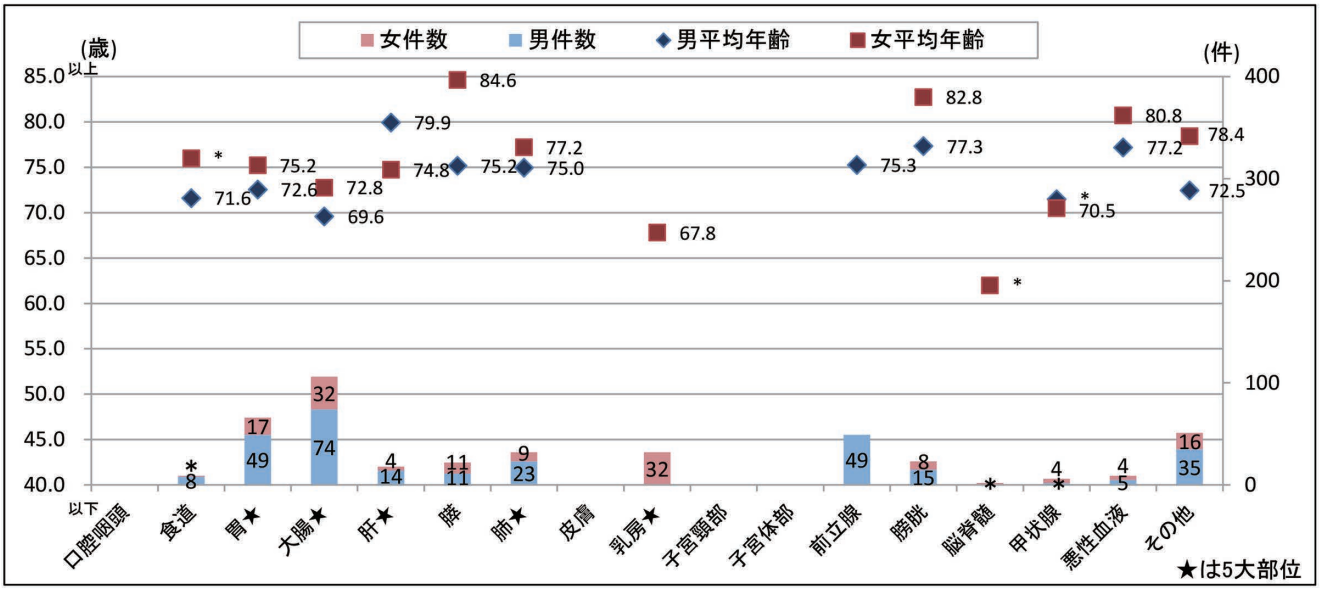
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	74
胃	49
前立腺	49
その他	35
肺	23
膀胱	15
肝	14
膵	11
食道	8
悪性血液	5
甲状腺	*
口腔咽頭	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	285

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
大腸	13
該当部位	各*
計	21

60～69歳	
大腸	24
胃	13
前立腺	10
その他	10
肺	5
該当部位	各*
計	73

70～79歳	
前立腺	21
大腸	20
胃	18
その他	13
肺	11
など	
計	98

80～89歳	
前立腺	18
大腸	15
胃	13
その他	10
肝	7
など	
計	81

90歳～	
該当部位	各*
計	10

女性全体	
大腸	32
乳房	32
胃	17
その他	16
膵	11
肺	9
膀胱	8
肝	4
甲状腺	4
悪性血液	4
脳脊髄	*
食道	*
口腔咽頭	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
計	140

0～14歳	
計	*

15～39歳	
計	14

40～49歳	
該当部位	各*
計	41

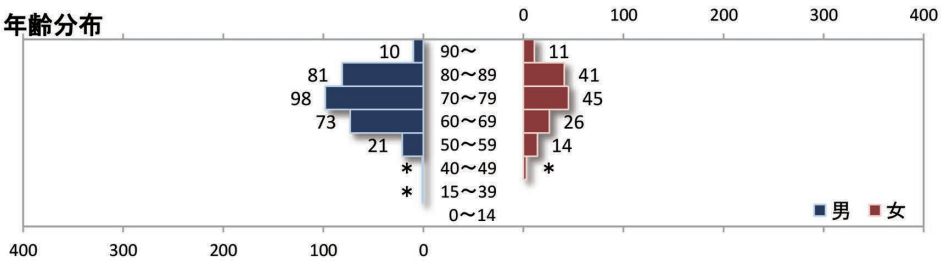
50～59歳	
乳房	10
該当部位	各*
計	11

60～69歳	
乳房	9
大腸	6
該当部位	各*
計	26

70～79歳	
大腸	11
胃	8
乳房	7
肺	6
該当部位	各*
計	45

80～89歳	
大腸	11
胃	6
その他	6
乳房	5
膀胱	5
該当部位	各*
計	41

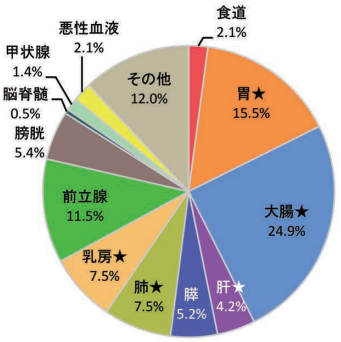
90歳～	
膵	4
該当部位	各*
計	11



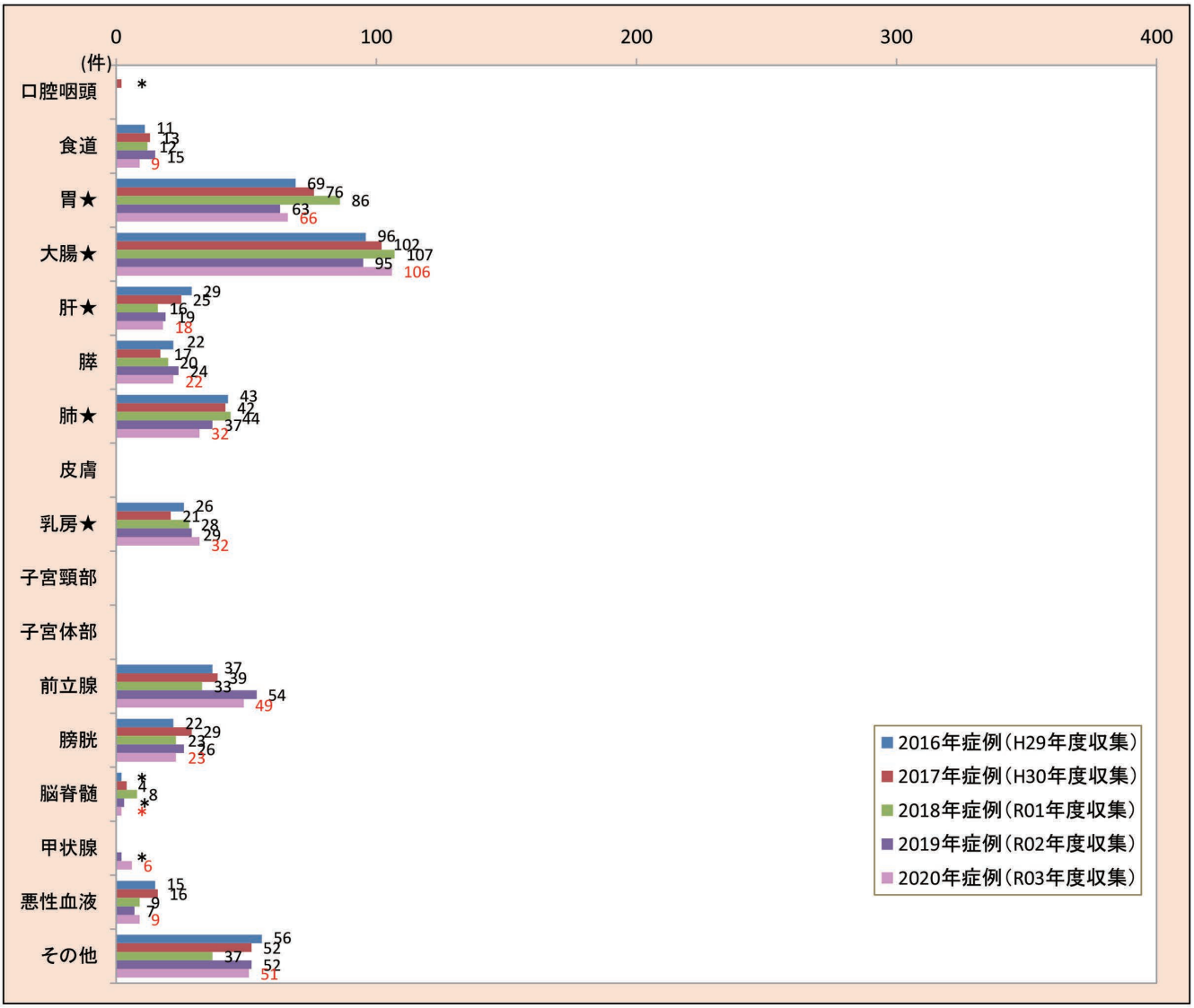
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭		*			
食道	11	13	12	15	9
胃★	69	76	86	63	66
大腸★	96	102	107	95	106
肝★	29	25	16	19	18
膵	22	17	20	24	22
肺★	43	42	44	37	32
皮膚					
乳房★	26	21	28	29	32
子宮頸部	（頸部・体部）	*（頸部・体部）	（頸部・体部）		
子宮体部					
前立腺	37	39	33	54	49
膀胱	22	29	23	26	23
脳脊髄	*	4	8	*	*
甲状腺				*	6
悪性血液疾患	15	16	9	7	9
その他	56	52	37	52	51
計	428	439	423	426	425

2020年診断症例　主要部位別割合

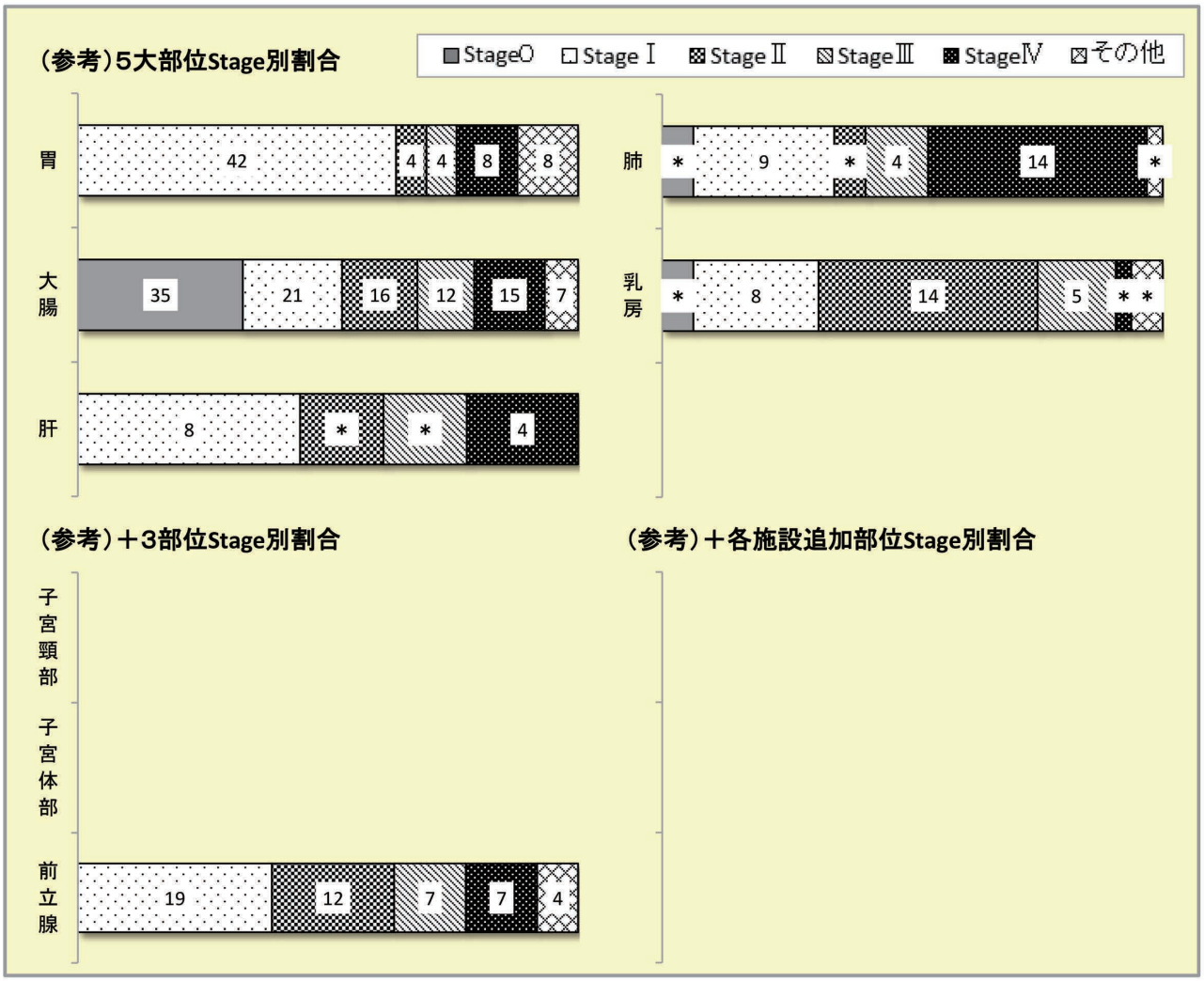


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

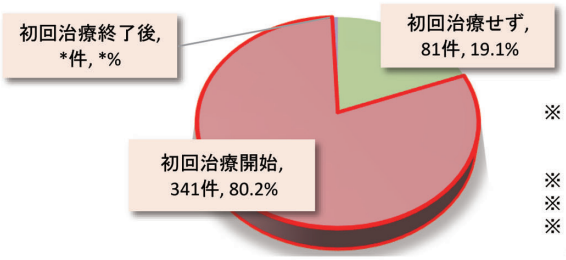
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	9	*	5			*	
胃★	66		42	4	4	8	8
大腸★	106	35	21	16	12	15	7
肝★	18		8	*	*	4	
膵	22		4	4	6	8	
肺★	32	*	9	*	4	14	*
皮膚	0						
乳房★	32	*	8	14	5	*	*
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	49		19	12	7	7	4
膀胱	23	6	9	*	4		*
脳脊髄	*						*
甲状腺	6			*	*	*	*
悪性血液疾患	9						9
その他	51	*	13	*	8	14	11
計	425	49	138	63	54	74	47



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

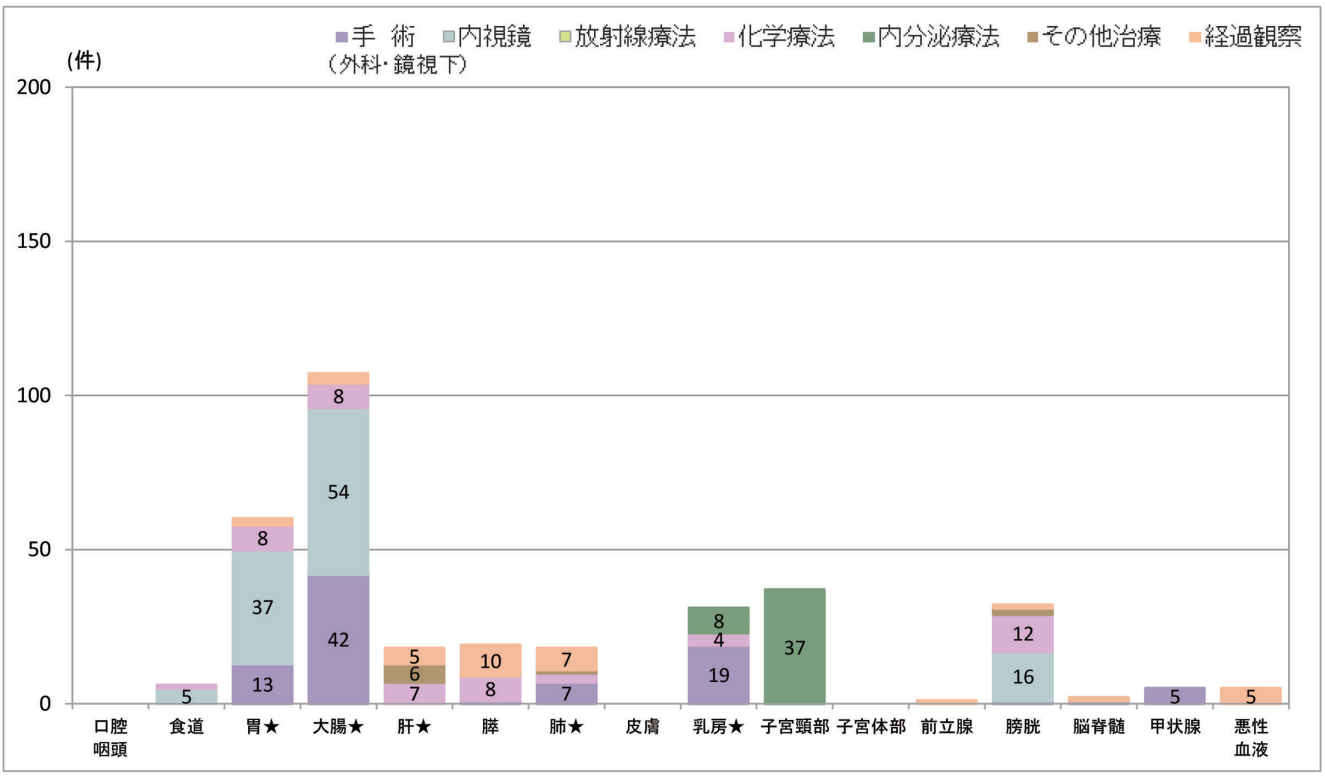
治療施設	件数
1初回治療せず	81
2初回治療開始	341
3初回治療継続	0
4初回治療終了後	*
8その他	0
計	425



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

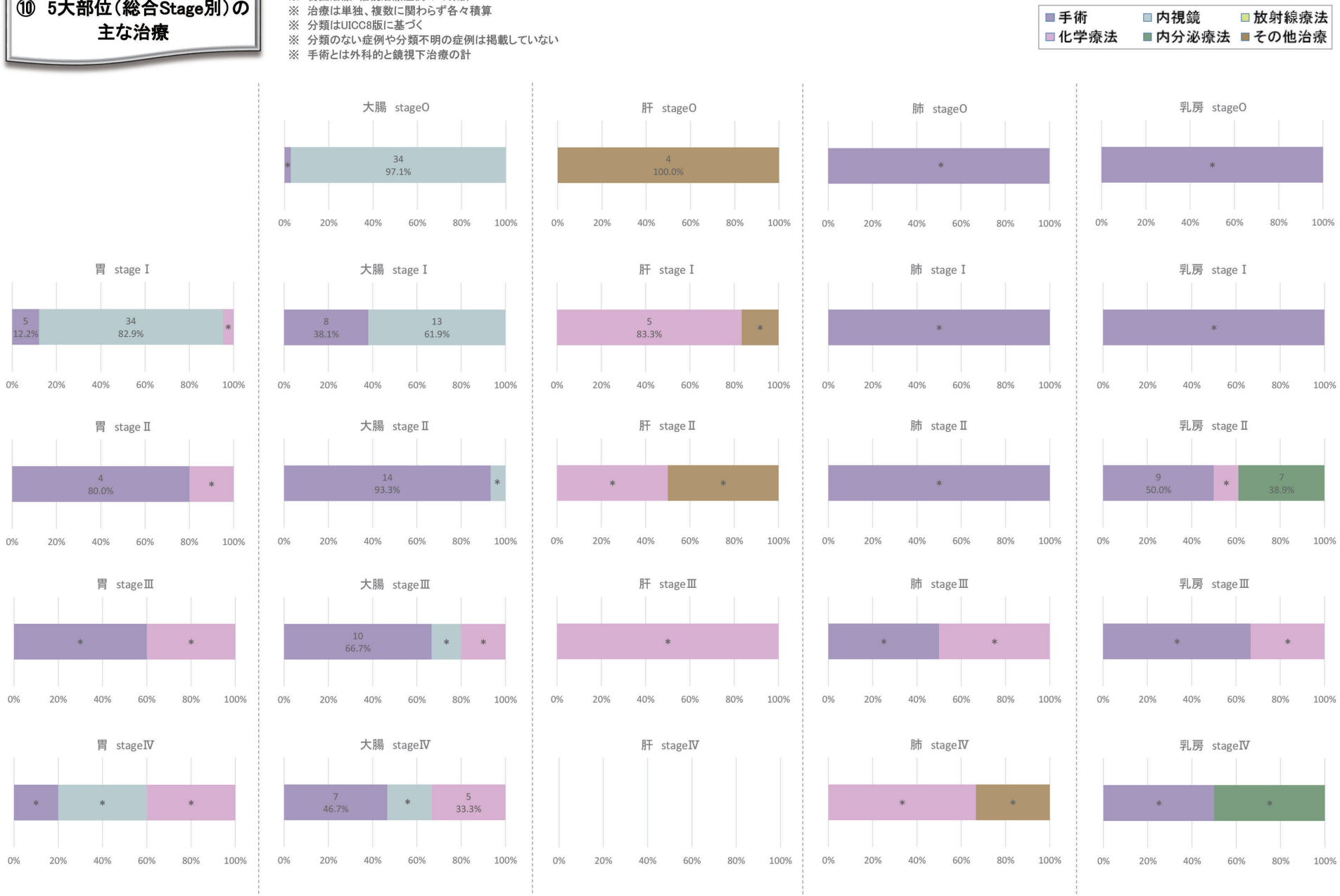
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		5		*				6	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	13	37		8			*	60	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	42	54		8			*	107	100.0%	0.0%	0.0%
肝★				7		6	5	18			
膵	*			8			10	19	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	7			*		*	7	18	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	19			4	8			31	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部					37			37			
子宮体部								0			
前立腺							*	*			
膀胱	*	16		12		*	*	32	100.0%	0.0%	0.0%
脳脊髄	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	5							5	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患							5	5			
計	89	112	0	51	45	9	35	341			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構 天草中央総合病院

○基本情報

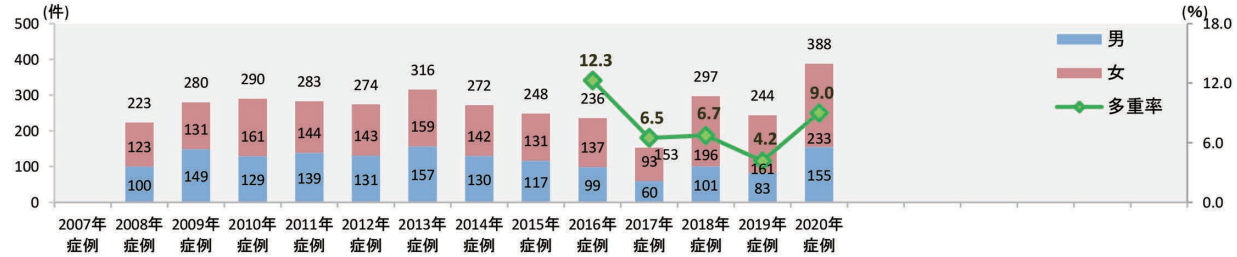
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	天草市東町101番地		
病床数	155床(一般149;感染症4;結核2)		
診療科数	13科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17		
がん登録開始基準日	2007.01.01		
平均在院日数	19.1（日）		
入院患者数	2,539（人）		
外来患者延数	59,808（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	2,854（件）		
院内がん登録件数	388（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

【登録件数】 2020年登録件数は388件で前年比159%、対前年増減率は59%と大幅に増加した。
【性別】 男性155件(39.9%)、女性233件(60.0%)で女性が約1.5倍の件数となっている。
【年齢】 平均年齢69.5歳(前年68.1歳)、 男性平均72.7歳(前年68.1歳)、女性平均67.4歳(前年68.2歳)、70歳以上の割合は54.1%(前年52.0%)である。
【部位別症例件数と平均年齢(上位5部位)】
1.乳房(96件、61.0歳) 2.肺(58件、75.1歳) 3.皮膚(44件、81.3歳) 4.悪性血液(37件、72.5歳) 5.胃(23件、70.7歳) 5.大腸(23件、68.8歳) 昨年と同様、乳癌が多かった。
【男女別症例件数と平均年齢(上位5部位)】
男性
1.肺(36件、74.9歳) 2.悪性血液(25件、73.2歳) 3.皮膚(18件、79.6歳) 4.胃(17件、70.4歳) 5.大腸(13件、65.5歳)
女性
1.乳房(95件、61.0歳) 2.皮膚(26件、82.5歳) 3.肺(22件、75.4歳) 4.子宮体部(21件、66.9歳) 5.子宮頸部(13件、48.2.歳)
【医療圏】 388件中385件(99.2%)が天草医療圏在住の患者である。
【当院の特徴】
当院は天草医療圏で唯一放射線治療ができる施設である。
2018年7月よりセンチネルリンパ節生検の施設認定を受け、一期的乳癌手術も当院にて可能となった。
医師・緩和ケア認定看護師・がん化学療法看護認定看護師・がん性疼痛看護認定看護師・がん放射線看護認定看護師・がん専門相談員・薬剤師・管理栄養士・理学療法士等によるチーム医療に取り組んでいる。また、私のカルテによる連携、がんサロンの開催やがん患者・家族会のサポート等、地域においてがん患者が安心して治療を受けられるよう支援している。

診断年別登録件数(参考)

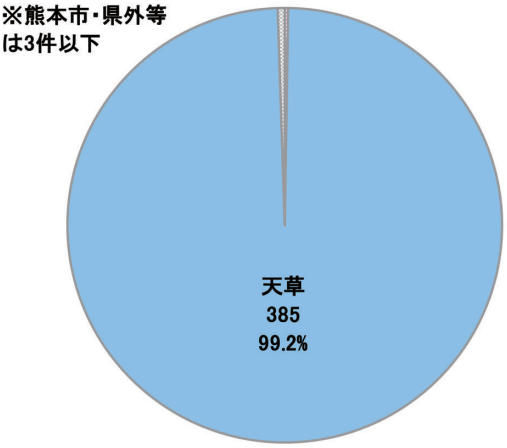


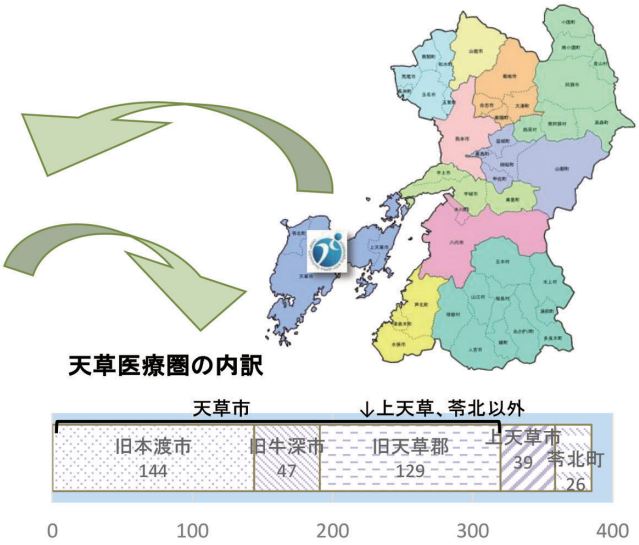
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

天草中央総合病院　（388件）





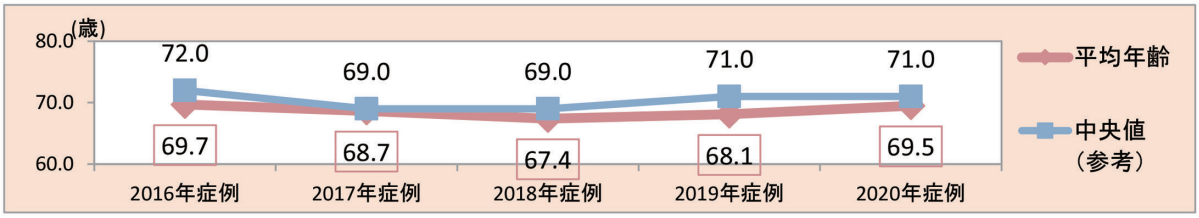
天草医療圏の内訳

◇　医療圏別上位5部位

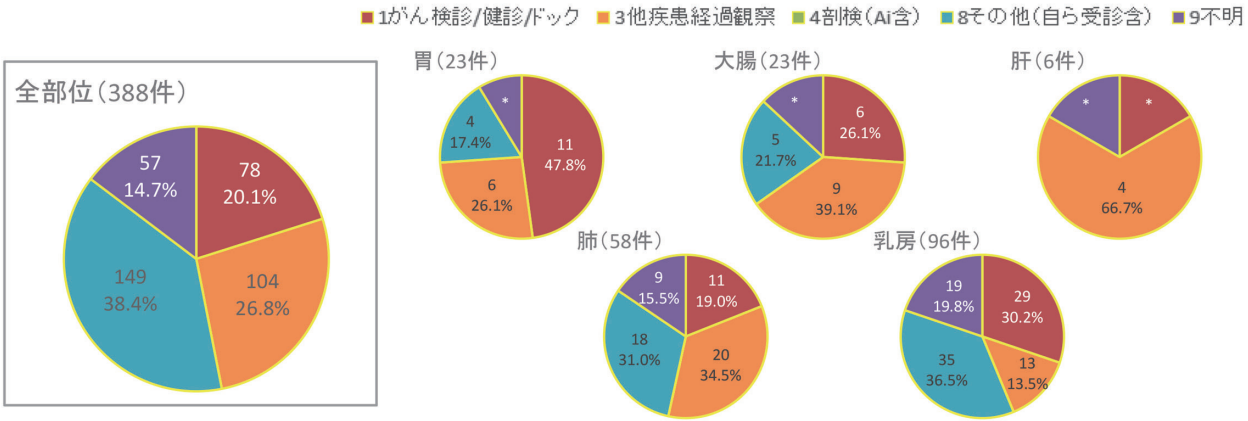
	該当部位	各*										
熊本市			鹿本			上益城			球磨			
宇城			菊池			八代			天草	乳房	94	
										肺	58	
										皮膚	44	
										悪性血液	37	
										その他	30	
有明			阿蘇			芦北			県外等	該当部位	各*	

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

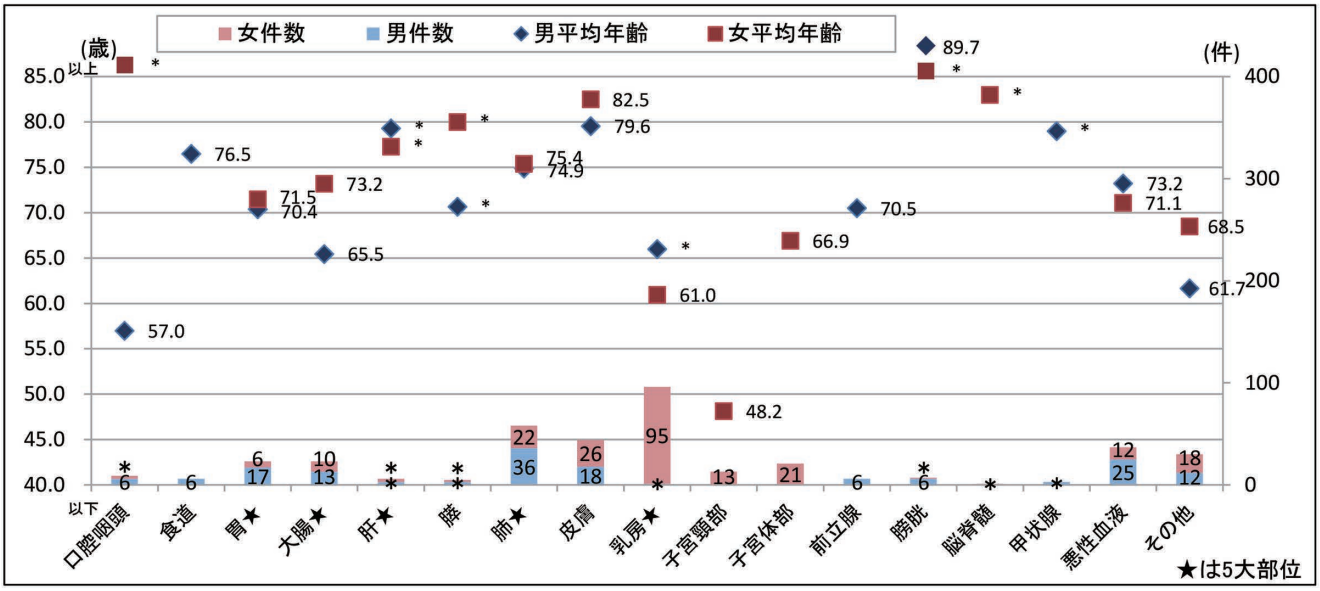
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
肺	36
悪性血液	25
皮膚	18
胃	17
大腸	13
その他	12
口腔咽頭	6
食道	6
前立腺	6
膀胱	6
肝	*
膵	*
甲状腺	*
乳房	*
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	155

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	5

40～49歳	
該当部位	各*
計	4

50～59歳	
大腸	5
該当部位	各*
計	15

60～69歳	
肺	8
胃	6
悪性血液	6
大腸	4
該当部位	各*
計	31

70～79歳	
肺	15
悪性血液	8
皮膚	5
前立腺	4
該当部位	各*
計	49

80～89歳	
肺	11
皮膚	8
悪性血液	8
胃	4
該当部位	各*
計	41

90歳～	
該当部位	各*
計	10

女性全体	
乳房	95
皮膚	26
肺	22
子宮体部	21
その他	18
子宮頸部	13
悪性血液	12
大腸	10
胃	6
口腔咽頭	*
肝	*
膵	*
膀胱	*
脳脊髄	*
食道	
前立腺	
甲状腺	
計	233

0～14歳	
計	

15～39歳	
子宮頸部	6
該当部位	各*
計	10

40～49歳	
乳房	15
該当部位	各*
計	21

50～59歳	
乳房	26
子宮体部	6
該当部位	各*
計	42

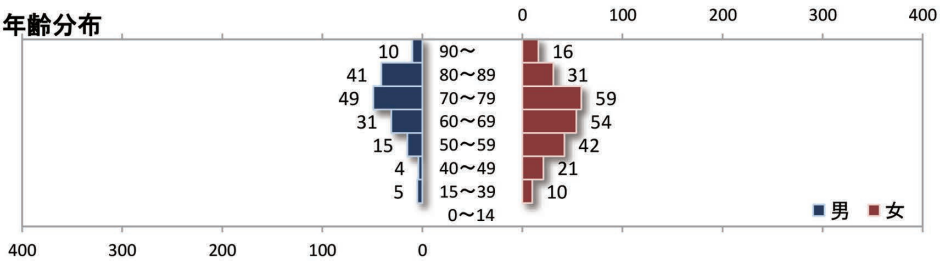
60～69歳	
乳房	28
その他	6
肺	4
皮膚	4
悪性血液	4
該当部位	各*
計	54

70～79歳	
乳房	20
肺	11
子宮体部	8
その他	5
該当部位	各4
	など
計	59

80～89歳	
皮膚	7
大腸	4
乳房	4
該当部位	各*
計	31

90歳～	
皮膚	10
該当部位	各*
計	16

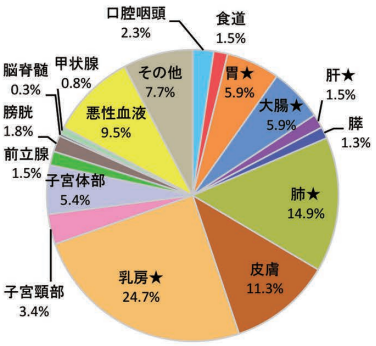
年齢分布



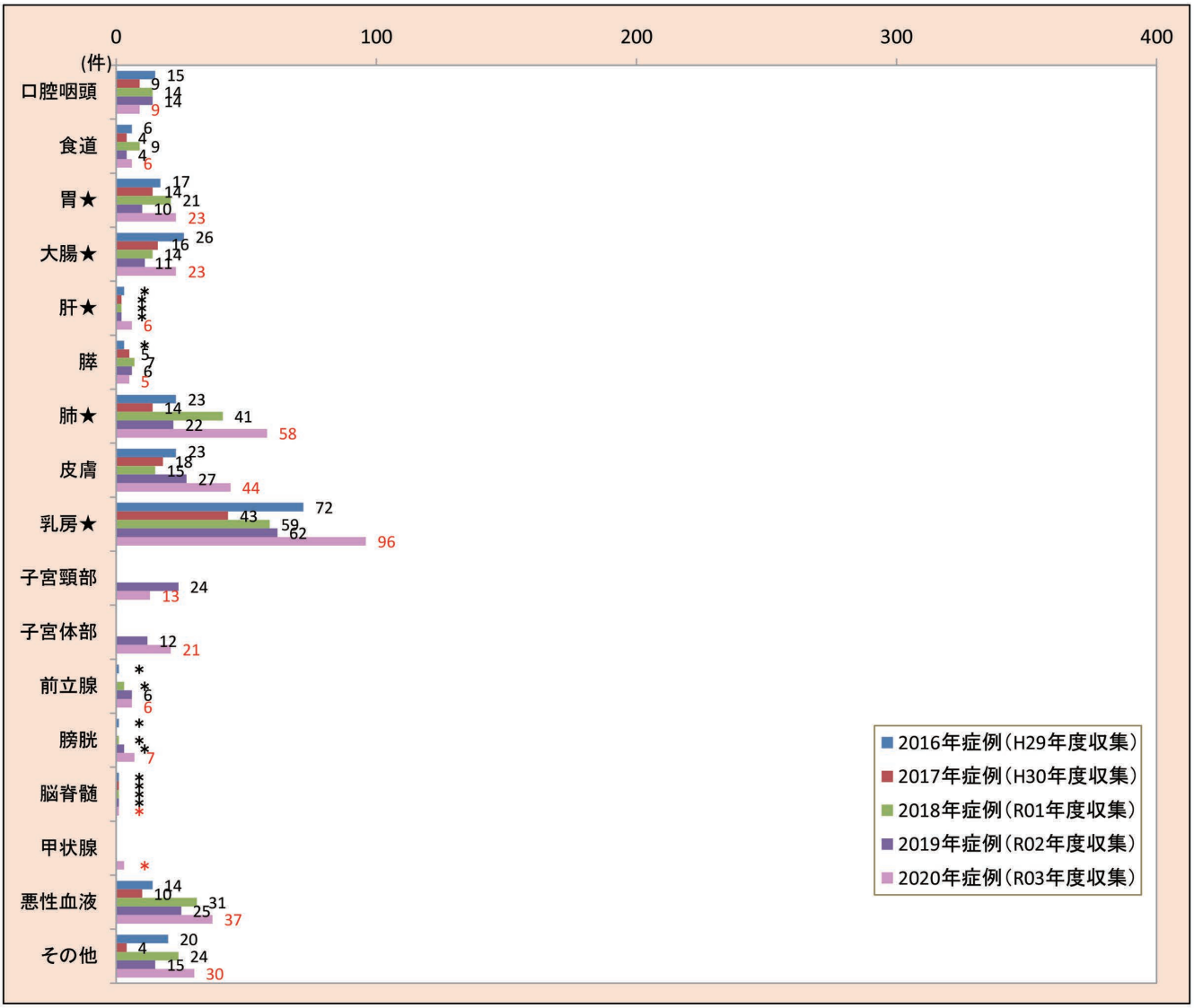
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	15	9	14	14	9
食道	6	4	9	4	6
胃★	17	14	21	10	23
大腸★	26	16	14	11	23
肝★	*	*	*	*	6
膵	*	5	7	6	5
肺★	23	14	41	22	58
皮膚	23	18	15	27	44
乳房★	72	43	59	62	96
子宮頸部	11（頸部・体部）	13（頸部・体部）	55（頸部・体部）	24	13
子宮体部				12	21
前立腺	*		*	6	6
膀胱	*		*	*	7
脳脊髄	*	*	*	*	*
甲状腺					*
悪性血液疾患	14	10	31	25	37
その他	20	4	24	15	30
計	236	153	297	244	388

2020年診断症例　主要部位別割合

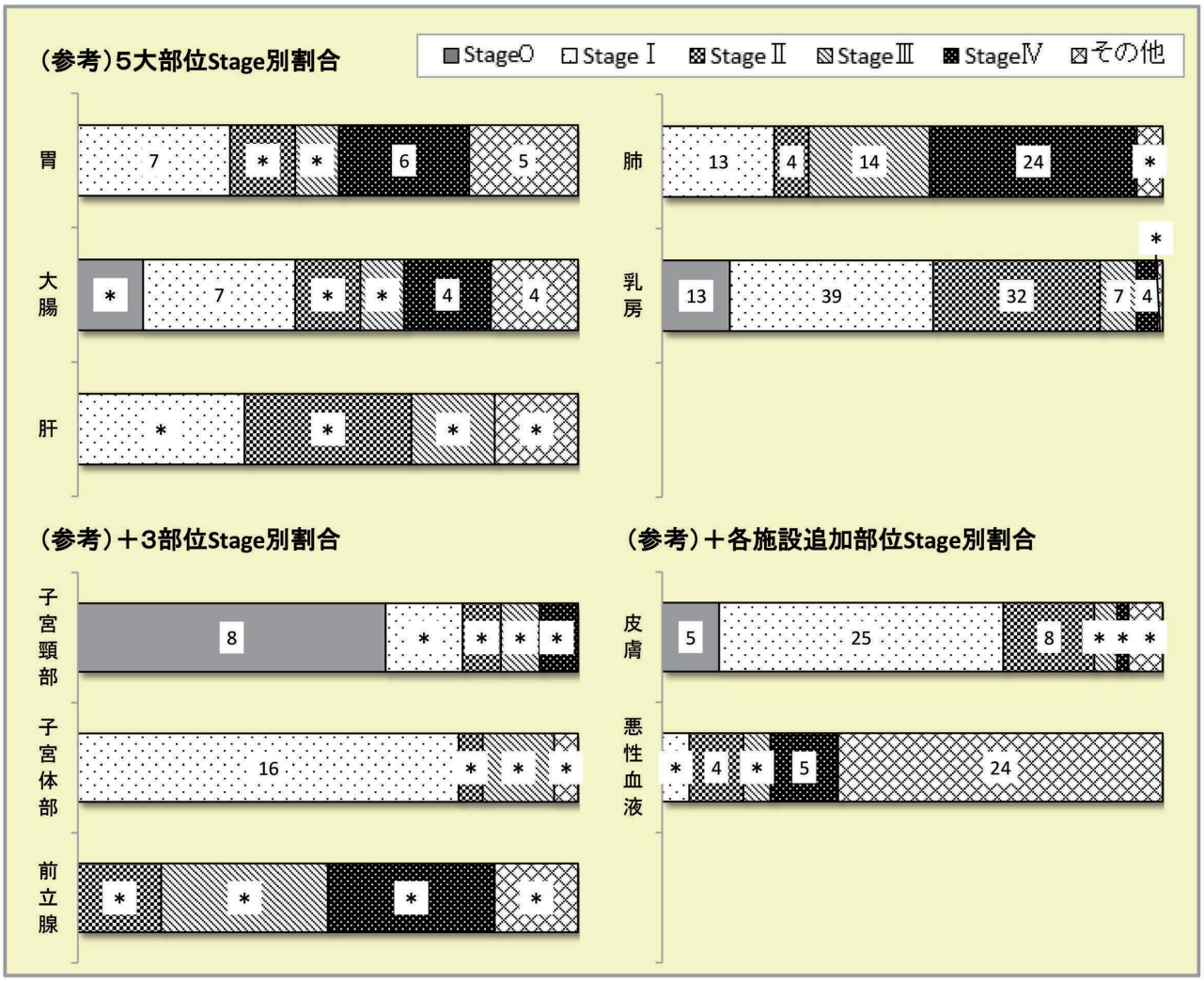


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

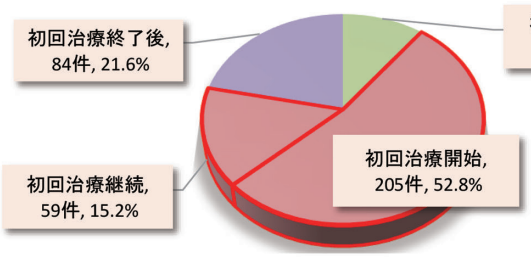
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	9		*	4	*	*	
食道	6	*	*	*	*		
胃★	23		7	*	*	6	5
大腸★	23	*	7	*	*	4	4
肝★	6		*	*	*		*
膵	5					*	*
肺★	58		13	4	14	24	*
皮膚	44	5	25	8	*	*	*
乳房★	96	13	39	32	7	4	*
子宮頸部	13	8	*	*	*	*	
子宮体部	21		16	*	*		*
前立腺	6			*	*	*	*
膀胱	7			*	*		*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*					*	*
悪性血液疾患	37		*	4	*	5	24
その他	30		4	*	7	8	10
計	388	30	120	67	51	61	59



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

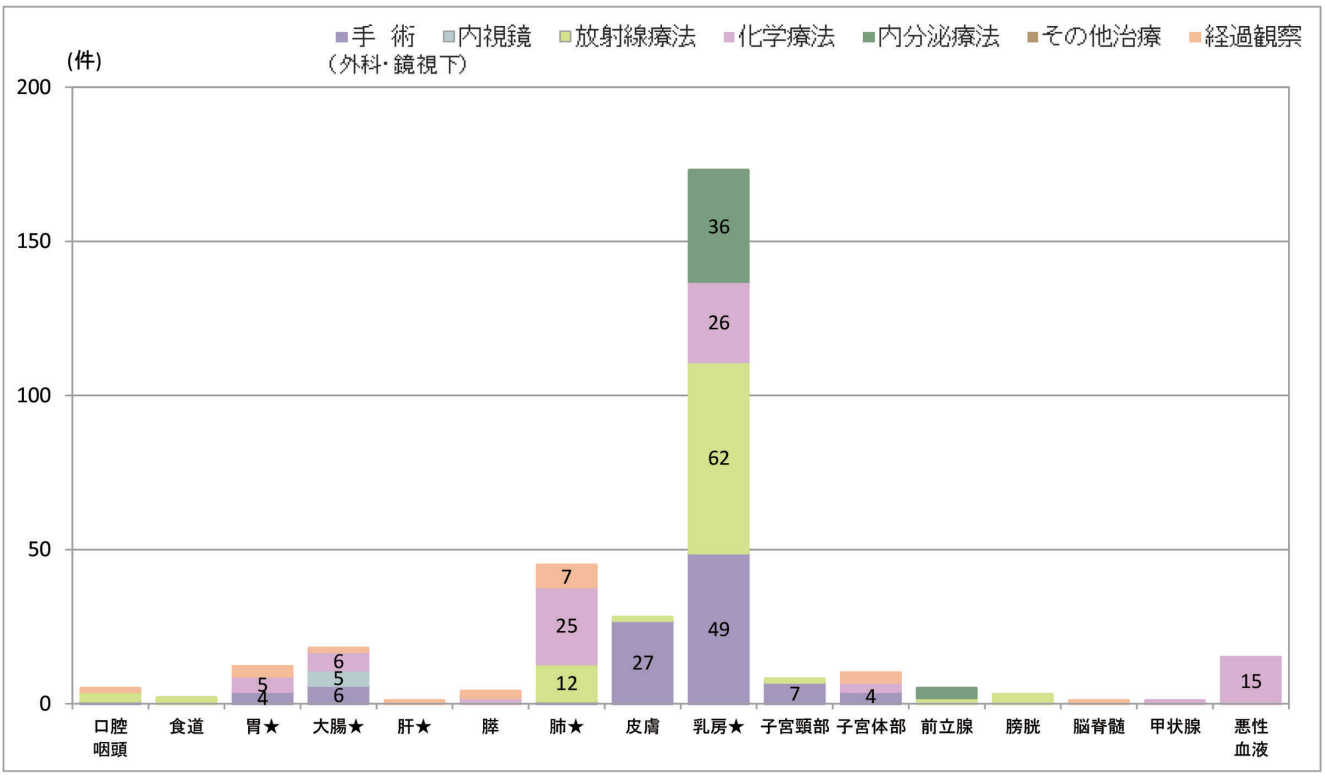
治療施設	件数
1初回治療せず	40
2初回治療開始	205
3初回治療継続	59
4初回治療終了後	84
8その他	0
計	388



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*		*				*	5	100.0%	0.0%	0.0%
食道			*					*			
胃★	4			5			*	12	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	6	5		6			*	18	100.0%	0.0%	0.0%
肝★							*	*			
膵				*			*	4			
肺★	*		12	25			7	45	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚	27		*					28	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	49		62	26	36			173	98.0%	2.0%	0.0%
子宮頸部	7		*					8	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	4			*			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺			*		*			5			
膀胱			*					*			
脳脊髄							*	*			
甲状腺				*				*			
悪性血液疾患				15				15			
計	99	5	86	83	39	0	19	331			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



大腸 目次へ戻る

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構 熊本再春医療センター

○基本情報

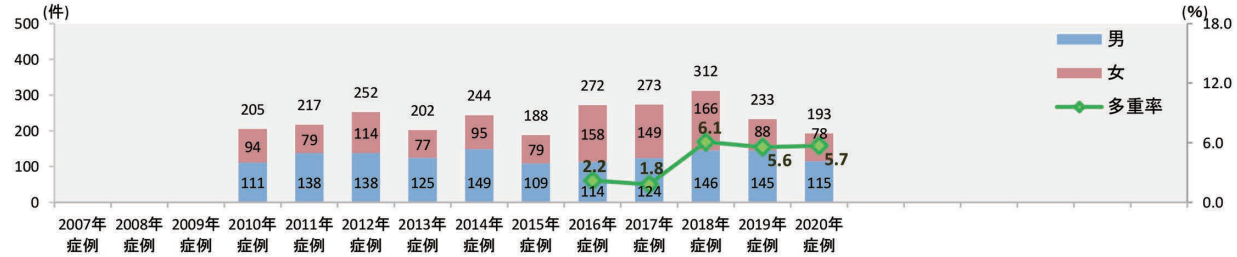
【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	合志市須屋2659番地		
病　床　数	446床（一般446）		
診療科数	17科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17		
がん登録開始基準日	2009.11.01		
平均在院日数	29.2（日）		
入院患者数	3,888（人）		
外来患者延数	56,951（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	4,474（件）		
院内がん登録件数	193（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

【登録件数】2020年は外来症例を含め193症例で，2019年に比べ40例減少していました。
【当院の特徴】国立病院機構熊本再春医療センターは合志市須屋に位置し、菊池郡市医療圏に属しています。平成22年8月に熊本県から、「がん診療連携拠点病院」へ指定されました。平成24年8月から地域医療支援病院の指定を受けました。県北の中核病院として救急急性期一般医療と政策医療（神経筋疾患、重症心身障害、成育医療、運動器疾患など）を受け持っています。がん診療に関しては肺癌・大腸癌・胃癌・肝癌・膵癌・乳癌などの診断と治療を行っています。診断機能としては、CT，MRI，シンチグラム（核医学），マンモグラフィー，超音波，内視鏡を始めとする断装置を有しています。がん治療に関しては外科手術（大部分は胸腔鏡、腹腔鏡による鏡視下手術），抗癌化学療法，緩和医療を行い，外来化学療法，も併せて行っております。平成23年から当院でも年一回の緩和ケア講習会を医師・看護師・薬剤師を含めた医療従事者30名前後の参加のもとに開催しております。また、「がんサロン再春」を院内に設け、がん患者さん同士の交流の場を提供しており、桜の花見会，クリスマス会などを行っています。しかし、現在は新型コロナウイルスの影響等で閉鎖中です。
【部位別症例件数】肺癌96例（26例減少）、大腸癌34例（13例減少）、胃癌21例（1例増加）、食道癌2例（1例減少）、乳癌8例（6例減少）、その他です。がん発生部位は肺癌49.7%・大腸癌17.6・胃癌10.9%・肝・胆、膵臓を含め3.1%・乳癌4.1%となっています。
【医療圏】本院で診療を受けるがん患者が居住する医療圏は担当医療圏である菊池が63.7%、熊本市20.7%、鹿本8.3%となっています。また、70歳以上の高齢者が占める割合が高いことが特徴です。
【今後の抱負】がん診療連携拠点病院として、がん診療の地域連携を進め、「私のカルテ」の導入を促進して参りたいと考えています。

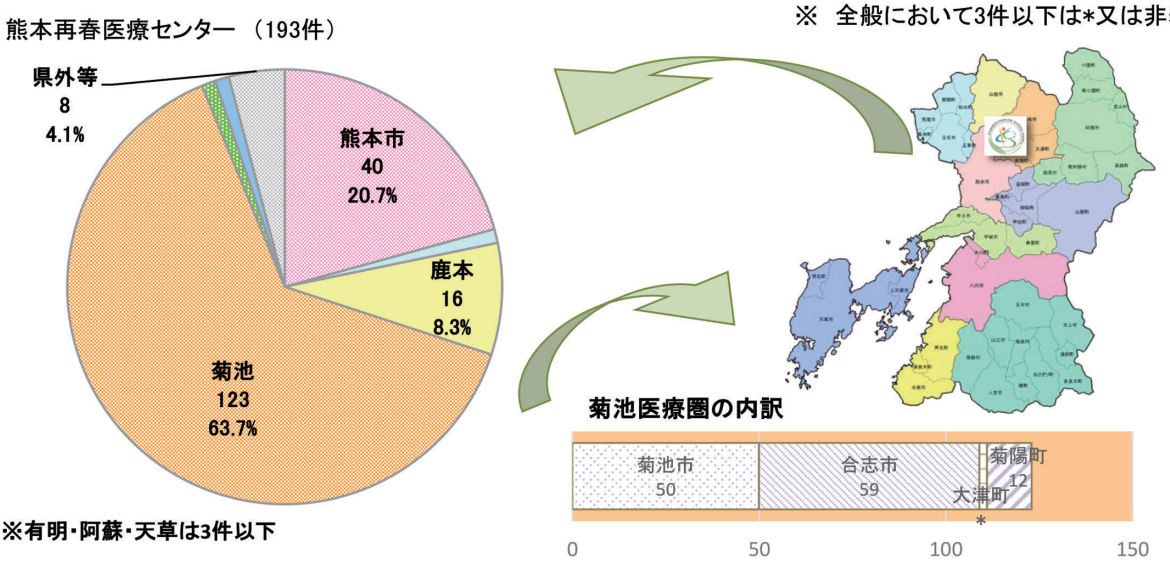
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

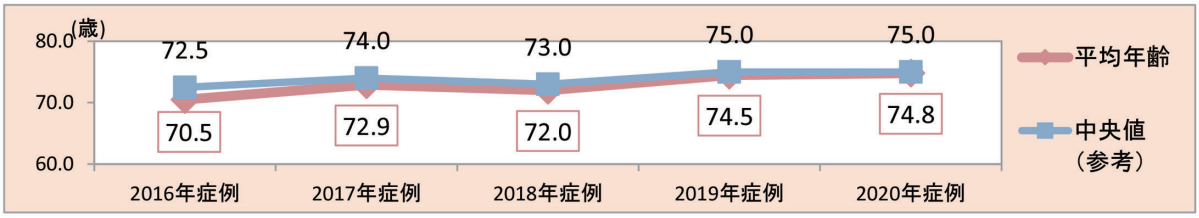


◇　医療圏別上位5部位

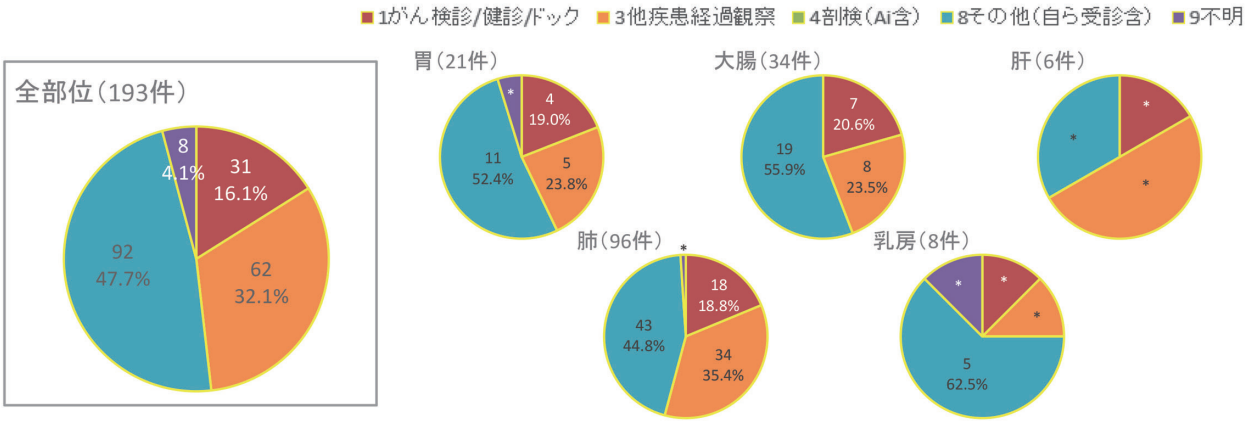
熊本市	肺	18	鹿本	肺	13	上益城			球磨		
	大腸	10		該当部位	各*						
	胃	4									
	該当部位	各*									
宇城			菊池	肺	59	八代			天草	該当部位	各*
				大腸	23						
				胃	14						
				膵	9						
				肝	6						
有明	該当部位	各*	阿蘇	該当部位	各*	芦北			県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

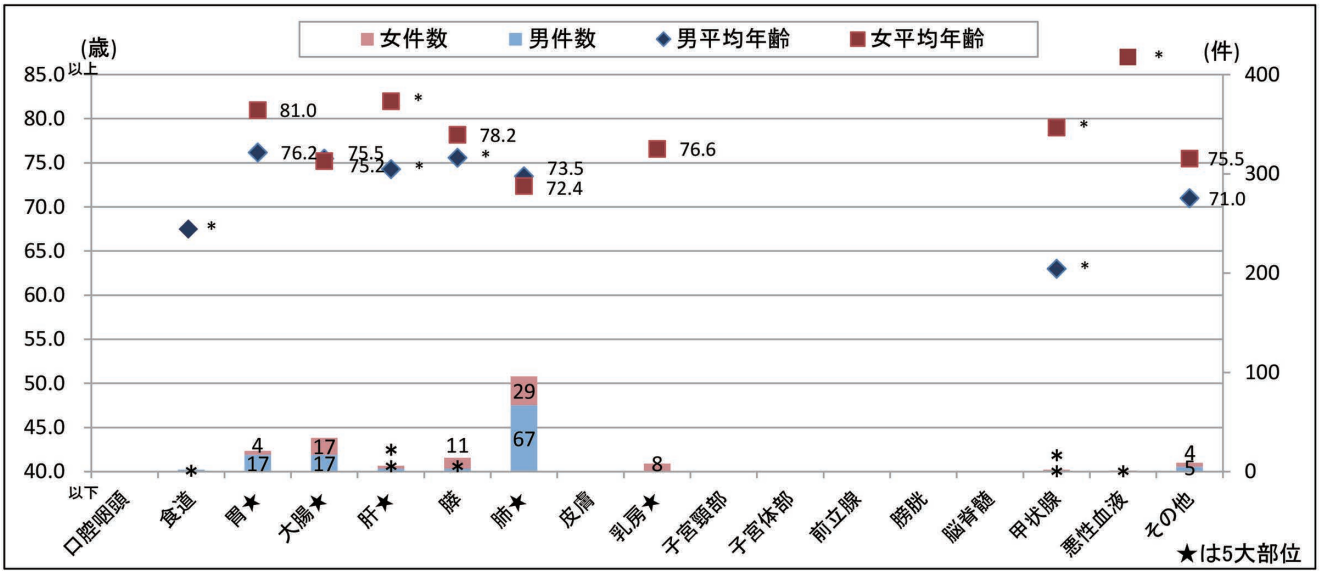
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	
肺	67
胃	17
大腸	17
その他	5
肝	*
膵	*
食道	*
甲状腺	*
口腔咽頭	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
悪性血液	
計	115

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
該当部位	各*
計	*

60～69歳	
肺	20
該当部位	各*
計	31

70～79歳	
肺	26
胃	7
大腸	7
該当部位	各*
計	45

80～89歳	
肺	16
胃	4
大腸	4
該当部位	各*
計	28

90歳～	
該当部位	各*
計	6



女性全体	
肺	29
大腸	17
膵	11
乳房	8
胃	4
その他	4
肝	*
甲状腺	*
悪性血液	*
口腔咽頭	
食道	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
計	78

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
該当部位	各*
計	*

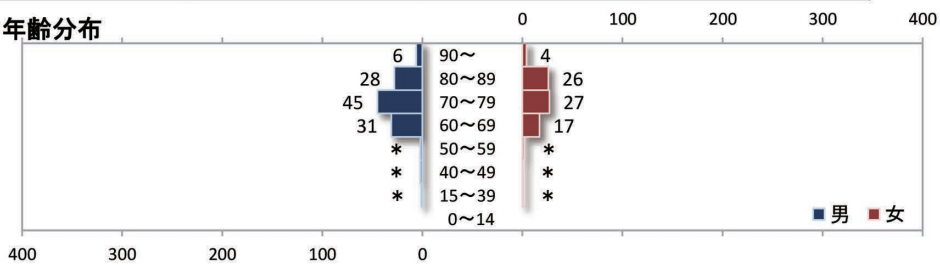
60～69歳	
肺	12
該当部位	各*
計	17

70～79歳	
大腸	7
肺	7
乳房	5
該当部位	各*
計	27

80～89歳	
大腸	7
肺	7
膵	5
該当部位	各*
計	26

90歳～	
該当部位	各*
計	4

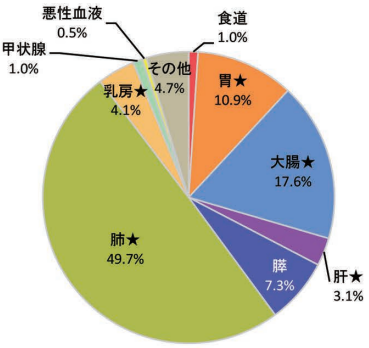
年齢分布



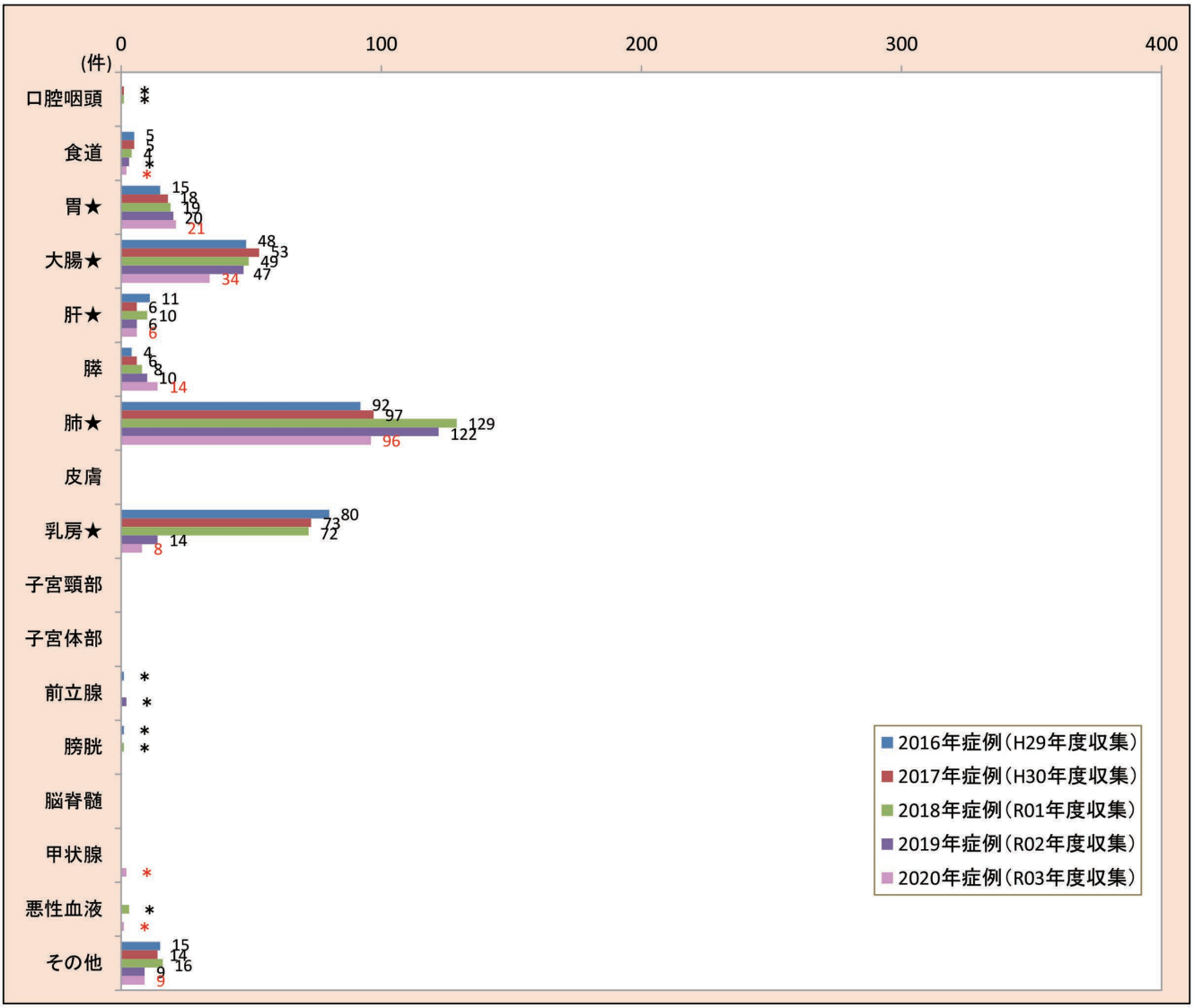
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭		*	*		
食道	5	5	4	*	*
胃★	15	18	19	20	21
大腸★	48	53	49	47	34
肝★	11	6	10	6	6
膵	4	6	8	10	14
肺★	92	97	129	122	96
皮膚					
乳房★	80	73	72	14	8
子宮頸部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）		
子宮体部					
前立腺	*			*	
膀胱	*		*		
脳脊髄					
甲状腺					*
悪性血液疾患			*		*
その他	15	14	16	9	9
計	272	273	312	233	193

2020年診断症例　主要部位別割合

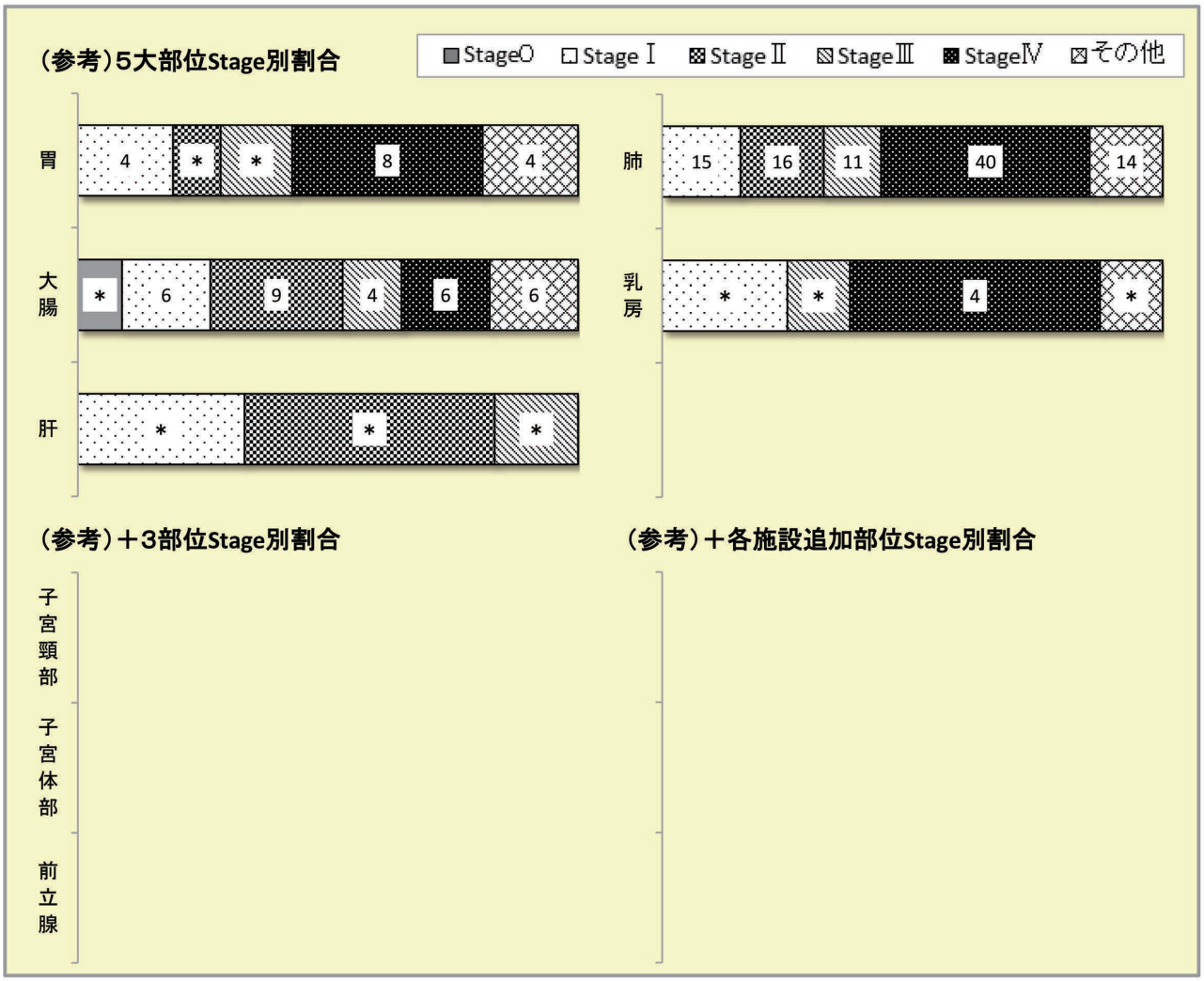


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

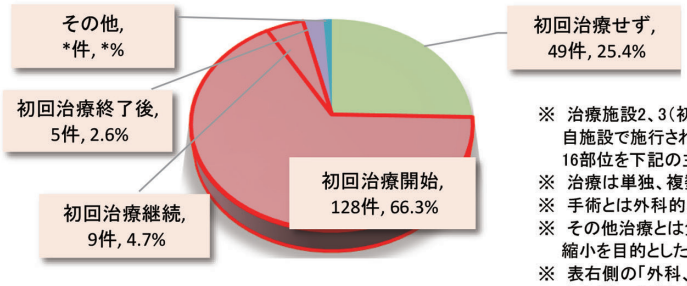
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	*				*	*	
胃★	21		4	*	*	8	4
大腸★	34	*	6	9	4	6	6
肝★	6		*	*	*		
膵	14			*	*	8	*
肺★	96		15	16	11	40	14
皮膚	0						
乳房★	8		*		*	4	*
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	*					*	*
悪性血液疾患	*						*
その他	9			*	*	*	*
計	193	*	29	33	25	71	32



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

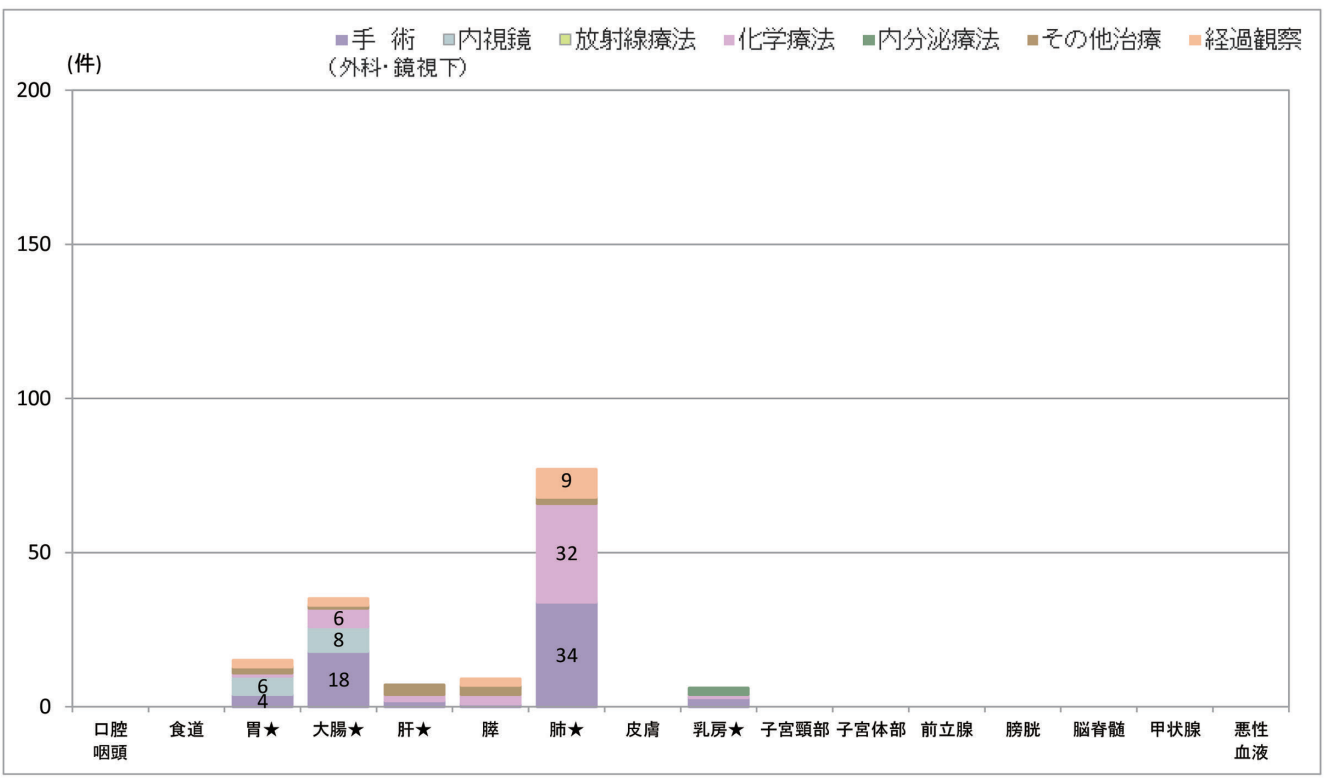
治療施設	件数
1初回治療せず	49
2初回治療開始	128
3初回治療継続	9
4初回治療終了後	5
8その他	*
計	193



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

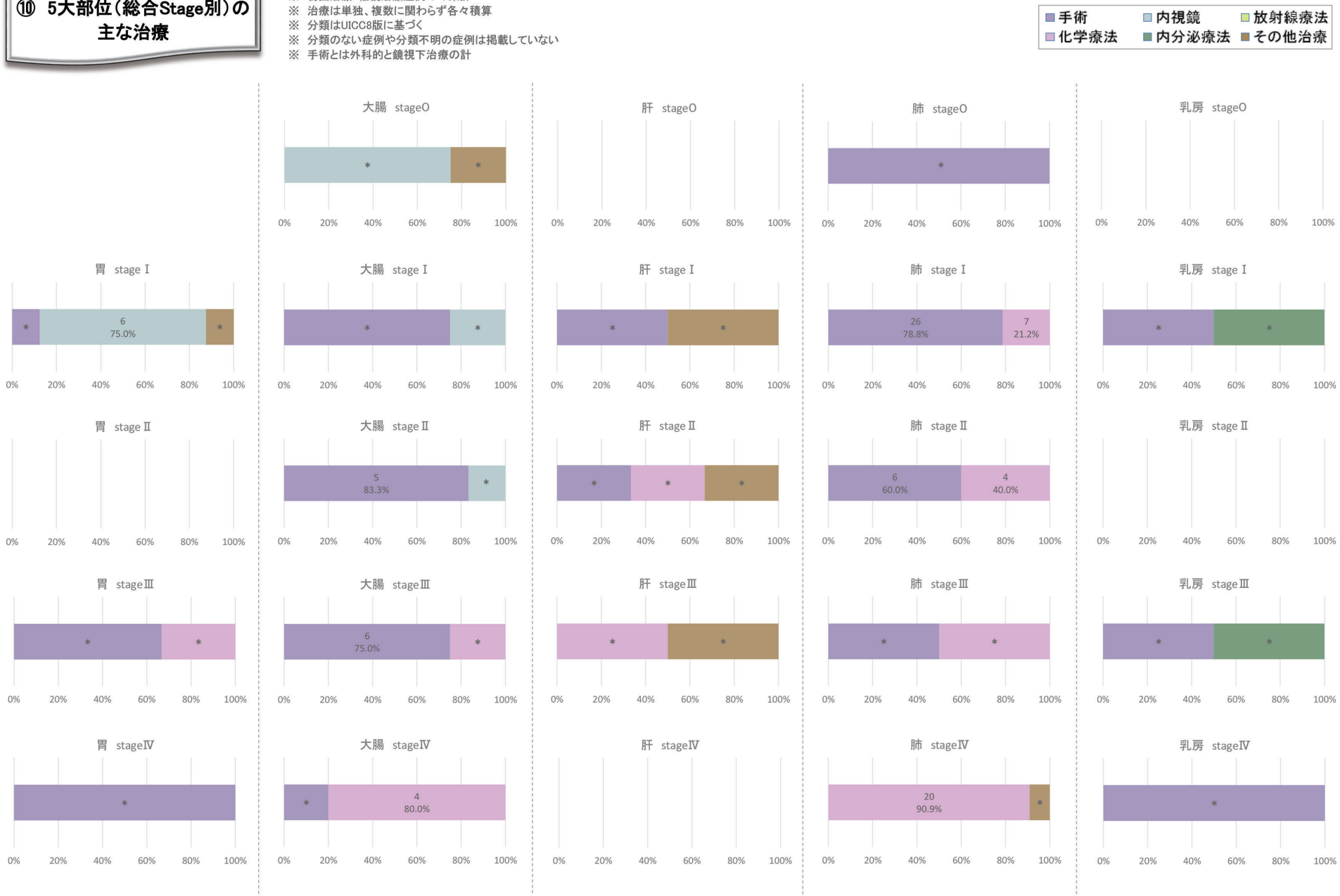
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★	4	6		*		*	*	15	60.0%	30.0%	10.0%
大腸★	18	8		6		*	*	35	88.0%	12.0%	0.0%
肝★	*			*		*		7	0.0%	50.0%	50.0%
膵	*			*		*	*	9	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	34			32		*	9	77	94.1%	2.9%	2.9%
皮膚								0			
乳房★	*			*	*			6	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	62	14	0	45	*	11	15	149			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人地域医療機能推進機構 熊本総合病院

○基本情報

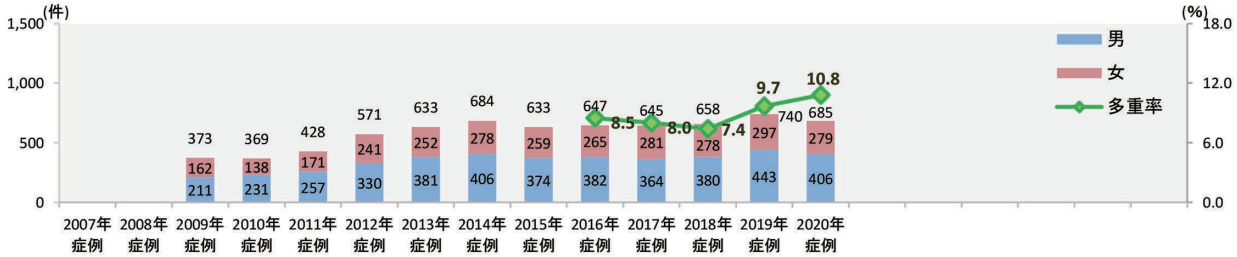
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	八代市通町10番10号		
病床数	400床（一般400）		
診療科数	46科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17		
がん登録開始基準日	2007.04.01		
平均在院日数	19.4（日）		
入院患者数	6,850（人）		
外来患者延数	134,795（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	2,570（件）		
院内がん登録件数	685（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は2006年からがんセンターを設立し、特にがん治療に力を入れている。
1.症例件数
当院における2020年の症例件数は685件（前年比－55件）であり、男女比としては男性が59．3%（406件）、女性が40．7%（279件）であった。また八代医療圏における患者の割合は79．1%となっている。
2.平均年齢
症例の平均年齢は73．0歳（前年比＋0．6）であり、年齢層では男性女性ともに70歳代が最も多かった。
3.部位別症例件数
部位別では、悪性血液疾患124件（15．9%）、大腸がん115件（15．5%）、胃がん63件（14．3%）、前立腺がん61件（10．3%）の順で多かった。登録部位の順は前年と比べて、悪性血液疾患が大腸がんを上回っていて、悪性血液疾患の件数増加が認められた。また上位4部位で全体の53%を占めていた。
4.治療
2020年から新型コロナウイルス感染症（COVID－19）の影響により、ワンフロアを専用病棟とし受け入れを行っている。また7月の熊本県南部豪雨災害により近隣施設からの患者収容を行うなど、激動の1年であった。しかし患者の受け入れを制限することなく診療を行っていたが、登録件数の減少となった一因には上記感染症を懸念し、来院を躊躇したことがあげられるだろう。
治療件数の内訳は、手術が治療全体の36．3%、化学療法28．1%、内視鏡9．2%、放射線療法9．2%、内分泌療法5．6%の順になっていた。
胃や大腸は進行癌であっても化学療法を行い、癌の進行度に応じた術式を選択し、個々の症例に最も適切な手術を行うようにしており、可能な限り根治術を目指している。
当院は最新の質の高いがん治療を行っているが、今後も継続しながら更なる地域医療や施設との連携を図って行く必要がある。

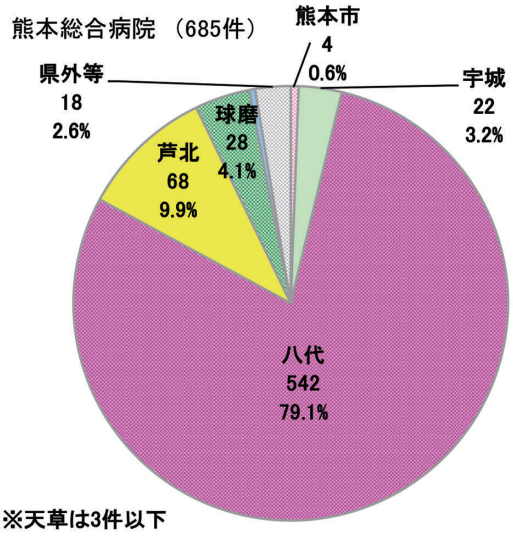
診断年別登録件数（参考）

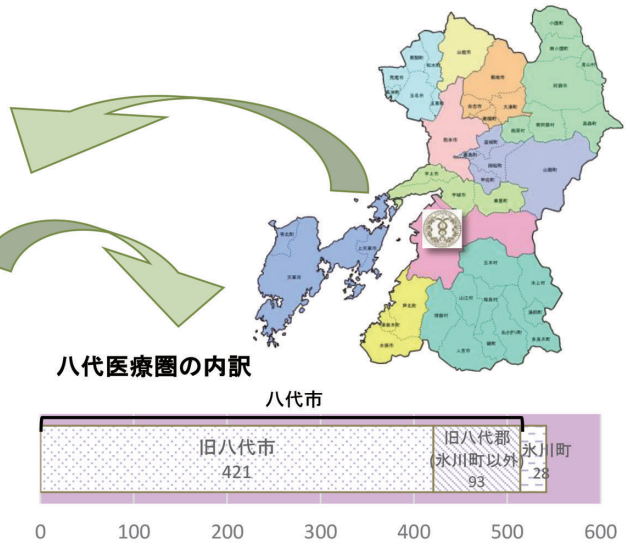


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



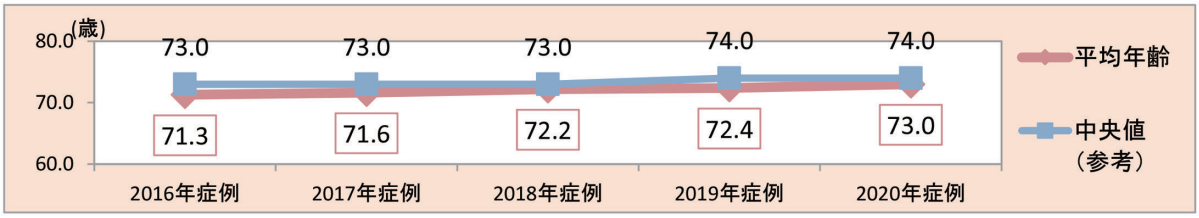


◇　医療圏別上位5部位

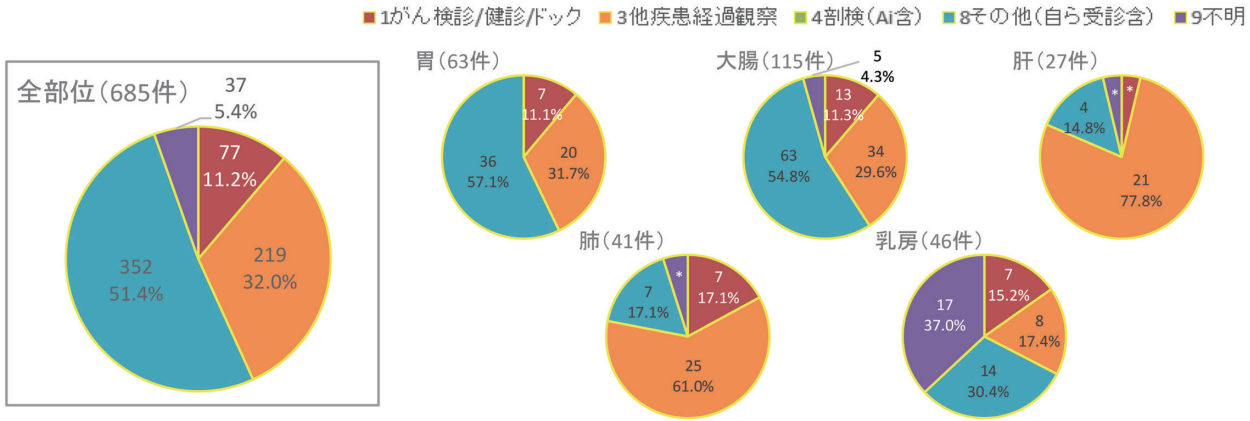
熊本市	該当部位	各*	鹿本			上益城			球磨	前立腺	11
										悪性血液	5
										膀胱	4
										該当部位	各*
宇城	大腸	5	菊池			八代	大腸	98	天草	該当部位	各*
	悪性血液	4					悪性血液	73			
	該当部位	各*					胃	55			
							その他	47			
							前立腺	45			
有明			阿蘇			芦北	悪性血液	31	県外等	悪性血液	10
							大腸	7		該当部位	各*
							肺	6			
							その他	5			
							乳房	4			

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

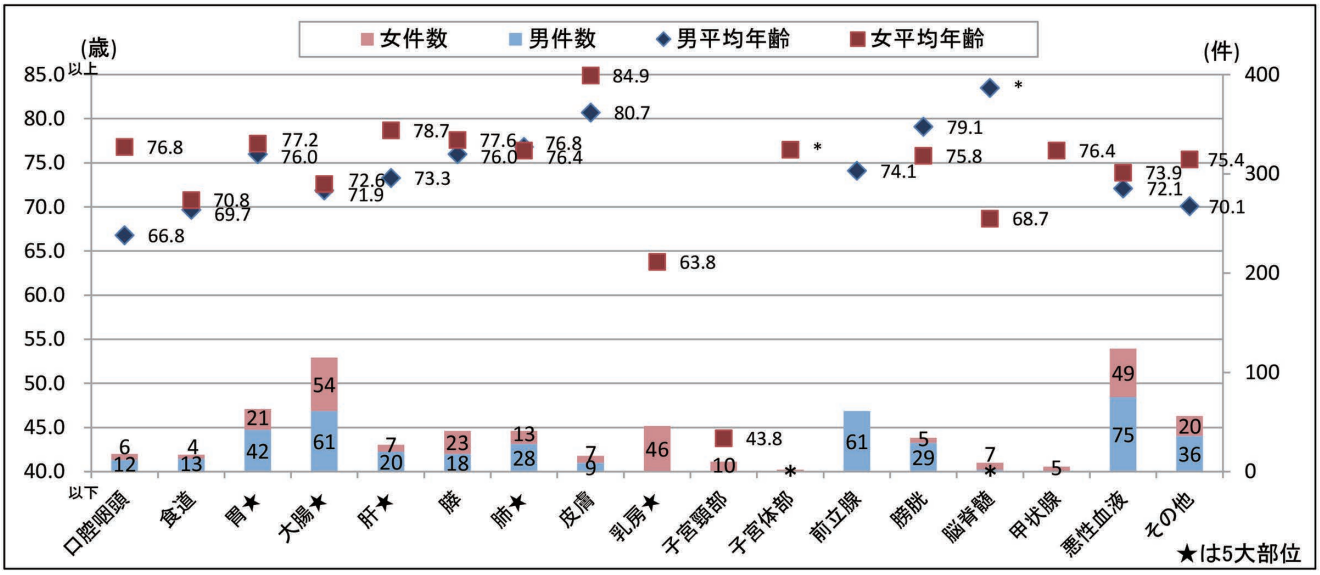
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
悪性血液	75
大腸	61
前立腺	61
胃	42
その他	36
膀胱	29
肺	28
肝	20
膵	18
食道	13
口腔咽頭	12
皮膚	9
脳脊髄	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	406

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	4

40～49歳	
悪性血液	4
該当部位	各*
計	11

50～59歳	
悪性血液	5
該当部位	各*
計	21

60～69歳	
大腸	19
前立腺	15
悪性血液	15
その他	10
胃	6
など	
計	88

70～79歳	
前立腺	28
悪性血液	26
大腸	23
胃	17
肺	16
など	
計	148

80～89歳	
悪性血液	23
膀胱	15
大腸	14
胃	13
前立腺	13
など	
計	116

90歳～	
該当部位	各*
計	18

女性全体	
大腸	54
悪性血液	49
乳房	46
膵	23
胃	21
その他	20
肺	13
子宮頸部	10
肝	7
皮膚	7
脳脊髄	7
口腔咽頭	6
膀胱	5
甲状腺	5
食道	4
子宮体部	*
前立腺	
計	279

0～14歳	
計	

15～39歳	
子宮頸部	4
該当部位	各*
計	7

40～49歳	
乳房	6
子宮頸部	4
該当部位	各*
計	15

50～59歳	
乳房	13
大腸	7
悪性血液	7
該当部位	各*
計	35

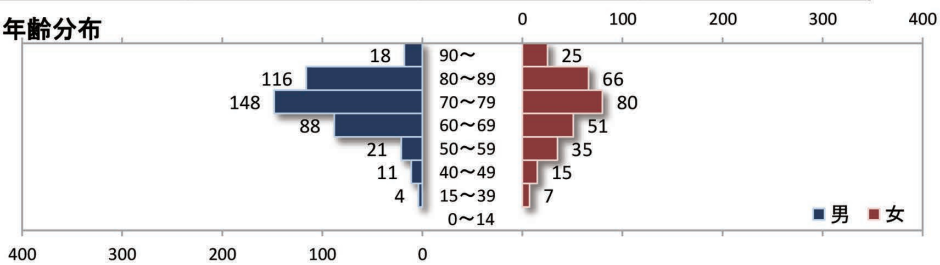
60～69歳	
大腸	11
乳房	11
悪性血液	8
胃	4
該当部位	各*
など	
計	51

70～79歳	
大腸	13
悪性血液	12
乳房	10
膵	9
胃	8
など	
計	80

80～89歳	
大腸	15
悪性血液	13
その他	9
膵	7
該当部位	各5
など	
計	66

90歳～	
悪性血液	7
大腸	4
該当部位	各*
計	25

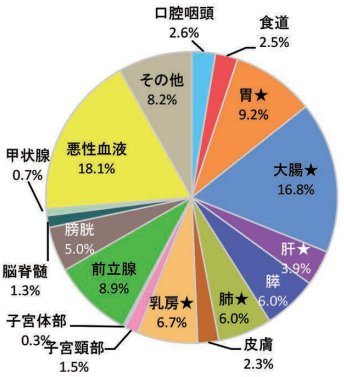
年齢分布



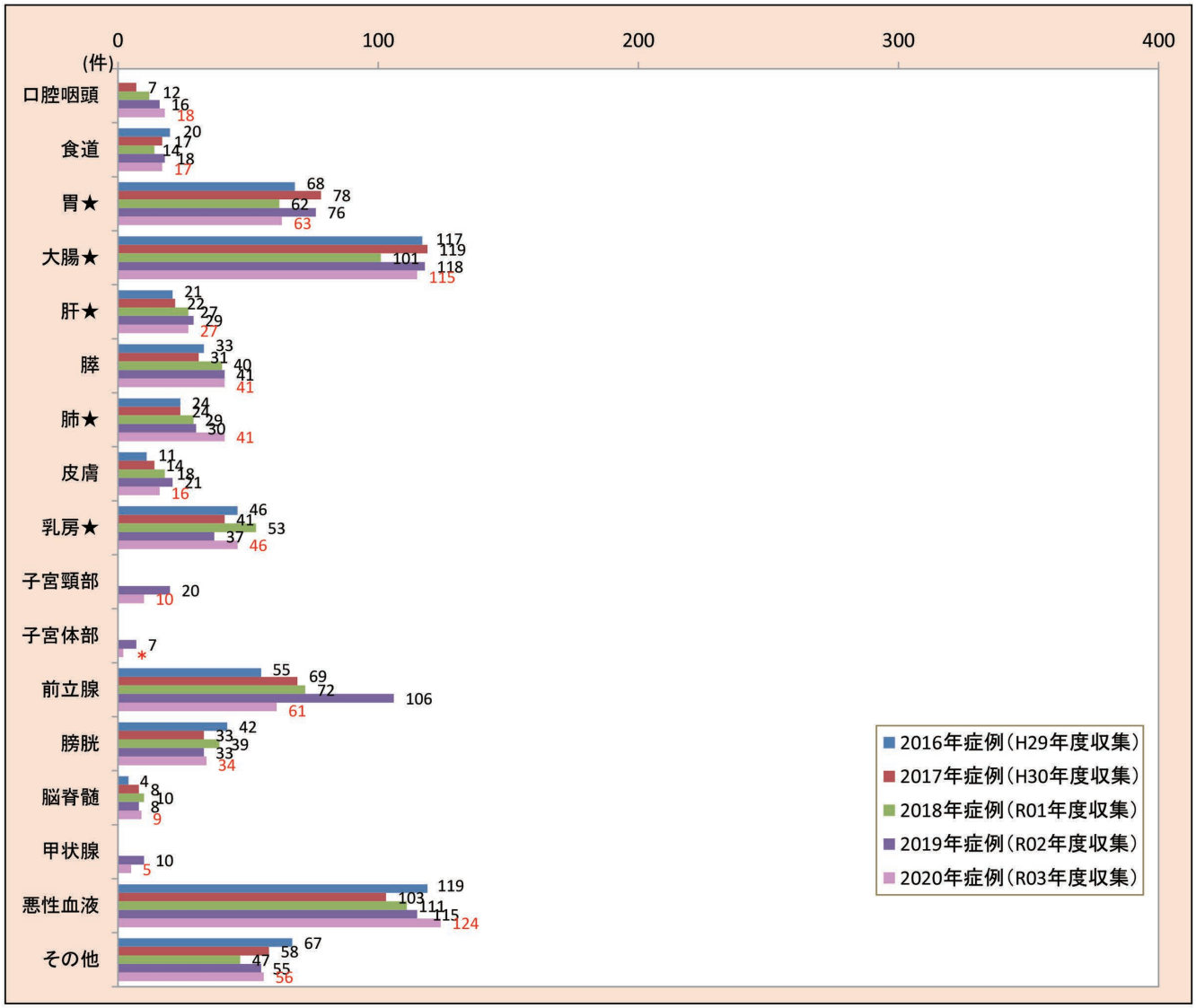
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭		7	12	16	18
食道	20	17	14	18	17
胃★	68	78	62	76	63
大腸★	117	119	101	118	115
肝★	21	22	27	29	27
膵	33	31	40	41	41
肺★	24	24	29	30	41
皮膚	11	14	18	21	16
乳房★	46	41	53	37	46
子宮頸部	20（頸部・体部）	21（頸部・体部）	23（頸部・体部）	20	10
子宮体部				7	*
前立腺	55	69	72	106	61
膀胱	42	33	39	33	34
脳脊髄	4	8	10	8	9
甲状腺				10	5
悪性血液疾患	119	103	111	115	124
その他	67	58	47	55	56
計	647	645	658	740	685

2020年診断症例　主要部位別割合

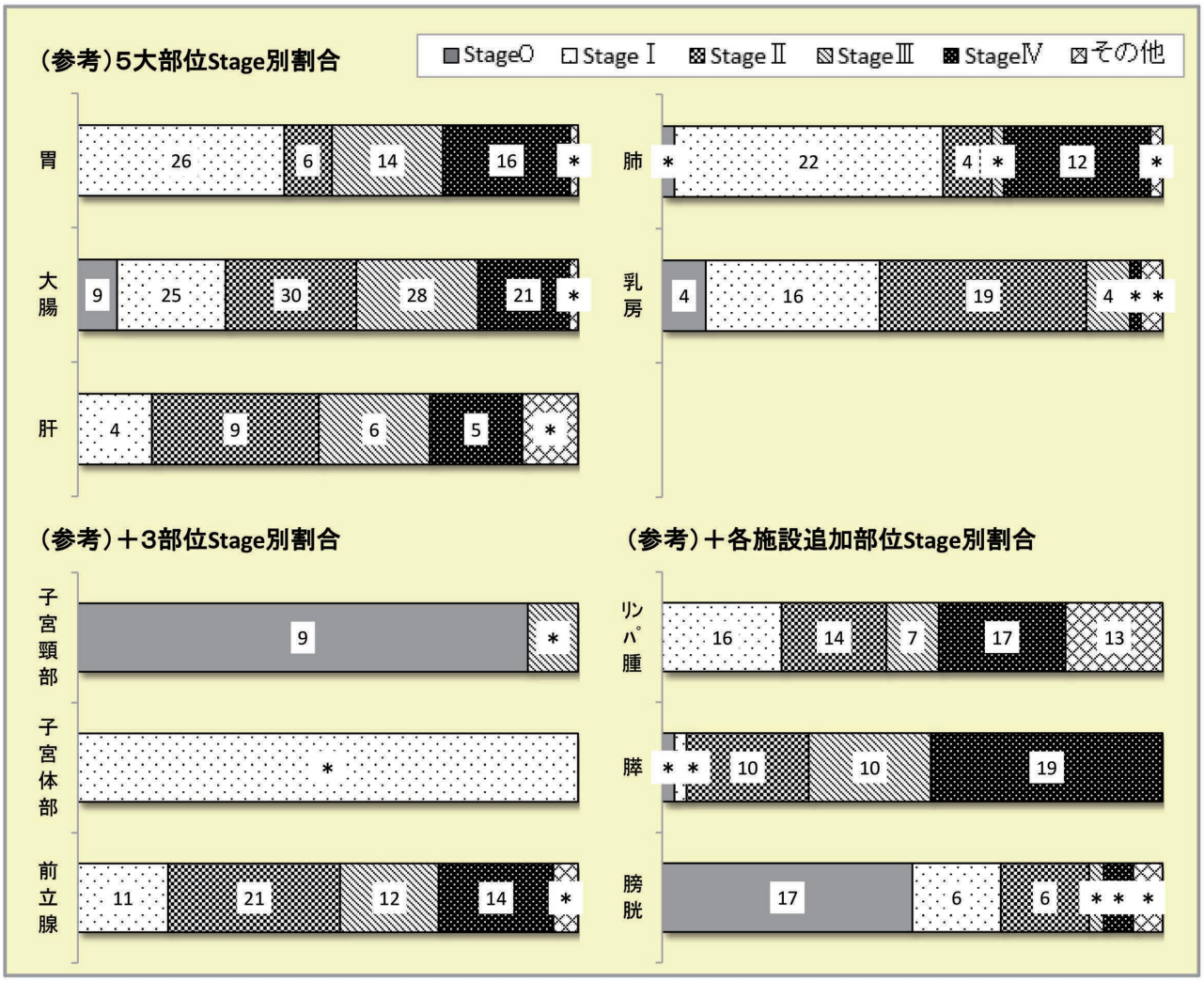


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

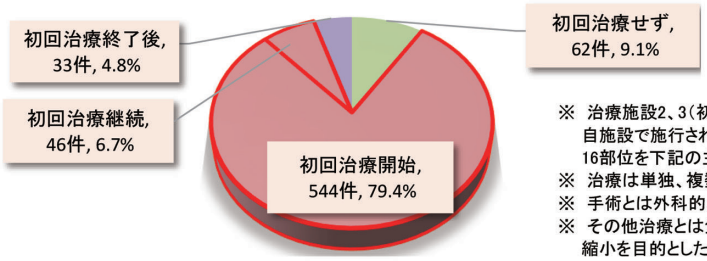
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	18	*	*	*	*	8	4
食道	17	*	7	*	*	4	*
胃★	63		26	6	14	16	*
大腸★	115	9	25	30	28	21	*
肝★	27		4	9	6	5	*
膵	41	*	*	10	10	19	
肺★	41	*	22	4	*	12	*
皮膚	16	*	9	*		*	*
乳房★	46	4	16	19	4	*	*
子宮頸部	10	9			*		
子宮体部	*		*				
前立腺	61		11	21	12	14	*
膀胱	34	17	6	6	*	*	*
脳脊髄	9						9
甲状腺	5		*		*		*
悪性血液疾患	124		16	14	7	19	68
その他	56	8	18	6	12	5	7
計	685	54	166	130	101	127	107



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

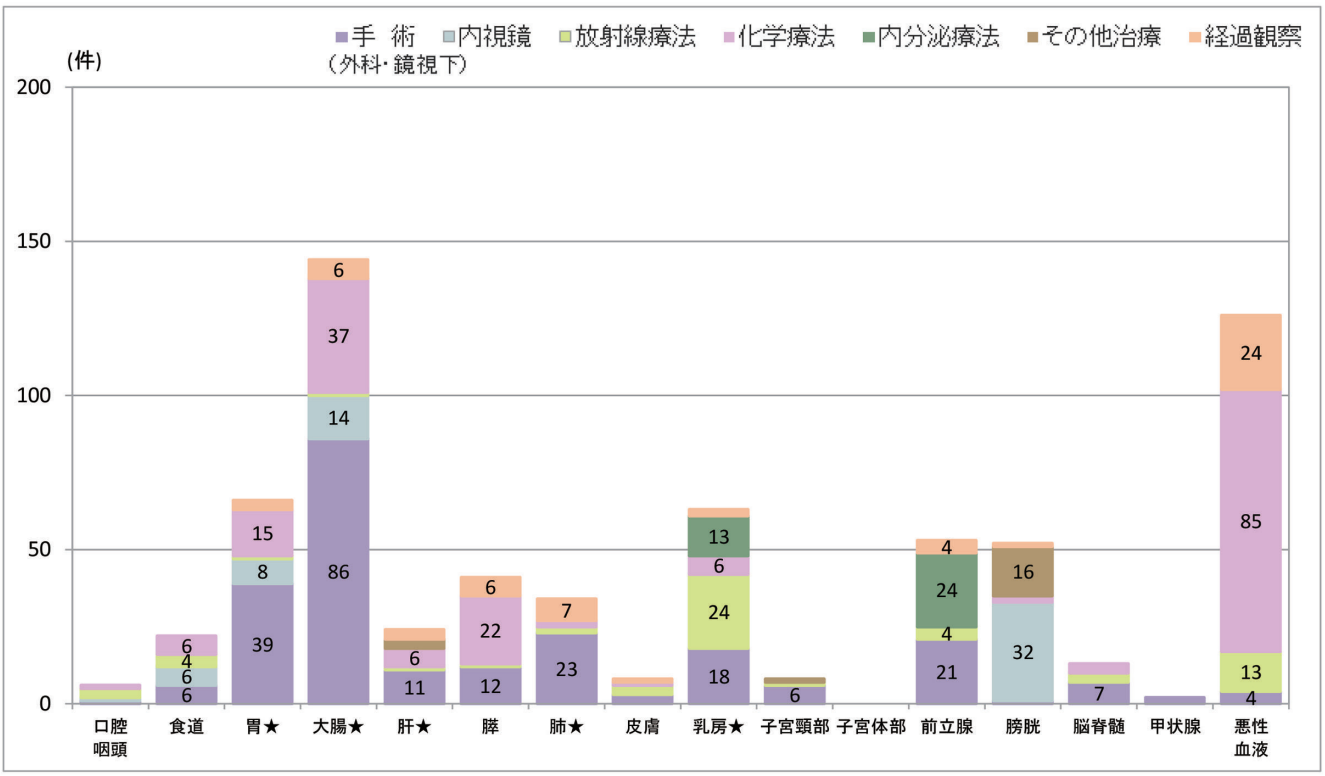
治療施設	件数
1初回治療せず	62
2初回治療開始	544
3初回治療継続	46
4初回治療終了後	33
8その他	0
計	685



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	*	*	*	*				6	100.0%	0.0%	0.0%
食道	6	6	4	6				22	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	39	8	*	15			*	66	87.2%	12.8%	0.0%
大腸★	86	14	*	37			6	144	88.5%	11.5%	0.0%
肝★	11		*	6		*	*	24	100.0%	0.0%	0.0%
膵	12		*	22			6	41	83.3%	16.7%	0.0%
肺★	23		*	*			7	34	91.3%	8.7%	0.0%
皮膚	*		*	*			*	8	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	18		24	6	13		*	63	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部	6		*			*		8	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部								0			
前立腺	21		4		24		4	53	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	*	32		*		16	*	52	53.1%	46.9%	0.0%
脳脊髄	7		*	*				13	85.7%	14.3%	0.0%
甲状腺	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	4		13	85			24	126	50.0%	50.0%	0.0%
計	240	61	61	186	37	20	57	662			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



濃桜会心療記

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	国家公務員共済組合連合会　熊本中央病院

○基本情報

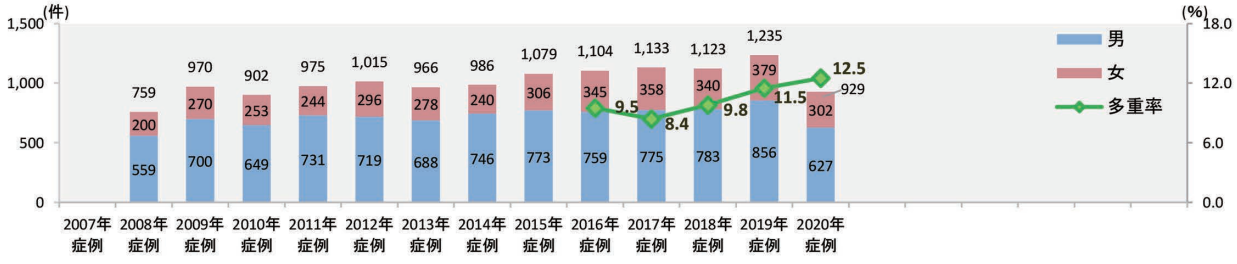
【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	熊本市南区田井島1丁目5番1号		
病　床　数	361床（一般361）		
診療科数	21科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17		
がん登録開始基準日	2008.01.01		
平均在院日数	11.5（日）		
入院患者数	8,078（人）		
外来患者延数	115,281（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	3,654（件）		
院内がん登録件数	929（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　4　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

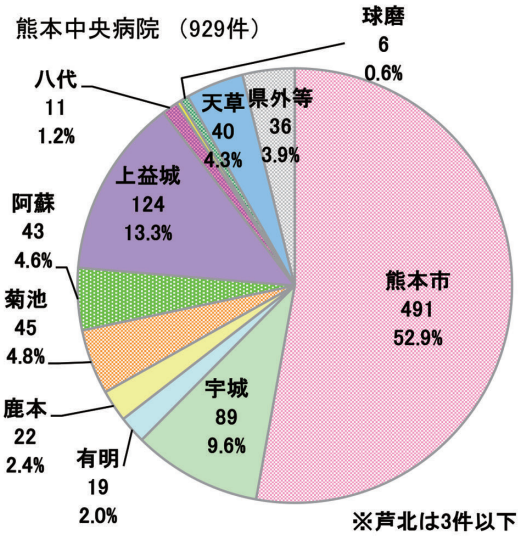
[件数]
当院の症例数は929件であり、昨年と比べ約25%の減少となっている(前年1235件)。
[男女比・平均年齢]
男女比率は男性67.5%(627件)、女性32.5%(302件)、平均年齢は71.5歳であり、ほぼ前年同様である。
[患者住所医療圏]
熊本市が52.9%を占め、続いて上益城(13.3%)、宇城(9.6%)、菊池(4.8%)と、熊本市に限らず複数の医療圏をカバーしており、くまちゅう画像ネットの利用など地域連携に取り組んでいる結果といえる。
[当院の特徴]
当院症例の特徴としては、肺と前立腺で全体の半数(47.1%)を占めていることが挙げられ、肺の手術、化学療法、放射線療法等を主とする呼吸器系の治療と、前立腺の手術、内分泌療法等を主とする泌尿器系の治療とに特化している。
主要部位別件数の上位からみると、肺(223件)、前立腺(215件)、大腸(122件)、胃(88件)、乳房(87件)となり、上位5部位に5大がんのうち4部位が入っている。
また、統計上では「部位区分:その他」に含まれているが、腎、尿路等の症例数も多く、前立腺、膀胱と合わせると、泌尿器系の症例数は338件に上る。同様に消化器系の症例数は248件となる。
治療に関しては、例年どおり手術の中でも体腔鏡的手術(胸腔鏡、腹腔鏡)の症例数が多く、QOLを考慮した治療を行っていると言える。また、消化器系の症例においては、胃(44件)、大腸(42件)、食道(6件)と内視鏡的治療の症例数も多く、進行度に合わせた治療の選択が可能である。
手術以外では、腫瘍内科、外来化学療法室での化学療法、放射線科での放射線療法と、内科的治療の体制も整備されており、集学的治療を行うことができる。

診断年別登録件数（参考）

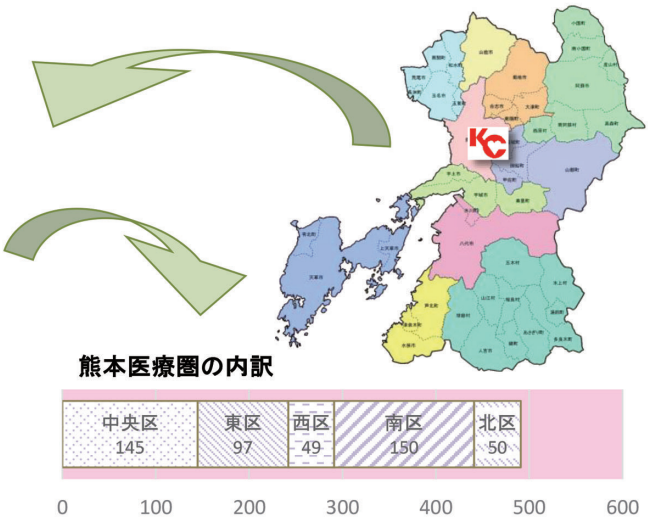


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）



※　全般において3件以下は*又は非表示

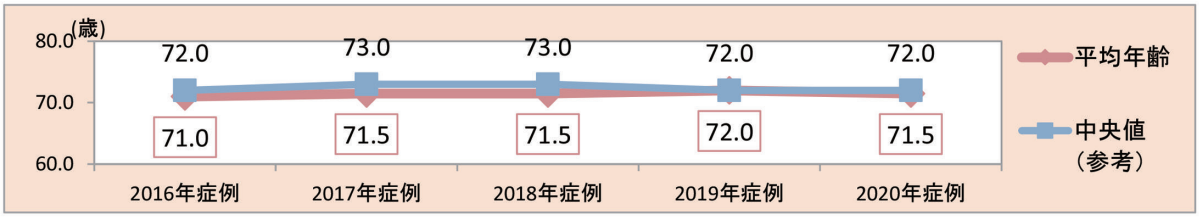


◇　医療圏別上位5部位

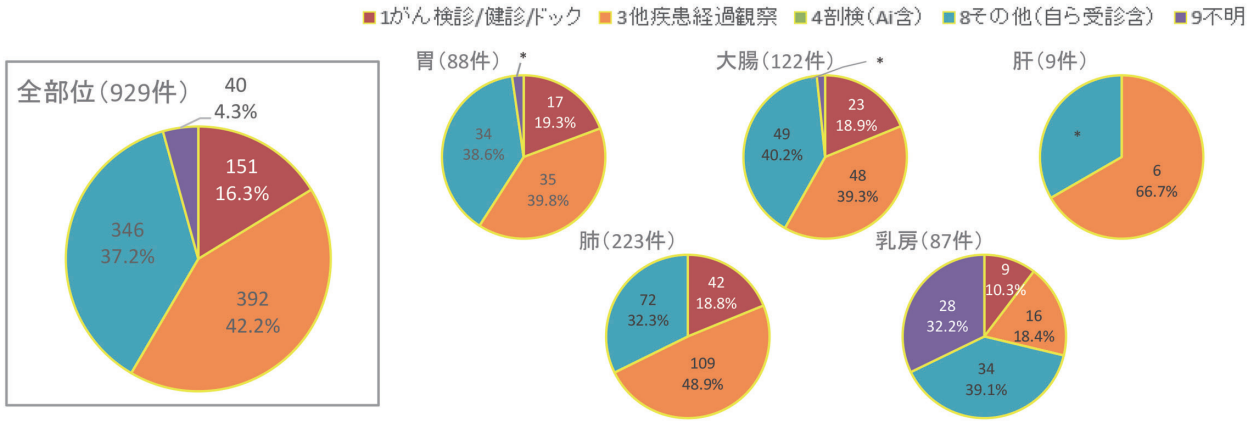
熊本市	肺	109	鹿本	前立腺	11	上益城	前立腺	29	球磨	該当部位	各*
	前立腺	100		膀胱	4		肺	23			
	大腸	77		該当部位	各*		乳房	20			
	胃	58					大腸	16			
	乳房	52					膀胱	12			
宇城	前立腺	24	菊池	前立腺	15	八代	大腸	6	天草	肺	9
	肺	21		膀胱	8		該当部位	各*		膀胱	9
	胃	13		大腸	6					前立腺	8
	膀胱	10		肺	5					大腸	4
	該当部位	各6		該当部位	各*					乳房	4
有明	肺	9	阿蘇	肺	16	芦北	該当部位	各*	県外等	肺	20
	前立腺	5		前立腺	12					前立腺	7
	該当部位	各*		膀胱	8					大腸	4
				該当部位	各*					該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

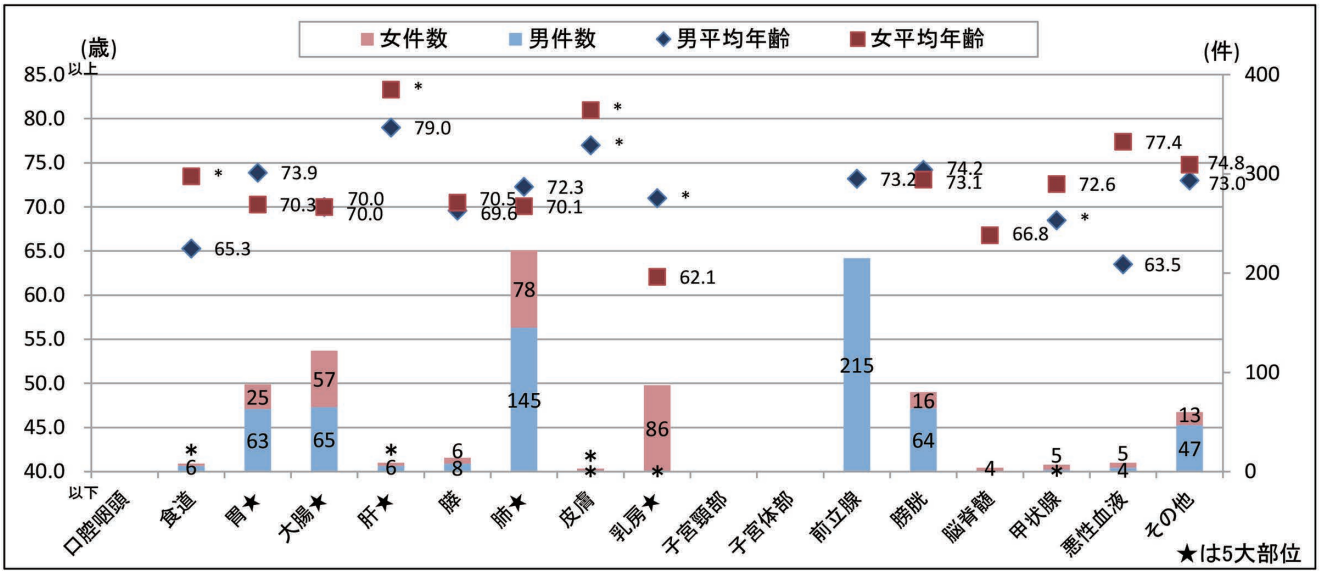
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	215
肺	145
大腸	65
膀胱	64
胃	63
その他	47
膵	8
食道	6
肝	6
悪性血液	4
甲状腺	*
皮膚	*
乳房	*
口腔咽頭	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	627

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	4

40～49歳	
該当部位	各*
計	10

50～59歳	
肺	10
前立腺	10
大腸	6
胃	5
その他	4
該当部位	各*
計	39

60～69歳	
前立腺	66
肺	42
大腸	19
膀胱	11
胃	10
など	
計	164

70～79歳	
前立腺	92
肺	59
膀胱	31
胃	25
大腸	22
など	
計	257

80～89歳	
前立腺	42
肺	31
胃	20
該当部位	各13
など	
計	138

90歳～	
前立腺	5
膀胱	5
該当部位	各*
計	15

女性全体	
乳房	86
肺	78
大腸	57
胃	25
膀胱	16
その他	13
膵	6
甲状腺	5
悪性血液	5
脳脊髄	4
肝	*
食道	*
皮膚	*
口腔咽頭	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
計	302

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	5

40～49歳	
乳房	14
大腸	4
該当部位	各*
計	22

50～59歳	
乳房	17
大腸	7
肺	7
胃	4
該当部位	各*
計	38

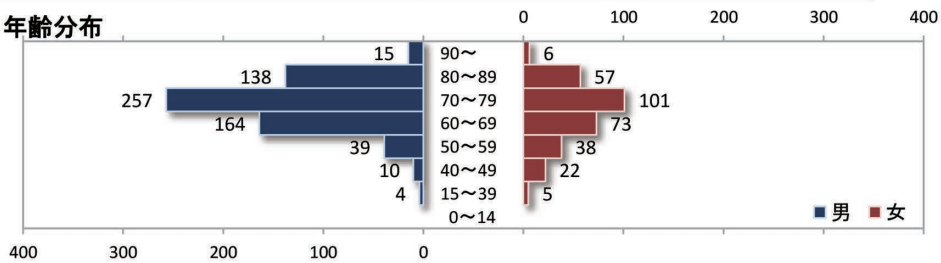
60～69歳	
乳房	24
肺	17
大腸	13
胃	8
その他	4
該当部位	各*
計	73

70～79歳	
肺	29
大腸	21
乳房	20
胃	8
膀胱	8
該当部位	各*
計	101

80～89歳	
肺	21
大腸	12
乳房	7
その他	5
該当部位	各4
など	
計	57

90歳～	
該当部位	各*
計	6

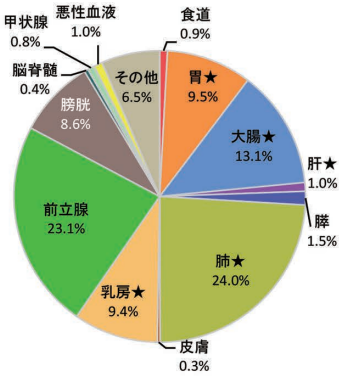
年齢分布



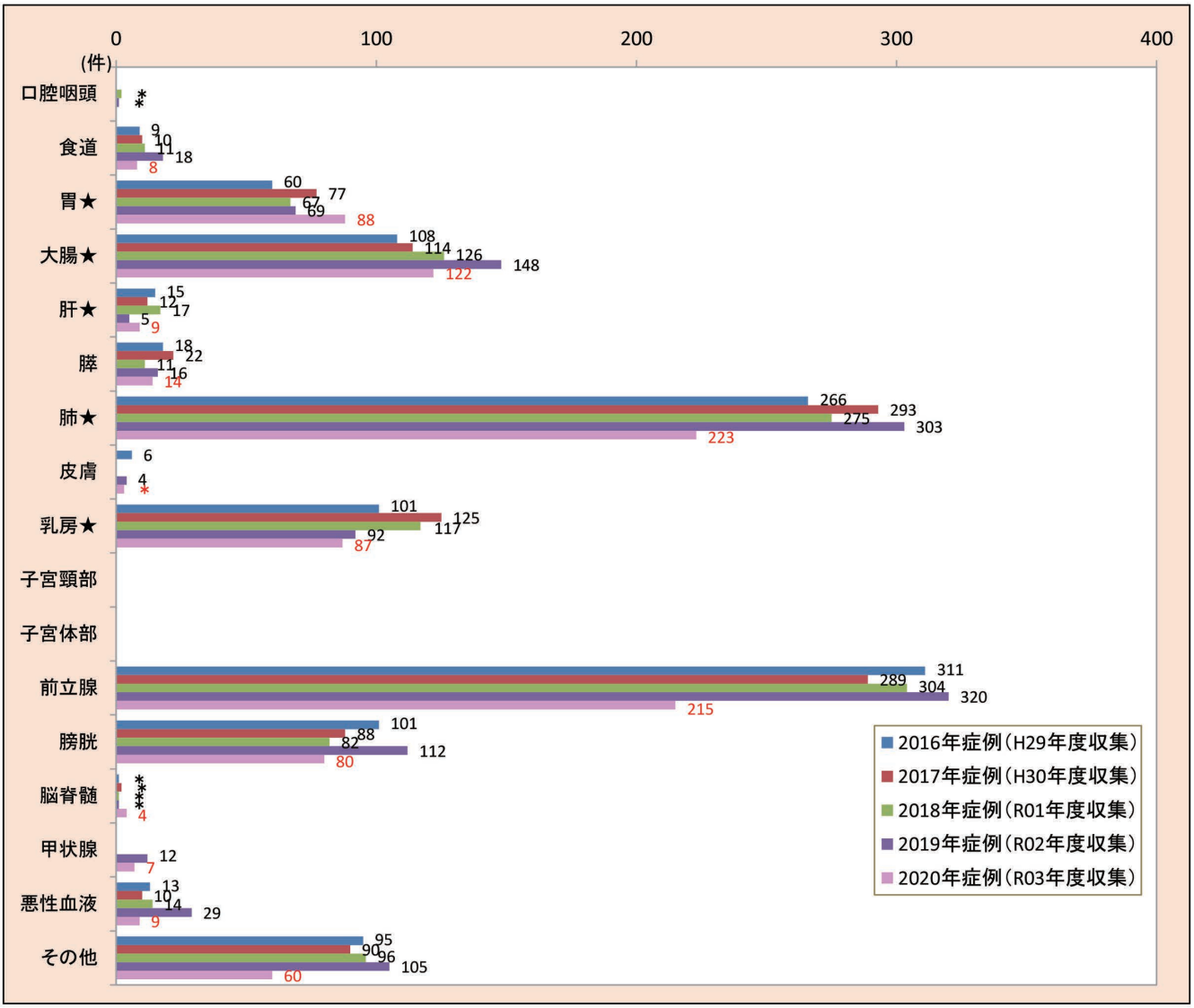
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭			*	*	
食道	9	10	11	18	8
胃★	60	77	67	69	88
大腸★	108	114	126	148	122
肝★	15	12	17	5	9
膵	18	22	11	16	14
肺★	266	293	275	303	223
皮膚	6			4	*
乳房★	101	125	117	92	87
子宮頸部	（頸部・体部）	*（頸部・体部）	（頸部・体部）		
子宮体部					
前立腺	311	289	304	320	215
膀胱	101	88	82	112	80
脳脊髄	*	*	*	*	4
甲状腺				12	7
悪性血液疾患	13	10	14	29	9
その他	95	90	96	105	60
計	1,104	1,133	1,123	1,235	929

2020年診断症例　主要部位別割合

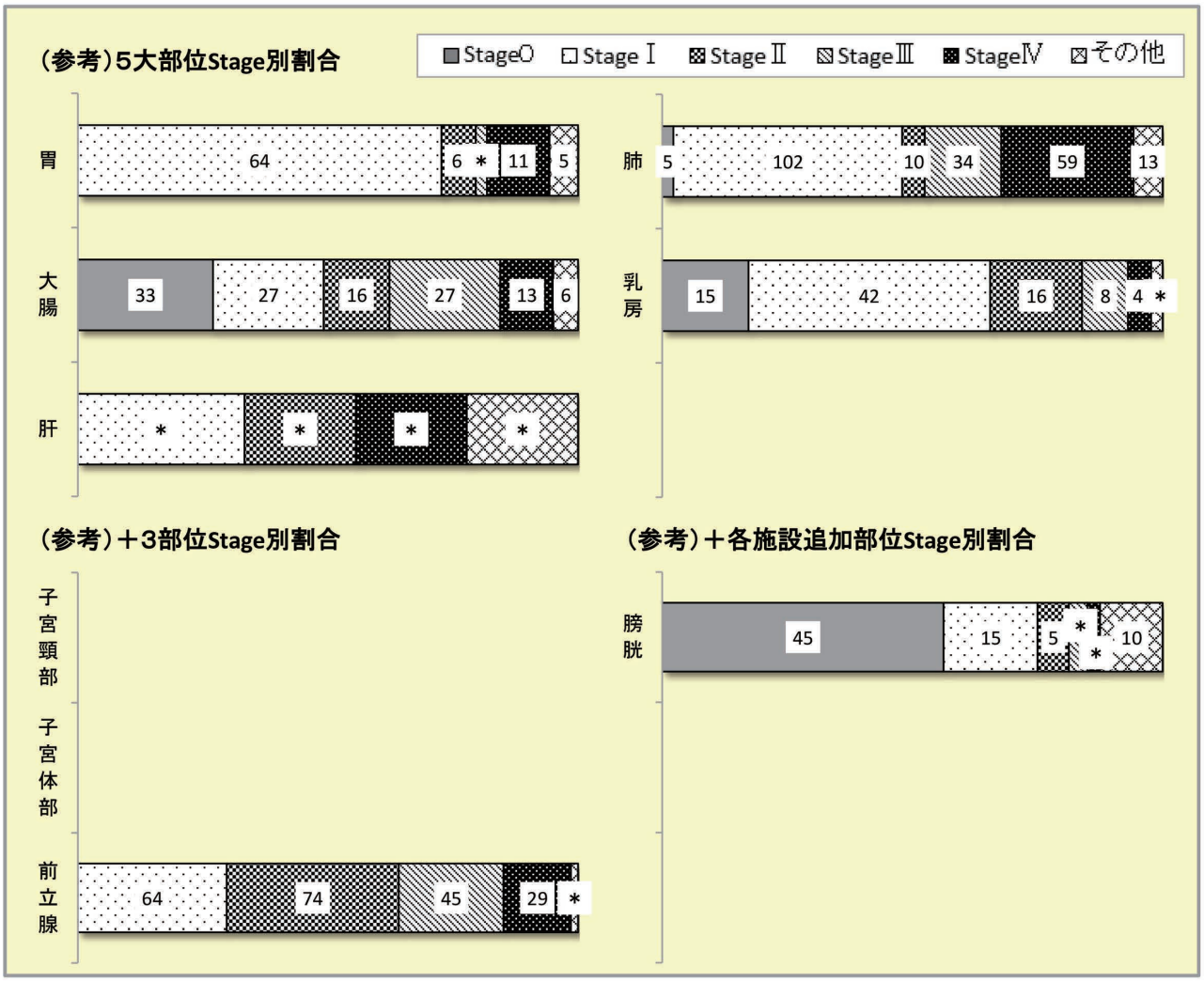


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

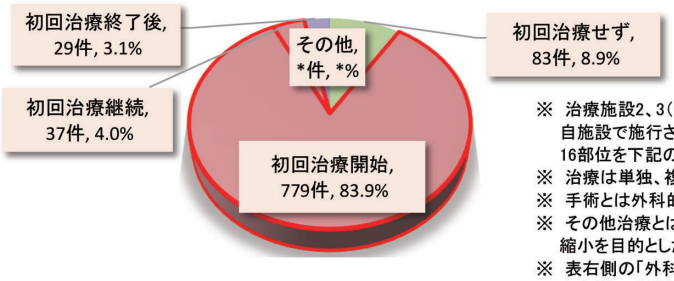
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	8	*	*			*	*
胃★	88		64	6	*	11	5
大腸★	122	33	27	16	27	13	6
肝★	9		*	*		*	*
膵	14		*	*	*	6	
肺★	223	5	102	10	34	59	13
皮膚	*		*				*
乳房★	87	15	42	16	8	4	*
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	215		64	74	45	29	*
膀胱	80	45	15	5	*	*	10
脳脊髄	4						4
甲状腺	7		*	*			*
悪性血液疾患	9		*			*	7
その他	60	*	27	7	7	6	11
計	929	103	355	141	128	134	68



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

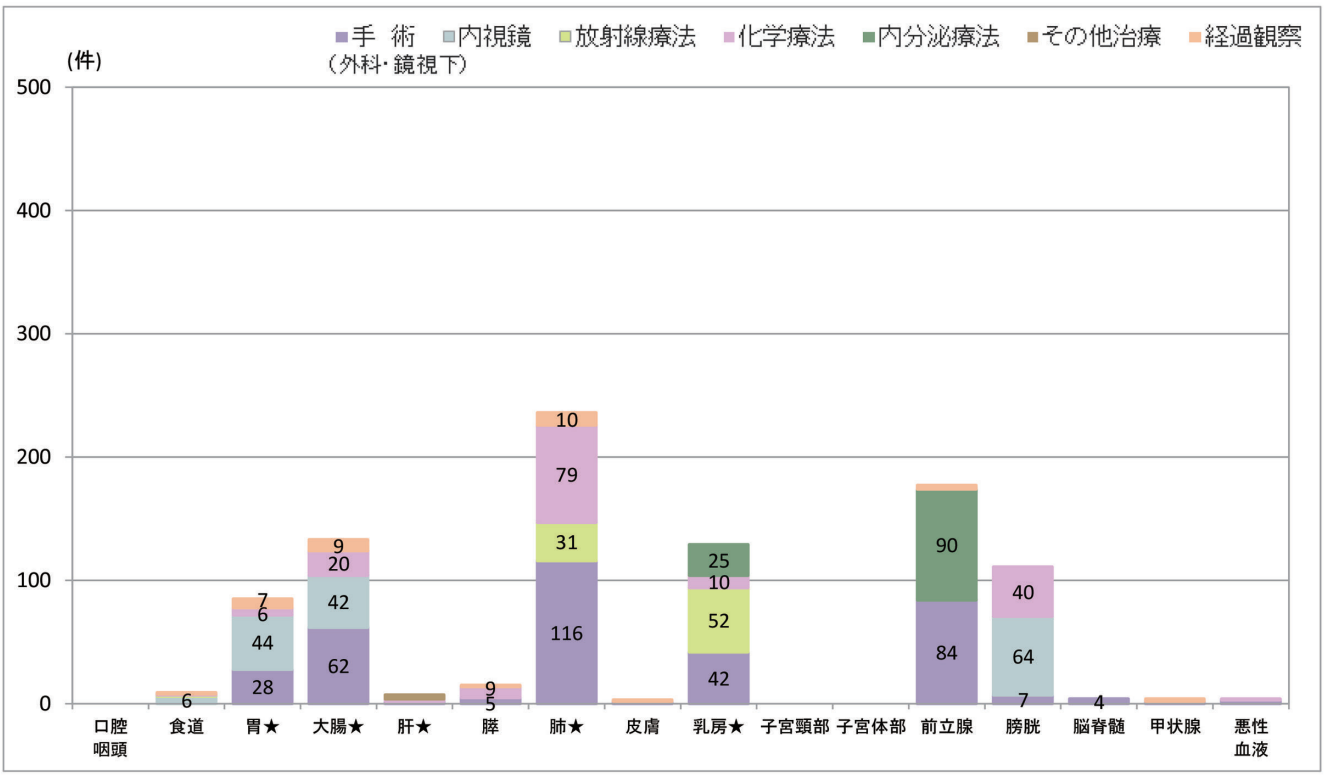
治療施設	件数
1初回治療せず	83
2初回治療開始	779
3初回治療継続	37
4初回治療終了後	29
8その他	*
計	929



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道		6	*	*			*	9	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	28	44		6			7	85	95.8%	4.2%	0.0%
大腸★	62	42		20			9	133	95.1%	4.9%	0.0%
肝★	*			*		*		7	100.0%	0.0%	0.0%
膵	5			9			*	15	100.0%	0.0%	0.0%
肺★	116		31	79			10	236	99.1%	0.9%	0.0%
皮膚	*						*	*	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	42		52	10	25			129	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺	84				90		*	177	100.0%	0.0%	0.0%
膀胱	7	64		40				111	71.8%	28.2%	0.0%
脳脊髄	4							4	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺	*						*	4	100.0%	0.0%	0.0%
悪性血液疾患	*			*				4	66.7%	33.3%	0.0%
計	357	156	84	168	115	*	34	917			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	国保　水俣市立総合医療センター

○基本情報

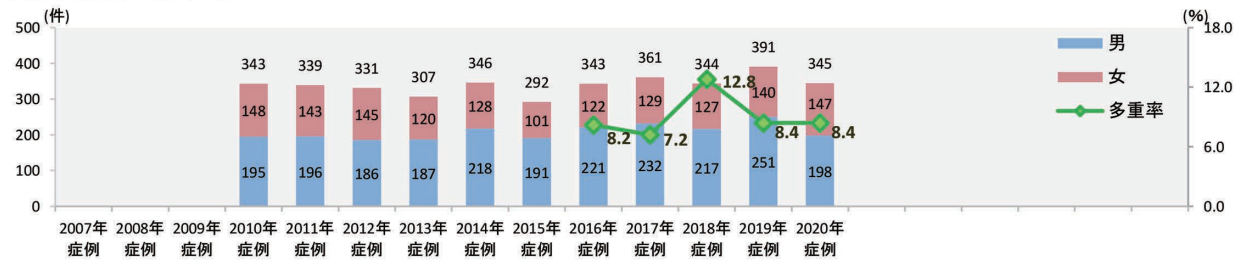
【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	水俣市天神町1丁目2番1号		
病　床　数	361床（一般357床；感染症4床）		
診 療 科 数	19科		
がん診療連携拠点病院指定日	2010.08.17		
がん登録開始基準日	2010.01.01		
平均在院日数	21.4（日）		
入院患者数	4,324（人）		
外来患者延数	166,116（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	1,360（件）		
院内がん登録件数	345（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　0　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

〈登録件数〉　全体で345件（前年391件）と減少したが、2018年（344件）とは同等であった。
〈患者住所医療圏〉　主な医療圏は担当である芦北（水俣・津奈木・芦北）の227件（66.7%）である一方、鹿児島県から来院する患者が115件（33.3%）あり、当院の特徴でもある県外からの来院が例年通り3割以上を占めていた。
〈平均年齢　男女比〉　登録症例の全体の平均年齢は74.6歳、70歳以上の割合は67.8%と前年よりも高く、以前として登録症例の高齢化は継続している。男女比は男性198件（57.4%）、女性147件（42.6%）と女性の件数は前年と変わらなかったが、男性の件数が減少していた。
〈部位別登録件数〉　5大癌は肺癌49件（14.2%）、大腸癌64件（18.6%）、乳癌29件（8.4%）、胃癌26件（7.5%）、肝癌16件（4.6%）であり、大腸癌は増加傾向である一方、肺癌は減少した。その他の癌腫は例年通りの件数であった。
〈発見経緯〉　他疾患観察中が半分を占めており（173件　58%）、例年よりも割合は大きかった。一方で、がん検診からは48件(13.9%)であり前年と同等であった。
〈Stageと治療内容〉　全体のStage別の割合は0期は10.7%、Ⅰ期は32.8%、Ⅱ－Ⅲ期は31.3%、Ⅳ期は19.4%であった。当院で施行した初回治療の割合は、手術＋内視鏡による治療が145件（51.9%）であり主に胃癌、大腸癌、皮膚癌、乳癌、膀胱癌が占めていた。化学療法および内分泌療法は106件（38.0%）であり、主に肺癌、前立腺癌、膵癌、乳癌が占めていた。
〈特徴〉　全体の登録件数が減少していたが、2018年の件数とは変わりなかった。癌の発見経緯の半数以上が他疾患経過観察であり他施設同様、新型コロナウイルスの影響の可能性も考えられた（有症状時の自らの新規受診の割合が減っている可能性が示唆される）。
　当院は県南端のがん診療連携拠点病院であり、県境の病院である。鹿児島県出水市、伊佐市と接しているため、熊本県内だけではなく鹿児島県から来院されていることが多い。
　また当院をかかりつけとする患者や併存疾患を有する高齢の患者が多い状況である。地域根付いた総合病院の強みを活かし、幅広い専門診療科によるがん診療と、他職種連携によるチーム医療で安全で確実ながん診療を行い、在宅復帰に向けての地域支援センター・地域包括ケアシステムを用いて、安心して退院できるようにサポートしている。
　さらに「くまもとメディカルネットワーク」にも積極的に参加し、熊本大学病院との連携をすすめることで情報を交換し、地域でも最新の質の高いがん医療が提供できるように努めている。

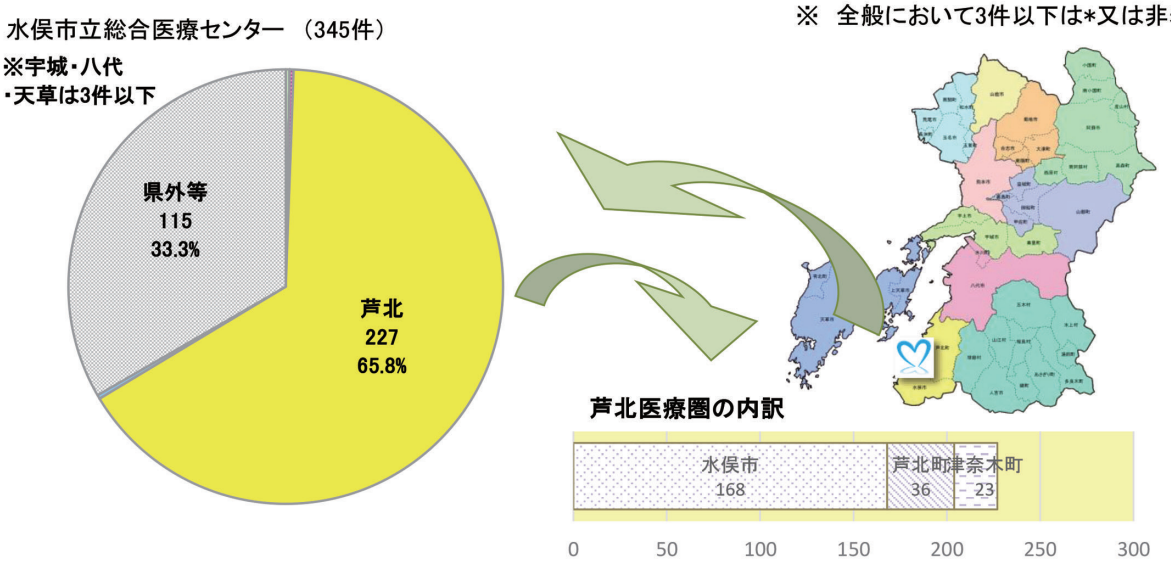
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

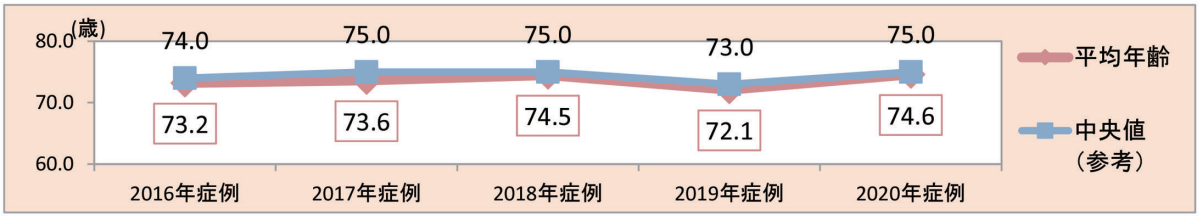


◇　医療圏別上位5部位

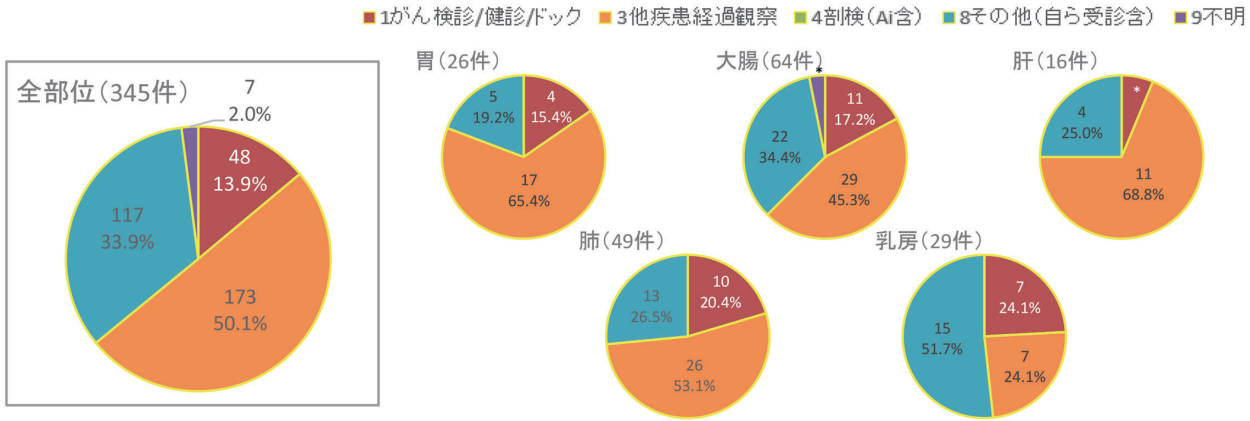
熊本市			鹿本			上益城			球磨		
宇城	該当部位	各*	菊池			八代	該当部位	各*	天草	該当部位	各*
有明			阿蘇			芦北	大腸	49	県外等	肺	21
							肺	28		大腸	14
							乳房	23		皮膚	13
							前立腺	23		膀胱	12
							胃	22		該当部位	各10

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

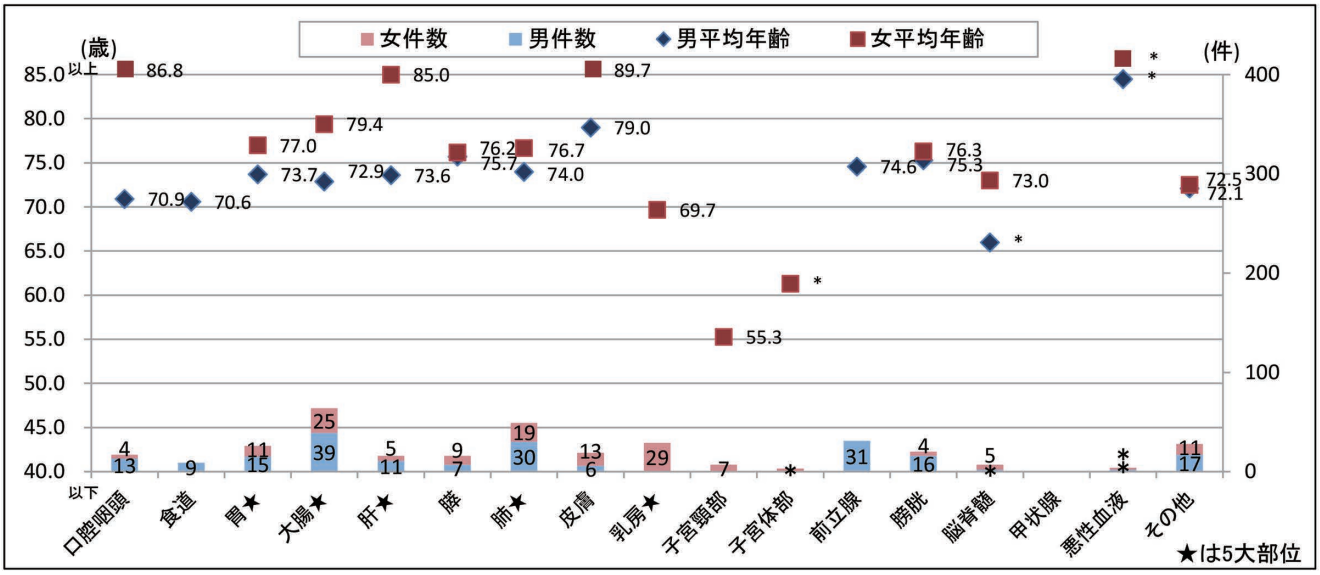
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	39
前立腺	31
肺	30
その他	17
膀胱	16
胃	15
口腔咽頭	13
肝	11
食道	9
膵	7
皮膚	6
脳脊髄	*
悪性血液	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	198

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
該当部位	各*
計	4

60～69歳	
大腸	16
前立腺	11
胃	6
肺	6
該当部位	各5
など	
計	65

70～79歳	
大腸	10
肺	10
前立腺	10
その他	7
膀胱	6
など	
計	66

80～89歳	
大腸	10
肺	10
前立腺	10
該当部位	各4
など	
計	56

90歳～	
該当部位	各*
計	4

女性全体	
乳房	29
大腸	25
肺	19
皮膚	13
胃	11
その他	11
膵	9
子宮頸部	7
肝	5
脳脊髄	5
口腔咽頭	4
膀胱	4
子宮体部	*
悪性血液	*
食道	
前立腺	
甲状腺	
計	147

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	9

50～59歳	
該当部位	各*
計	10

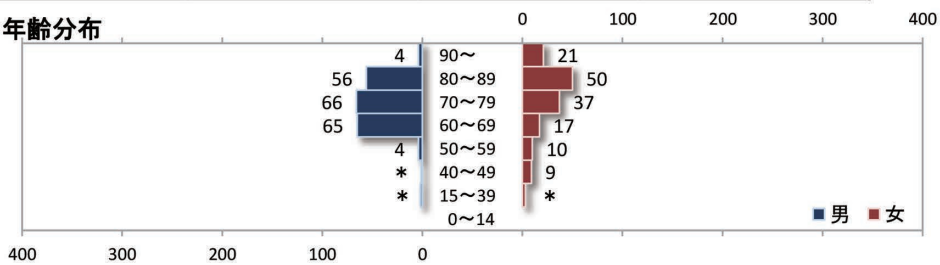
60～69歳	
乳房	5
肺	4
該当部位	各*
計	17

70～79歳	
乳房	9
肺	6
胃	4
膵	4
その他	4
該当部位	各*
計	37

80～89歳	
大腸	11
肺	7
乳房	7
肝	5
該当部位	各4
など	
計	50

90歳～	
皮膚	8
大腸	6
該当部位	各*
計	21

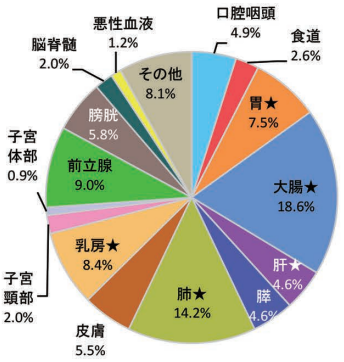
年齢分布



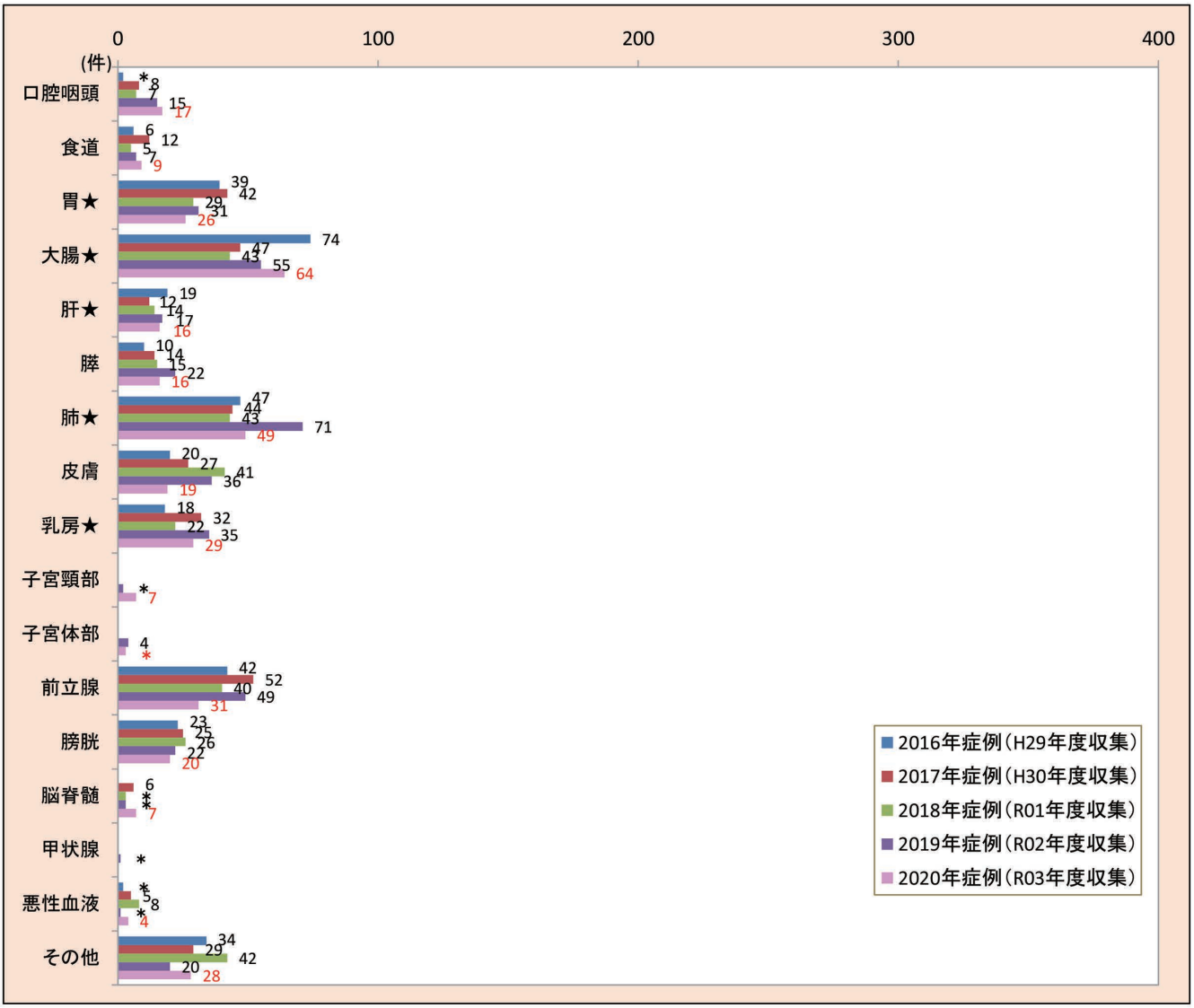
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	*	8	7	15	17
食道	6	12	5	7	9
胃★	39	42	29	31	26
大腸★	74	47	43	55	64
肝★	19	12	14	17	16
膵	10	14	15	22	16
肺★	47	44	43	71	49
皮膚	20	27	41	36	19
乳房★	18	32	22	35	29
子宮頸部	7（頸部・体部）	6（頸部・体部）	6（頸部・体部）	*	7
子宮体部				4	*
前立腺	42	52	40	49	31
膀胱	23	25	26	22	20
脳脊髄		6	*	*	7
甲状腺				*	
悪性血液疾患	*	5	8	*	4
その他	34	29	42	20	28
計	343	361	344	391	345

2020年診断症例　主要部位別割合



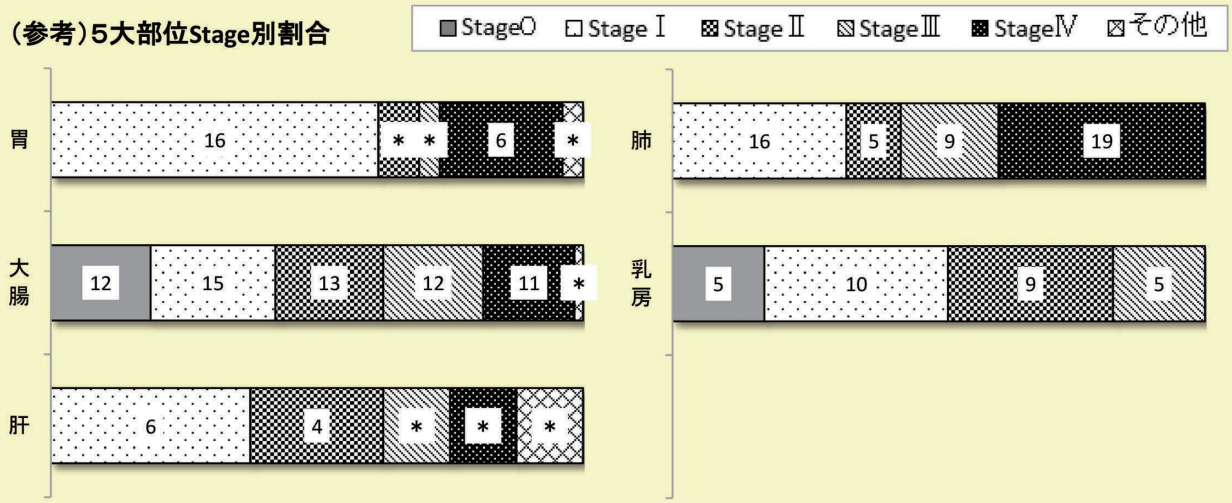
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



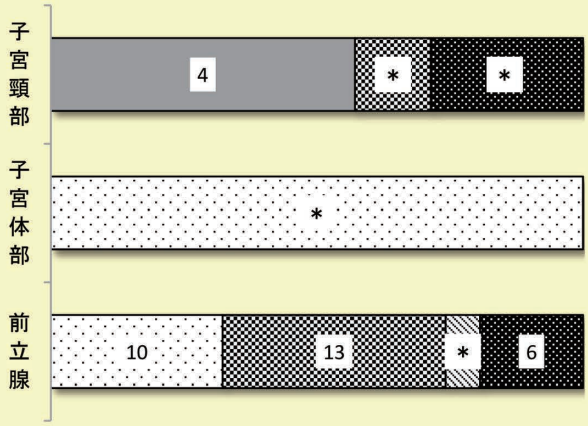
⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	17	*	4	*	*	5	*
食道	9	*	6			*	
胃★	26		16	*	*	6	*
大腸★	64	12	15	13	12	11	*
肝★	16		6	4	*	*	*
膵	16		*	*	4	7	
肺★	49		16	5	9	19	
皮膚	19	*	12	*	*	*	
乳房★	29	5	10	9	5		
子宮頸部	7	4		*		*	
子宮体部	*		*				
前立腺	31		10	13	*	6	
膀胱	20	10	*	*	*	*	*
脳脊髄	7						7
甲状腺	0						
悪性血液疾患	4		*				*
その他	28	*	8	6	4	6	*
計	345	37	113	64	44	67	20

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

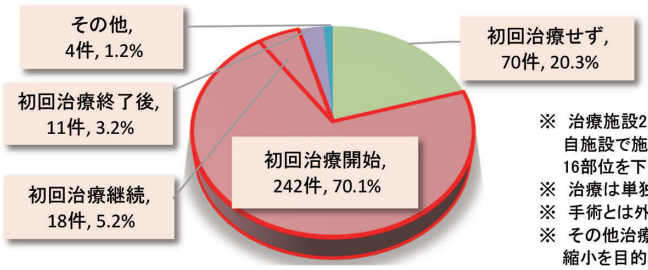


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

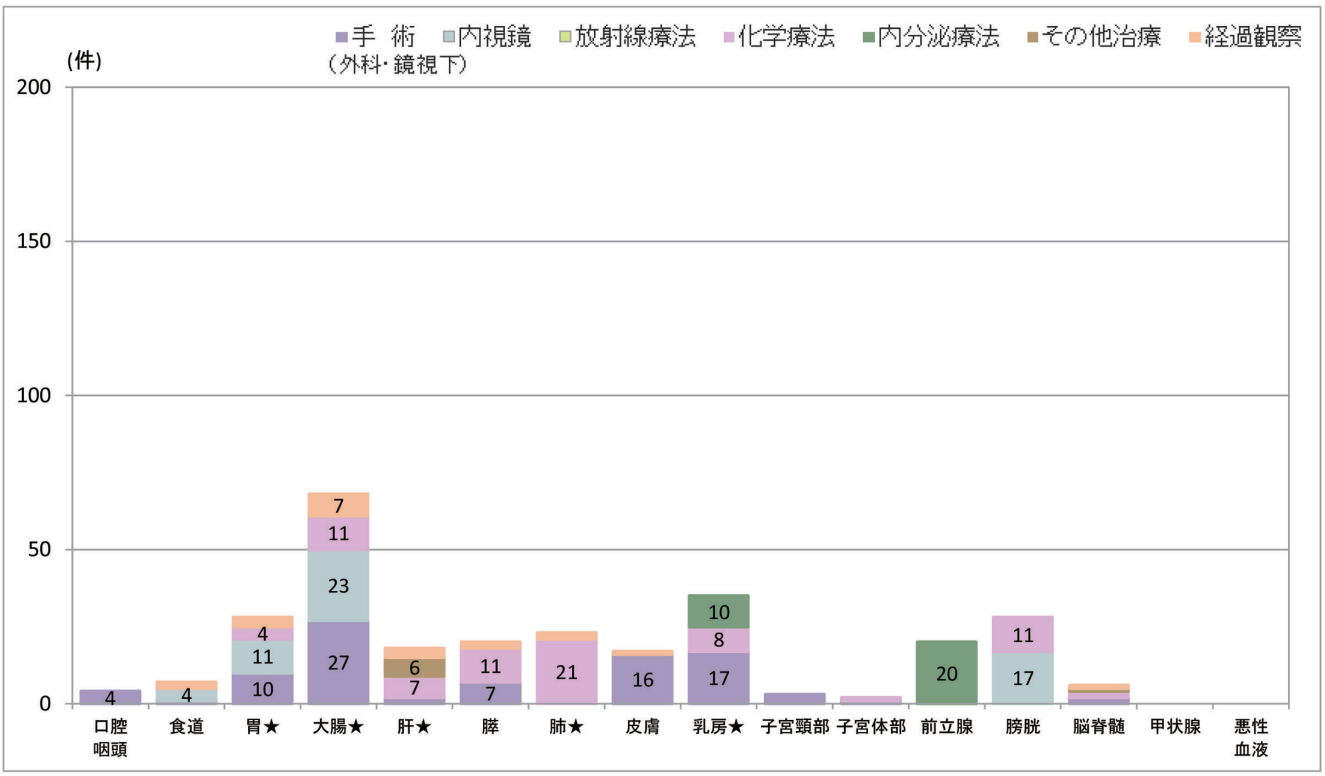
治療施設	件数
1初回治療せず	70
2初回治療開始	242
3初回治療継続	18
4初回治療終了後	11
8その他	4
計	345



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

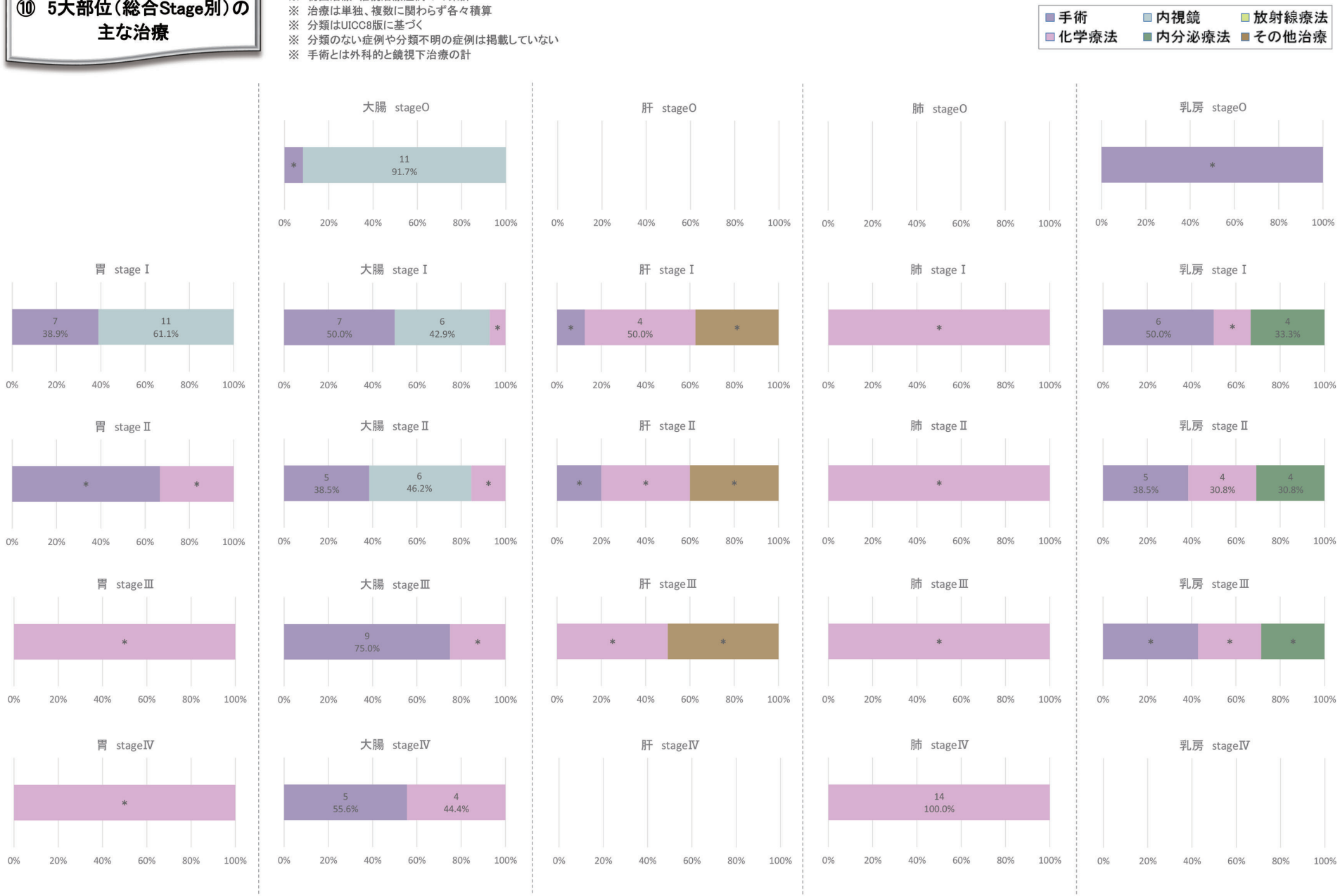
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	4							4	100.0%	0.0%	0.0%
食道	*	4					*	7	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	10	11		4			*	28	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	27	23		11			7	68	94.0%	6.0%	0.0%
肝★	*			7		6	*	18	100.0%	0.0%	0.0%
膵	7			11			*	20	85.7%	14.3%	0.0%
肺★				21			*	23			
皮膚	16						*	17	87.5%	12.5%	0.0%
乳房★	17			8	10			35	94.1%	5.9%	0.0%
子宮頸部	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	*			*				*	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺					20			20			
膀胱		17		11				28	64.7%	35.3%	0.0%
脳脊髄	*			*		*	*	6	100.0%	0.0%	0.0%
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	90	55	0	76	30	7	21	279			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計



大腸がん領域の関連ページへ

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	医療法人創起会　くまもと森都総合病院

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

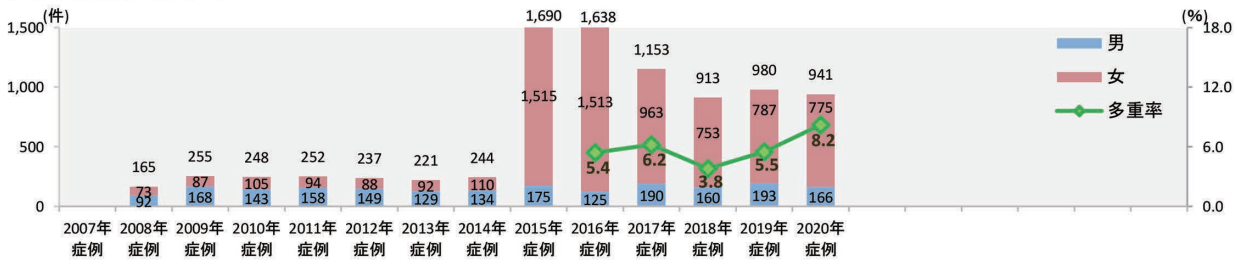
所　在　地	熊本市中央区大江3-2-65		
病　床　数	199床(一般199)		
診療科数	23科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07		
がん登録開始基準日	2008.04.01		
平均在院日数	10.9（日）		
入院患者数	5,080（人）		
外来患者延数	93,690（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	15
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	9,420（件）		
院内がん登録件数	941（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

2020年診断症例として941件のがん登録を行った。2019年症例の登録数980件と比べ、2020年登録件数は39件減少している。登録数を部位別で見ると、2019年症例と比較して大腸、肝臓、膵臓の件数は増加しており、胃、皮膚、子宮頸部、悪性血液疾患が減少している。

【当院の特徴】
2020年データでは、乳がんが502例(53.3%)と多く、悪性血液疾患134例(14.2%)、子宮がん103例(10.9%)、肝がん48例(5.1%)、大腸がん42例(4.5%)と合わせて全体のほぼ9割を占めている。その他は皮膚がん31例(3.3%)、膵臓がん19例(2%)、胃癌18例(1.9%)、肺がん13例(1.4%)の順に多かった。主ながんについては、ほぼ自施設で診断から治療まで施行されている。
【患者の年齢層】
登録患者の平均年齢は62.3歳(男性72.7歳、女性60.05歳)。男女比は約2:8と女性が多い傾向にあった。主な内訳は乳がんが 58.8歳、悪性血液疾患 69.6歳、子宮がん 44.8歳、肝がん74.1歳、大腸がん 71.5歳であった。
【患者の医療圏】
患者住所は、半数以上(62.4%)が熊本市内だったが、その他にも菊池12.2%、天草4.5%、有明3.8%、上益城3.7%、宇城3.3%、などの医療圏からの受診が多い。昨年との比較では阿蘇、菊池　天草、県外からの受診が増加した。
【部位別治療内容】
乳がんに対しては手術療法、化学療法、内分泌療法と集学的に治療が実施されている。造血器腫瘍は、化学療法が施行されており、自己血末梢血幹細胞移植を併用した大量化学療法も施行されている。皮膚がん、子宮がん、胃がん、大腸がんは手術療法を中心とした治療が行われている。肝臓がんについては他院で治療後の後治療目的にて紹介になる場合が多いため手術症例は少なく、TACEなどを含む化学療法を施行した症例が多くなっている。
□

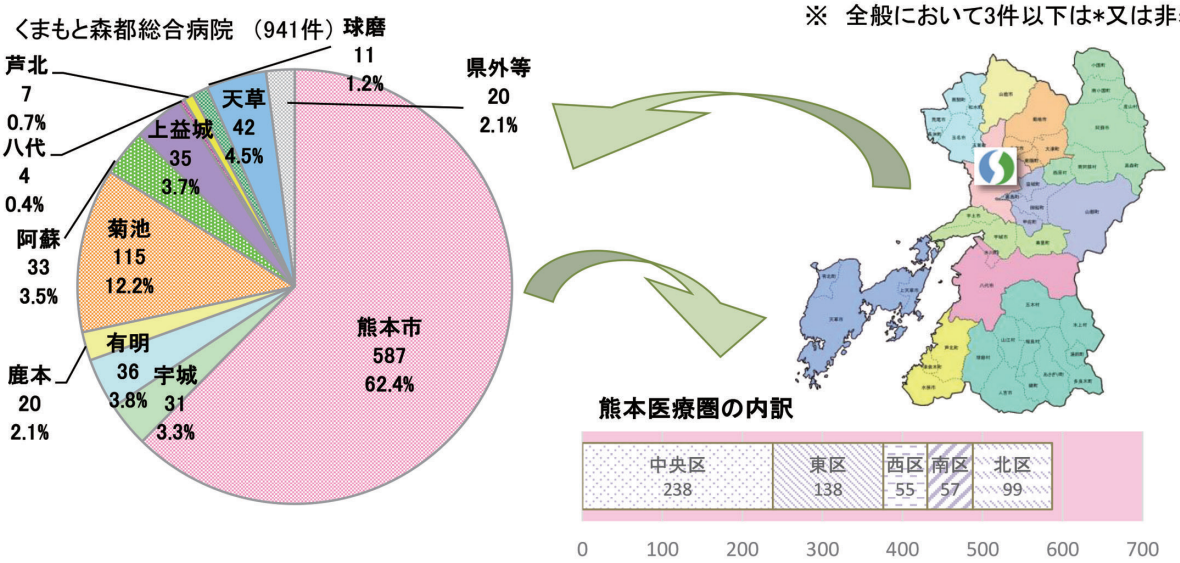
診断年別登録件数(参考)



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

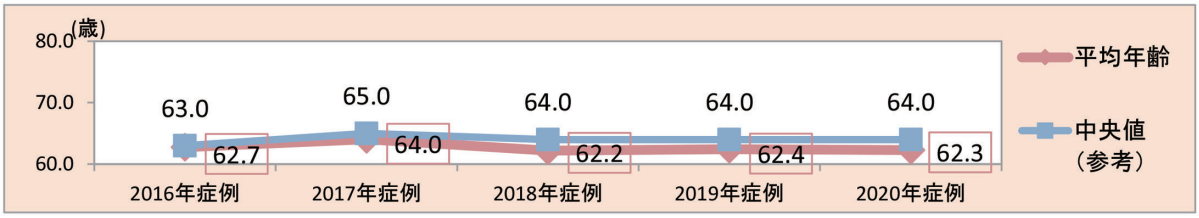


◇　医療圏別上位5部位

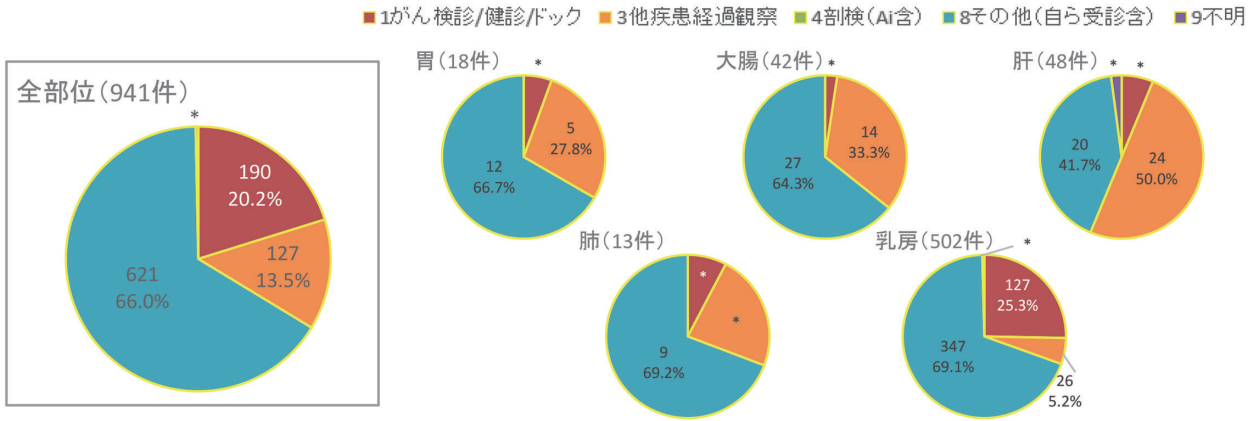
熊本市	乳房	295	鹿本	乳房	11	上益城	乳房	20	球磨	乳房	7
	悪性血液	74		該当部位	各*		子宮頸部	4		該当部位	各*
	子宮頸部	58					該当部位	各*			
	大腸	33									
	肝	31									
宇城	乳房	18	菊池	乳房	58	八代	該当部位	各*	天草	乳房	32
	悪性血液	6		悪性血液	23					悪性血液	6
	該当部位	各*		子宮頸部	17					該当部位	各*
				肝	6						
				該当部位	各*						
有明	乳房	30	阿蘇	乳房	15	芦北	該当部位	各*	県外等	乳房	11
	該当部位	各*		悪性血液	9					該当部位	各*
				該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

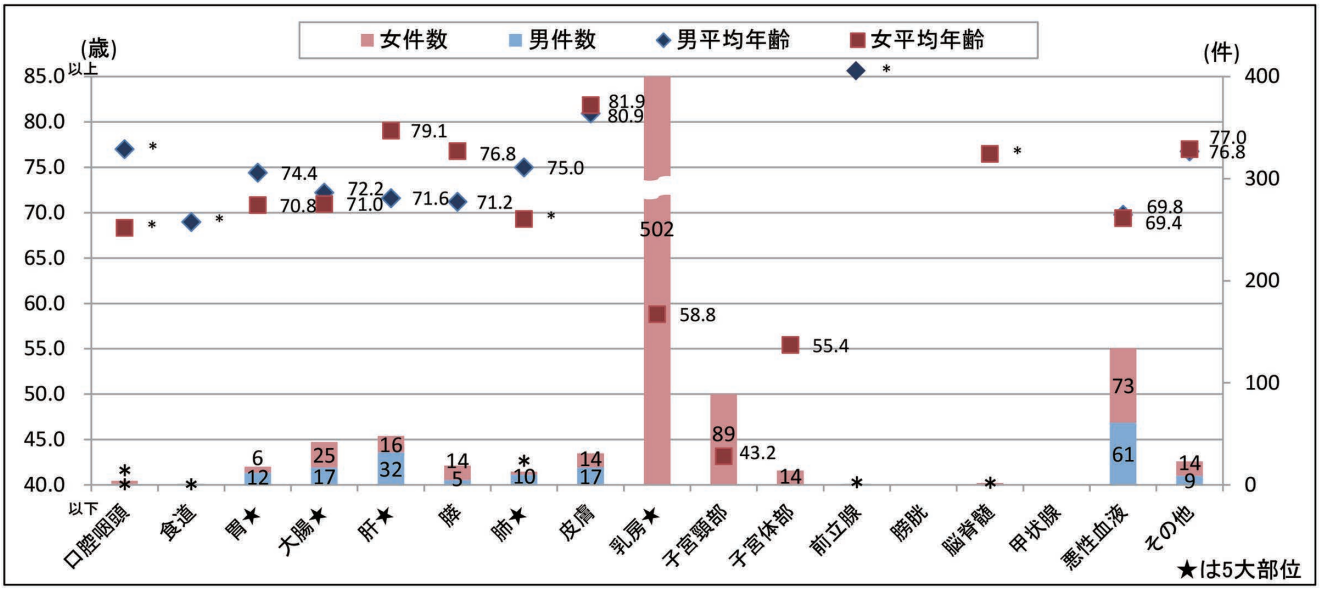
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
悪性血液	61
肝	32
大腸	17
皮膚	17
胃	12
肺	10
その他	9
膵	5
口腔咽頭	*
食道	*
前立腺	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
計	166

0～14歳	
計	44

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
悪性血液	5
該当部位	各*
計	7

50～59歳	
悪性血液	4
該当部位	各*
計	9

60～69歳	
悪性血液	18
肝	12
肺	4
該当部位	各*
計	45

70～79歳	
肝	12
悪性血液	9
皮膚	7
胃	5
大腸	5
該当部位	各*
計	47

80～89歳	
悪性血液	21
大腸	6
肝	5
皮膚	5
該当部位	各*
計	11

90歳～	
皮膚	4
該当部位	各*

女性全体	
乳房	502
子宮頸部	89
悪性血液	73
大腸	25
肝	16
膵	14
皮膚	14
子宮体部	14
その他	14
胃	6
口腔咽頭	*
肺	*
脳脊髄	*
食道	
前立腺	
膀胱	
甲状腺	
計	775

0～14歳	
計	164

15～39歳	
子宮頸部	37
乳房	22
該当部位	各*
計	64

40～49歳	
乳房	134
子宮頸部	31
悪性血液	6
該当部位	各*
計	175

50～59歳	
乳房	105
子宮頸部	12
悪性血液	9
子宮体部	5
該当部位	各*
計	136

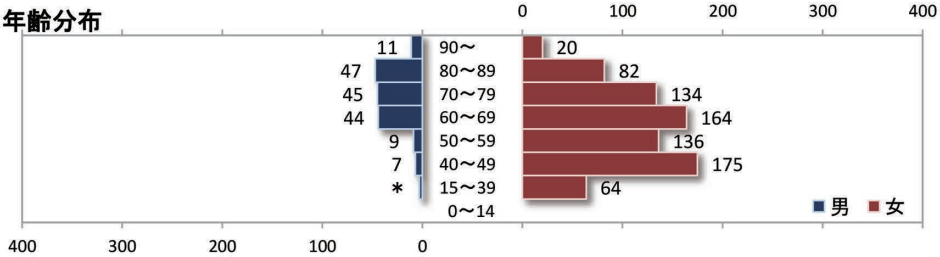
60～69歳	
乳房	120
悪性血液	14
大腸	5
子宮頸部	5
胃	4
該当部位	各*
計	134

70～79歳	
乳房	80
悪性血液	21
大腸	10
肝	8
該当部位	各*
計	82

80～89歳	
乳房	39
悪性血液	16
大腸	7
肝	5
該当部位	各4
など	
計	20

90歳～	
皮膚	5
悪性血液	4
その他	4
該当部位	各*
計	20

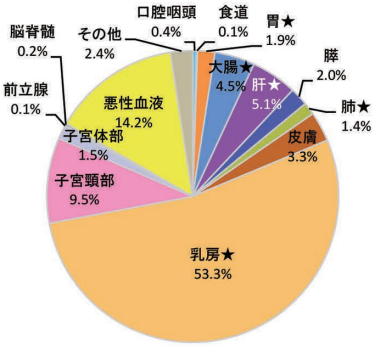
年齢分布



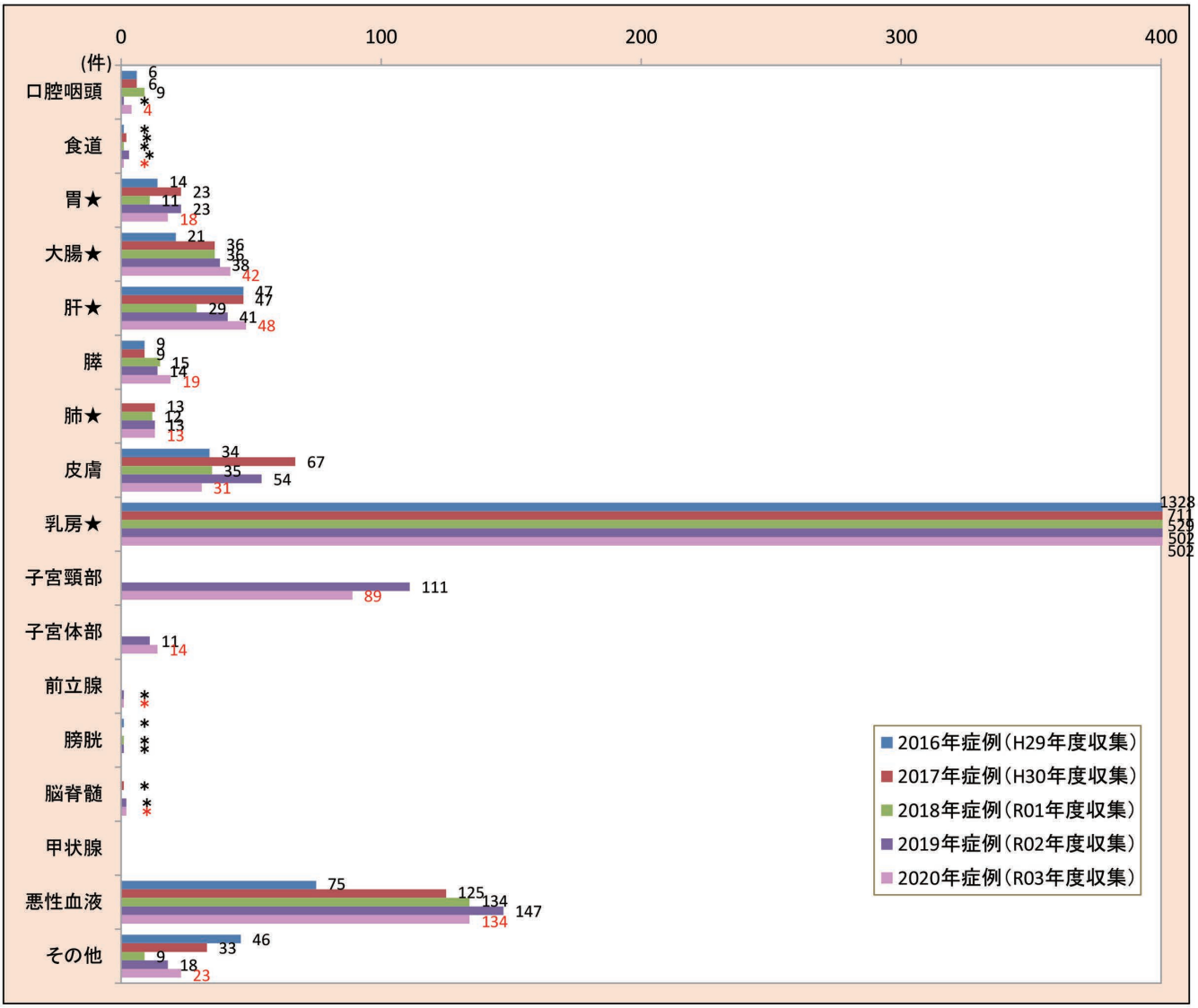
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	6	6	9	*	4
食道	*	*	*	*	*
胃★	14	23	11	23	18
大腸★	21	36	36	38	42
肝★	47	47	29	41	48
膵	9	9	15	14	19
肺★		13	12	13	13
皮膚	34	67	35	54	31
乳房★	1328	711	529	502	502
子宮頸部	56（頸部・体部）	80（頸部・体部）	92（頸部・体部）	111	89
子宮体部				11	14
前立腺				*	*
膀胱	*		*	*	
脳脊髄		*		*	*
甲状腺					
悪性血液疾患	75	125	134	147	134
その他	46	33	9	18	23
計	1,638	1,153	913	980	941

2020年診断症例　主要部位別割合



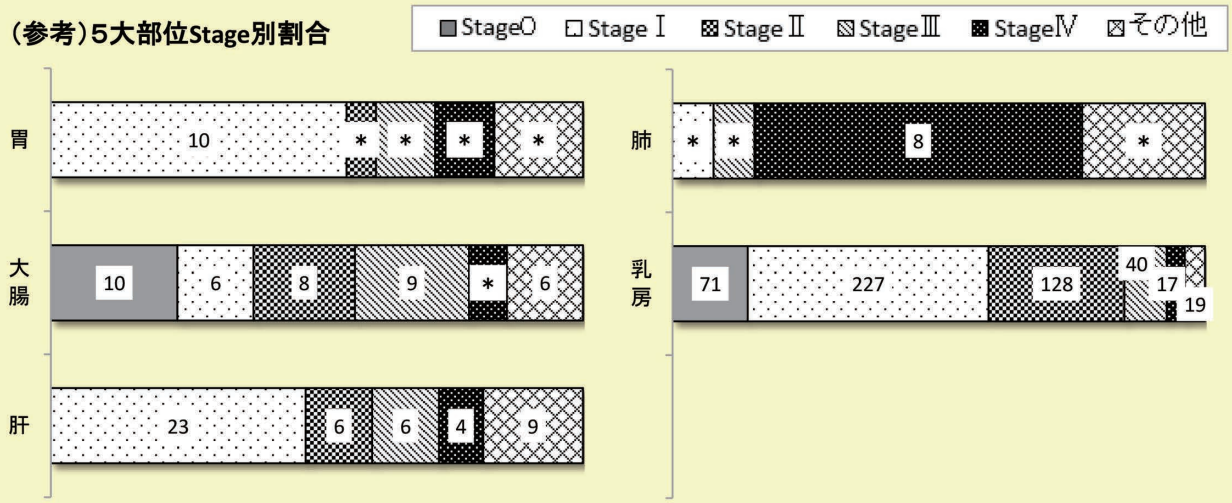
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



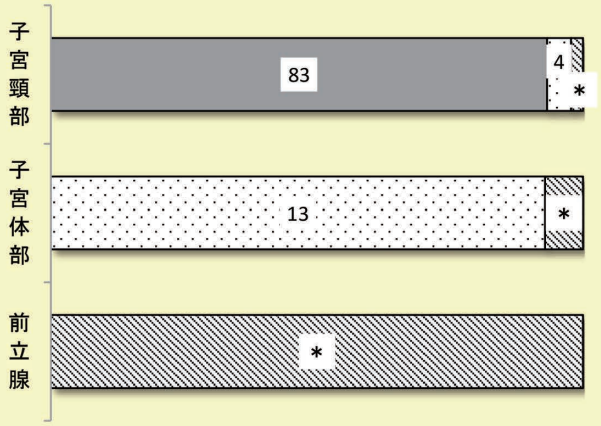
⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	4		*	*		*	
食道	*		*				
胃★	18		10	*	*	*	*
大腸★	42	10	6	8	9	*	6
肝★	48		23	6	6	4	9
膵	19		*	*		*	12
肺★	13		*		*	8	*
皮膚	31	13	13	*			*
乳房★	502	71	227	128	40	17	19
子宮頸部	89	83	4		*		
子宮体部	14		13		*		
前立腺	*				*		
膀胱	0						
脳脊髄	*						*
甲状腺	0						
悪性血液疾患	134		18	5	11	12	88
その他	23	*	8	*		*	9
計	941	179	327	156	73	52	154

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

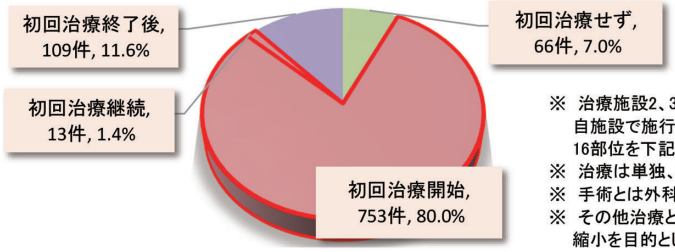


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

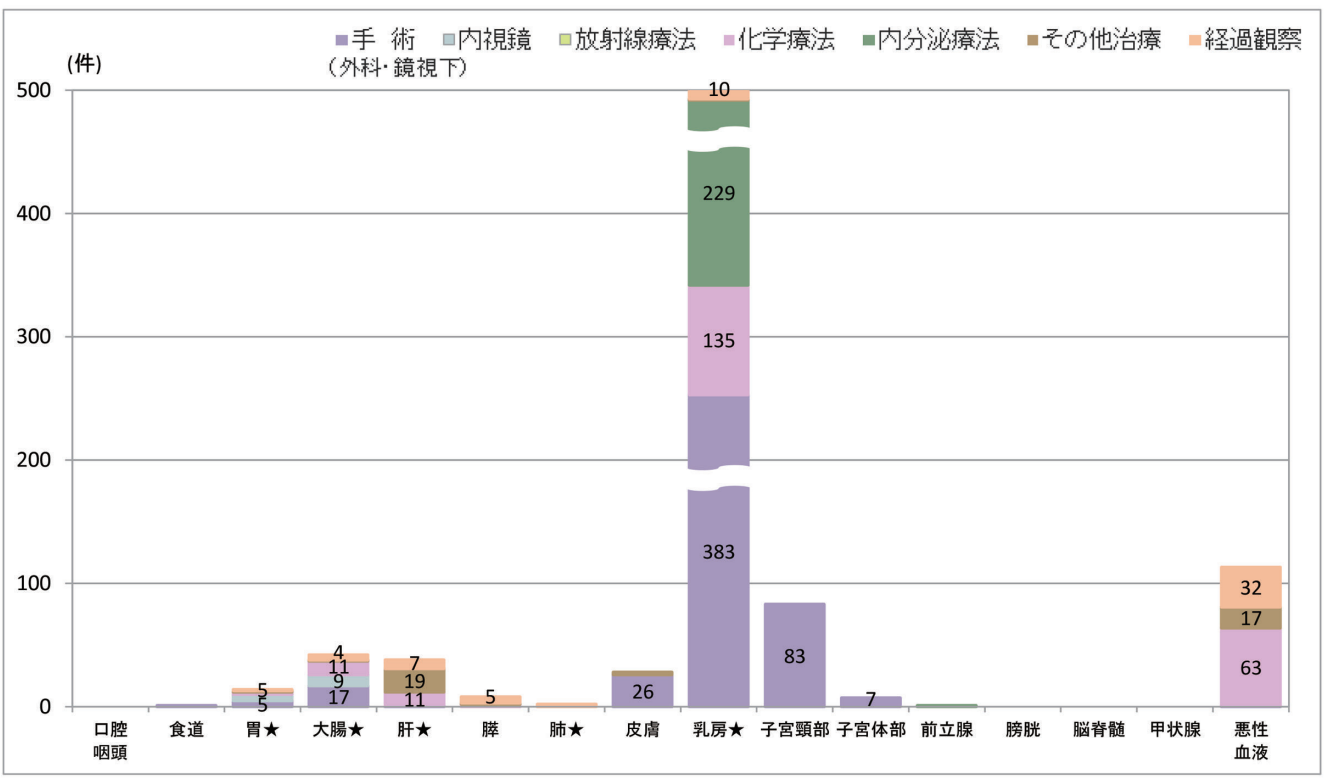
治療施設	件数
1初回治療せず	66
2初回治療開始	753
3初回治療継続	13
4初回治療終了後	109
8その他	0
計	941



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

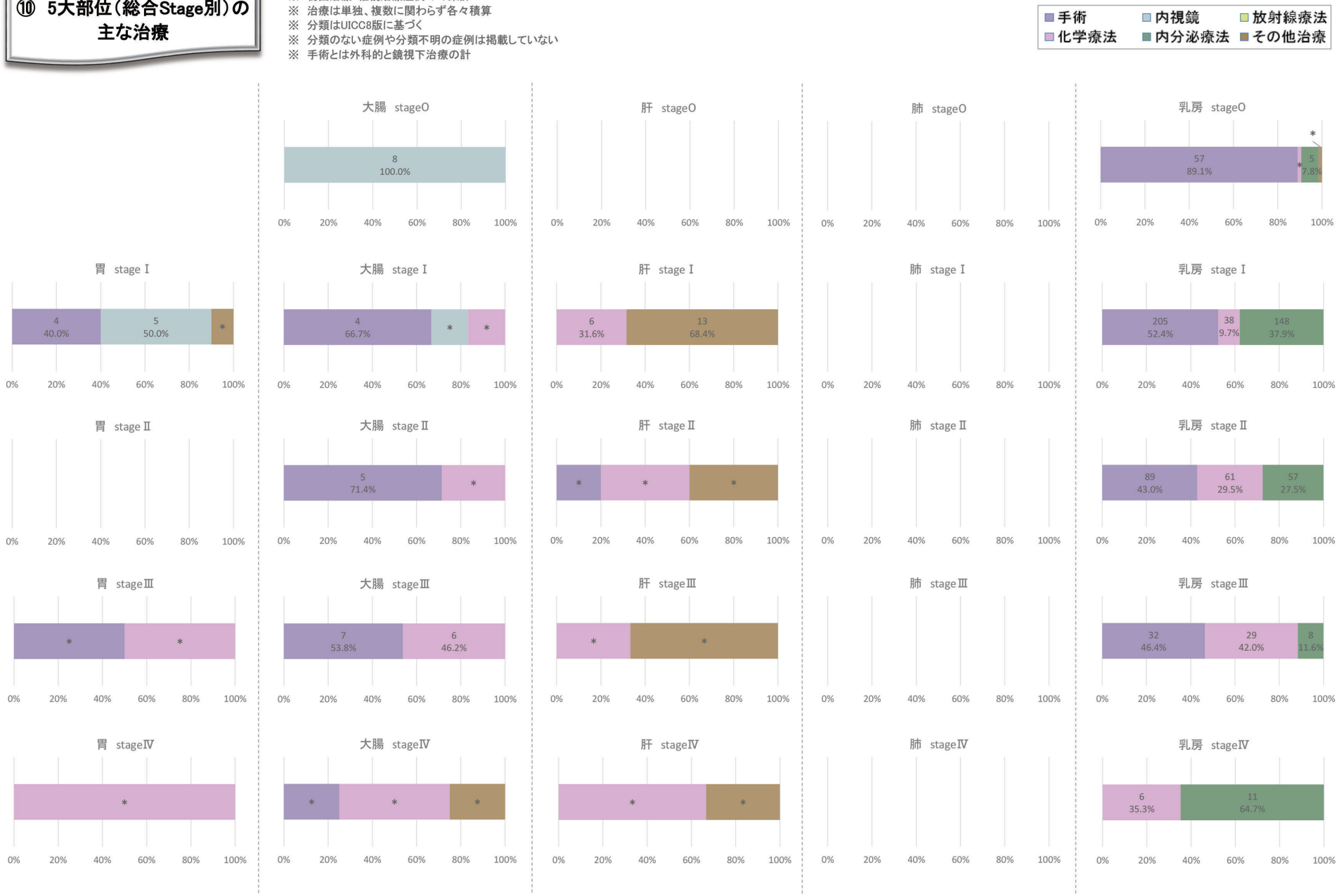
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	5	5		*		*	*	14	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	17	9		11		*	4	42	100.0%	0.0%	0.0%
肝★	*			11		19	7	38	100.0%	0.0%	0.0%
膵				*		*	5	8			
肺★							*	*			
皮膚	26					*		28	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	383			135	229	*	10	758	99.0%	1.0%	0.0%
子宮頸部	83							83	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部	7							7	100.0%	0.0%	0.0%
前立腺					*			*			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患	*			63		17	32	113	100.0%	0.0%	0.0%
計	524	14	0	224	230	42	61	1,095			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計



ページ上部へ戻る

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	一般社団法人熊本市医師会 熊本地域医療センター

○基本情報

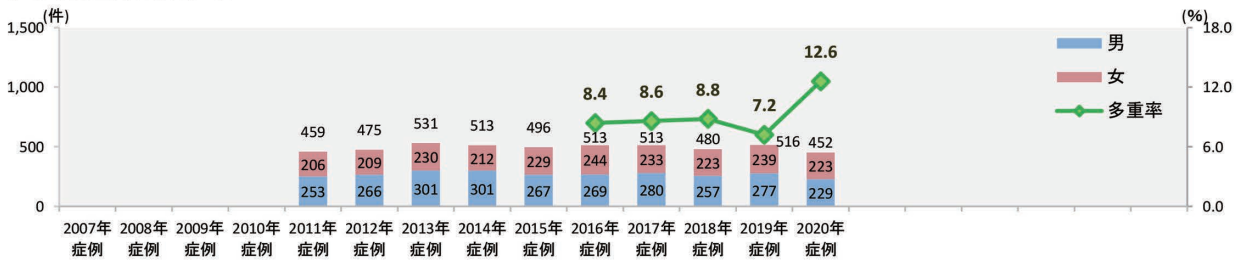
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	熊本市中央区本荘5丁目16-10		
病床数	227床(一般227)		
診療科数	15科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07		
がん登録開始基準日	2011.01.01		
平均在院日数	11.1（日）		
入院患者数	4,618（人）		
外来患者延数	46,227（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	14
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	5,338（件）		
院内がん登録件数	452（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　1　／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

【症例数】
2020年の症例数は452件であり、前年より64件減少となった。男女別でも、男性229件(前年277件)、女性223件(前年239件)で男女ともに減少となった。コロナ禍の影響により、病院全体の患者受け入れ数が減少したことに比例して担癌患者数も減少したと考えられる。
【年齢】
全体の平均年齢は、73.1歳(男性71.7歳、女性74.4歳)であり、前年(73.8歳)と同様であった。年齢分布をみると、男性は70～79歳、女性は80～89歳の罹患数が多かった。
【診断時住所】
熊本市が全体の84.5%を占め、次いで菊池(5.8%)、宇城(3.1%)となった。当院は熊本市医師会病院であり、医師会員からの紹介患者が主体であり、熊本市が大半を占めている。
【上位5部位】
大腸(29.0%)、肺(18.8%)、胃(13.5%)、膵(11.7%)、乳房(8.6%)であった。前年と比較すると、部位は変わらないが、肺の割合が3.5%増加、膵の割合が4.6%減少し、順位が変動した。件数では、全体の症例数が減少したのに対し、肺(+6件)と乳房(+9件)は増加していた。上位5部位を患者住所医療圏別にみると、それぞれにおいて患者数の約8割を熊本市が占めている。
【初回治療】
初回治療の44.1%(前年45.6%)を手術が占め、前年と同様に胃54.5%(前年50.0%)、大腸80.0%(前年85.9%)と腹腔鏡下手術の割合が高かった。今回は、化学療法38.3%(前年37.9%)、内視鏡治療18.7%(前年15.8%)の割合が増加していた。
【主要部位別病期分類(総合ステージ)】
登録症例全体の割合は、ステージ0が7.1%、ステージⅠが32.1%、ステージⅡが13.5%、ステージⅢが14.8%、ステージⅣが25.2%であった。ステージⅠの割合が一番高く、前年と比較しても割合が増加していた。また、ステージⅣの割合も増加しており、大腸のステージⅣが増加していたためと思われる。大腸のステージⅣの初回治療として、化学療法の併施も含め手術を施行した症例が44%あった。

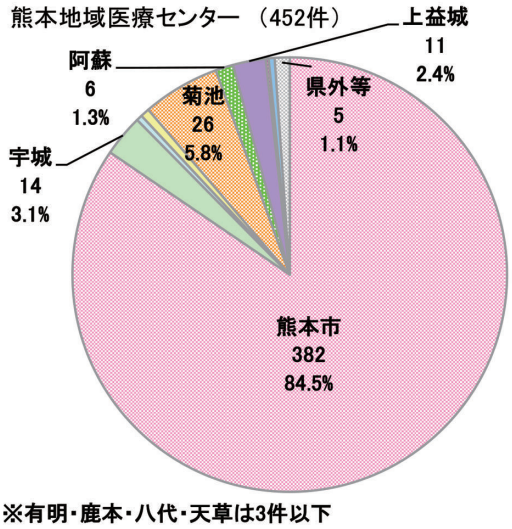
診断年別登録件数(参考)



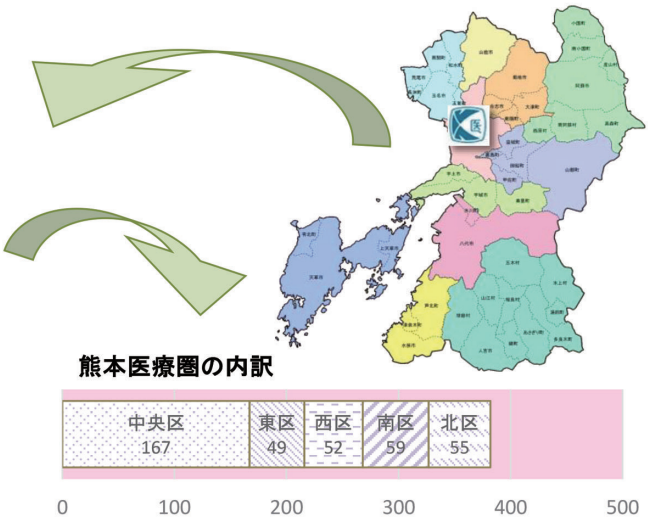
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



※有明・鹿本・八代・天草は3件以下

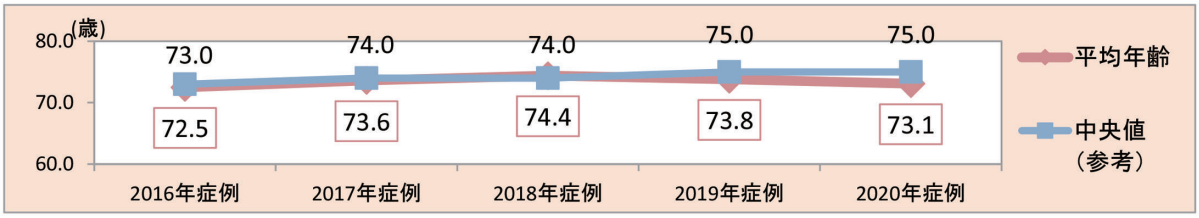


◇　医療圏別上位5部位

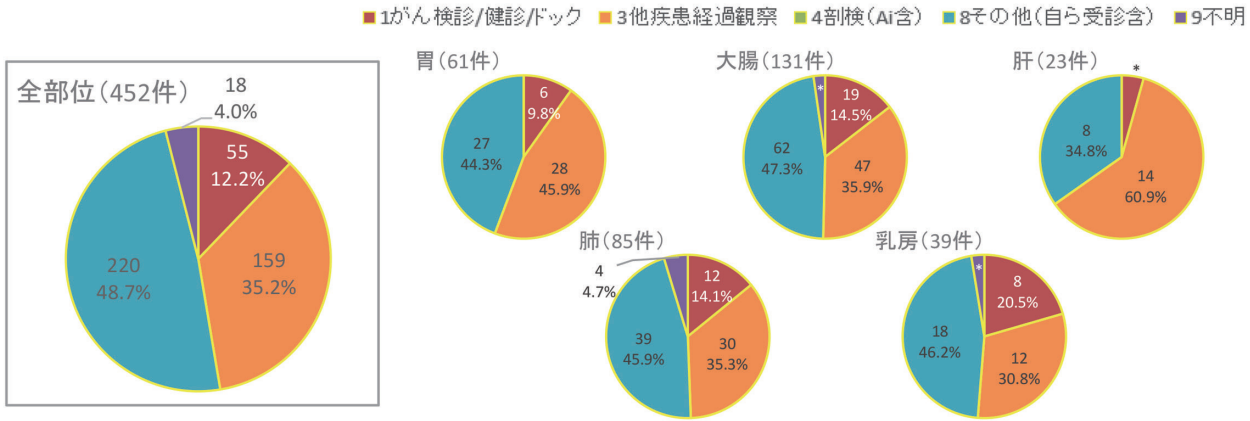
熊本市	大腸	115	鹿本	該当部位	各*	上益城	大腸	5	球磨		
	肺	72					該当部位	各*			
	胃	53									
	膵	45									
	乳房	31									
宇城	肺	4	菊池	大腸	7	八代	該当部位	各*	天草	該当部位	各*
	該当部位	各*		膵	5						
				胃	4						
				肺	4						
				該当部位	各*						
有明	該当部位	各*	阿蘇	乳房	4	芦北			県外等	該当部位	各*
				該当部位	各*						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

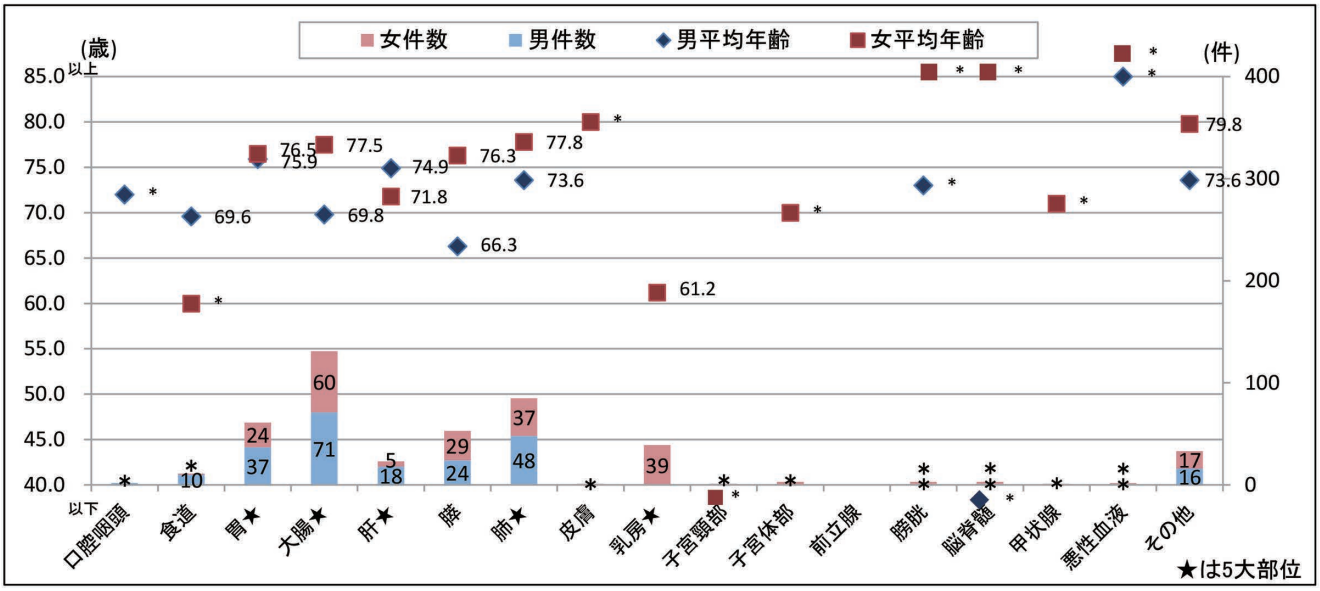
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	71
肺	48
胃	37
膵	24
肝	18
その他	16
食道	10
口腔咽頭	*
膀胱	*
脳脊髄	*
悪性血液	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
甲状腺	
計	229

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	5

50～59歳	
大腸	14
肺	6
該当部位	各*
計	26

60～69歳	
大腸	16
肺	13
胃	6
膵	6
その他	6
など	
計	55

70～79歳	
大腸	26
胃	13
肺	12
膵	8
肝	6
など	
計	73

80～89歳	
胃	14
肺	12
大腸	10
その他	8
肝	7
など	
計	57

90歳～	
肺	5
該当部位	各*
計	10

女性全体	
大腸	60
乳房	39
肺	37
膵	29
胃	24
その他	17
肝	5
子宮体部	*
膀胱	*
脳脊髄	*
食道	*
皮膚	*
子宮頸部	*
甲状腺	*
悪性血液	*
口腔咽頭	
前立腺	
計	223

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
乳房	12
該当部位	各*
計	15

50～59歳	
乳房	7
大腸	4
該当部位	各*
計	18

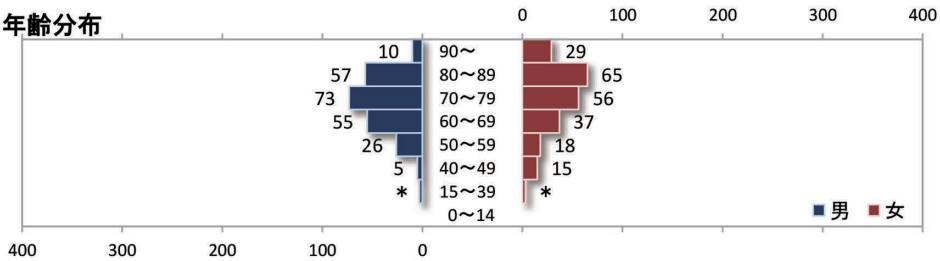
60～69歳	
大腸	10
胃	7
乳房	7
肺	5
その他	4
該当部位	各*
計	37

70～79歳	
大腸	16
肺	15
膵	10
乳房	5
胃	4
該当部位	各*
計	56

80～89歳	
大腸	20
膵	9
その他	9
胃	8
肺	8
など	
計	65

90歳～	
大腸	9
肺	6
胃	4
該当部位	各*
計	29

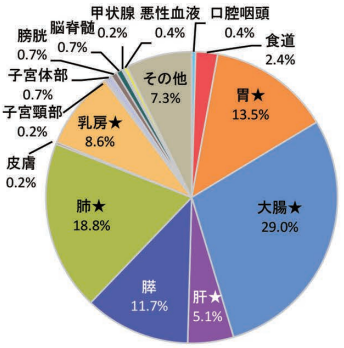
年齢分布



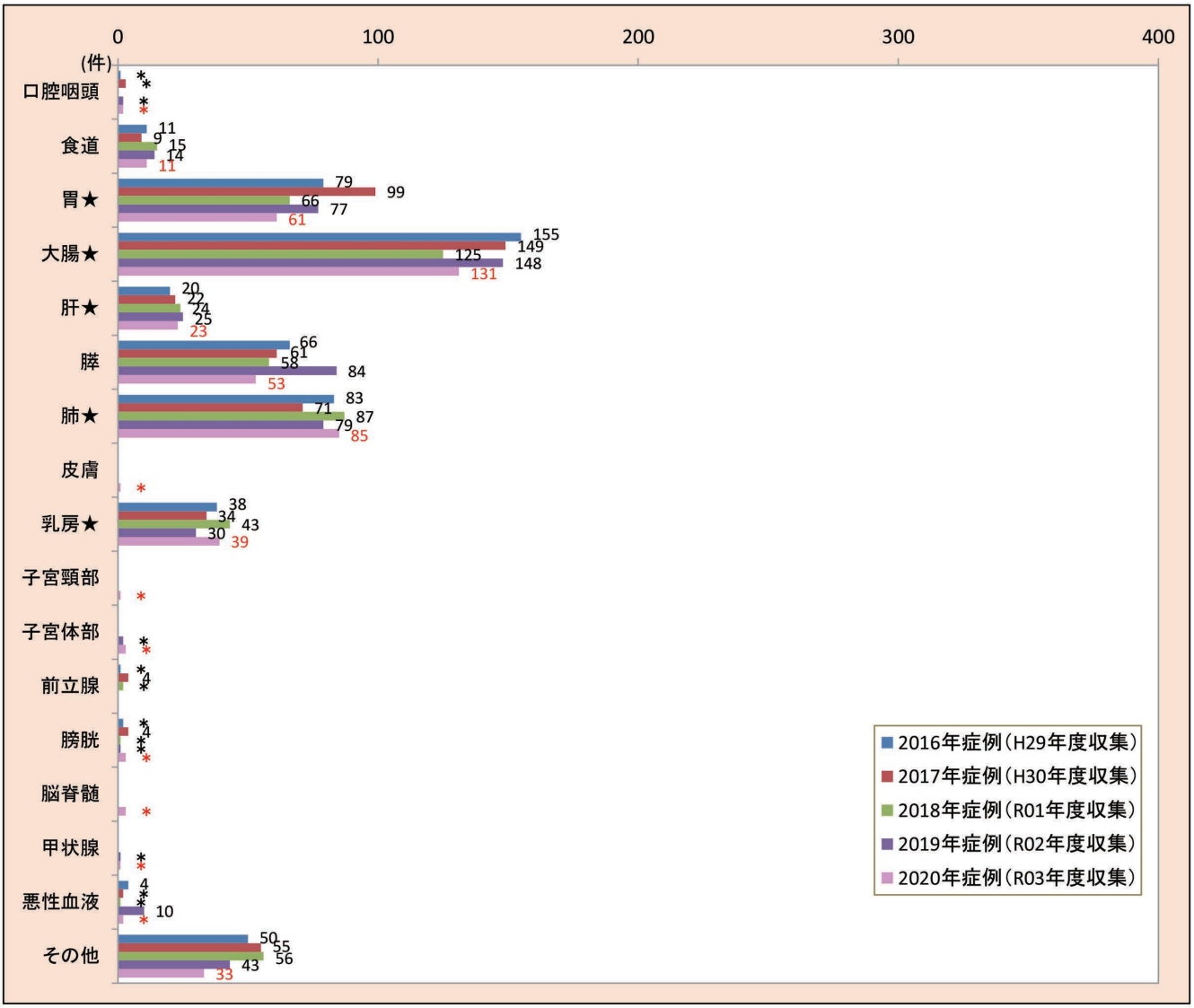
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	*	*		*	*
食道	11	9	15	14	11
胃★	79	99	66	77	61
大腸★	155	149	125	148	131
肝★	20	22	24	25	23
膵	66	61	58	84	53
肺★	83	71	87	79	85
皮膚					*
乳房★	38	34	43	30	39
子宮頸部	*		*		*
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	*	*
前立腺	*	4	*		
膀胱	*	4	*	*	*
脳脊髄					*
甲状腺				*	*
悪性血液疾患	4	*	*	10	*
その他	50	55	56	43	33
計	513	513	480	516	452

2020年診断症例　主要部位別割合

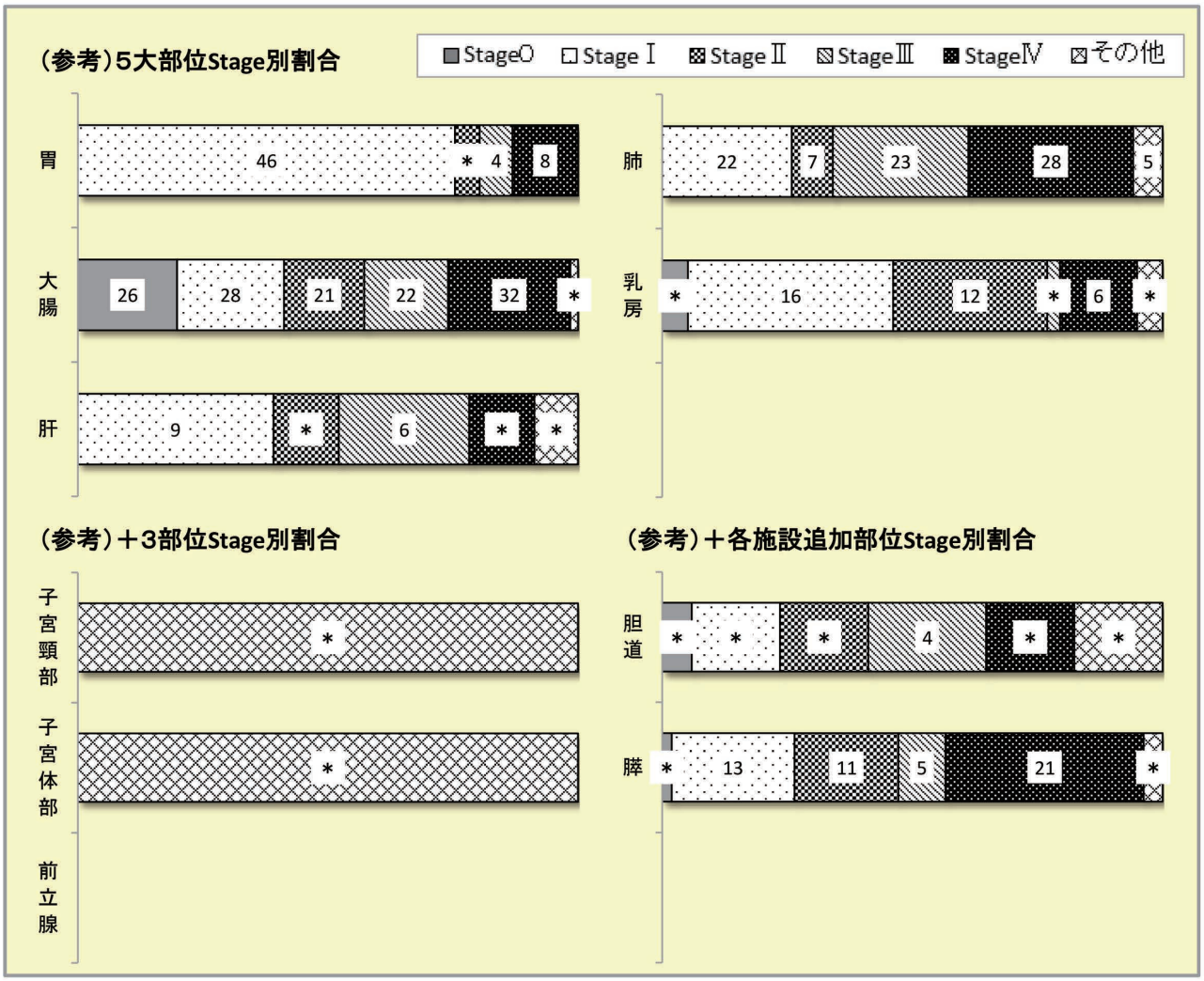


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

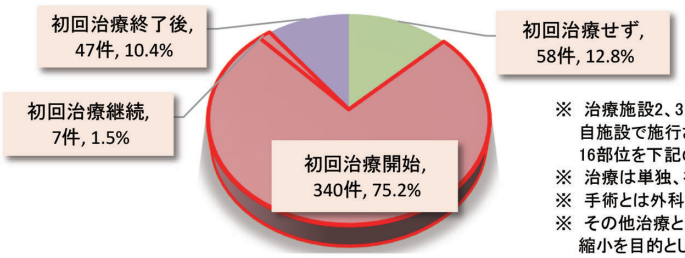
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	*					*	*
食道	11	*	4		*	*	*
胃★	61		46	*	4	8	
大腸★	131	26	28	21	22	32	*
肝★	23		9	*	6	*	*
膵	53	*	13	11	5	21	*
肺★	85		22	7	23	28	5
皮膚	*		*				
乳房★	39	*	16	12	*	6	*
子宮頸部	*						*
子宮体部	*						*
前立腺	0						
膀胱	*					*	*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*				
悪性血液疾患	*			*		*	
その他	33	*	5	*	5	10	9
計	452	32	145	61	67	114	33



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

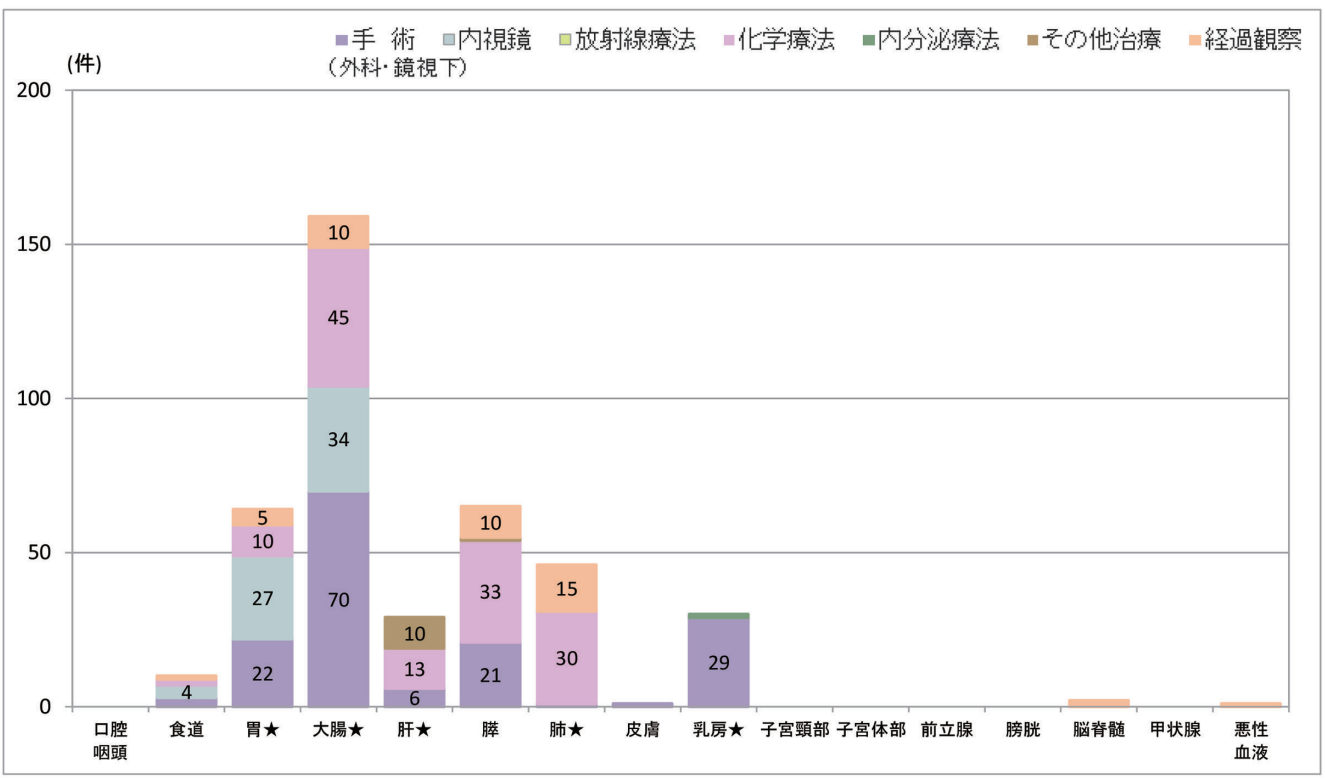
治療施設	件数
1初回治療せず	58
2初回治療開始	340
3初回治療継続	7
4初回治療終了後	47
8その他	0
計	452



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

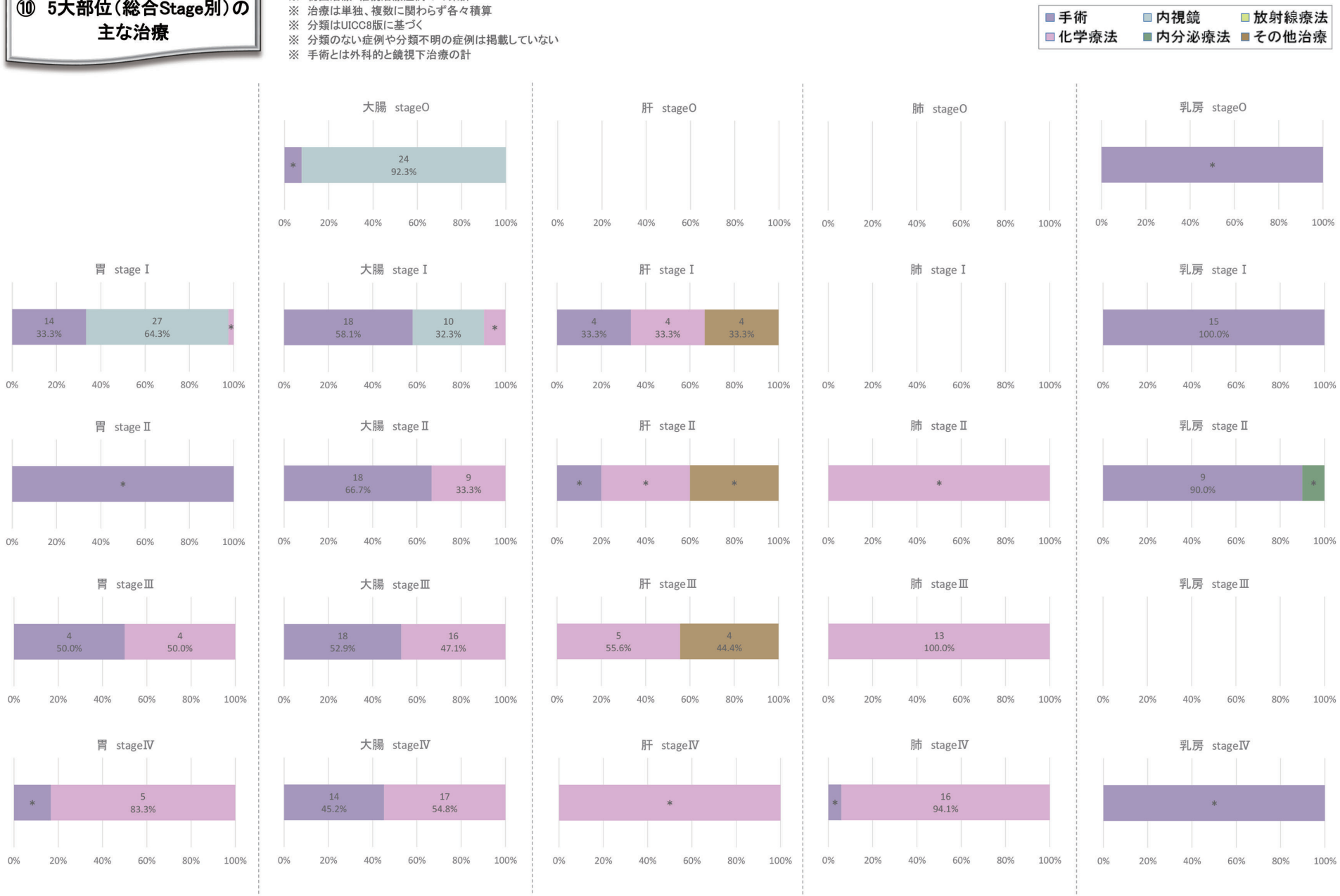
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道	*	4		*			*	10	100.0%	0.0%	0.0%
胃★	22	27		10			5	64	98.0%	2.0%	0.0%
大腸★	70	34		45			10	159	92.0%	8.0%	0.0%
肝★	6			13		10		29	100.0%	0.0%	0.0%
膵	21			33		*	10	65	95.2%	4.8%	0.0%
肺★	*			30			15	46	0.0%	100.0%	0.0%
皮膚	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	29				*			30	93.1%	6.9%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄							*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	153	65	0	133	*	11	44	407			



⑩　5大部位（総合Stage別）の主な治療

※　初回治療+継続治療症例のみ集計
※　治療は単独、複数に関わらず各々積算
※　分類はUICC8版に基づく
※　分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※　手術とは外科的と鏡視下治療の計



濃化対策関係さくいん

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	社会医療法人社団高野会 大腸肛門病センター高野病院

○基本情報

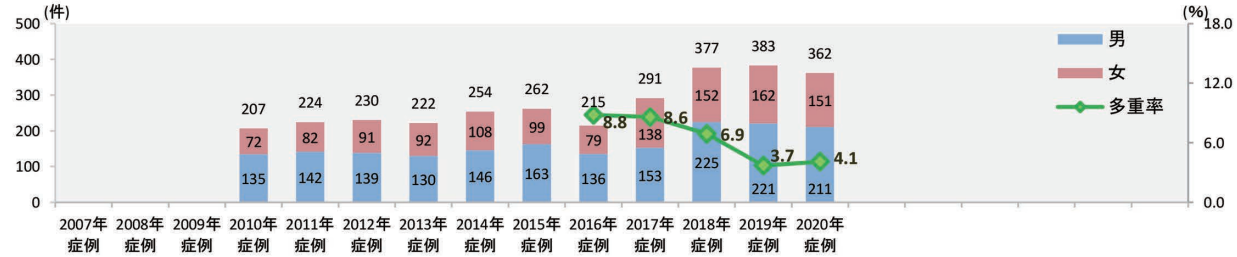
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	熊本市中央区大江3丁目2番55号		
病床数	166床(一般166)		
診療科数	10科		
がん診療連携拠点病院指定日	2011.11.07		
がん登録開始基準日	2010.01.01		
平均在院日数	14.4（日）		
入院患者数	3,550（人）		
外来患者延数	62,736（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	20
該当年の対象候補調査件数 (ケースファインド/施設によっては概算)	649（件）		
院内がん登録件数	362（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

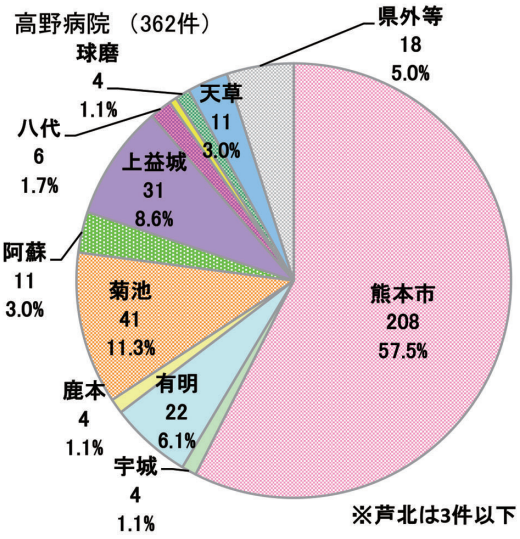
【登録件数】院内がん登録を2010年症例より開始し、2020年は362件を登録した(前年比94.5%)。登録数の減少は、新型コロナウイルス感染症流行による一定の受診控えおよび県外からの移動制限が影響した可能性がある。
【発生部位】当院は大腸肛門の専門病院であるため大腸が211件(58.3%)と多くを占める。次いで、その他(肛門管など)49件(13.5%)である。
【医療圏】熊本市が208件(57.5%)と最も多く、次いで県北部地域(有明、鹿本、菊池、阿蘇)で78件(21.5%)と両地域で79.0%を占めている。また、県外からの受診が18件(5.0%)と前年の27件(7.0%)より減少した。これは、当院が行っている大腸がん検診事業が、新型コロナウイルス感染症流行により県外で実施できなかった期間があること、および患者の県外からの移動制限が影響していると考えられる。熊本医療圏では、当院所在地である中央区80件(38.5%)、および東区53件(25.5%)が多い。
【性・年齢】男女共に30代から90代まで広く分布し、男性の70代が最も多い。また、診断時の平均年齢は68.9歳(男性67.6歳、女性70.7歳)と昨年より男女とも少し高かった。
【発見経緯】大腸211件の内訳は自主受診を含むその他が104件(49.3%)と最も多く、次いでがん検診・健診・ドックが84件(39.8%)であった。
【病期分類】大腸においてStage0期が39件(18.5%)、StageI期が61件(28.9%)、StageII期が31件(14.7%)、StageIII期が29件(13.7%)、StageIV期が26件(12.3%)、その他が25件(11.8%)となっており、Stage0期の件数が前年より減少した。これは、新型コロナウイルス感染症流行による受診控えにより、がん検診などでの発見数が減少したことが要因の一つと考えられる。
【治療】主要部位別治療の大腸において、手術118件(50.2%)、内視鏡66件(28.1%)と観血的治療の割合が高く、そのうち原発巣切除(遺残なし)が160件(92.5%)とほとんどである。
【部位】大腸がん211件のうち直腸の割合が96件(45.5%)と多く、これは当院が大腸がん術後のQOLを保つ肛門括約筋温存術を多く行っていることでその治療を希望し、受診する患者が多いことが要因の一つと考えられる。

診断年別登録件数(参考)

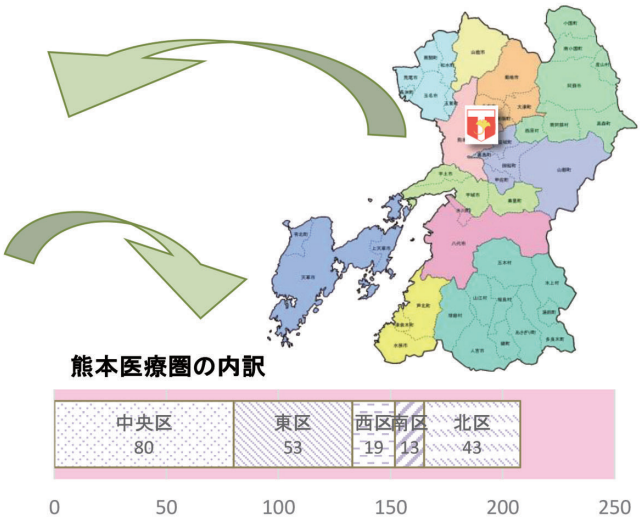


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）



※　全般において3件以下は*又は非表示

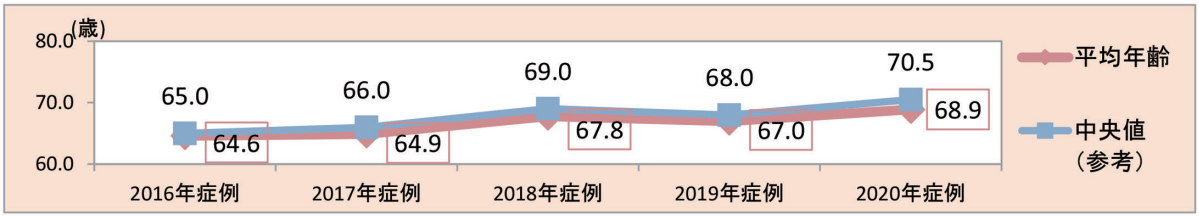


◇　医療圏別上位5部位

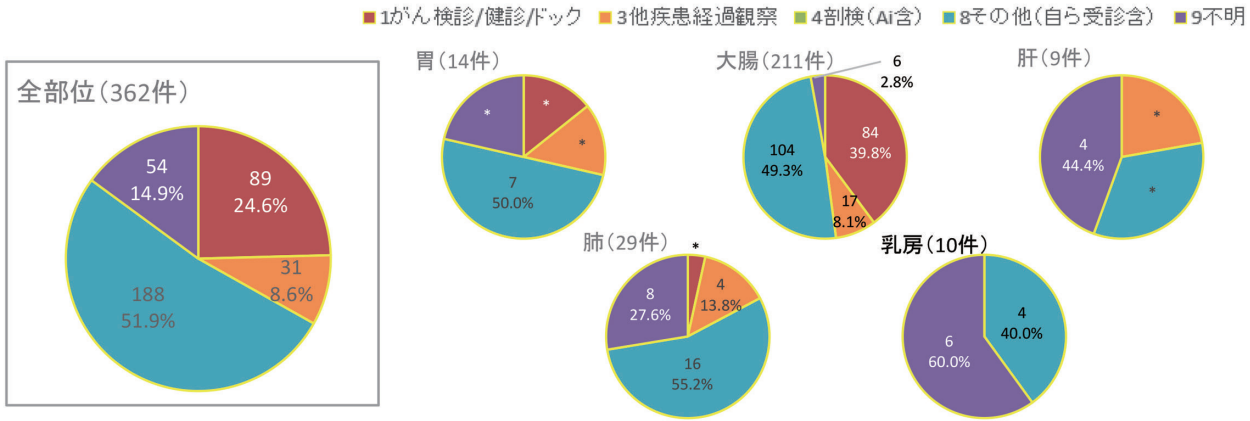
熊本市	大腸	96	鹿本	該当部位	各*	上益城	大腸	21	球磨	大腸	4
	その他	31					その他	4			
	肺	23					該当部位	各*			
	膵	13									
	胃	12									
宇城	該当部位	各*	菊池	大腸	29	八代	大腸	4	天草	大腸	9
				その他	6		該当部位	各*		該当部位	各*
				該当部位	各*						
有明	大腸	17	阿蘇	大腸	8	芦北	該当部位	各*	県外等	大腸	16
	該当部位	各*		該当部位	各*					該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

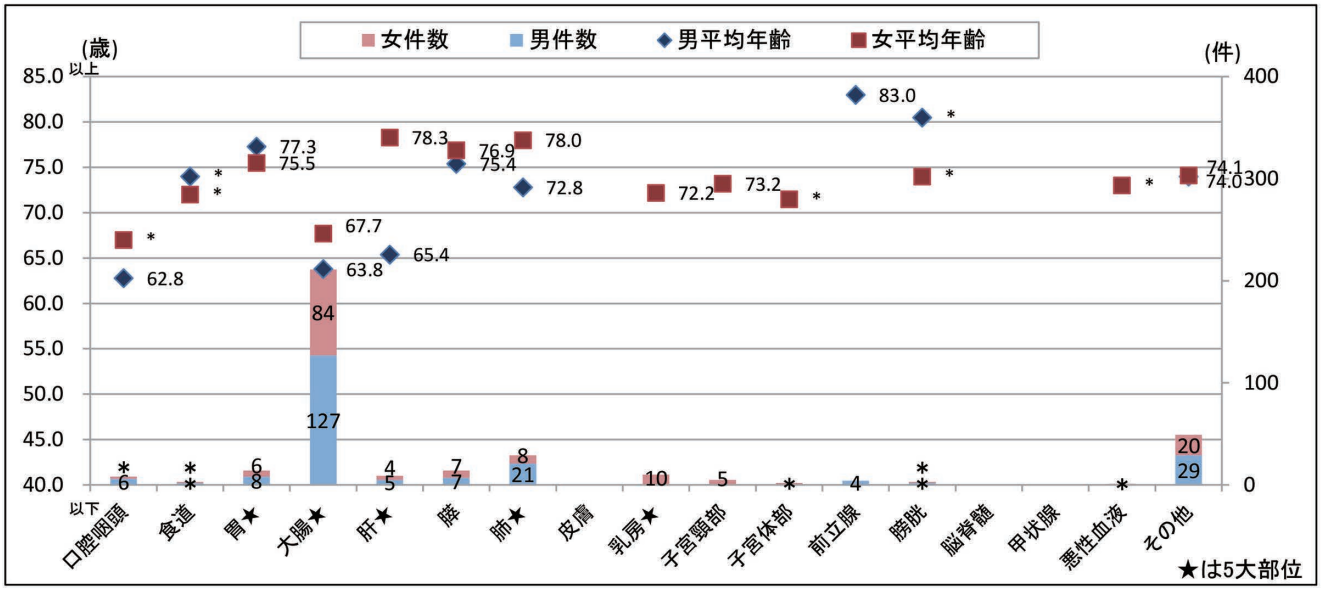
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	
大腸	127
その他	29
肺	21
胃	8
膵	7
口腔咽頭	6
肝	5
前立腺	4
食道	*
膀胱	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	211

0～14歳	
計	

15～39歳	
大腸	5
計	5

40～49歳	
大腸	14
該当部位	各*
計	15

50～59歳	
大腸	25
該当部位	各*
計	30

60～69歳	
大腸	33
肺	5
その他	5
肝	4
該当部位	各*
計	53

70～79歳	
大腸	40
その他	13
肺	10
膵	5
該当部位	各*
計	77

80～89歳	
大腸	10
肺	5
その他	5
胃	4
該当部位	各*
計	27

90歳～	
該当部位	各*
計	4



女性全体	
大腸	84
その他	20
乳房	10
肺	8
膵	7
胃	6
子宮頸部	5
肝	4
口腔咽頭	*
子宮体部	*
食道	*
膀胱	*
悪性血液	*
皮膚	
前立腺	
脳脊髄	
甲状腺	
計	151

0～14歳	
計	

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
大腸	8
計	8

50～59歳	
大腸	11
乳房	4
該当部位	各*
計	20

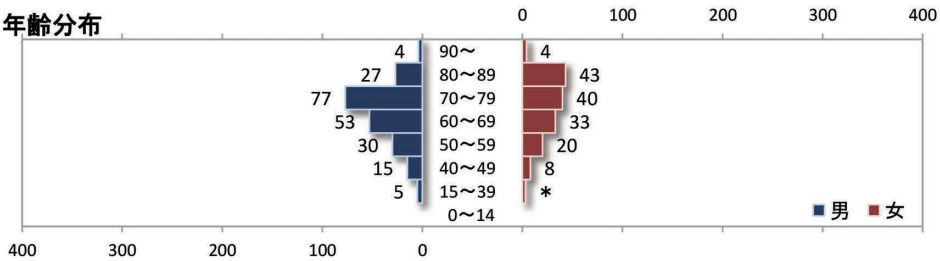
60～69歳	
大腸	24
その他	4
該当部位	各*
計	33

70～79歳	
大腸	19
その他	7
肺	4
該当部位	各*
計	40

80～89歳	
大腸	17
その他	7
乳房	4
該当部位	各*
計	43

90歳～	
該当部位	各*
計	4

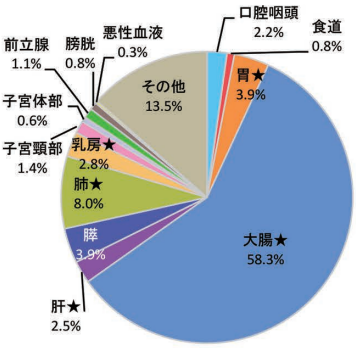
年齢分布



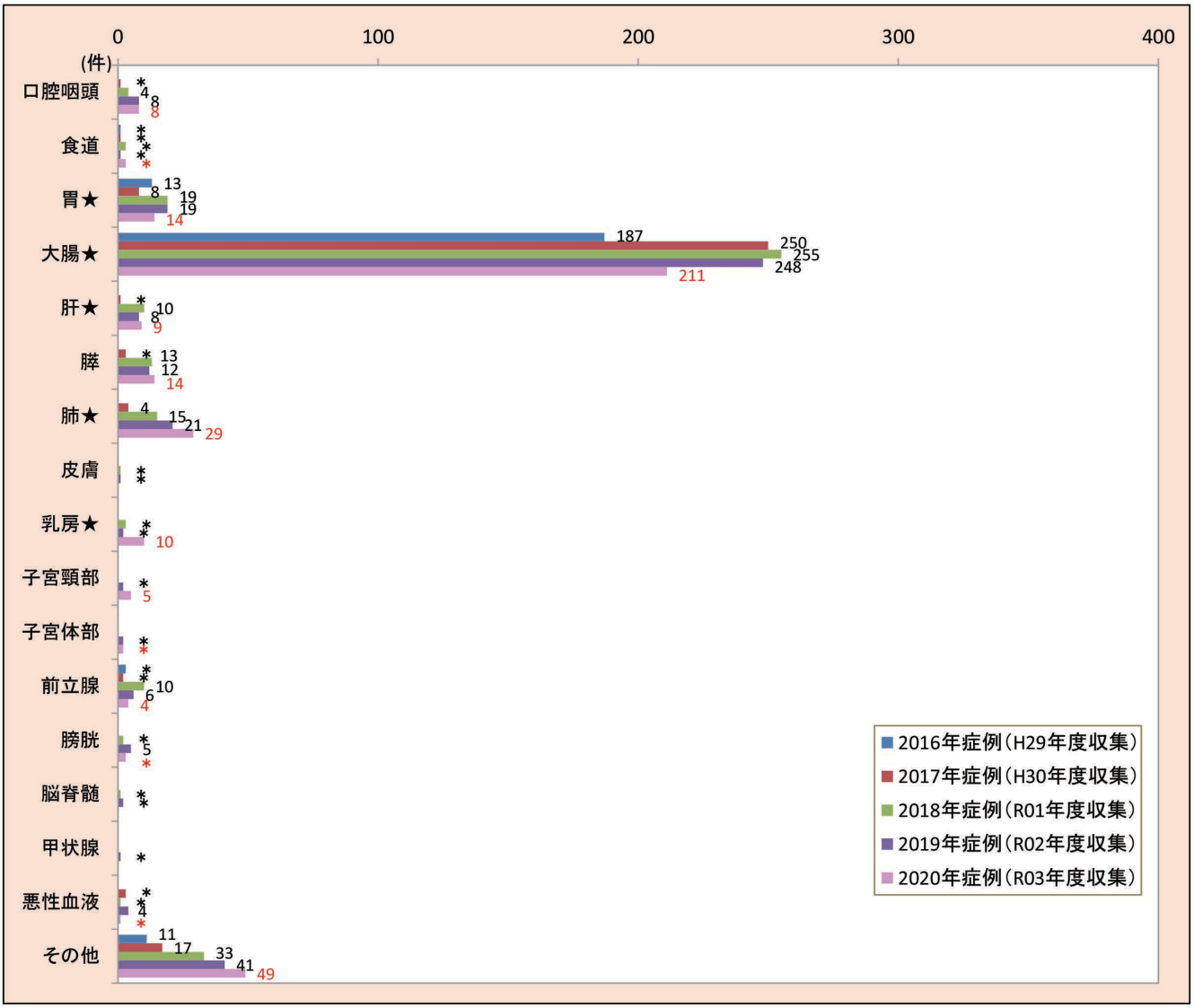
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭		*	4	8	8
食道	*	*	*	*	*
胃★	13	8	19	19	14
大腸★	187	250	255	248	211
肝★		*	10	8	9
膵		*	13	12	14
肺★		4	15	21	29
皮膚			*	*	
乳房★			*	*	10
子宮頸部	（頸部・体部）	*（頸部・体部）	7（頸部・体部）	*	5
子宮体部				*	*
前立腺	*	*	10	6	4
膀胱			*	5	*
脳脊髄			*	*	
甲状腺				*	
悪性血液疾患		*	*	4	*
その他	11	17	33	41	49
計	215	291	377	383	362

2020年診断症例　主要部位別割合

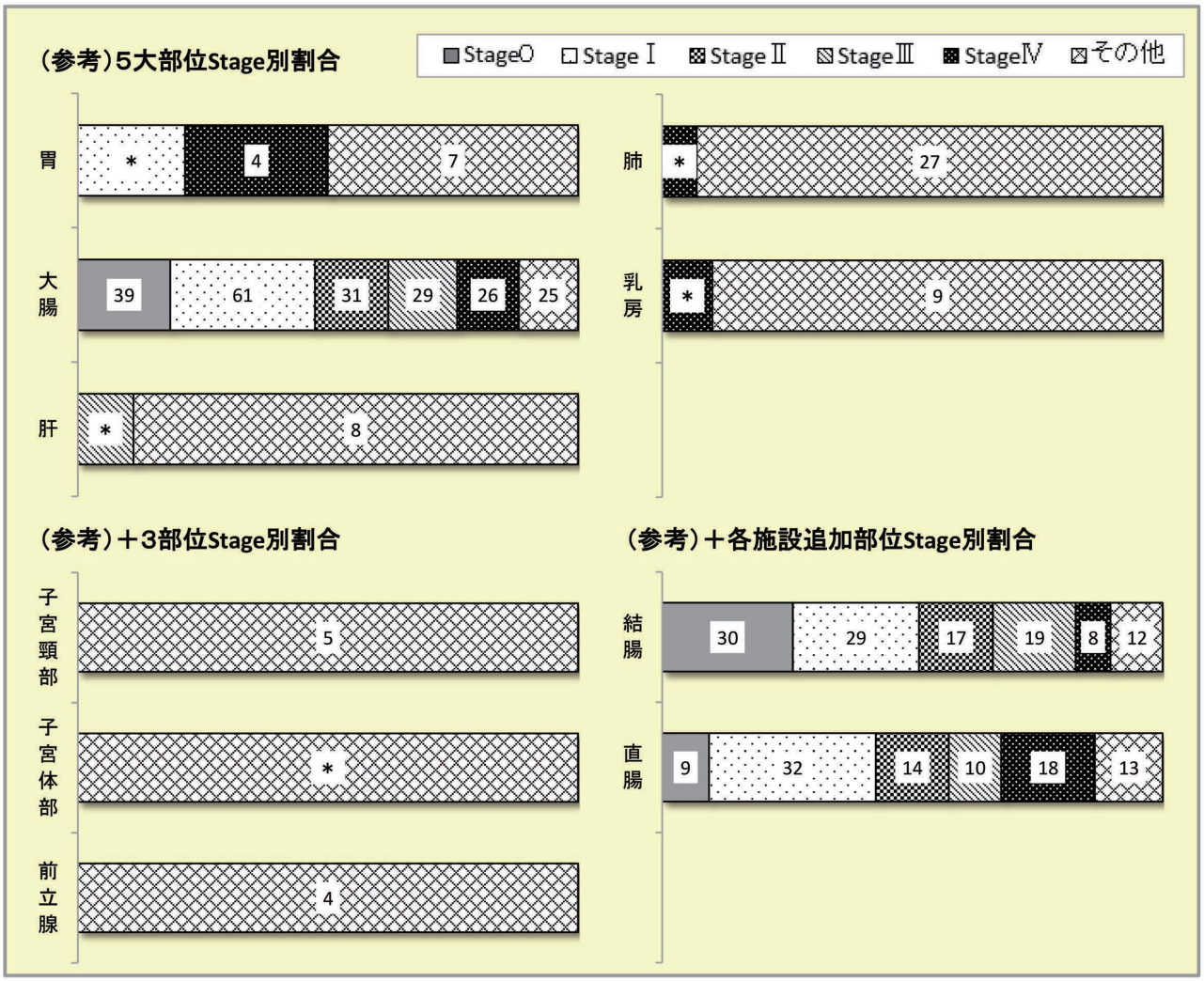


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

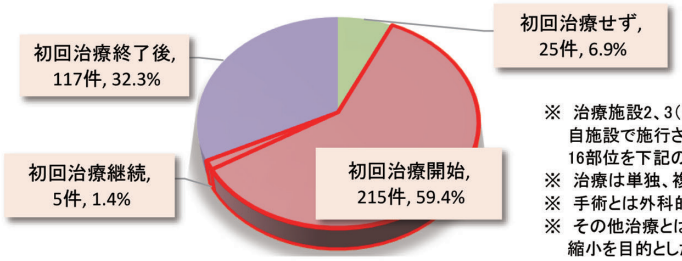
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	8						8
食道	*						*
胃★	14		*			4	7
大腸★	211	39	61	31	29	26	25
肝★	9				*		8
膵	14					*	13
肺★	29					*	27
皮膚	0						
乳房★	10					*	9
子宮頸部	5						5
子宮体部	*						*
前立腺	4						4
膀胱	*						*
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	*						*
その他	49		*	*	6	*	35
計	362	39	66	34	36	37	150



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

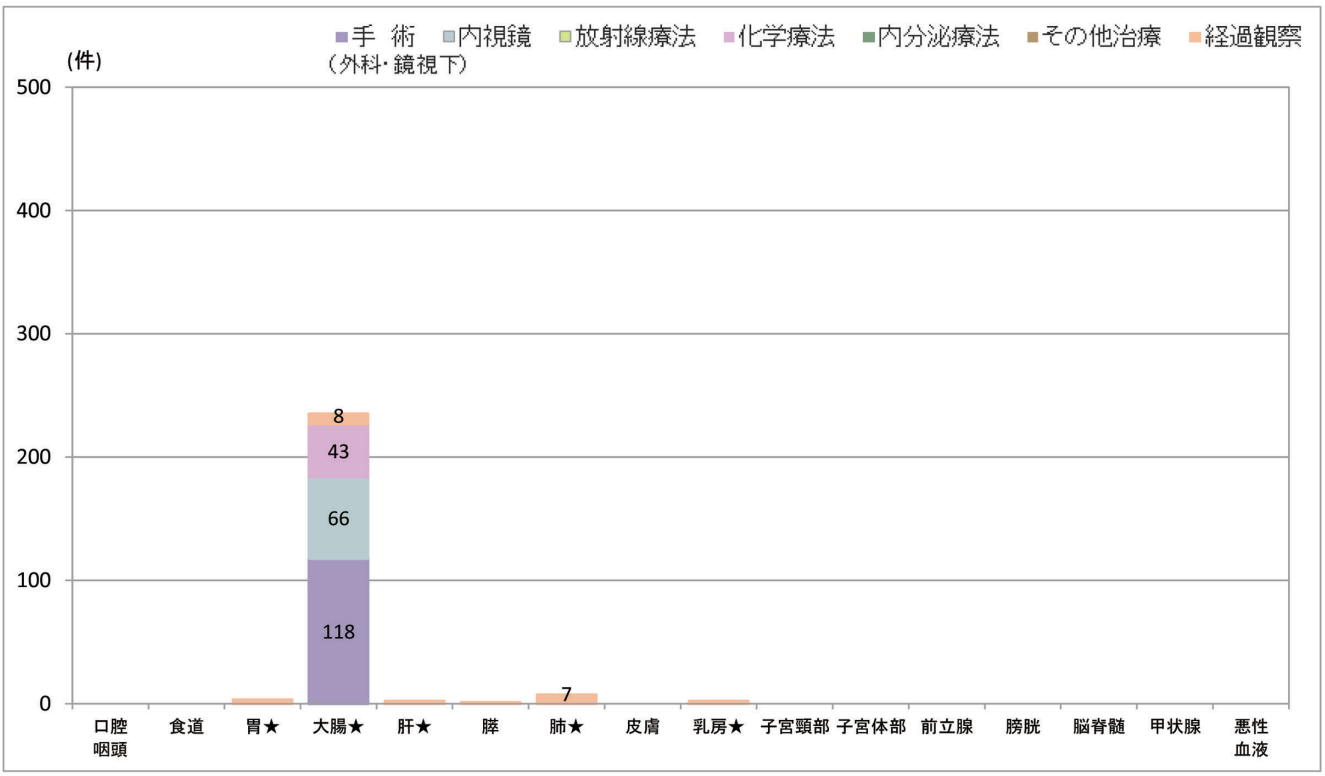
治療施設	件数
1初回治療せず	25
2初回治療開始	215
3初回治療継続	5
4初回治療終了後	117
8その他	0
計	362



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★							*	*			
大腸★	118	66		43			8	235	92.5%	7.5%	0.0%
肝★							*	*			
膵							*	*			
肺★							7	7			
皮膚								0			
乳房★							*	*			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	118	66	0	43	0	0	23	250			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	山鹿市民医療センター

○基本情報

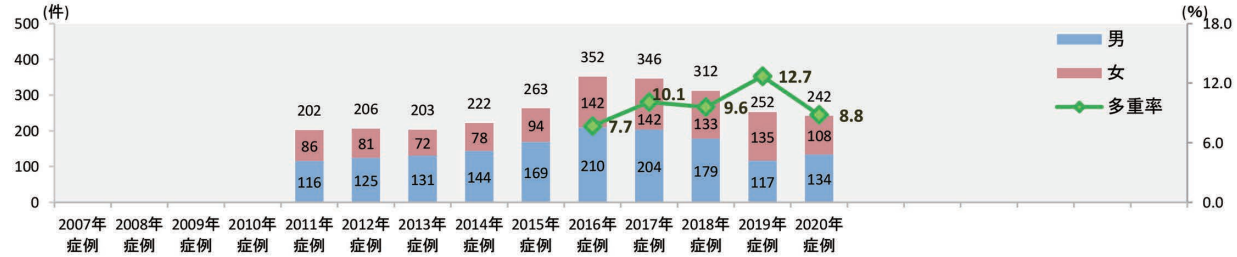
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	山鹿市山鹿511		
病床数	201床（一般197；感染症4）		
診療科数	20科		
がん診療連携拠点病院指定日	2012.11.16		
がん登録開始基準日	2010.04.01		
平均在院日数	16.7（日）		
入院患者数	2,380（人）		
外来患者延数	46,655（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	13
該当年の対象候補調査件数（ｹｰｽﾌｧｲﾝﾄﾞ/施設によっては概算）	2,679（件）		
院内がん登録件数	242（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当施設では院内がん登録を2010年診断入院症例から開始し、全国がん登録の開始とともに外来分の登録も開始しました。
2020年症例を5大部位別に見ると大腸が73件と最も多く、次いで乳房の29件、肝臓の25件、肺の20件、胃の19件と続いています。消化器内科での内視鏡的手術を積極的に実施しているため大腸に関しては昨年から大幅に増加しましたが、新型コロナウイルス感染流行に伴う受診控えなどの影響により入外ともに患者数が減少し、症例数も減少しています。
性別では、男性が134件、女性が108件と男性が多く、平均年齢は、男性の平均年齢が74.6歳、女性の平均年齢が72.4歳で、全体の平均年齢は73.6歳でした。この中で女性特有のがん（乳房・子宮）のみ抽出した場合では、平均年齢が64.9歳と明らかに下がります。約30%が乳がん検診や子宮がん検診による発見で、検診に対する若年層の関心が高まってきたことが考えられます。
当施設は、鹿本医療圏で唯一の拠点病院ということもあり、医療圏別件数では鹿本が73.6%となっていますが、2016年以降二次医療圏外のがん患者の入院は2016年19%、2017年21%、2018年34%、2019年33%、2020年34%と増加傾向となっています。「わたしのカルテ」の運用や化学療法の充実、2011年7月にがん相談支援センターを開設し、がん情報の発信や患者様とその家族の様々な相談に対応できるようになったこと、2012年4月には緩和ケア病棟の開棟、さらに、2016年には肝胆膵外科の立ち上げ、2019年4月にはがん総合的診療チームの立ち上げが行われたことによって、がんの発見から治療、その後のフォローまで一貫して行える医療機関として地域の医療機関との更なる連携を図れるようになったからではないかと考えます。
また、緩和ケア病棟の開棟は、終末期を地元で過ごしたいという要望に応えられるようになったことから、治療開始後の症例が増加していることにも繋がっていると考えます。
今後も地域のがん拠点病院として、がん治療の質の向上、患者様のQOL向上に貢献していきたいと考えています。

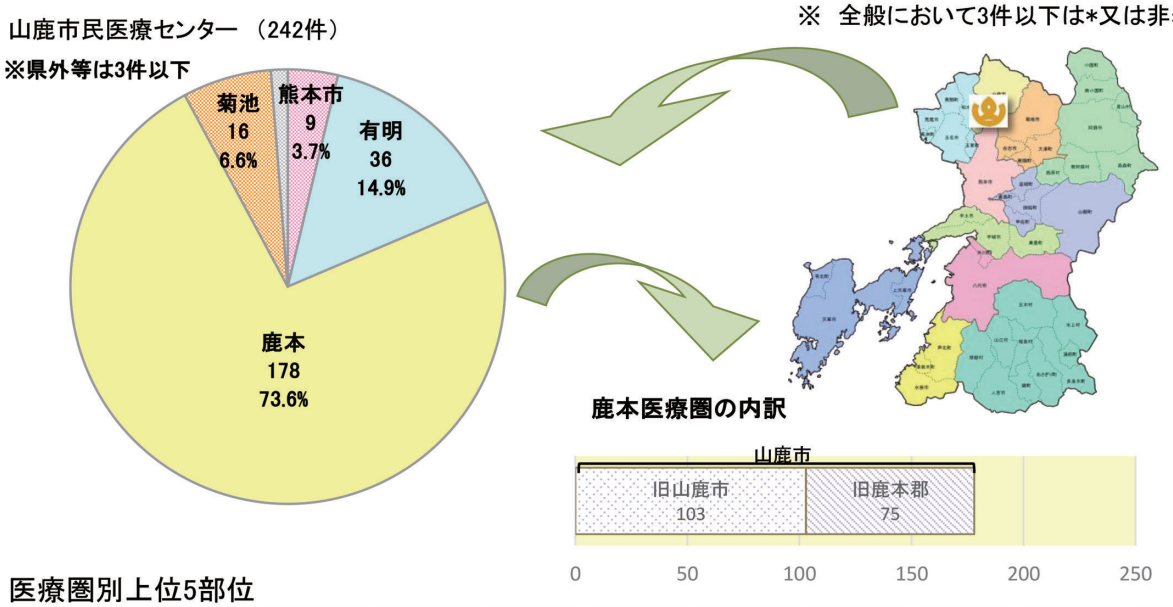
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

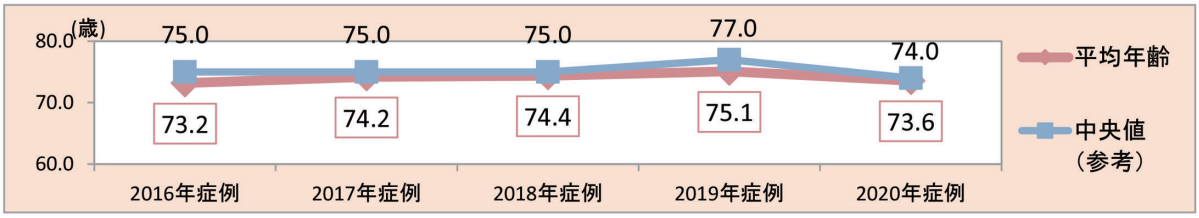


◇　医療圏別上位5部位

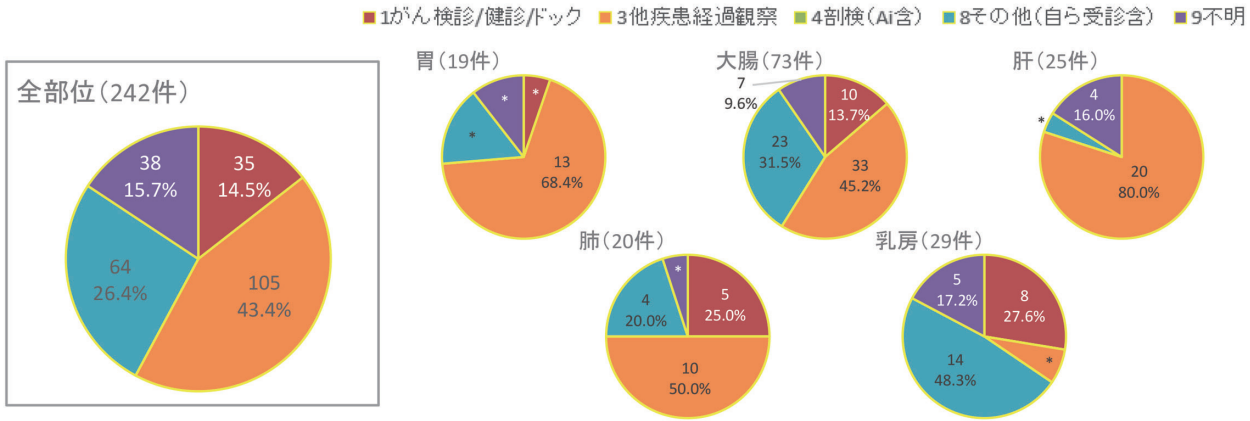
熊本市	大腸	4	鹿本	大腸	55	上益城			球磨		
	該当部位	各*		乳房	24						
				その他	19						
				肺	18						
				胃	14						
宇城			菊池	その他	4	八代			天草		
				該当部位	各*						
有明	大腸	10	阿蘇			芦北			県外等	該当部位	各*
	肝	6									
	その他	5									
	該当部位	各*									

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

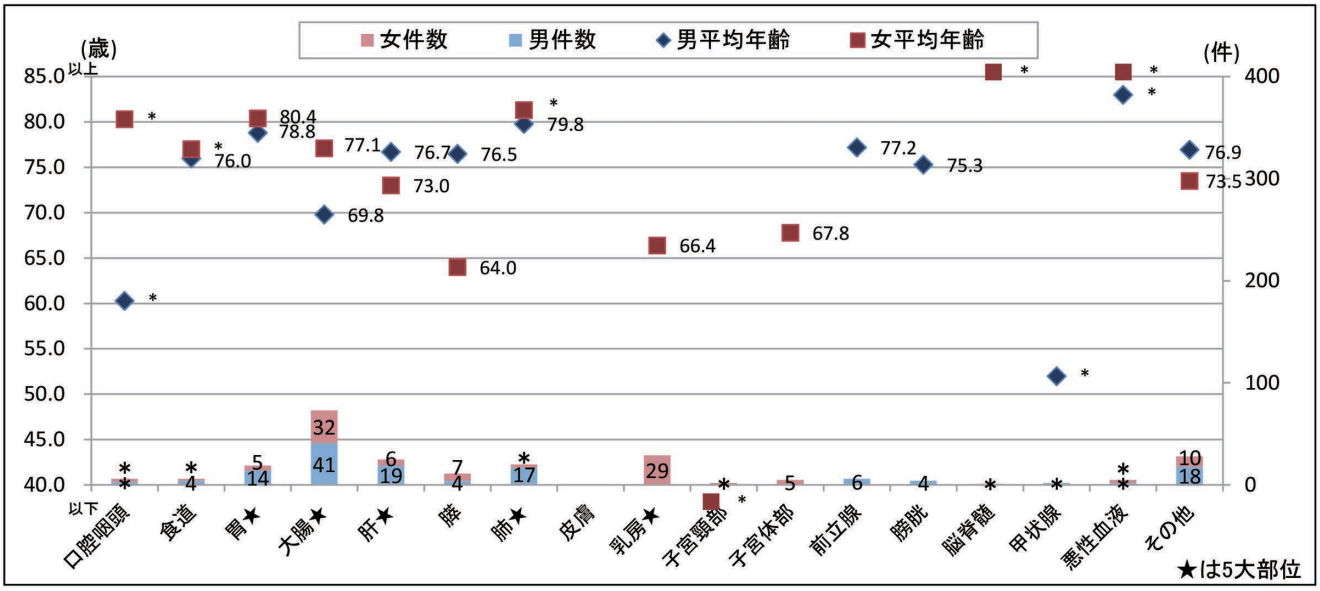
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	41
肝	19
その他	18
肺	17
胃	14
前立腺	6
食道	4
膵	4
膀胱	4
口腔咽頭	*
甲状腺	*
悪性血液	*
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	134

0～14歳	
計	27

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
該当部位	各*
計	6

60～69歳	
大腸	14
該当部位	各*
計	27

70～79歳	
大腸	15
肝	11
その他	10
該当部位	各5
など	
計	56

80～89歳	
大腸	7
胃	6
肺	5
該当部位	各*
計	30

90歳～	
肺	5
該当部位	各*
計	11

女性全体	
大腸	32
乳房	29
その他	10
膵	7
肝	6
胃	5
子宮体部	5
口腔咽頭	*
肺	*
悪性血液	*
食道	*
子宮頸部	*
脳脊髄	*
皮膚	
前立腺	
膀胱	
甲状腺	
計	108

0～14歳	
計	28

15～39歳	
該当部位	各*
計	4

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
乳房	4
該当部位	各*
計	9

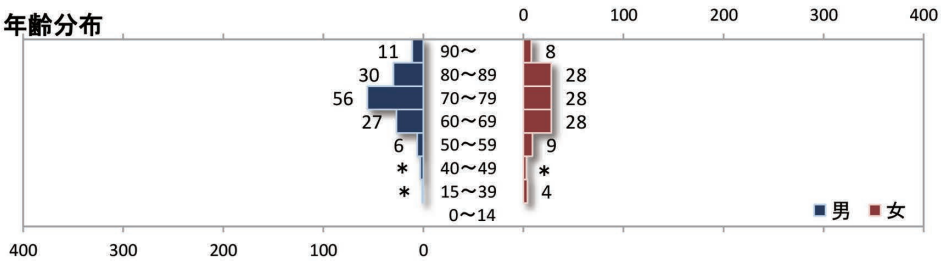
60～69歳	
乳房	10
大腸	7
該当部位	各*
計	28

70～79歳	
乳房	11
大腸	5
その他	5
該当部位	各*
計	28

80～89歳	
大腸	13
該当部位	各*
計	28

90歳～	
大腸	4
該当部位	各*
計	8

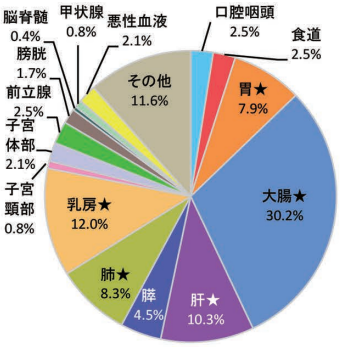
年齢分布



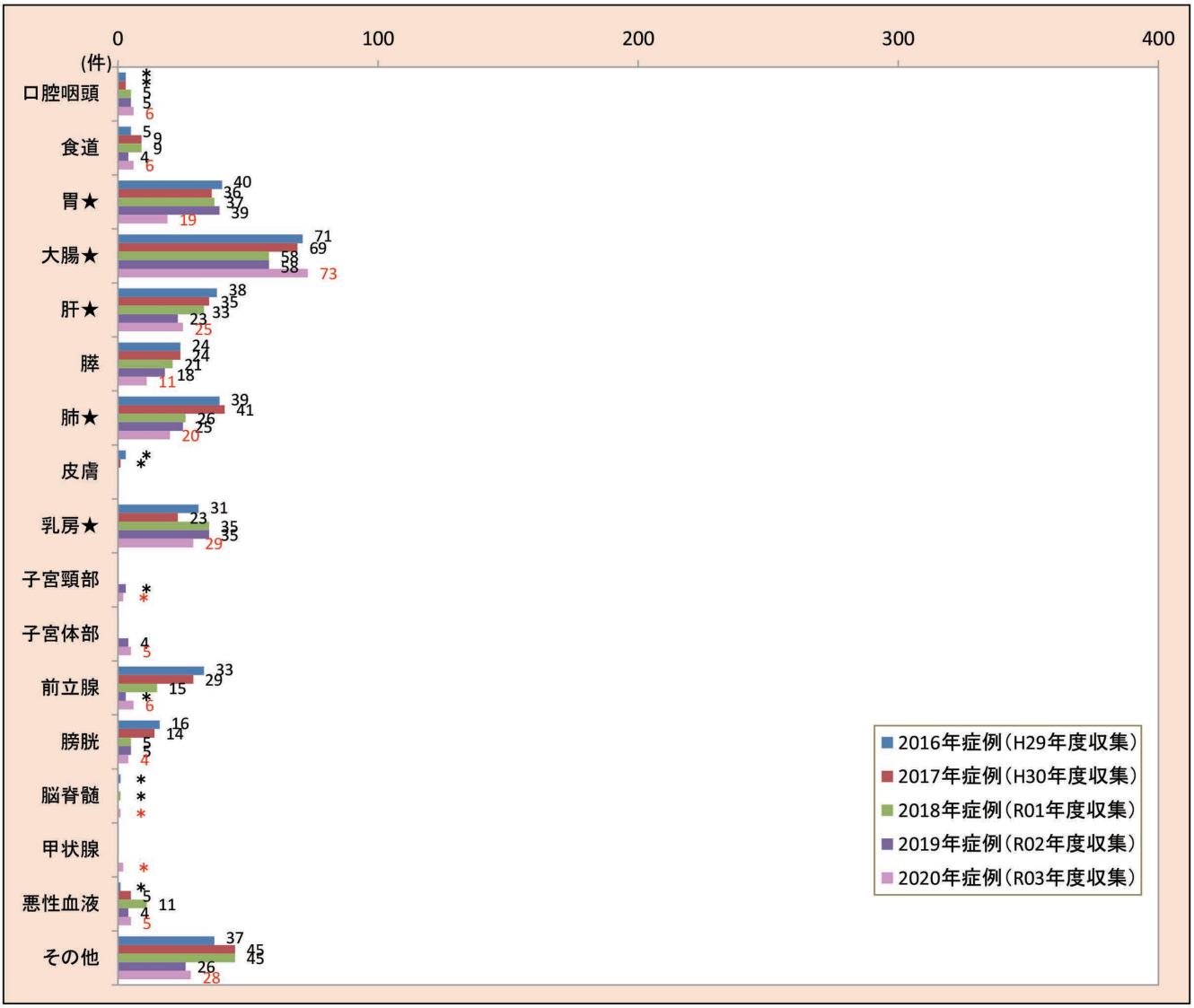
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	*	*	5	5	6
食道	5	9	9	4	6
胃★	40	36	37	39	19
大腸★	71	69	58	58	73
肝★	38	35	33	23	25
膵	24	24	21	18	11
肺★	39	41	26	25	20
皮膚	*	*			
乳房★	31	23	35	35	29
子宮頸部	10（頸部・体部）	12（頸部・体部）	11（頸部・体部）	*	*
子宮体部				4	5
前立腺	33	29	15	*	6
膀胱	16	14	5	5	4
脳脊髄	*		*		*
甲状腺					*
悪性血液疾患	*	5	11	4	5
その他	37	45	45	26	28
計	352	346	312	252	242

2020年診断症例　主要部位別割合



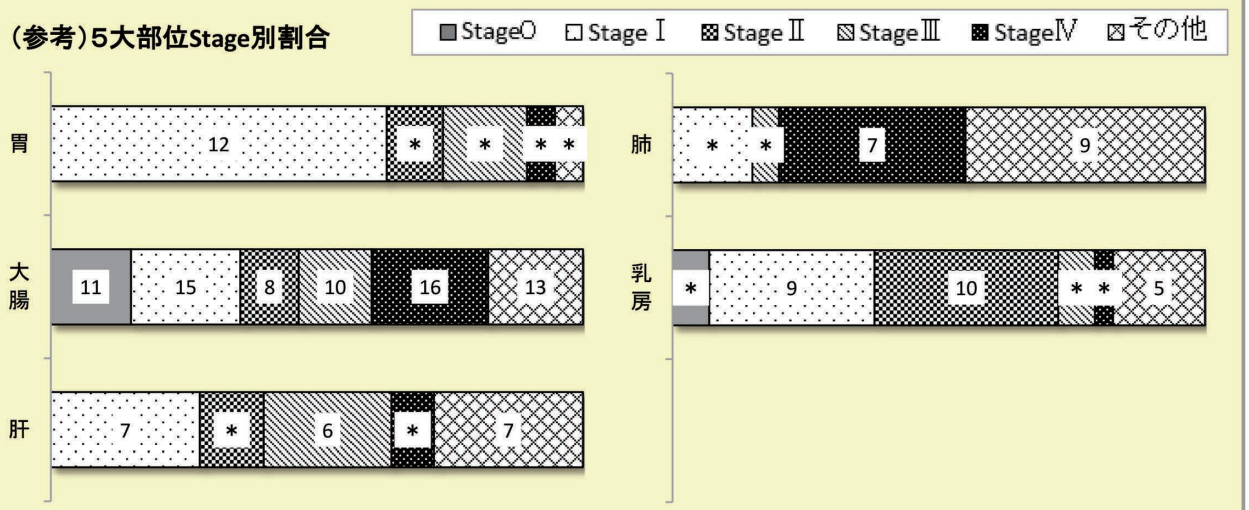
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



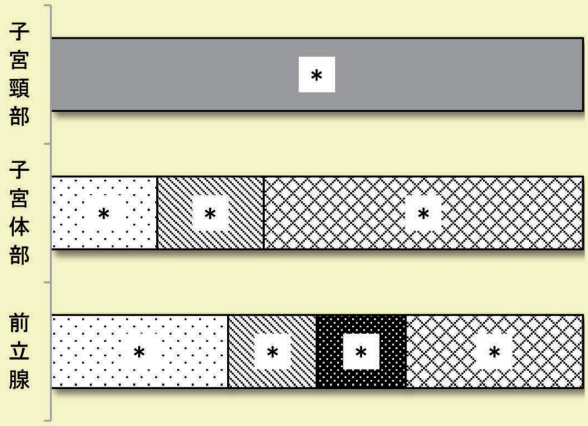
⑦　主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	6				*	*	*
食道	6		*	*		*	*
胃★	19		12	*	*	*	*
大腸★	73	11	15	8	10	16	13
肝★	25		7	*	6	*	7
膵	11		*	*	*	5	*
肺★	20		*		*	7	9
皮膚	0						
乳房★	29	*	9	10	*	*	5
子宮頸部	*	*					
子宮体部	5		*		*		*
前立腺	6		*		*	*	*
膀胱	4				*		*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*		*	*			
悪性血液疾患	5					*	4
その他	28		*	*	*	7	17
計	242	15	53	28	29	45	72

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

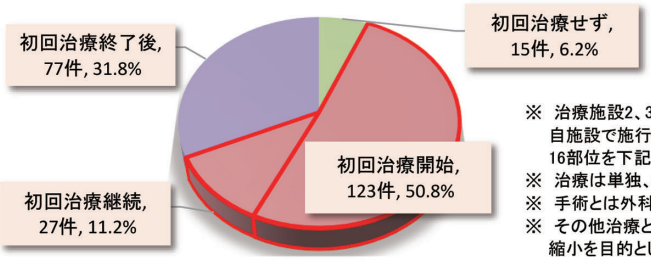


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

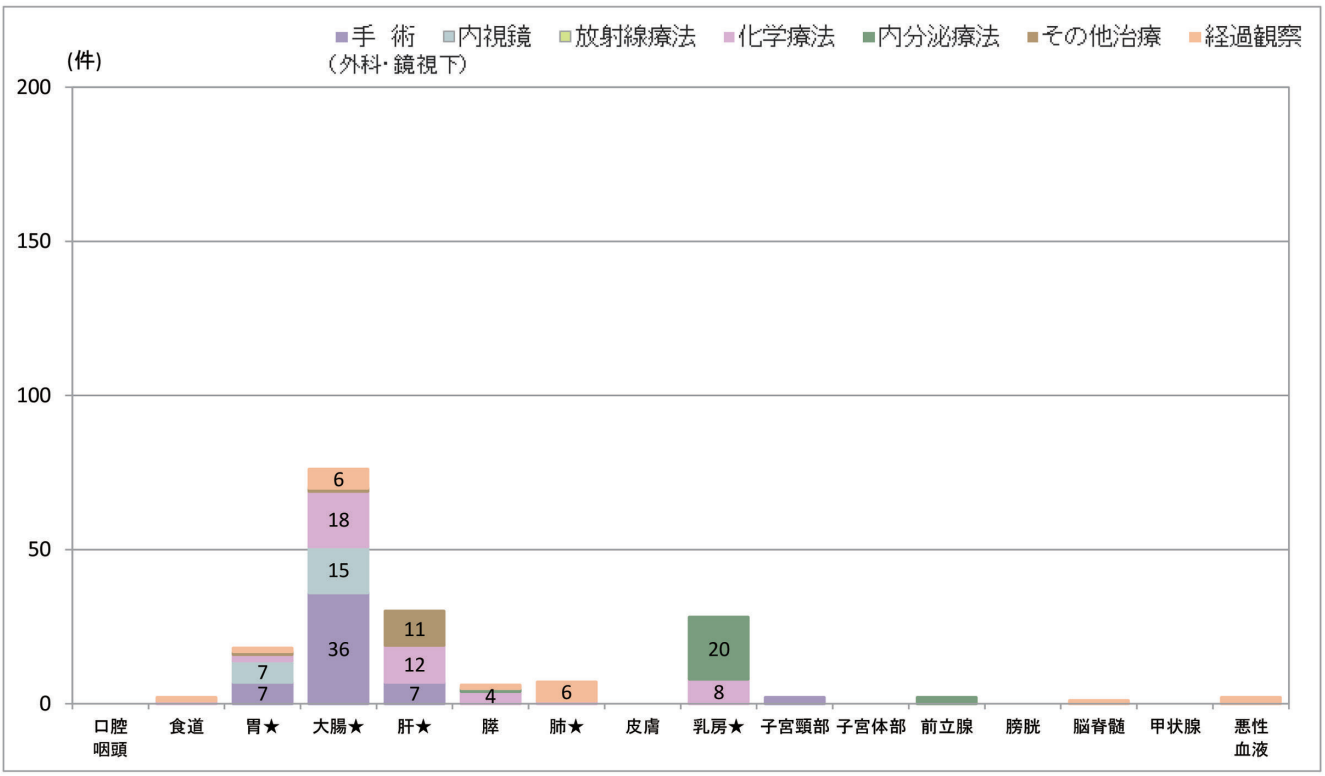
治療施設	件数
1初回治療せず	15
2初回治療開始	123
3初回治療継続	27
4初回治療終了後	77
8その他	0
計	242



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

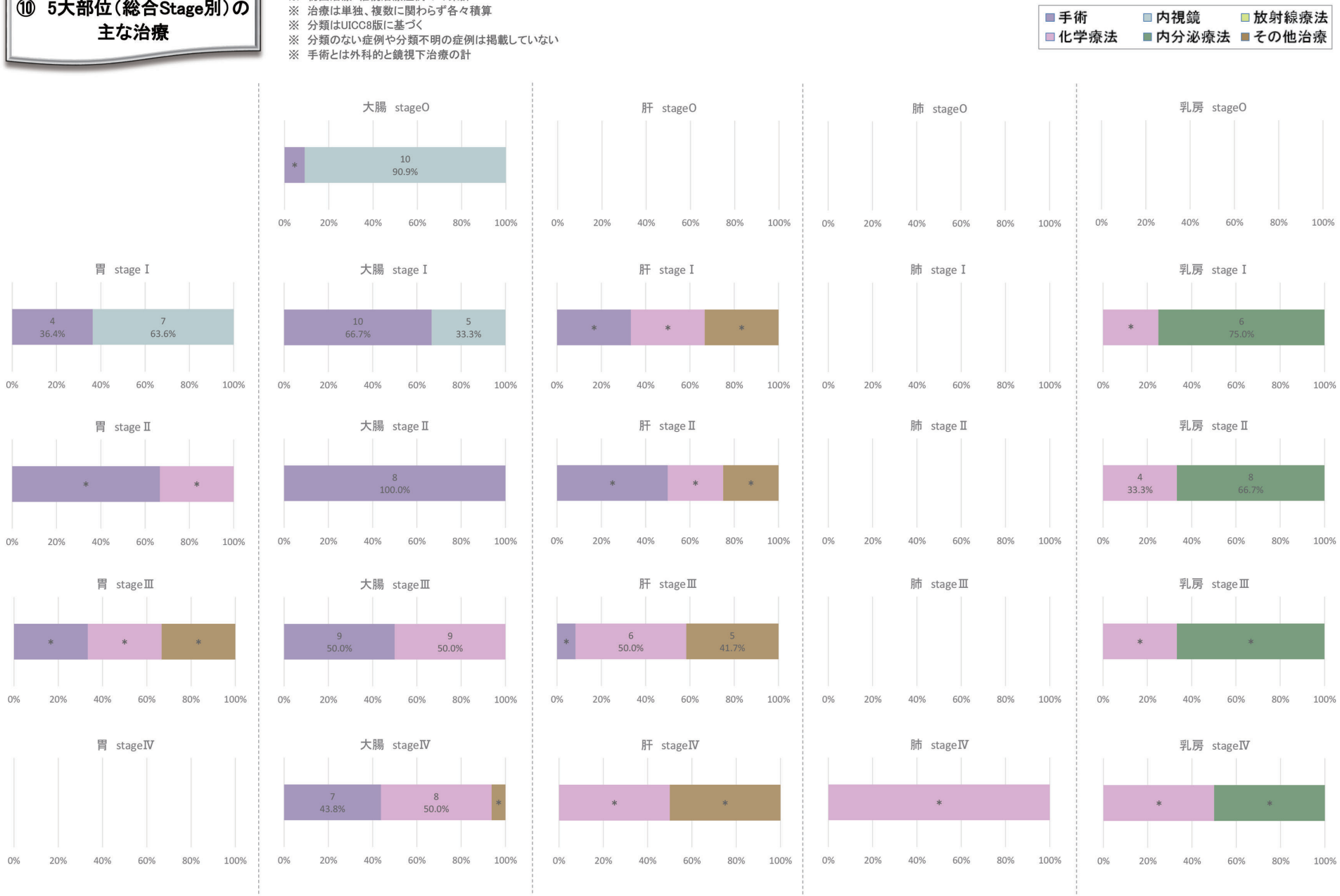
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道				*			*	*			
胃★	7	7		*		*	*	18	85.7%	7.1%	7.1%
大腸★	36	15		18		*	6	76	88.2%	7.8%	3.9%
肝★	7			12		11		30	57.1%	28.6%	14.3%
膵				4	*		*	6			
肺★				*			6	7			
皮膚								0			
乳房★				8	20			28			
子宮頸部	*							*	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部								0			
前立腺					*			*			
膀胱								0			
脳脊髄							*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	52	22	0	46	23	13	18	174			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	独立行政法人国立病院機構　熊本南病院

○基本情報

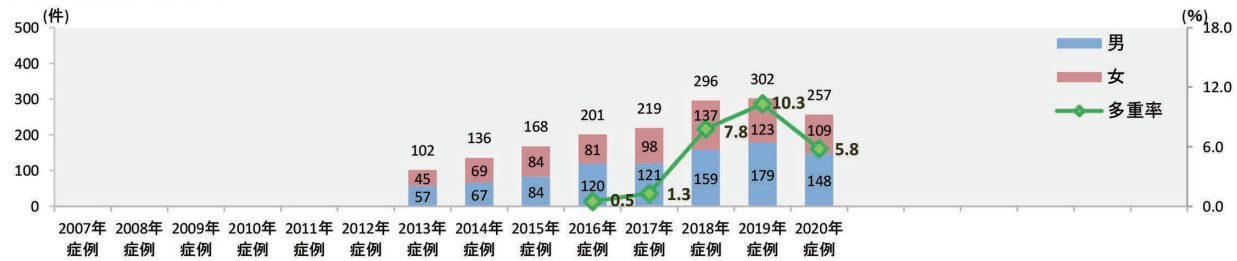
【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	宇城市松橋町豊福2338番地		
病　床　数	172床（一般150；結核22）		
診療科数	16科		
がん診療連携拠点病院指定日	2014.02.28		
がん登録開始基準日	2012.04.01		
平均在院日数	30.3（日）		
入院患者数	1,340（人）		
外来患者延数	28,662（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	16
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	595（件）		
院内がん登録件数	257（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　2　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

≪登録件数≫
・当院の2020年登録件数は、257件であり前年より45件減となった。
≪患者住所医療圏≫
・宇城81.3%（前年80.8%）、八代5.8%、熊本5.8%と宇城が全患者の8割以上を占めている。
≪平均年齢・男女比≫
・登録症例の全体の平均年齢は77.2歳であり、年齢分布で一番多い80歳代男性は全患者の約21%、女性が約13%、70歳代男性が全患者の約20%、女性が約10%となっている。男女比は、男性57.6%（148件）、女性42.4%（109件）となっている。
≪部位別登録件数≫
・肺50件（19.5%）、悪性血液疾患44件（17.1%）、大腸36件（14%）、前立腺17件（6.6%）、膵17件（6.6%）、胃16件（6.2%）、乳房14件（5.4%）、その他30件（11.7%）となった。
≪部位別病期分類の割合≫
・Stage0期（0.4%）、StageⅠ期（9.7%）、StageⅡ期（5.8%）、StageⅢ期（10.1%）、StageⅣ期（37.4%）、その他（36.6%）となった。当院は悪性血液疾患が多いため、その他の割合が多いと考えられる。
・2020年は、新型コロナウイルス感染症の流行により、病院への受診控えをされる方も少なくなかったと思われる。StageⅢ期・Ⅳ期が昨年より増加した。
≪特徴≫
・宇城地域医療圏からの患者がもっとも多い。高齢者（70歳以上）が7割以上を占めている。
・がんの診断、治療、緩和ケアまで一貫した治療や療養ができる病院として宇城医療圏での熊本県指定「がん診療連携拠点病院」である。診断はもちろんのこと、外科的治療、抗がん剤治療、再発または高度進行例に対する緩和ケア治療を行っている。
　また、地域ケア連携研修会を毎月行うことで、地域医療の質の向上と市民公開講座の開催や出張健康教室など市民に向けた情報発信に努めている。「私のカルテ」による連携をさらに進め、新型コロナウイルス感染症の流行で活動制限していた「宇城がんサロン～ほっとカフェ～」を関係者に利用しやすくなることにも取り組んでいく。

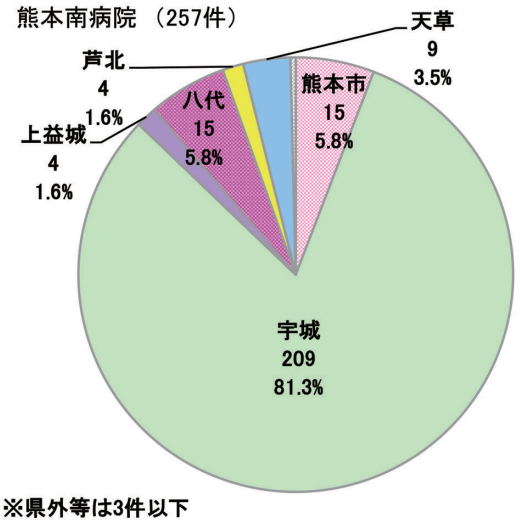
診断年別登録件数（参考）



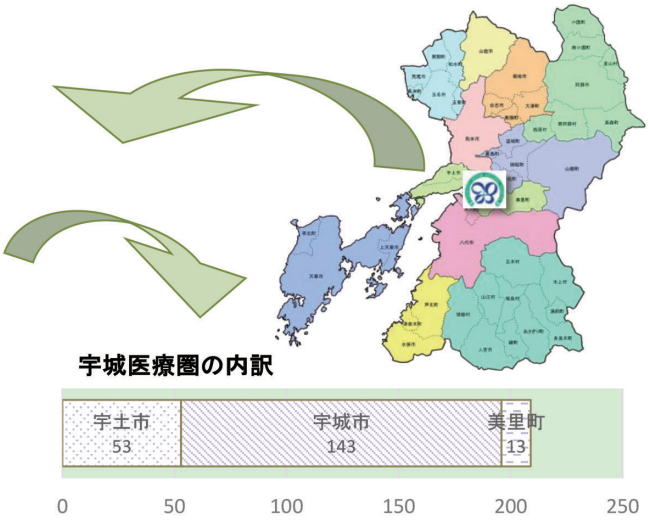
※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



※県外等は3件以下

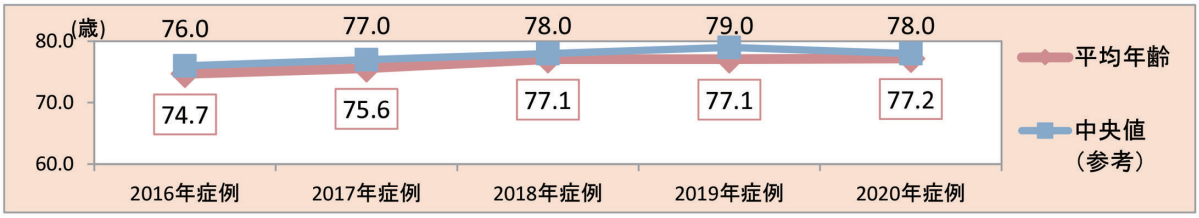


◇　医療圏別上位5部位

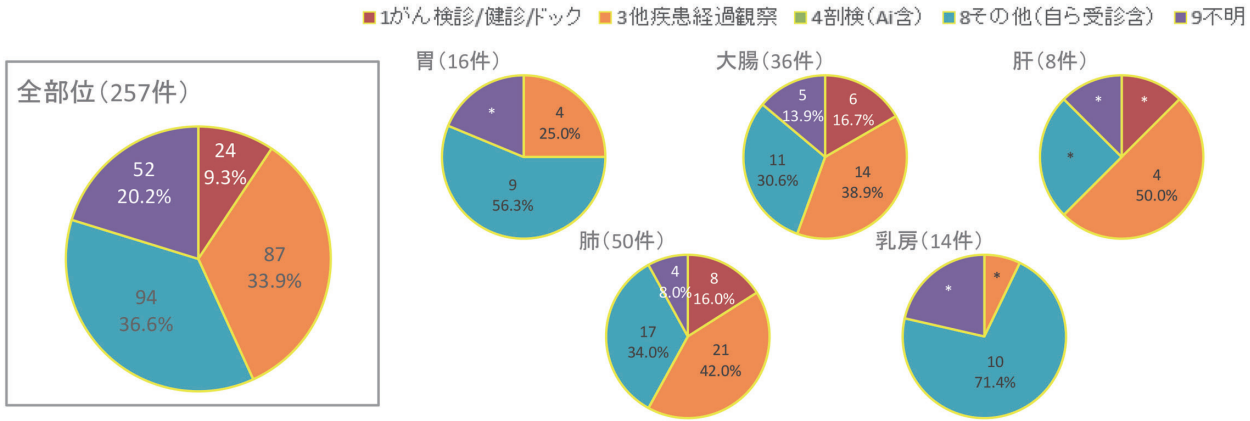
熊本市	大腸	4	鹿本			上益城	該当部位	各*	球磨		
	該当部位	各*									
宇城	肺	39	菊池			八代	大腸	4	天草	該当部位	各*
	悪性血液	39					該当部位	各*			
	大腸	28									
	その他	25									
	胃	15									
有明			阿蘇			芦北	該当部位	各*	県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

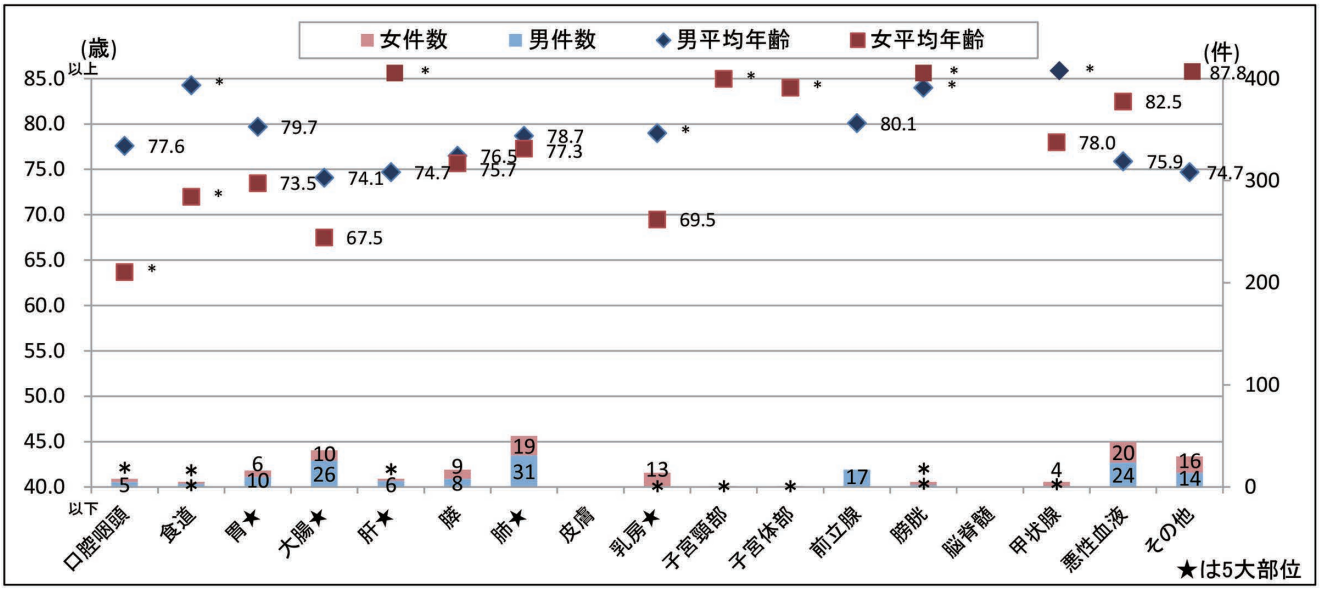
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	
肺	31
大腸	26
悪性血液	24
前立腺	17
その他	14
胃	10
膵	8
肝	6
口腔咽頭	5
食道	*
膀胱	*
乳房	*
甲状腺	*
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
計	148

0～14歳	
計	

15～39歳	
計	

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
該当部位	各*
計	4

60～69歳	
大腸	8
肺	7
悪性血液	6
該当部位	各*
計	28

70～79歳	
大腸	11
肺	11
悪性血液	8
膵	5
その他	5
など	
計	52

80～89歳	
肺	10
悪性血液	10
前立腺	7
胃	5
大腸	5
など	
計	53

90歳～	
該当部位	各*
計	10



女性全体	
悪性血液	20
肺	19
その他	16
乳房	13
大腸	10
膵	9
胃	6
甲状腺	4
口腔咽頭	*
膀胱	*
食道	*
肝	*
子宮頸部	*
子宮体部	*
皮膚	
前立腺	
脳脊髄	
計	109

0～14歳	
計	

15～39歳	
計	

40～49歳	
該当部位	各*
計	4

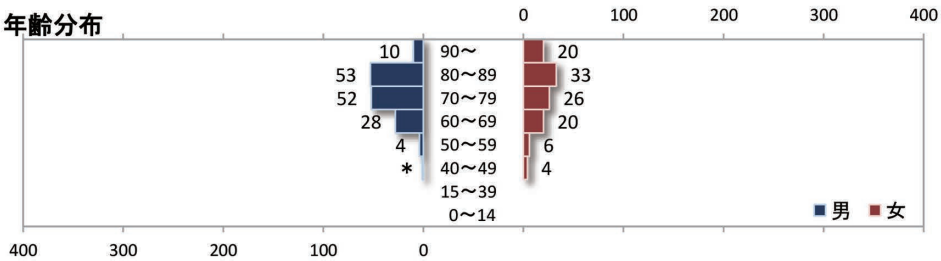
50～59歳	
該当部位	各*
計	6

60～69歳	
乳房	4
該当部位	各*
計	20

70～79歳	
肺	6
悪性血液	6
乳房	5
該当部位	各*
計	26

80～89歳	
その他	8
悪性血液	7
肺	6
該当部位	各*
計	33

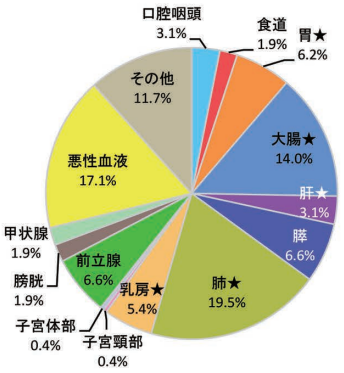
90歳～	
悪性血液	5
その他	4
該当部位	各*
計	20



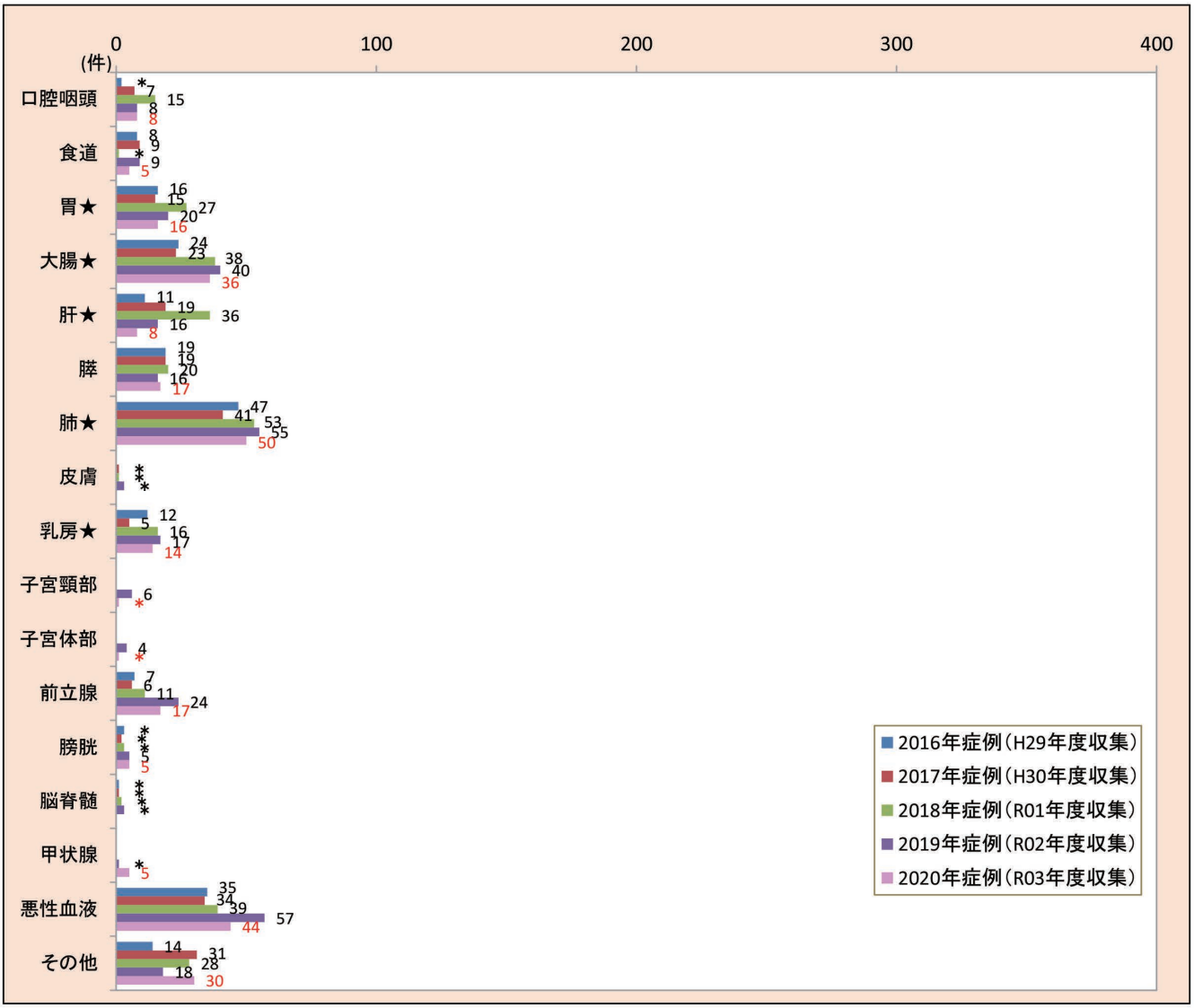
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	*	7	15	8	8
食道	8	9	*	9	5
胃★	16	15	27	20	16
大腸★	24	23	38	40	36
肝★	11	19	36	16	8
膵	19	19	20	16	17
肺★	47	41	53	55	50
皮膚		*	*	*	
乳房★	12	5	16	17	14
子宮頸部	*	6	6	6	*
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）	4	*
前立腺	7	6	11	24	17
膀胱	*	*	*	5	5
脳脊髄	*	*	*	*	
甲状腺				*	5
悪性血液疾患	35	34	39	57	44
その他	14	31	28	18	30
計	201	219	296	302	257

2020年診断症例　主要部位別割合



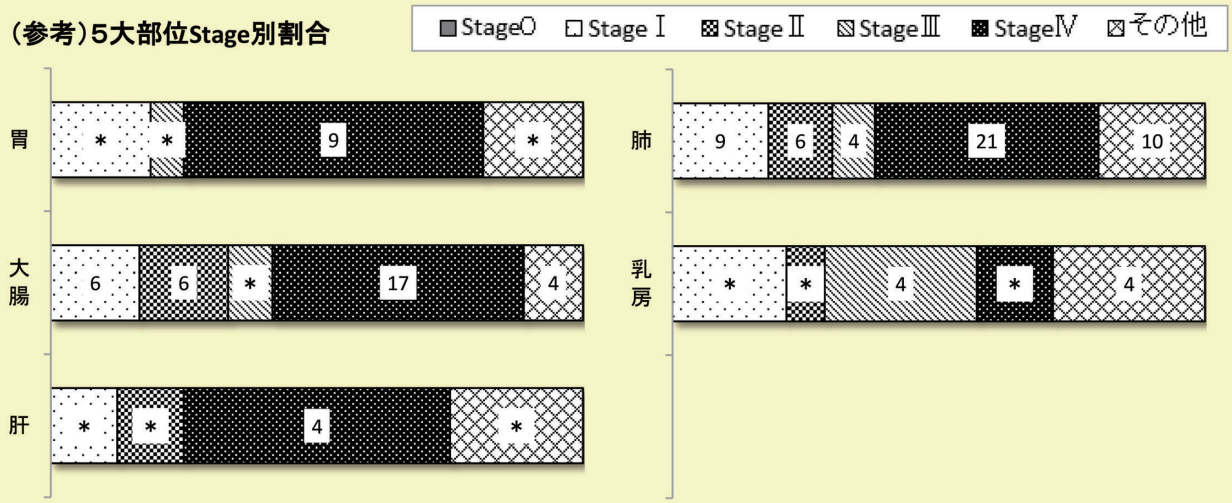
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



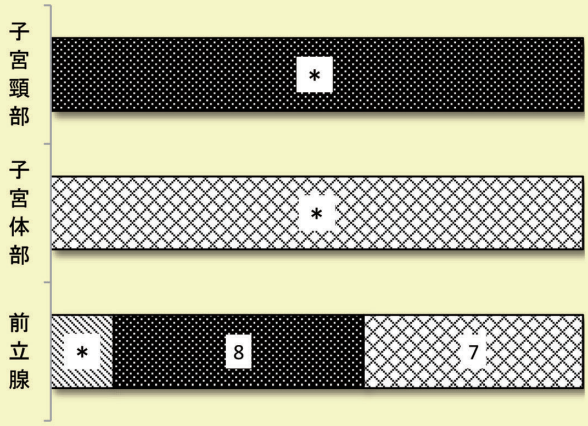
⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	8					5	*
食道	5	*			*		*
胃★	16		*		*	9	*
大腸★	36		6	6	*	17	4
肝★	8		*	*		4	*
膵	17			*	*	11	4
肺★	50		9	6	4	21	10
皮膚	0						
乳房★	14		*	*	4	*	4
子宮頸部	*					*	
子宮体部	*						*
前立腺	17				*	8	7
膀胱	5				*		*
脳脊髄	0						
甲状腺	5		*			*	*
悪性血液疾患	44		*		*	4	36
その他	30		*		5	12	12
計	257	*	25	15	26	96	94

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

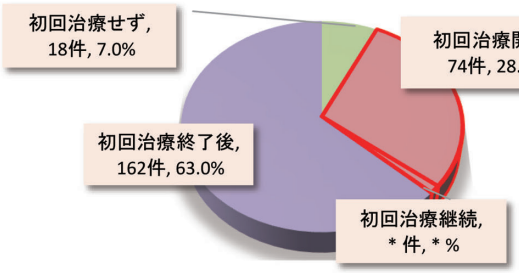


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

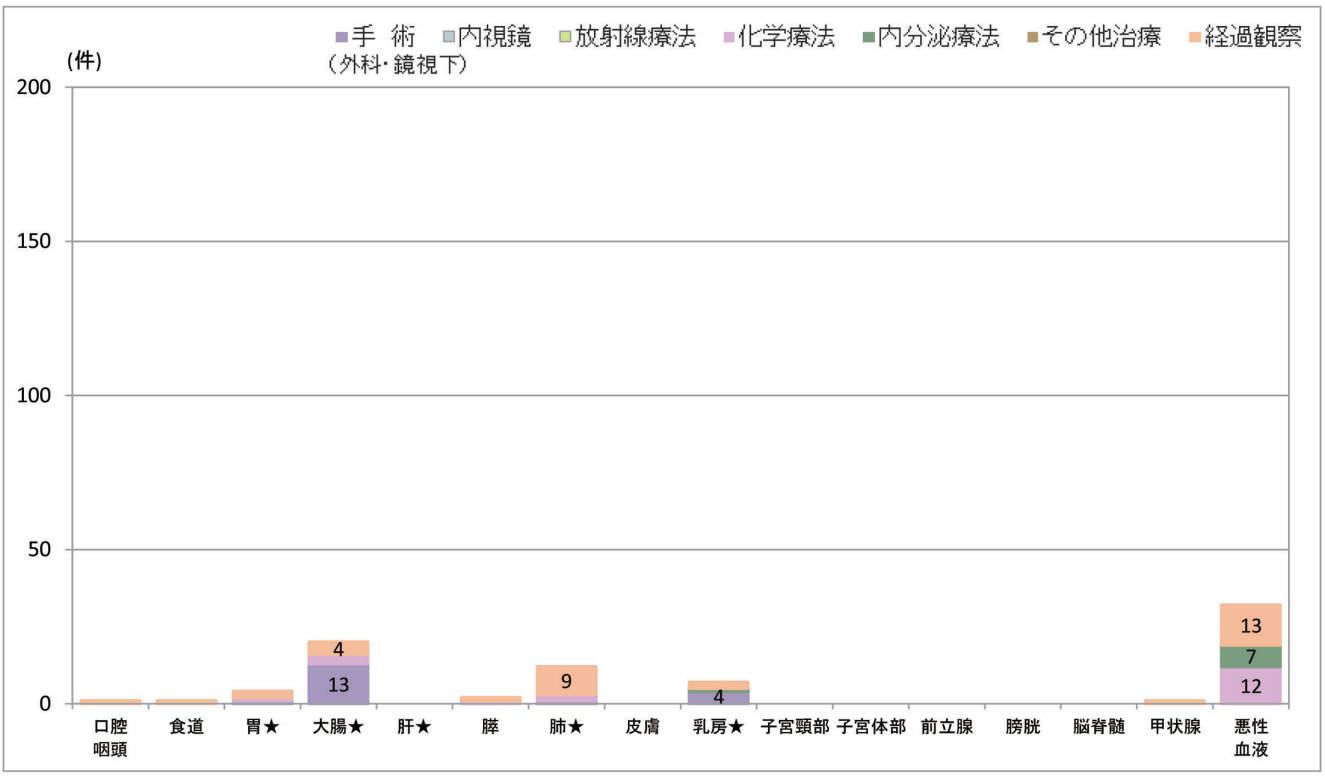
治療施設	件数
1初回治療せず	18
2初回治療開始	74
3初回治療継続	*
4初回治療終了後	162
8その他	0
計	257



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭							*	*			
食道							*	*			
胃★	*			*			*	4	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	13			*			4	20	100.0%	0.0%	0.0%
肝★								0			
膵				*			*	*			
肺★	*			*			9	12	100.0%	0.0%	0.0%
皮膚								0			
乳房★	4				*		*	7	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺							*	*			
悪性血液疾患				12	7		13	32			
計	19	0	0	19	8	0	34	80			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



濃林腫瘍登

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	阿蘇医療センター

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所在地	阿蘇市黒川1266番地		
病床数	124床（一般120；感染症4）		
診療科数	21科		
がん診療連携拠点病院指定日	2020.04.01		
がん登録開始基準日	2020.01.01		
平均在院日数	14.1（日）		
入院患者数	22,856（人）		
外来患者延数	48,420（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	1,161（件）		
院内がん登録件数	131（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は、令和2年4月に阿蘇医療圏で唯一の「熊本県指定がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。
以前から阿蘇医療圏内の患者さんは、がんと診断されると、熊本市内などの病院で受診または入院治療を行い、急性期および急性期後の外来通院をせざるを得ない状況でした。さらに熊本地震以降は主要幹線道路やJR等の交通インフラも不便になり患者さんや家族にとって遠距離の通院が負担となっていました。そういった地域の課題に対応するため、当院は平成26年の開院以来、医師の招聘、診療科の拡充等を図ってきたところです。
現在、がん関係の診療科は消化器外科、脳神経外科、歯科口腔外科、乳腺外科、婦人科、腫瘍内科、血液内科等を中心に診療を行っております。地域の医療機関からの紹介や、当院でがんを疑われた患者さんの診断から治療、熊本市内等での手術を受けられた患者さんの退院後のフォローや化学療法を行っています。
主要がん以外の「その他」については、十二指腸、胆道系、上顎洞、卵巣、腎尿管など多岐に渡り、主に継続治療や治療後のフォローを行っています。

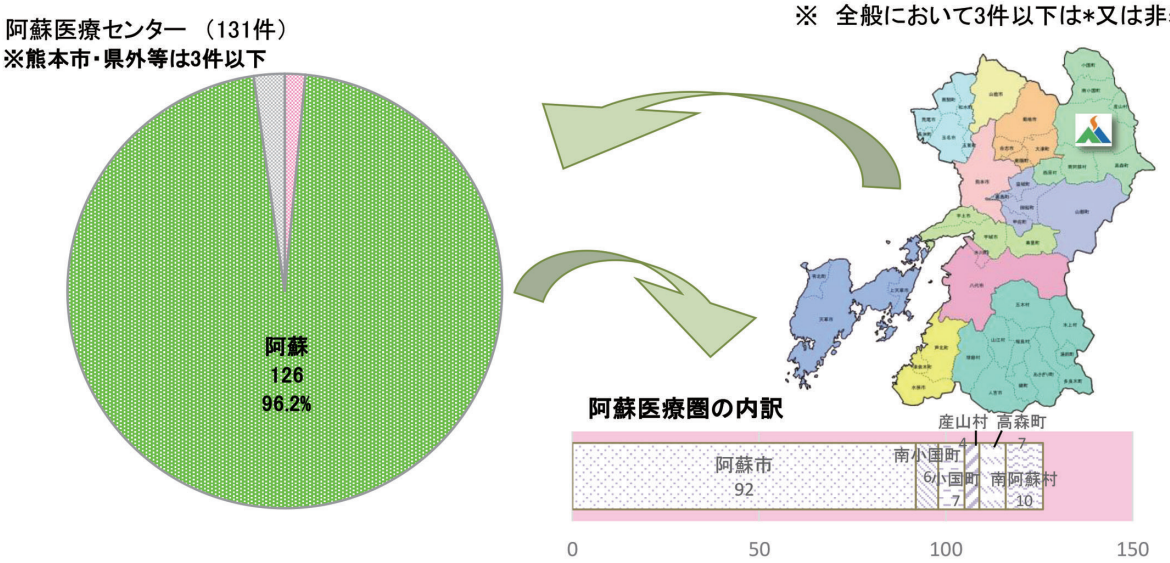
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



◇　医療圏別上位5部位

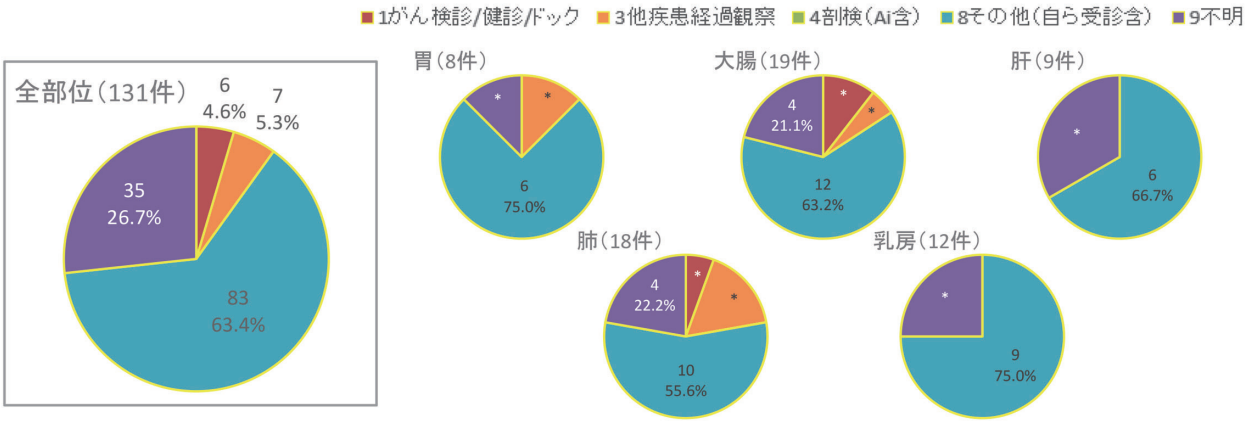
熊本市	該当部位	各*	鹿本			上益城			球磨		
宇城			菊池			八代			天草		
有明			阿蘇	その他	22	芦北			県外等	該当部位	各*
				大腸	18						
				肺	17						
				膵	11						
				乳房	11						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

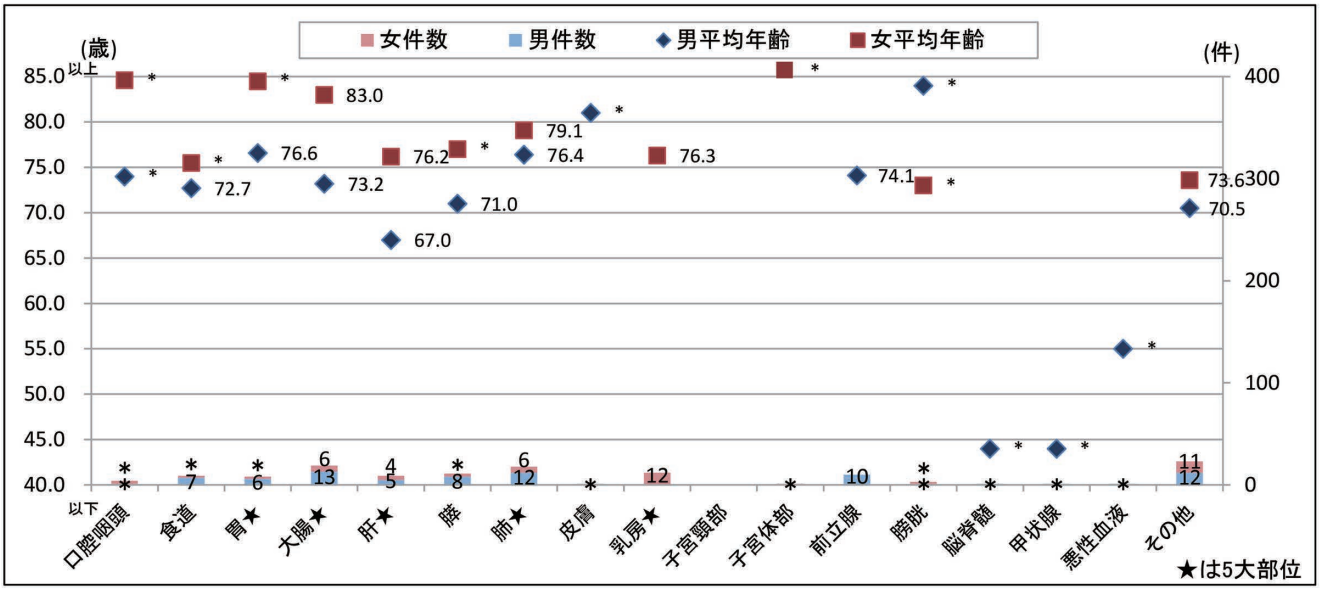
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	
大腸	13
肺	12
その他	12
前立腺	10
膵	8
食道	7
胃	6
肝	5
口腔咽頭	*
皮膚	*
膀胱	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
悪性血液	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	79

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	4

50～59歳	
該当部位	各*
計	5

60～69歳	
その他	5
該当部位	各*
計	16

70～79歳	
前立腺	6
大腸	5
食道	4
肝	4
肺	4
該当部位	各*
計	33

80～89歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	16

90歳～	
該当部位	各*
計	4



女性全体	
乳房	12
その他	11
大腸	6
肺	6
肝	4
口腔咽頭	*
膵	*
食道	*
胃	*
膀胱	*
子宮体部	*
皮膚	
子宮頸部	
前立腺	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	52

0～14歳	
計	*

15～39歳	
計	18

40～49歳	
該当部位	各*
計	17

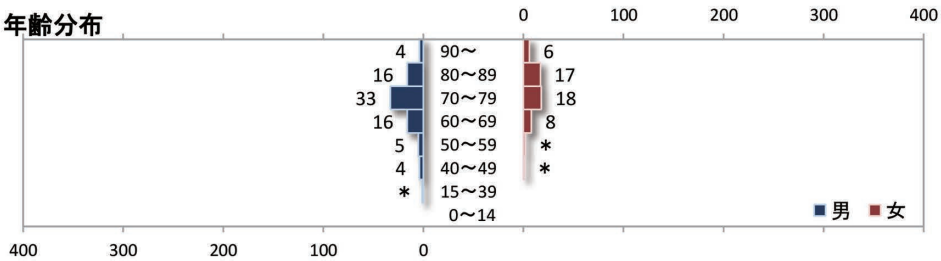
50～59歳	
該当部位	各*
計	*

60～69歳	
該当部位	各*
計	8

70～79歳	
乳房	5
その他	5
該当部位	各*
計	18

80～89歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	17

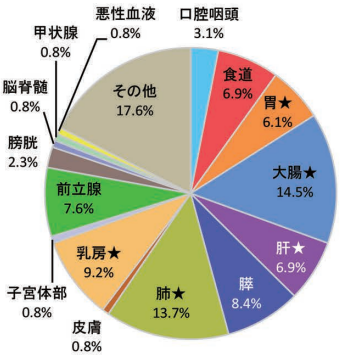
90歳～	
該当部位	各*
計	6



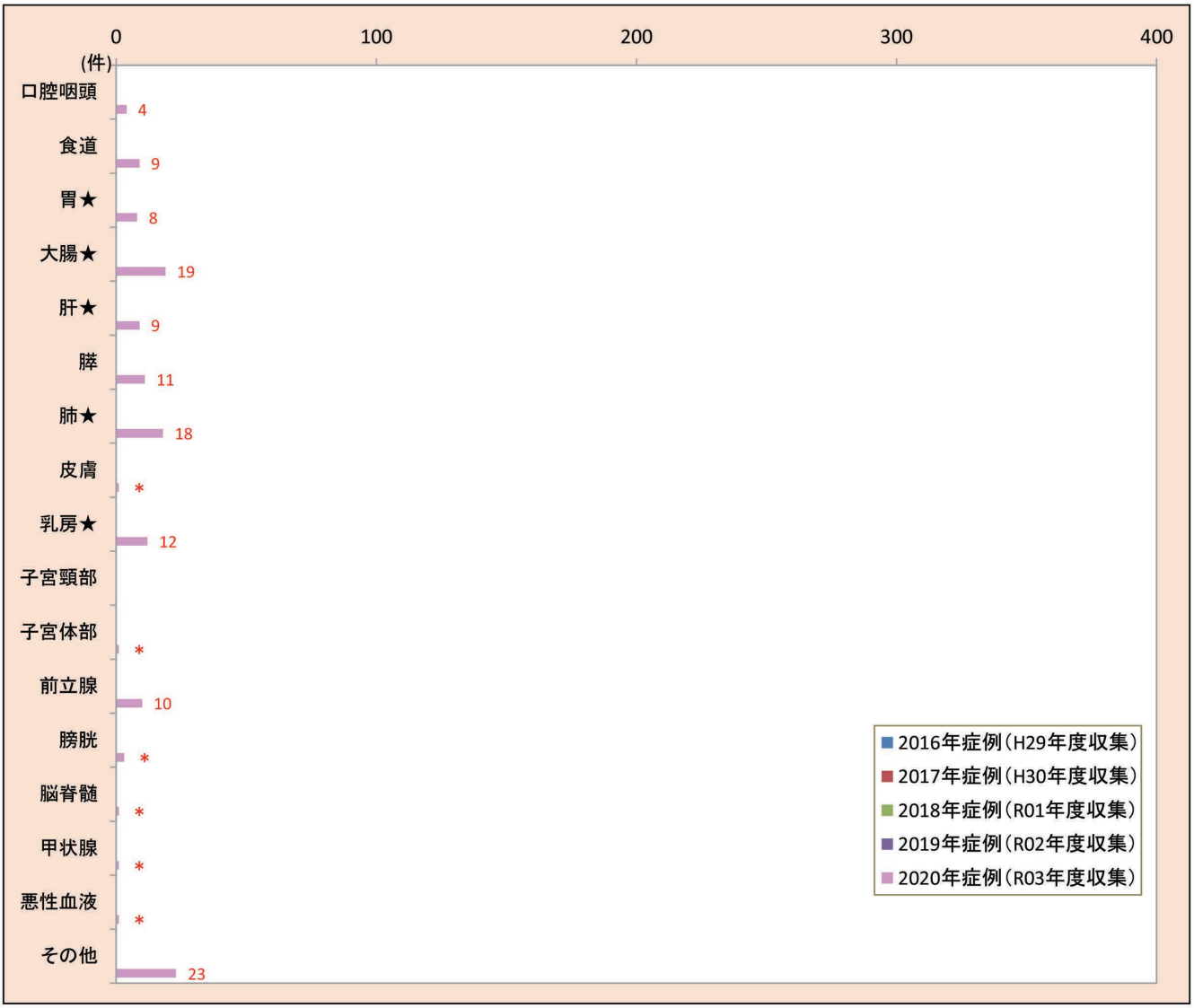
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭					4
食道					9
胃★					8
大腸★					19
肝★					9
膵					11
肺★					18
皮膚					*
乳房★					12
子宮頸部					
子宮体部					*
前立腺					10
膀胱					*
脳脊髄					*
甲状腺					*
悪性血液疾患					*
その他					23
計					131

2020年診断症例　主要部位別割合



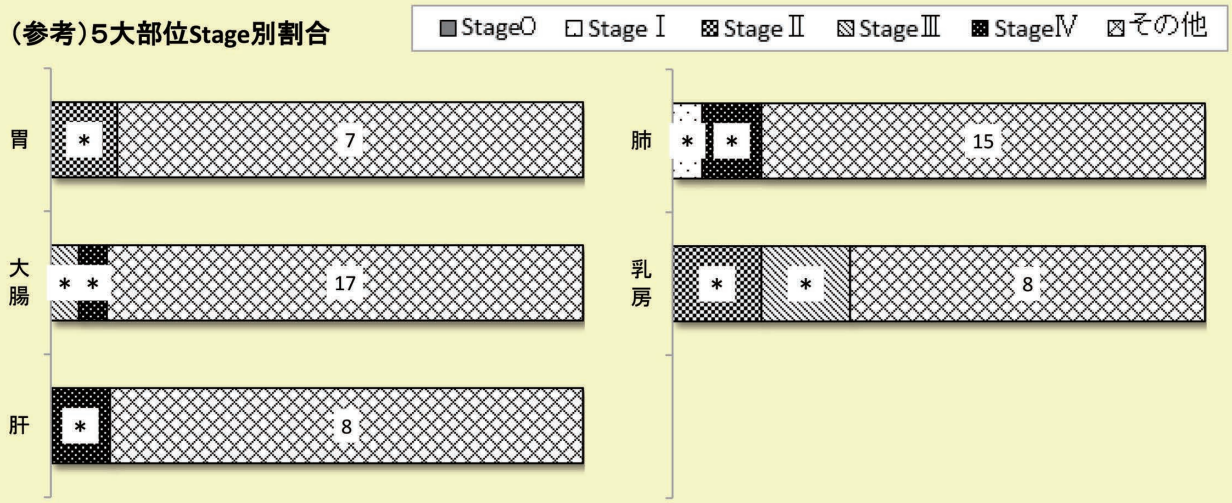
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



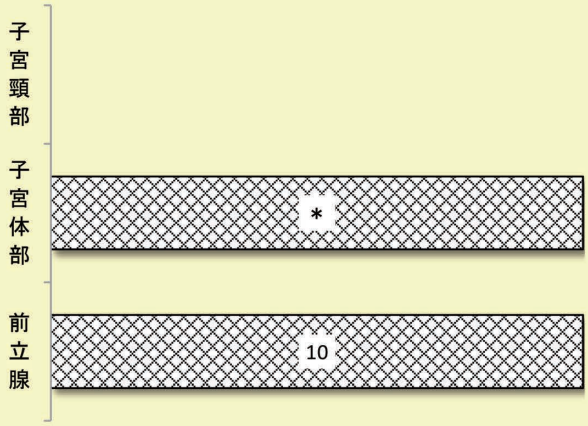
⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	4					*	*
食道	9						9
胃★	8			*			7
大腸★	19				*	*	17
肝★	9					*	8
膵	11				*		10
肺★	18		*			*	15
皮膚	*					*	
乳房★	12			*	*		8
子宮頸部	0						
子宮体部	*						*
前立腺	10						10
膀胱	*						*
脳脊髄	*						*
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	*						*
その他	23						23
計	131	0	*	*	4	6	117

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

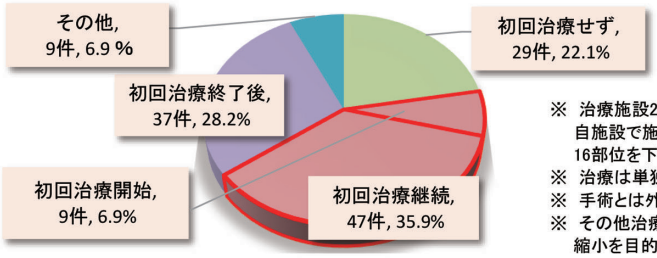


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

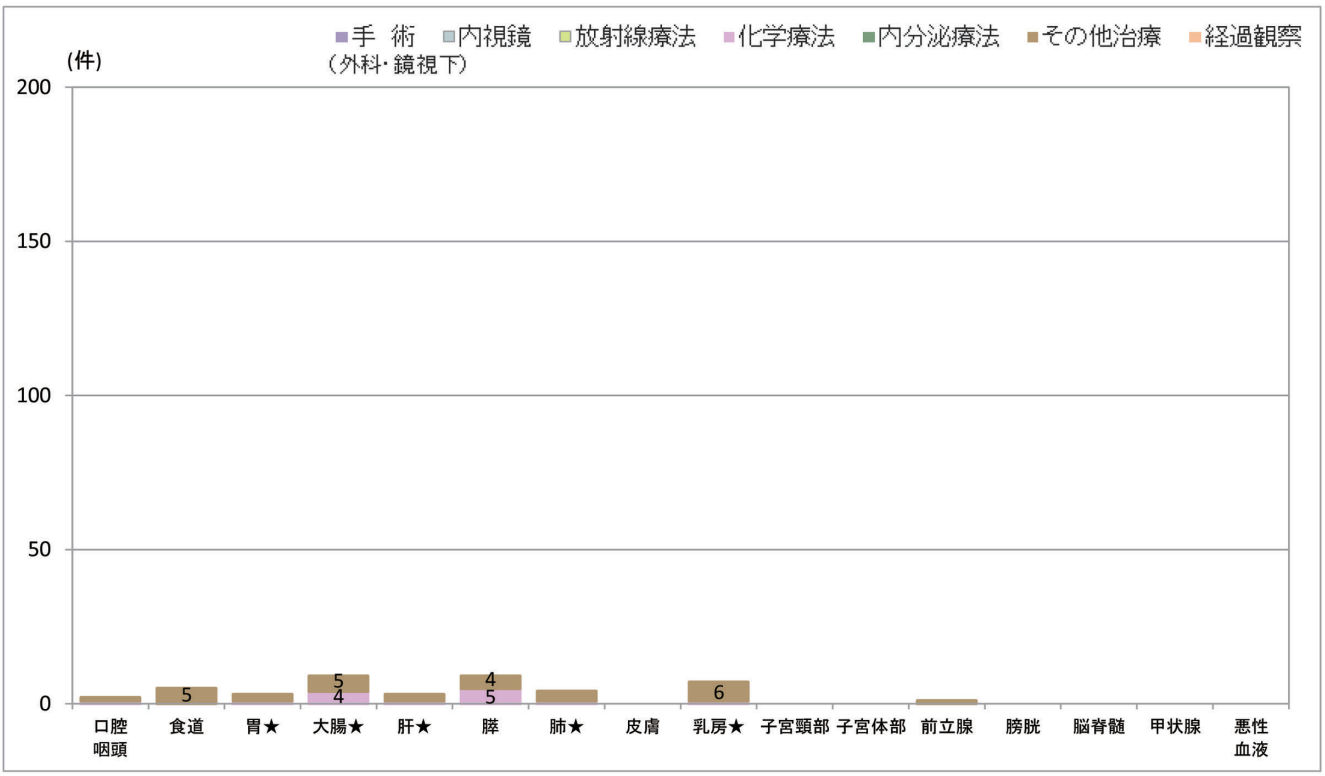
治療施設	件数
1初回治療せず	29
2初回治療開始	9
3初回治療継続	47
4初回治療終了後	37
8その他	9
計	131



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

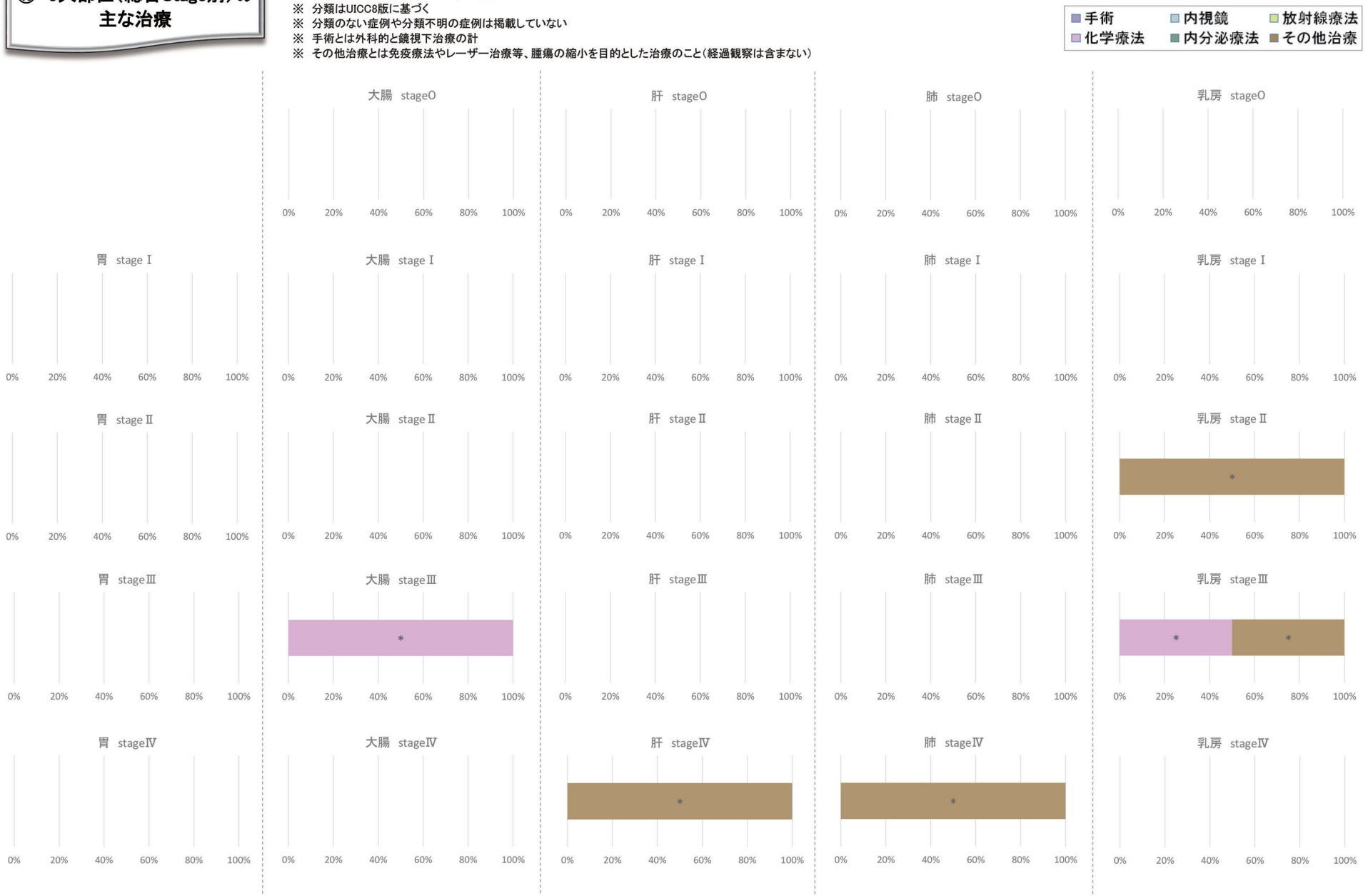
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭				*		*		*			
食道						5		5			
胃★				*		*		*			
大腸★				4		5		9			
肝★				*		*		*			
膵				5		4		9			
肺★				*		*		4			
皮膚								0			
乳房★				*		6		7			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺						*		*			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	0	0	0	14	0	29	0	43			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療のこと（経過観察は含まない）



回難関癌さろん一

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	熊本市立熊本市民病院

○基本情報

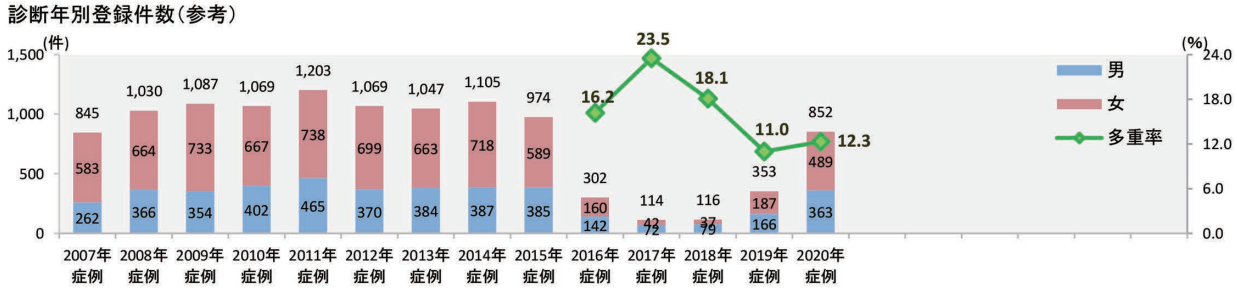
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	熊本市東区東町4丁目1-60		
病床数	388床（一般380；感染症8）		
診療科数	32科		
がん診療連携拠点病院指定日	2020.04.01		
がん登録開始基準日	1981.01.01		
平均在院日数	11.1（日）		
入院患者数	7,773（人）		
外来患者延数	94,263（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	○	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	13,000（件）		
院内がん登録件数	852（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　1（名）		

○医療機関からのコメント

【症例件数】
2020年は852件で前年(353件)と比較して499件増加。熊本地震以前の2015年(974件)に近づいている。
2019年10月に新病院が開院し、着実に登録件数が増えているが、2020年より新型コロナウィルス対応でがん患者の受入れが抑制されている。
【性別】
男性363件(42.6%)、女性489件(57.4%)で女性が多い。乳房疾患、子宮頸部および子宮体部がんが多かったため女性割合が増えたと考えられる。
【年齢】
平均年齢68.0歳で前年と比較すると平均年齢が上がっているが、2016年から2019年は患者数が少ないため2015年の平均年齢67.9歳と比較すると、ほぼ横ばいの状態である。
【医療圏】
熊本市東区340件(39.9%)、上益城157件(18.4%)、熊本市中央区92件(10.8%)であった。これは、当院が担当する医療圏を示しており、今後も地域の医療機関との連携を深めて行きたい。
【部位別状況】
最も多かったものは乳房93件(%)、次いで大腸79件(%)、子宮頸部79件(%)であった。
乳房については手術や放射線治療目的の治療患者が徐々に増えてきており、大腸についてはスタッフの充実による増加と思われる。
その他の部位に含まれるものとしては腎疾患や卵巣疾患があり、泌尿器科および婦人科の紹介患者が増えたために関連する部位が増加していると考えられる。
【治療】
新病院が開院後、手術、化学療法、放射線治療の3つが可能となり、当院で治療完結出来る患者が増えた。
新型コロナウィルスの影響でがん治療に対する入院が抑制されてはいるが、地震以前の状態に戻りつつあるといえる。

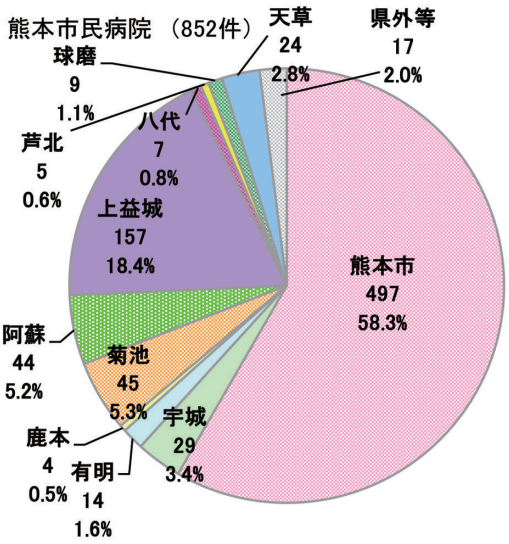
診断年別登録件数（参考）

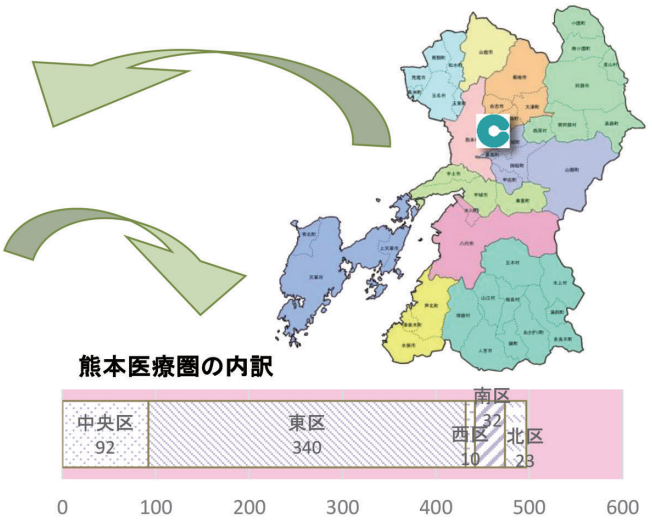


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



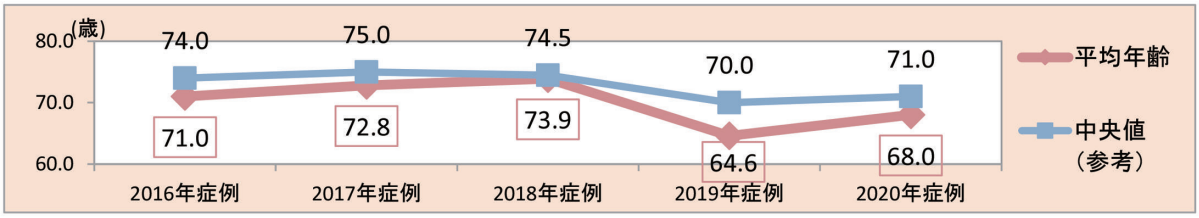


◇　医療圏別上位5部位

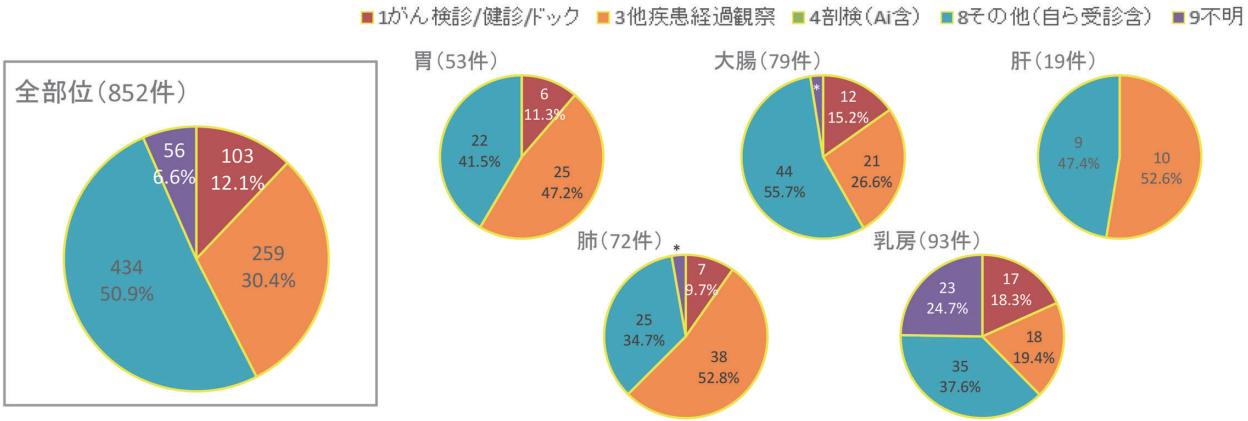
熊本市	その他	61	鹿本	該当部位	各*	上益城	乳房	20	球磨	該当部位	各*
	大腸	54					悪性血液	17			
	肺	50					胃	16			
	悪性血液	50					その他	15			
	子宮頸部	42					肺	14			
宇城	皮膚	5	菊池	悪性血液	8	八代	該当部位	各*	天草	子宮体部	5
	乳房	4		乳房	7					その他	5
	該当部位	各*		子宮頸部	7					乳房	4
				脳脊髄	6					悪性血液	4
				該当部位	各*					該当部位	各*
有明	子宮頸部	4	阿蘇	乳房	12	芦北	該当部位	各*	県外等	該当部位	各*
	該当部位	各*		皮膚	5						
				前立腺	5						
				その他	5						
				該当部位	各4						

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

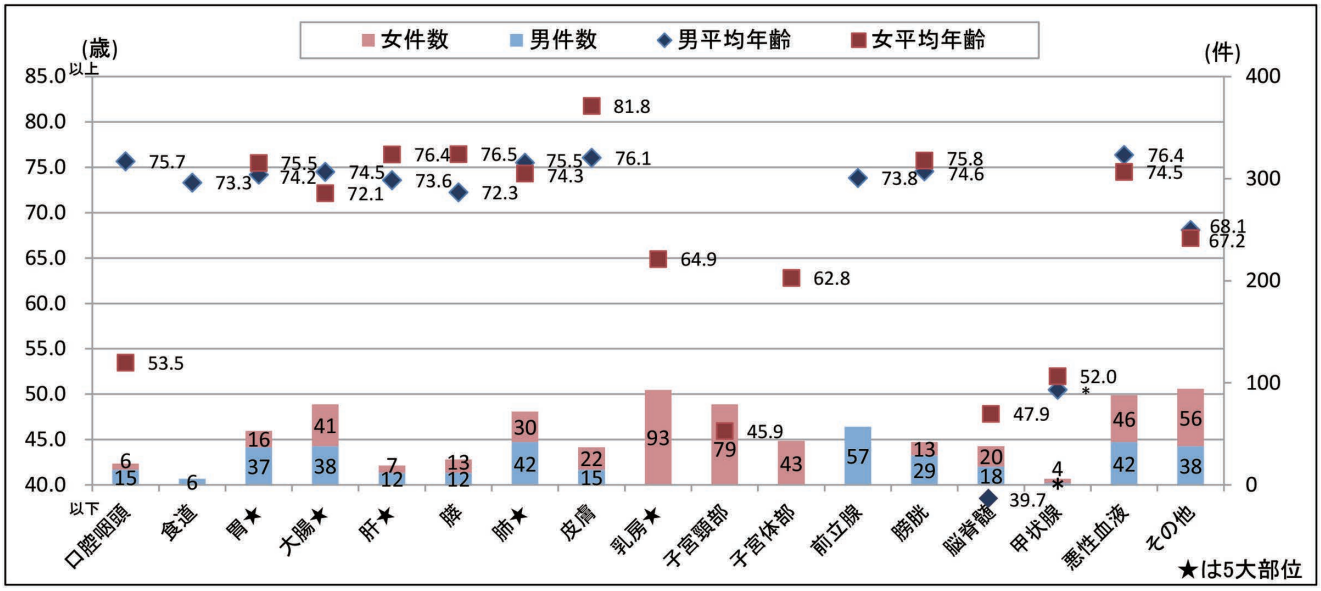
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
前立腺	57
肺	42
悪性血液	42
大腸	38
その他	38
胃	37
膀胱	29
脳脊髄	18
口腔咽頭	15
皮膚	15
肝	12
膵	12
食道	6
甲状腺	2
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
計	363

0～14歳	
該当部位	各*
計	*

15～39歳	
脳脊髄	6
該当部位	各*
計	10

40～49歳	
該当部位	各*
計	13

50～59歳	
その他	5
該当部位	各*
計	24

60～69歳	
前立腺	14
胃	9
肺	9
悪性血液	9
該当部位	各8
など	
計	79

70～79歳	
前立腺	28
大腸	19
胃	14
その他	11
悪性血液	10
など	
計	116

80～89歳	
悪性血液	17
肺	16
膀胱	12
胃	11
該当部位	各9
など	
計	100

90歳～	
肺	5
該当部位	各*
計	18

女性全体	
乳房	93
子宮頸部	79
その他	56
悪性血液	46
子宮体部	43
大腸	41
肺	30
皮膚	22
脳脊髄	20
胃	16
膵	13
膀胱	13
肝	7
口腔咽頭	6
甲状腺	4
食道	
前立腺	
計	489

0～14歳	
脳脊髄	5
該当部位	各*
計	6

15～39歳	
子宮頸部	34
該当部位	各*
計	44

40～49歳	
子宮頸部	19
乳房	11
その他	9
子宮体部	7
大腸	5
該当部位	各*
計	56

50～59歳	
乳房	21
その他	11
子宮体部	10
子宮頸部	9
該当部位	各4
など	
計	71

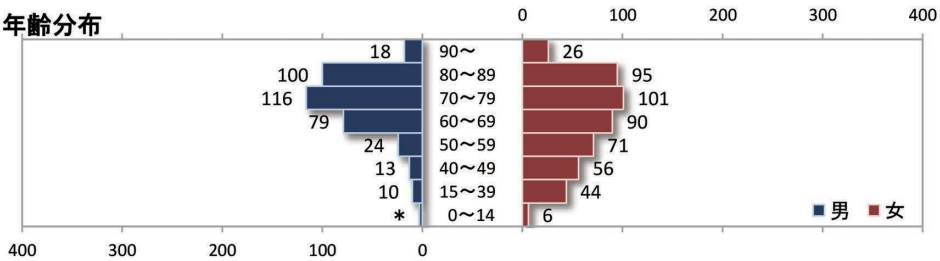
60～69歳	
乳房	29
子宮頸部	12
子宮体部	11
大腸	6
その他	6
など	
計	90

70～79歳	
乳房	23
悪性血液	15
大腸	10
肺	10
その他	10
など	
計	101

80～89歳	
悪性血液	16
その他	15
大腸	14
肺	11
乳房	8
など	
計	95

90歳～	
皮膚	7
胃	4
該当部位	各*
計	26

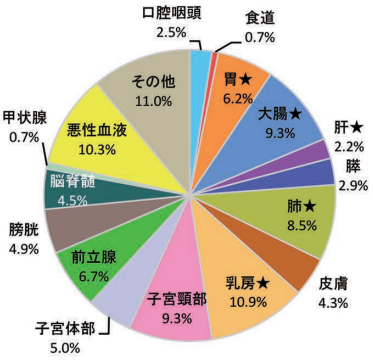
年齢分布



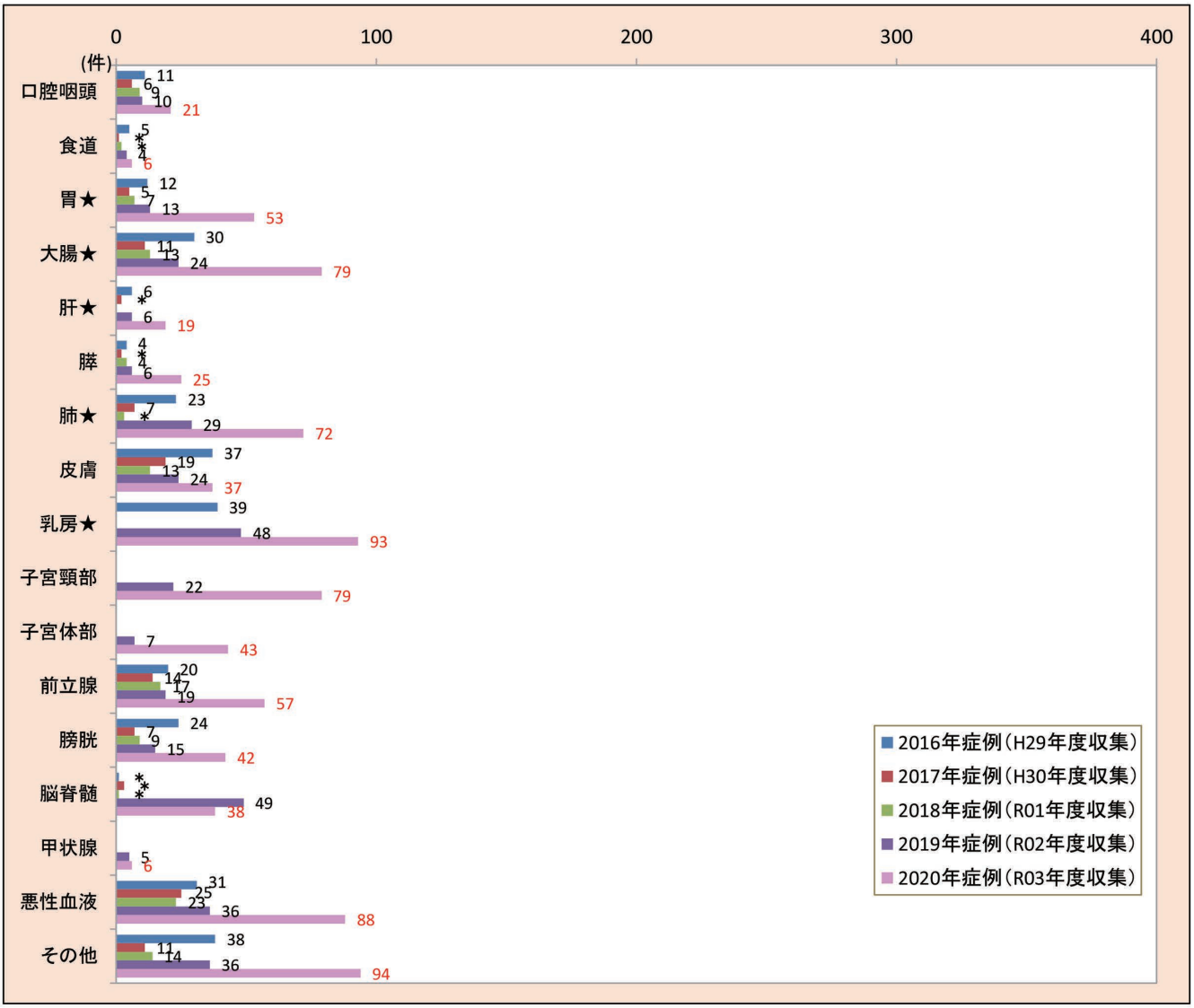
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭	11	6	9	10	21
食道	5	*	*	4	6
胃★	12	5	7	13	53
大腸★	30	11	13	24	79
肝★	6	*		6	19
膵	4	*	4	6	25
肺★	23	7	*	29	72
皮膚	37	19	13	24	37
乳房★	39			48	93
子宮頸部	21（頸部・体部）	*（頸部・体部）	*（頸部・体部）	22	79
子宮体部				7	43
前立腺	20	14	17	19	57
膀胱	24	7	9	15	42
脳脊髄	*	*	*	49	38
甲状腺				5	6
悪性血液疾患	31	25	23	36	88
その他	38	11	14	36	94
計	302	114	116	353	852

2020年診断症例　主要部位別割合



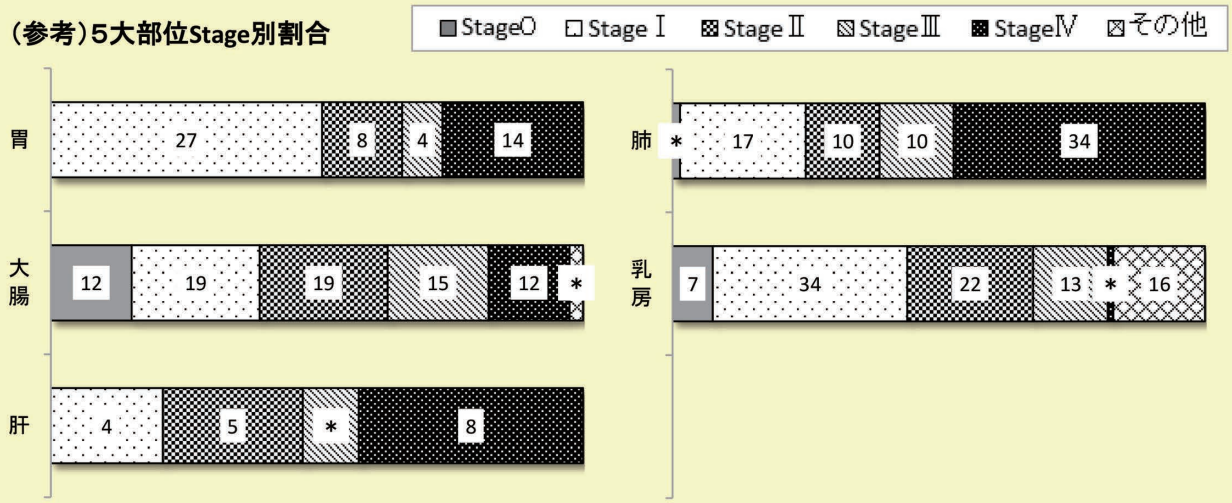
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



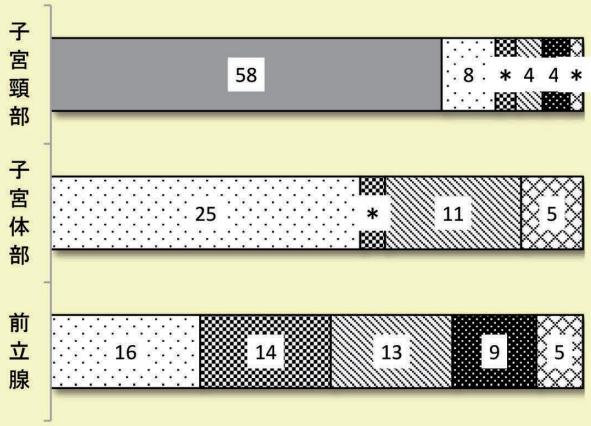
⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	21	*	4	*	*	6	5
食道	6		4			*	
胃★	53		27	8	4	14	
大腸★	79	12	19	19	15	12	*
肝★	19		4	5	*	8	
膵	25	*	*	*	7	11	
肺★	72	*	17	10	10	34	
皮膚	37	7	24	*		*	*
乳房★	93	7	34	22	13	*	16
子宮頸部	79	58	8	*	4	4	*
子宮体部	43		25	*	11		5
前立腺	57		16	14	13	9	5
膀胱	42	24	12	*	*		*
脳脊髄	38						38
甲状腺	6		6				
悪性血液疾患	88		12	9	*	22	42
その他	94	5	36	13	7	17	16
計	852	119	250	114	93	142	134

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

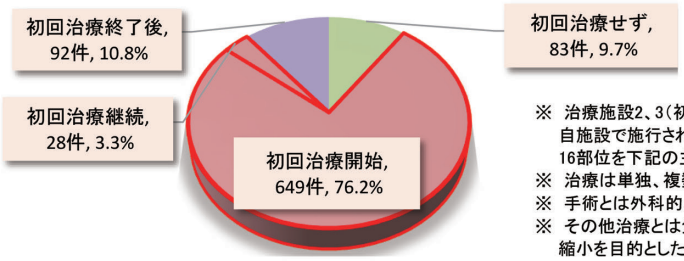


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

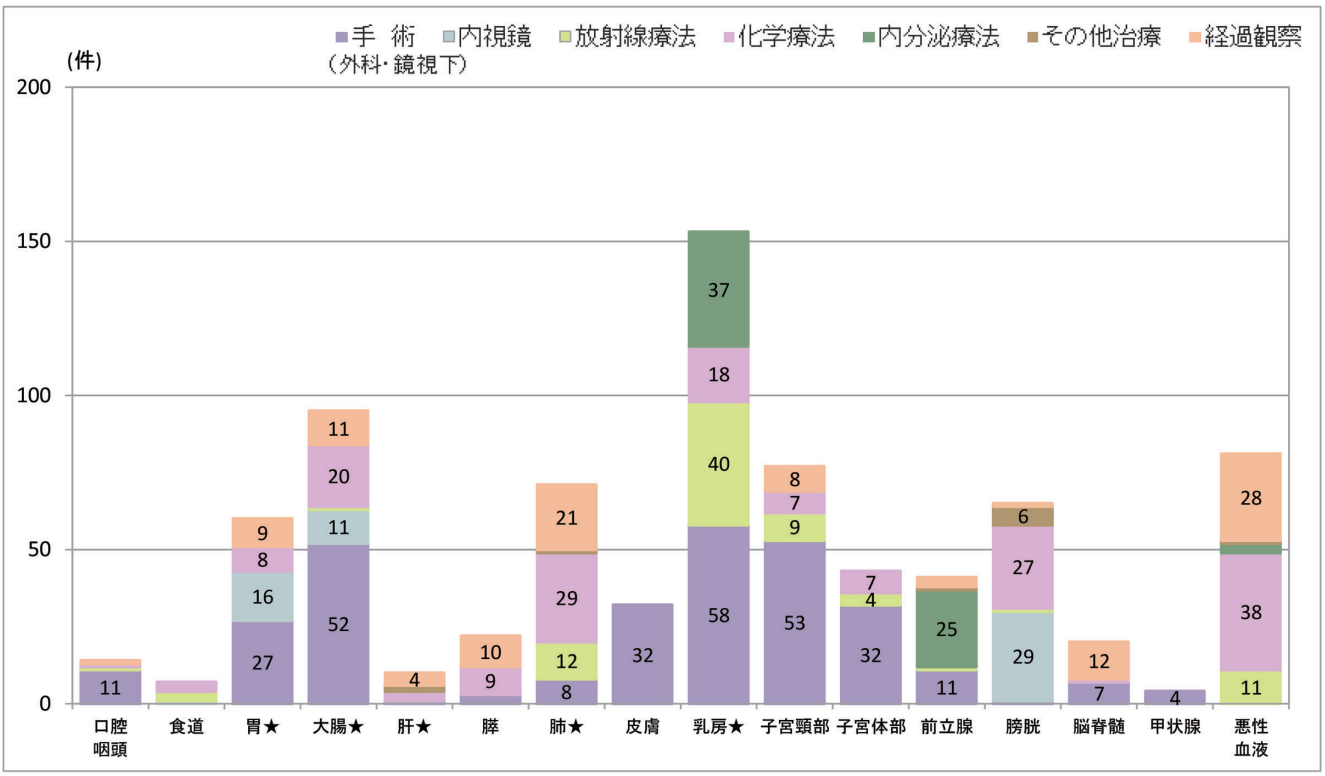
治療施設	件数
1初回治療せず	83
2初回治療開始	649
3初回治療継続	28
4初回治療終了後	92
8その他	0
計	852



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭	11		*	*			*	14	27.3%	72.7%	0.0%
食道		*	*	*				7	0.0%	100.0%	0.0%
胃★	27	16		8			9	60	9.3%	86.0%	4.7%
大腸★	52	11	*	20			11	95	4.8%	95.2%	0.0%
肝★	*			*		*	4	10	0.0%	100.0%	0.0%
膵	*			9			10	22	0.0%	100.0%	0.0%
肺★	8		12	29		*	21	71	0.0%	100.0%	0.0%
皮膚	32							32	0.0%	100.0%	0.0%
乳房★	58		40	18	37			153	12.1%	82.8%	5.2%
子宮頸部	53		9	7			8	77	3.8%	92.5%	3.8%
子宮体部	32		4	7				43	6.3%	81.3%	12.5%
前立腺	11		*		25	*	*	41	9.1%	81.8%	9.1%
膀胱	*	29	*	27		6	*	65	20.0%	80.0%	0.0%
脳脊髄	7			*			12	20	71.4%	28.6%	0.0%
甲状腺	4							4	0.0%	100.0%	0.0%
悪性血液疾患			11	38	*	*	28	81			
計	300	57	83	171	65	11	108	795			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



無断転載禁止

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	社会医療法人黎明会　宇城総合病院

○基本情報

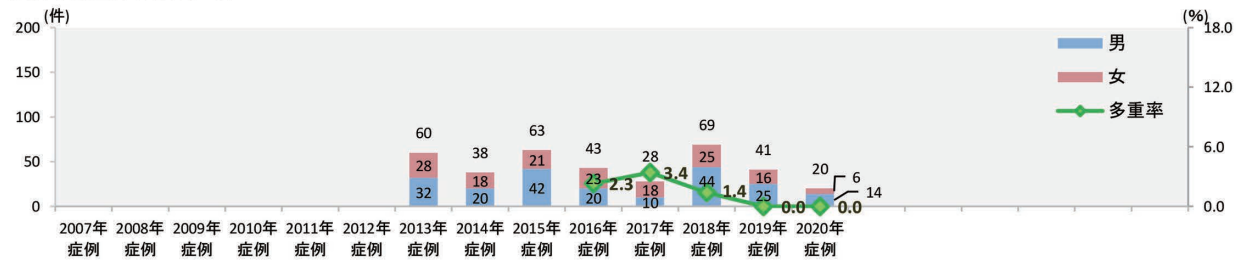
【令和2(2020)年12月現在】

所在地	宇城市松橋町久具691		
病床数	204床（一般200；感染症4）		
診療科数	18科		
がん診療連携拠点病院指定日	ー		
がん登録開始基準日	2010.04.01		
平均在院日数	25.1（日）		
入院患者数	1,722（人）		
外来患者延数	49,520（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	×
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ケースファインド/施設によっては概算）	24（件）		
院内がん登録件数	20（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　0　／他　4（名）		

○医療機関からのコメント

1. 症例件数
　当院における2020年の症例件数は20件(前年症例：41件)となった。
2. 医療圏
　宇城地区 90.0%　熊本市 5.0%　球磨 5.0%
　○宇城地区が全患者の9割を占めている。
　○宇城地区の内訳：宇城市 55.0%　宇土市 35.0%
3. 平均年齢・男女比
　平均年齢：71.7歳 〈男性平均：71.5歳　女性平均：72.2歳〉
　○男性　1位：60歳代　2位：70歳代・90歳代
　○女性　1位：70歳代　2位：60歳代　***男女比は男性 70.0%、女性 30.0%となった***
4. 主要部位別割合
　大腸：35.0%(前年:34.1%)、胃：40.0%(前年:17.1%)、乳房：10.0%(前年:7.3%)、
　肝：該当なし(前年:4.9%)、肺：該当なし(前年:7.3%)
　※今年は胃癌の割合が多い。
5. 特徴
　例年同様に宇城地域医療圏からの患者が多く、高齢者が増加している。手術対応が困難な末期状態で積極的な治療を希望されない、または癌に対する積極的な検査若しくは治療を希望されない患者が多いため、病理診断レベルでの病期分類の確定診断がされていない症例が反映している。
　来院経路としては自主受診 15.0%（前年:24.4%）、他施設紹介 50.0%（前年:61.0%）、他疾患経過観察中 30.0%（前年:12.2%）と、何らかの症状があり、当院を受診されるケースが多かった。治療としては、化学療法をされている症例が多かった。

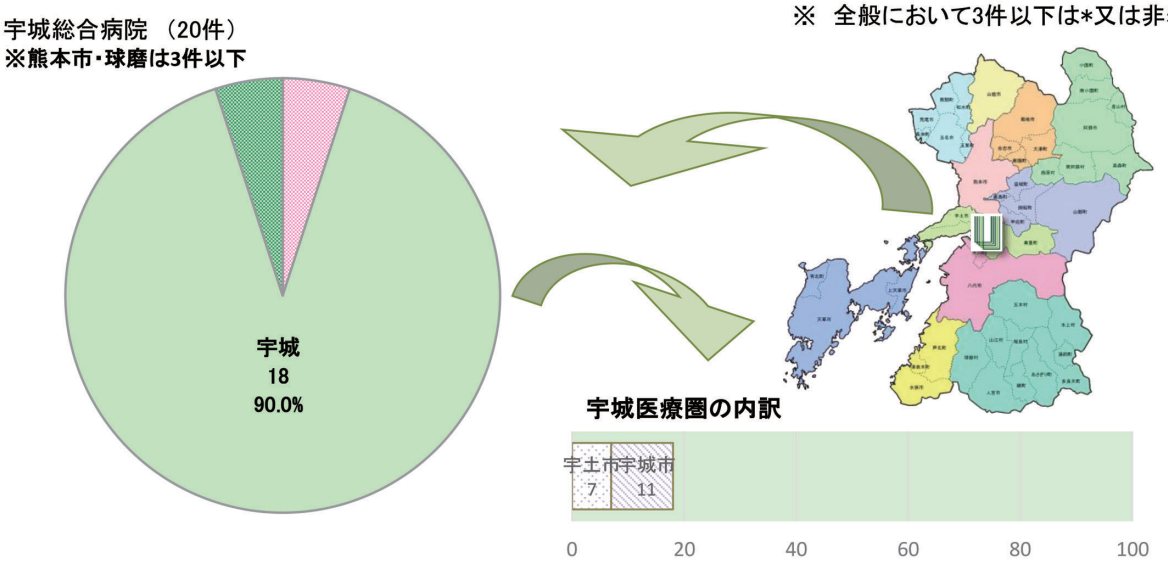
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示

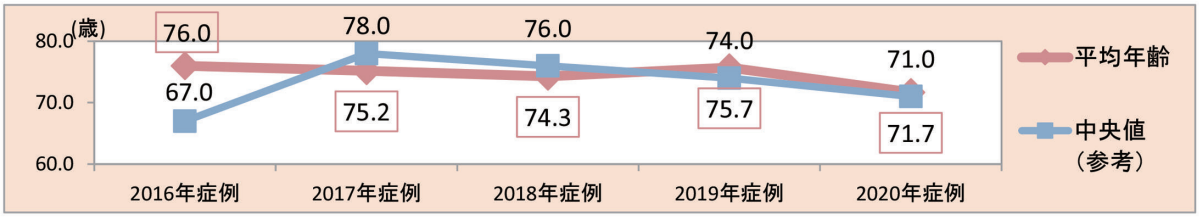


◇　医療圏別上位5部位

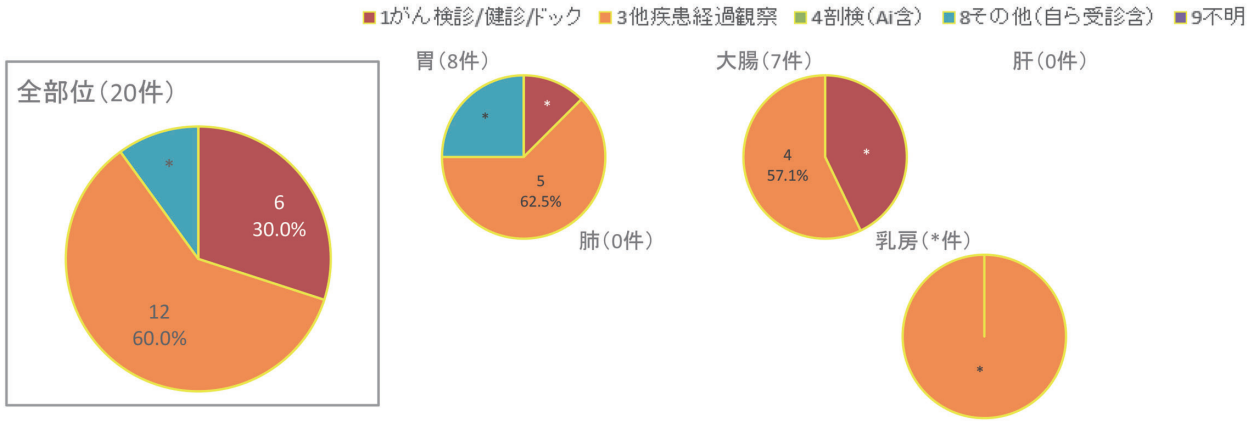
熊本市	該当部位	各*	鹿本			上益城			球磨	該当部位	各*
宇城	胃	8	菊池			八代			天草		
	大腸	6									
	該当部位	各*									
有明			阿蘇			芦北			県外等		

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

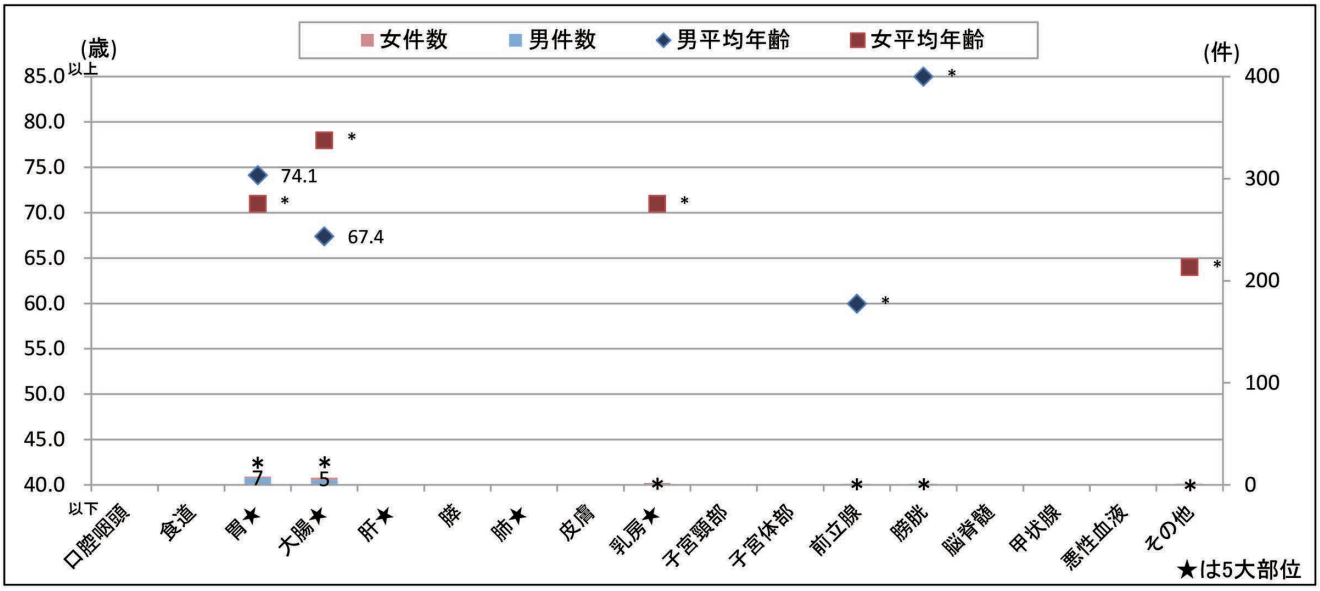
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



男性全体	
胃	7
大腸	5
前立腺	*
膀胱	*
口腔咽頭	
食道	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
その他	
計	14

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
						該当部位	各*
						計	*

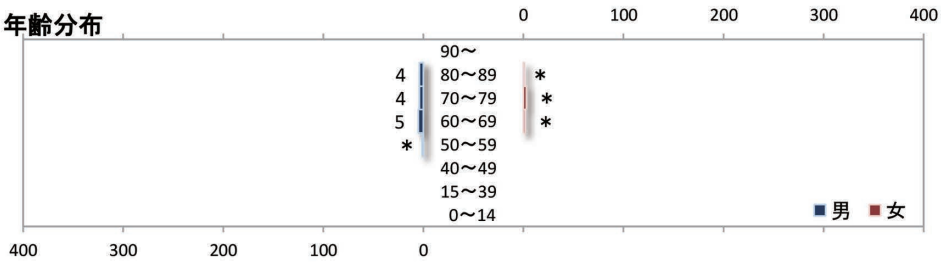
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*		
計	5	計	4	計	4		



女性全体	
大腸	*
乳房	*
胃	*
その他	*
口腔咽頭	
食道	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
計	6

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	

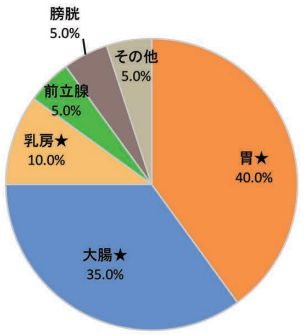
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
該当部位	各*	該当部位	各*	該当部位	各*		
計	*	計	*	計	*		



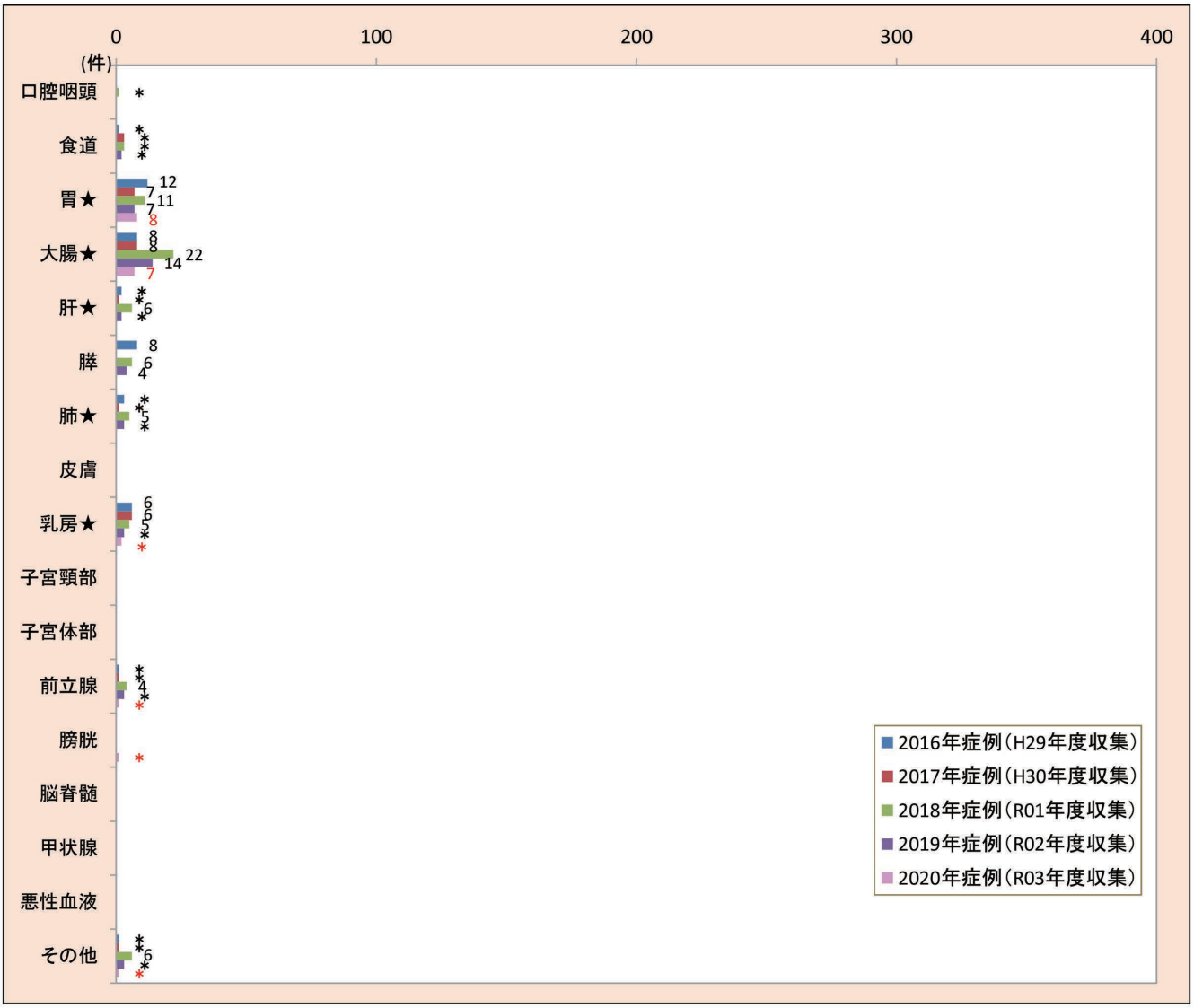
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭			*		
食道	*	*	*	*	
胃★	12	7	11	7	8
大腸★	8	8	22	14	7
肝★	*	*	6	*	
膵	8		6	4	
肺★	*	*	5	*	
皮膚					
乳房★	6	6	5	*	*
子宮頸部	*				
子宮体部	（頸部・体部）	（頸部・体部）	（頸部・体部）		
前立腺	*	*	4	*	*
膀胱					*
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患					
その他	*	*	6	*	*
計	43	28	69	41	20

2020年診断症例　主要部位別割合

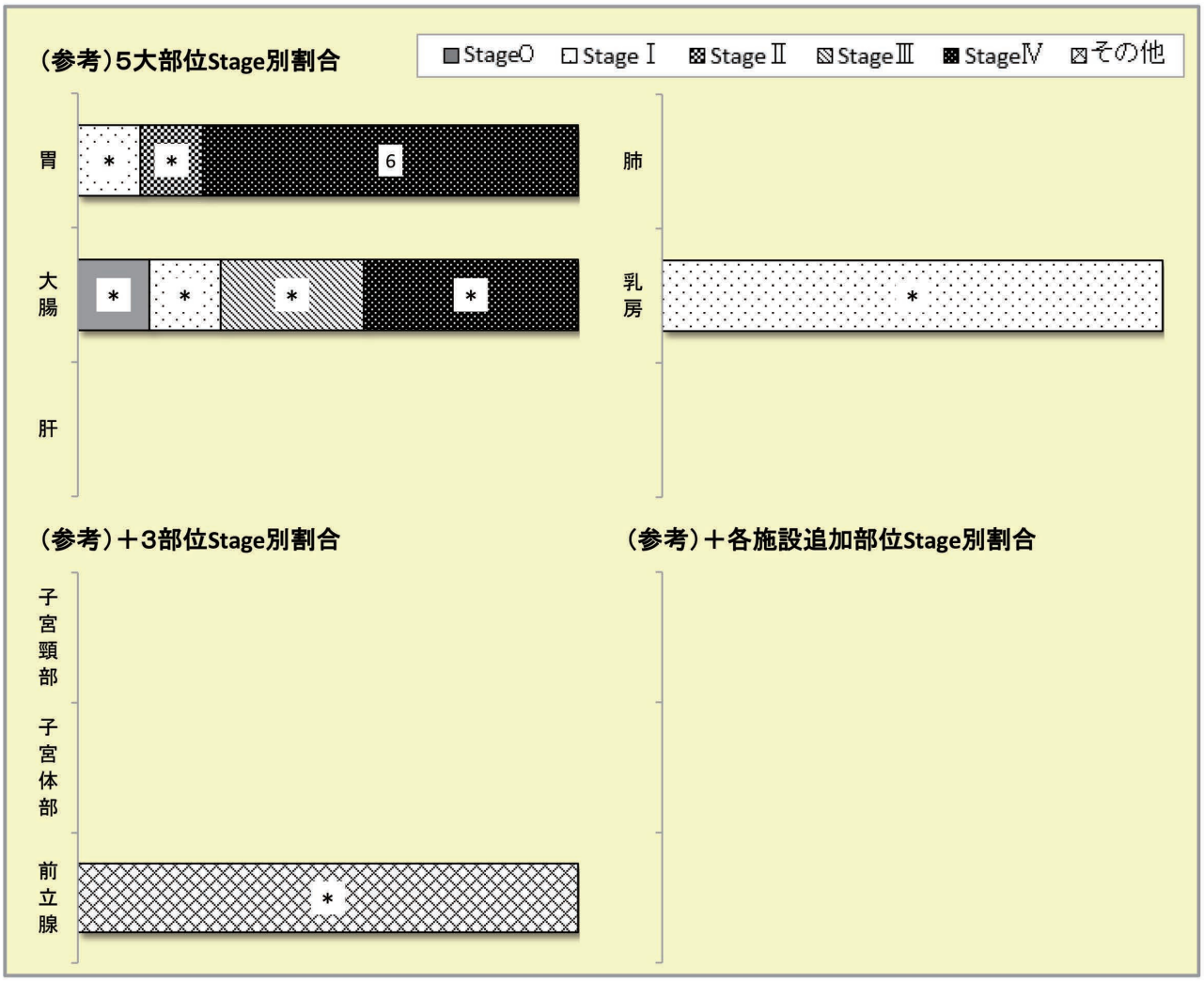


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

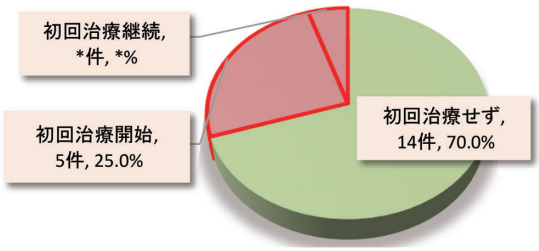
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	0						
胃★	8		*	*		6	
大腸★	7	*	*		*	*	
肝★	0						
膵	0						
肺★	0						
皮膚	0						
乳房★	*		*				
子宮頸部	0						
子宮体部	0						
前立腺	*						*
膀胱	*						*
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	*				*		
計	20	*	4	*	*	9	*



※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

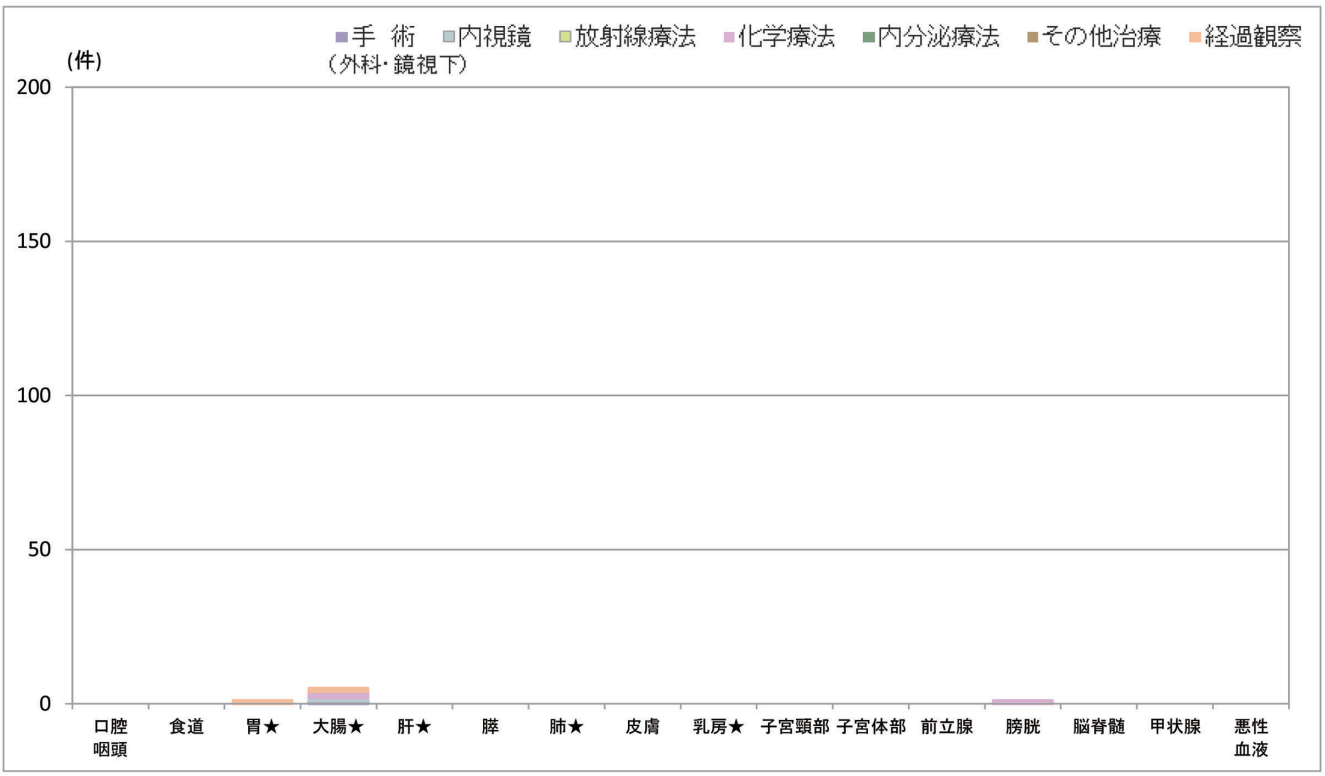
治療施設	件数
1初回治療せず	14
2初回治療開始	5
3初回治療継続	*
4初回治療終了後	0
8その他	0
計	20



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

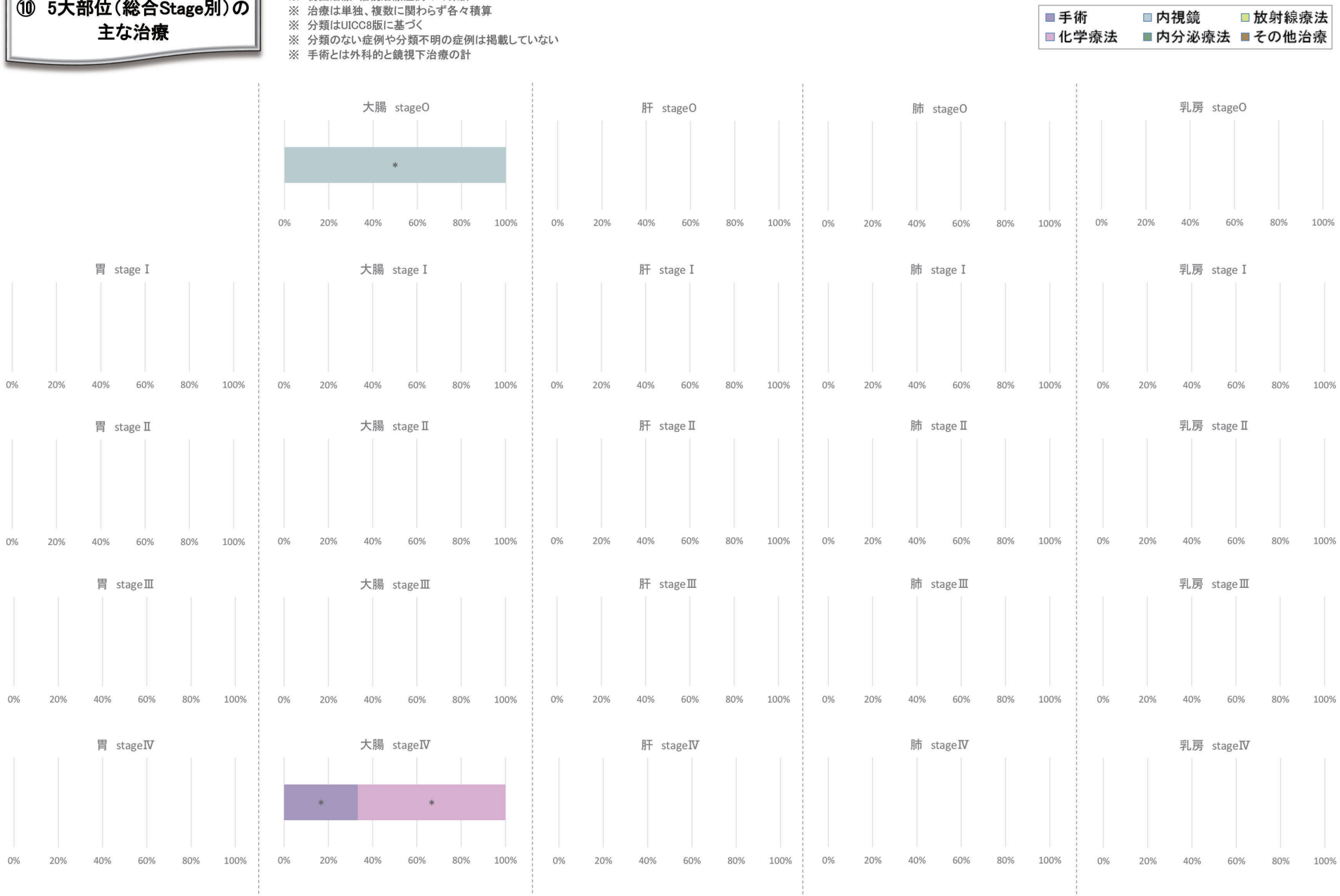
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★							*	*			
大腸★	*	*		*			*	5	50.0%	50.0%	0.0%
肝★								0			
膵								0			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部								0			
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱				*				*			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	*	*	0	*	0	0	*	7			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



外来総括表

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	球磨郡公立多良木病院

○基本情報

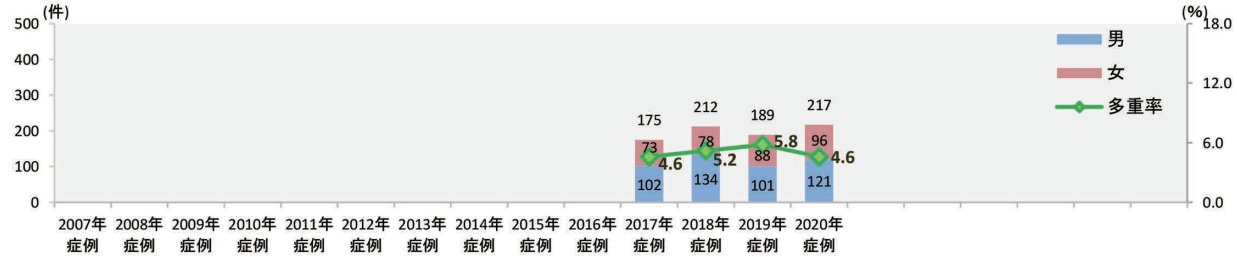
【令和2(2020)年12月現在】

所　在　地	球磨郡多良木町大字多良木4210		
病　床　数	183床（一般183）		
診療科数	16科		
がん診療連携拠点病院指定日	－		
がん登録開始基準日	2014.04.01		
平均在院日数	18.0（日）		
入院患者数	2,304（人）		
外来患者延数	91,241（人）		
がんの外来化学療法	○	がんの緩和ケア	○
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	10
該当年の対象候補調査件数（ｹｰｽﾌｧｲﾝﾄﾞ/施設によっては概算）	1,830（件）		
院内がん登録件数	217（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　1　／他　0（名）		

○医療機関からのコメント

当院は2018年から緩和ケア病棟を開設しました。
【登録件数】 2020年登録件数は217件
【性別・年齢】 217件の内訳は　男性121件　女性96件　男性の平均年齢は76.0歳　女性の平均年齢は76.2歳と年齢に差はありませんでした。
【発見経路】 自主的に受診されたものが75.1%、がん検診・人間ドックで発見されたものが11.5%でした。健診後の受診は昨年12%でしたので、コロナ禍による受診控えの影響か減少しております。
【部位】 男性1位-大腸、2位-肺、3位-胃　　女性1位-大腸、2位-乳房、子宮頚部　　2020年は婦人科診療を縮小される病院さまからのご紹介があり、子宮頚部が増加しており、2位となっています。
コロナ禍ということもあり、入院患者様の数は減少しておりますが、登録件数が昨年より増えております。大腸での手術が昨年10件から31件と増加しており、面会禁止などの感染対策で、自宅近くでの治療を希望されたのではと推測しております。また、7月に水害があり、かかりつけ医療機関の被災などで当院へ受診された方もいらっしゃったのではないかと思われます。当院には健診センターも併設しておりますので、今後も健診センターと連携し早期発見できるよう啓蒙していきたいと思っております。
当地域は高齢者世帯が多いため、全職員がチームとして診療にあたり、遠隔地に居住する家族との連携をスムーズに行い、患者さまに適切な医療を行えるようにしていきたいと思います。

診断年別登録件数（参考）

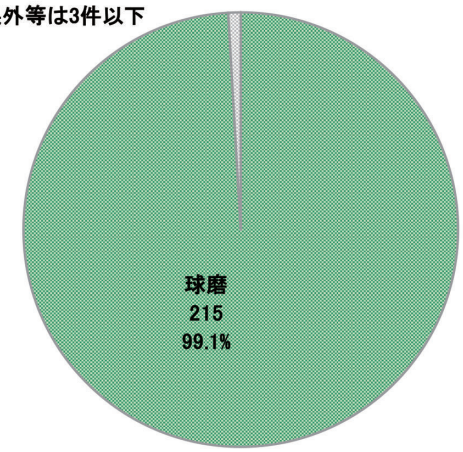


※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

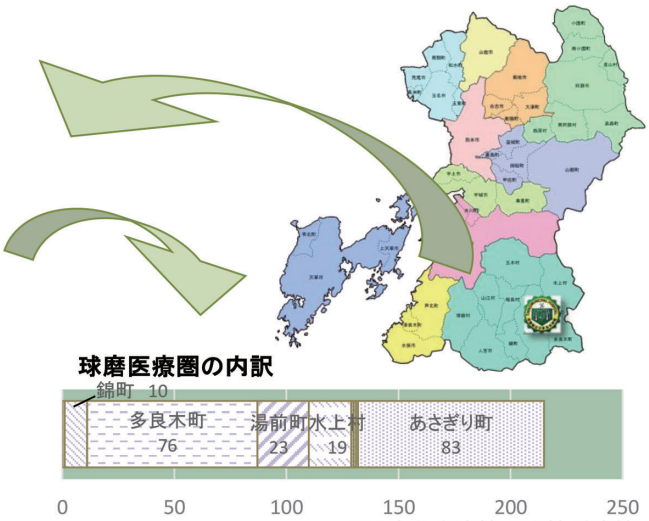
①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

多良木病院　（217件）

※県外等は3件以下



※　全般において3件以下は*又は非表示



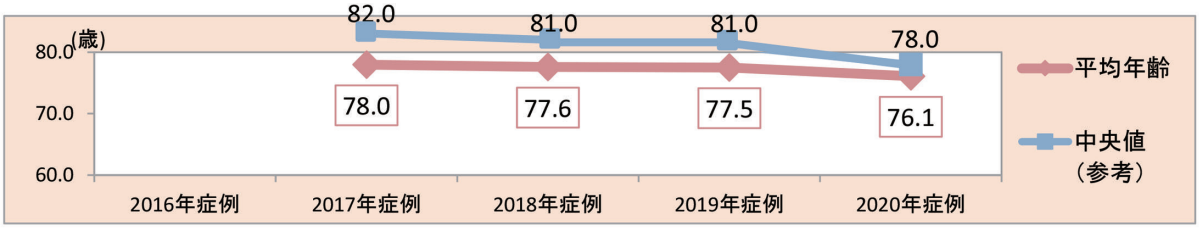
※人吉市・相良村・五木村・球磨村は3件以下

◇　医療圏別上位5部位

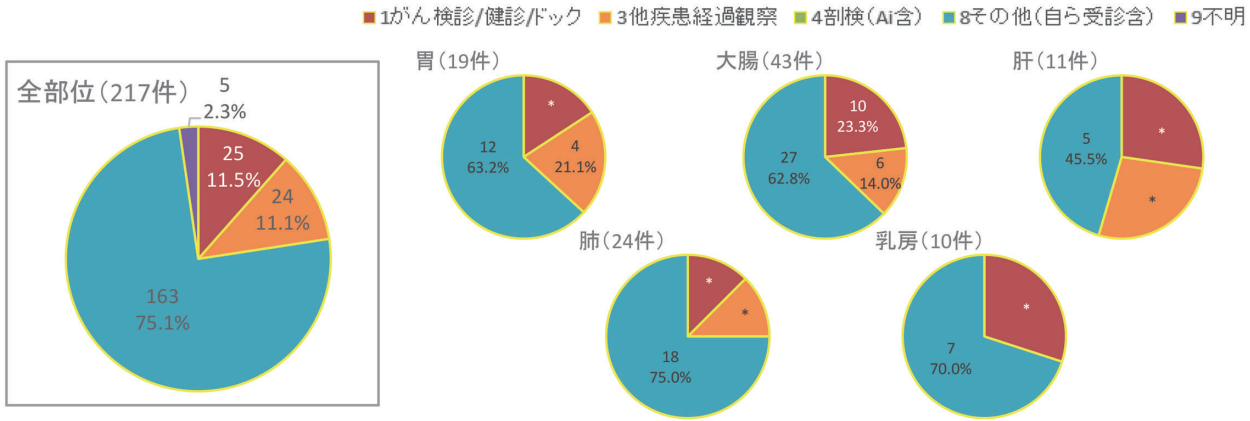
熊本市			鹿本			上益城			球磨	大腸	43
										肺	22
										その他	20
										胃	19
										皮膚	16
宇城			菊池			八代			天草		
有明			阿蘇			芦北			県外等	該当部位	各*

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

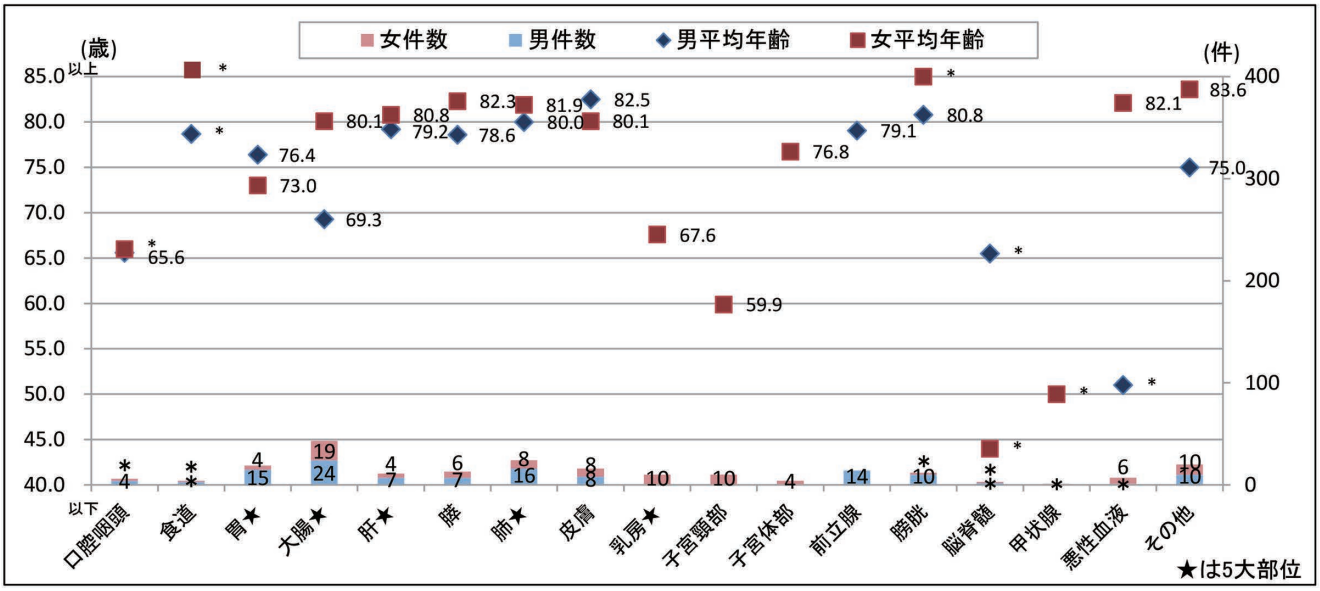
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布

男性全体	
大腸	24
肺	16
胃	15
前立腺	14
膀胱	10
その他	10
皮膚	8
肝	7
膵	7
口腔咽頭	4
食道	*
脳脊髄	*
悪性血液	*
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
甲状腺	
計	121

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	*

40～49歳	
該当部位	各*
計	*

50～59歳	
大腸	4
該当部位	各*
計	7

60～69歳	
大腸	7
胃	4
肺	4
前立腺	4
該当部位	各*
計	23

70～79歳	
大腸	6
膀胱	6
胃	4
肝	4
該当部位	各*
計	34

80～89歳	
肺	7
胃	6
前立腺	6
その他	4
該当部位	各*
計	36

90歳～	
該当部位	各*
計	17

女性全体	
大腸	19
乳房	10
子宮頸部	10
その他	10
肺	8
皮膚	8
膵	6
悪性血液	6
胃	4
肝	4
子宮体部	4
口腔咽頭	*
膀胱	*
食道	*
脳脊髄	*
甲状腺	*
前立腺	
計	96

0～14歳	
計	*

15～39歳	
該当部位	各*
計	21

40～49歳	
該当部位	各*
計	37

50～59歳	
該当部位	各*
計	7

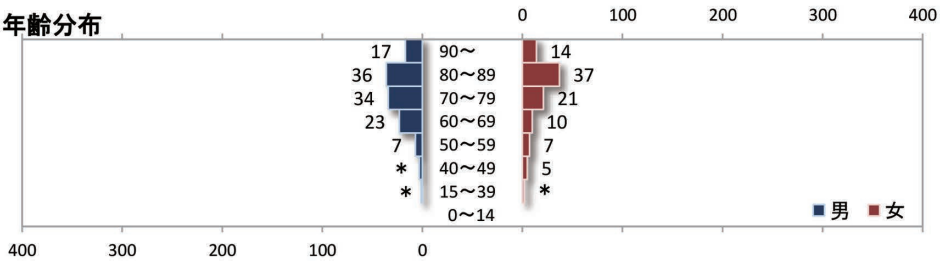
60～69歳	
該当部位	各*
計	10

70～79歳	
大腸	4
乳房	4
該当部位	各*
計	21

80～89歳	
大腸	9
その他	6
悪性血液	5
皮膚	4
該当部位	各*
計	37

90歳～	
該当部位	各*
計	14

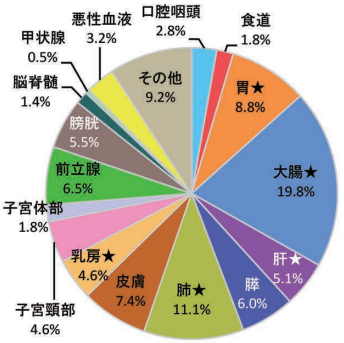
年齢分布



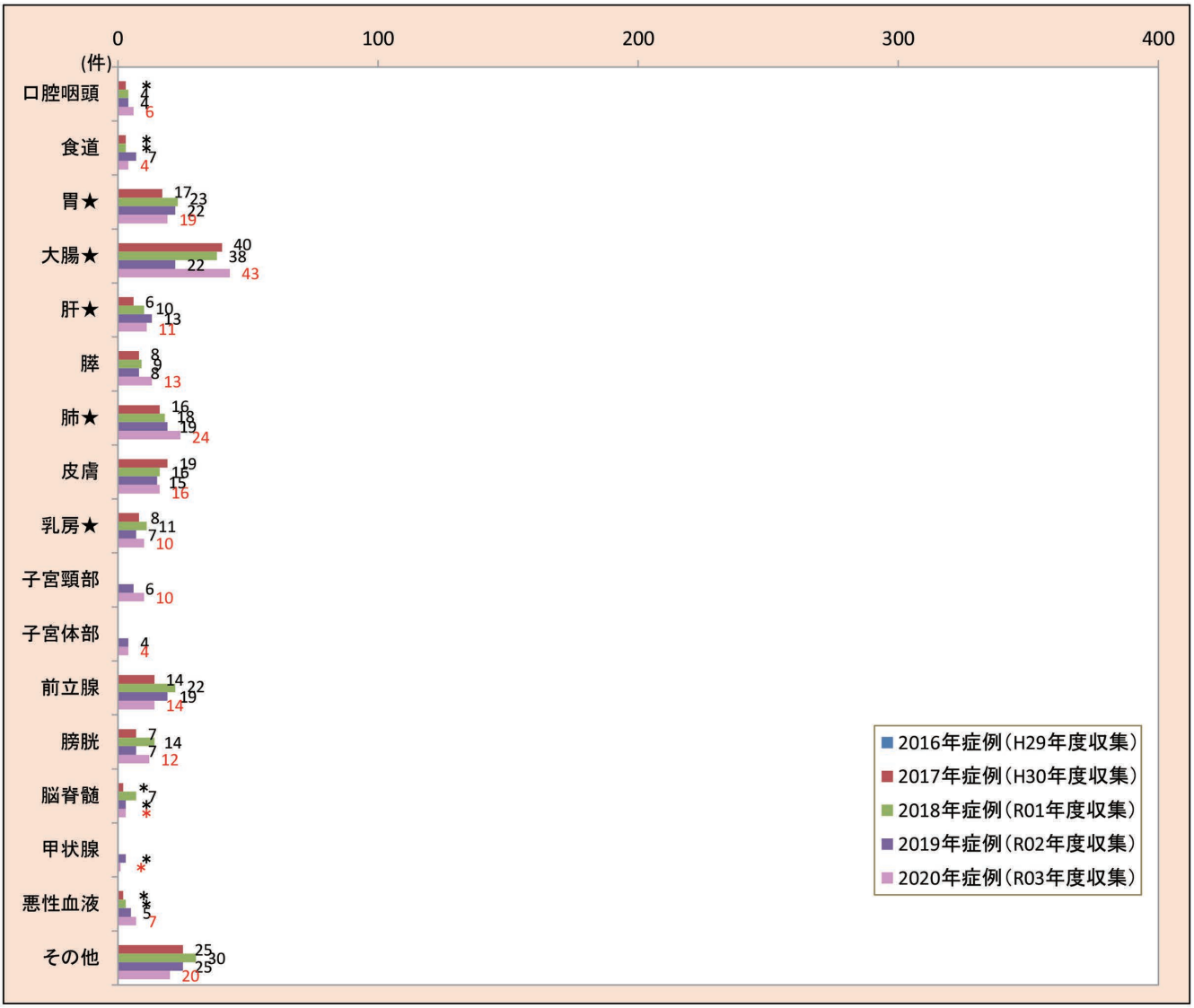
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭		*	4	4	6
食道		*	*	7	4
胃★		17	23	22	19
大腸★		40	38	22	43
肝★		6	10	13	11
膵		8	9	8	13
肺★		16	18	19	24
皮膚		19	16	15	16
乳房★		8	11	7	10
子宮頸部		5（頸部・体部）	4（頸部・体部）	6	10
子宮体部				4	4
前立腺		14	22	19	14
膀胱		7	14	7	12
脳脊髄		*	7	*	*
甲状腺				*	*
悪性血液疾患		*	*	5	7
その他		25	30	25	20
計		175	212	189	217

2020年診断症例　主要部位別割合



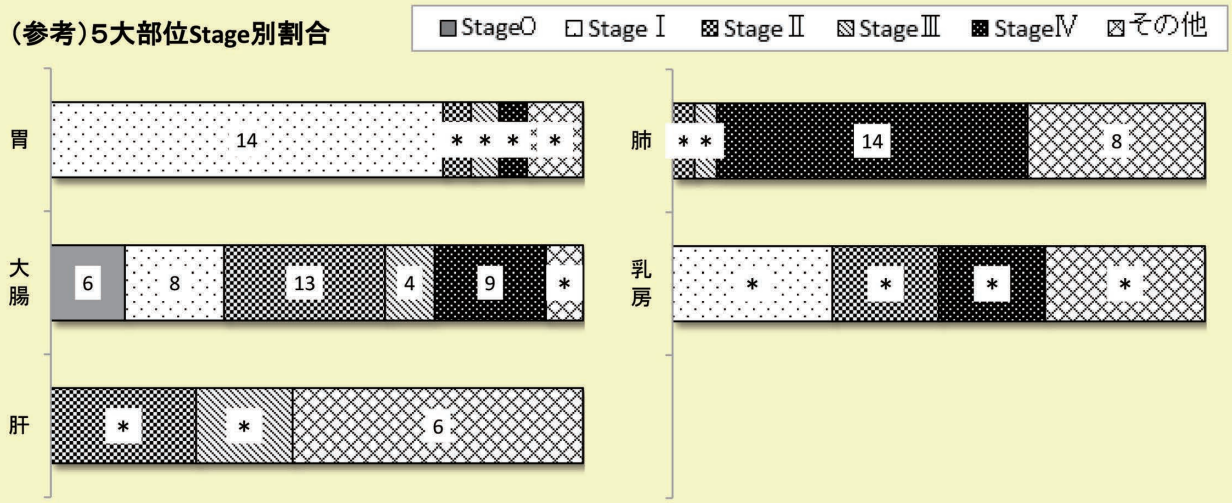
※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



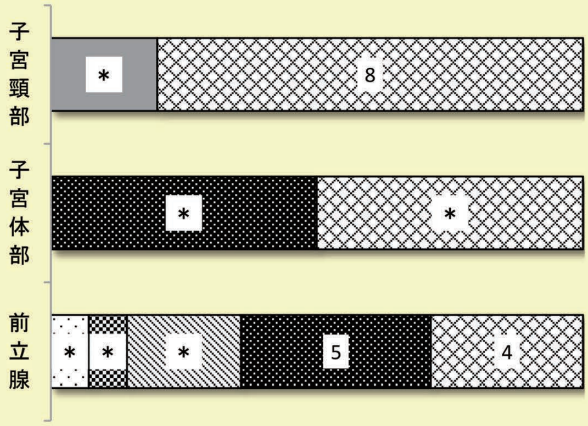
⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	StageⅢ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	6			*	*	*	*
食道	4	*		*		*	*
胃★	19		14	*	*	*	*
大腸★	43	6	8	13	4	9	*
肝★	11			*	*		6
膵	13		*	*	*	*	4
肺★	24			*	*	14	8
皮膚	16	*	10	*			*
乳房★	10		*	*		*	*
子宮頸部	10	*					8
子宮体部	4					*	*
前立腺	14		*	*	*	5	4
膀胱	12	*	*	*	*	*	4
脳脊髄	*						*
甲状腺	*						*
悪性血液疾患	7		*				4
その他	20	*		*	4	4	10
計	217	13	43	30	20	43	68

（参考）5大部位Stage別割合



（参考）＋3部位Stage別割合

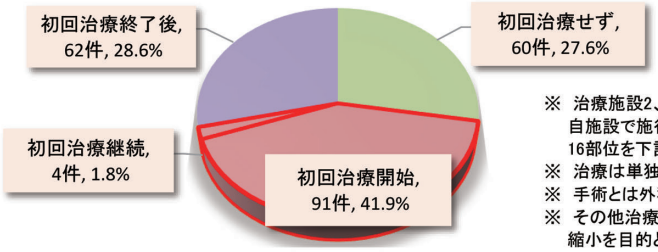


（参考）＋各施設追加部位Stage別割合

※　ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※　初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※　UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※　リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

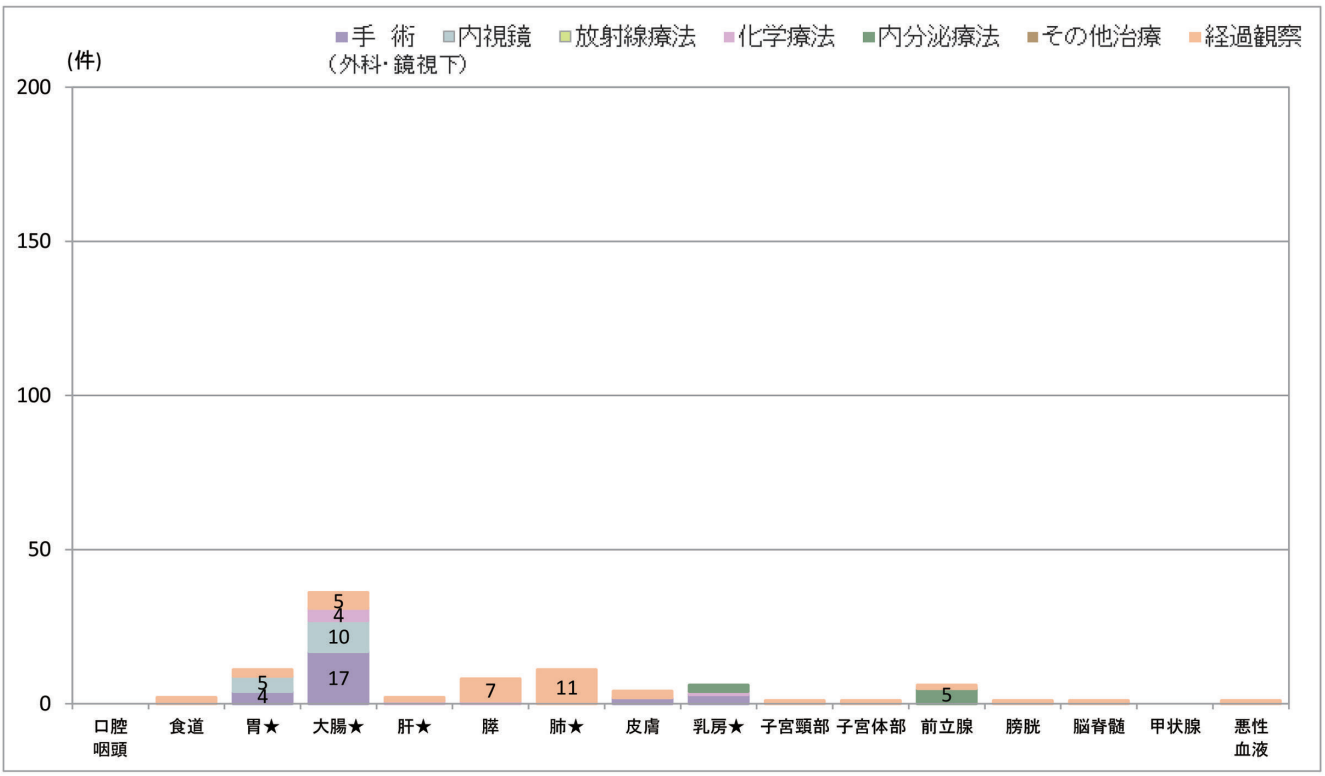
治療施設	件数
1初回治療せず	60
2初回治療開始	91
3初回治療継続	4
4初回治療終了後	62
8その他	0
計	217



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道							*	*			
胃★	4	5					*	11	100.0%	0.0%	0.0%
大腸★	17	10		4			5	36	100.0%	0.0%	0.0%
肝★				*			*	*			
膵				*			7	8			
肺★							11	11			
皮膚	*						*	4	100.0%	0.0%	0.0%
乳房★	*			*	*			6	100.0%	0.0%	0.0%
子宮頸部							*	*			
子宮体部							*	*			
前立腺					5		*	6			
膀胱							*	*			
脳脊髄							*	*			
甲状腺								0			
悪性血液疾患							*	*			
計	26	15	0	7	7	0	36	91			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



次ページへ

熊本県院内がん登録データに係る統計　－2020年診断症例－

医療機関名	医療法人社団愛育会　福田病院

○基本情報

【令和2(2020)年12月現在】

所在地	熊本市中央区新町2丁目2-6		
病床数	161床（一般161）		
診療科数	8科		
がん診療連携拠点病院指定日	ー		
がん登録開始基準日	2017.01.01		
平均在院日数	7.3（日）		
入院患者数	45,544（人）		
外来患者延数	121,345（人）		
がんの外来化学療法	×	がんの緩和ケア	×
がんの放射線治療	×	緩和ケア病床	なし
該当年の対象候補調査件数（ｹｰｽﾌｧｲﾝﾄﾞ/施設によっては概算）	14,750（件）		
院内がん登録件数	109（件）		
がん登録実務を担当した人員の内訳	中級者　0　／初級者　3　／他　1（名）		

○医療機関からのコメント

当院では、子宮がん検診と乳がん検診をおこない、女性特有のがんの早期発見に努めております。
今後も引き続き早期発見・早期治療へ繋がるように努めてまいります。

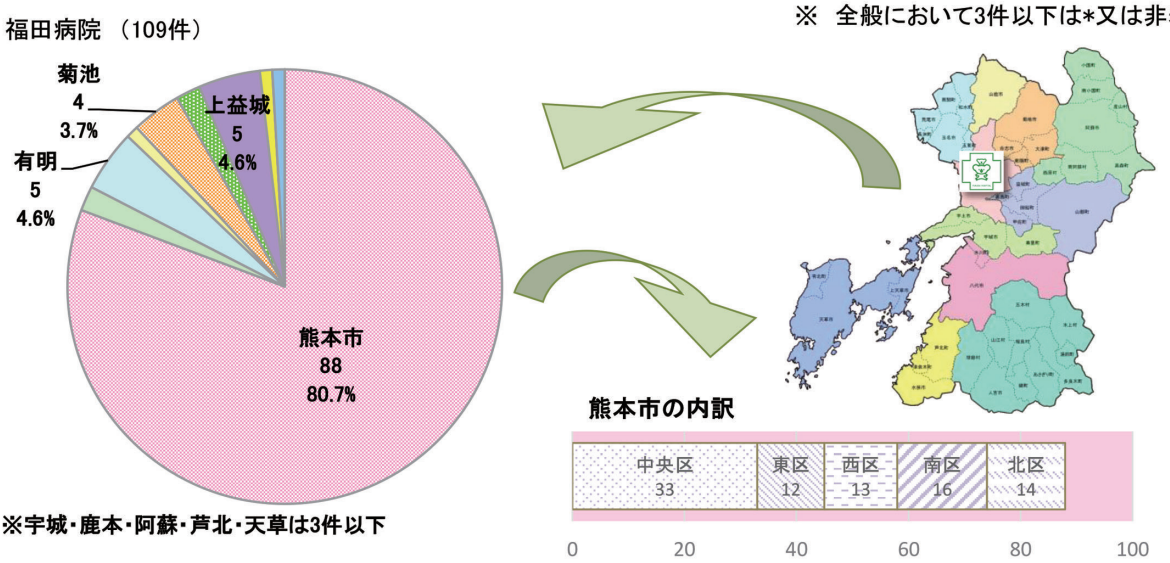
診断年別登録件数（参考）



※多重率は、自施設院内がん登録症例の中で多重がんに該当する症例の割合。登録開始日以前に罹患している症例は含まない。

①　患者住所医療圏別登録の状況（2020年診断症例）

※　全般において3件以下は*又は非表示



◇　医療圏別上位5部位

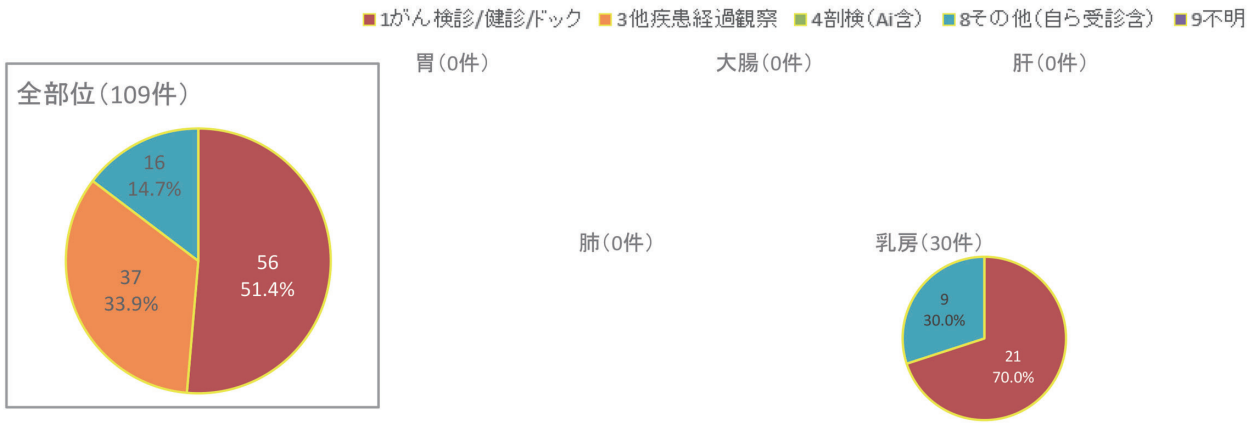
熊本市	子宮頸部	61	鹿本	該当部位	各*	上益城	子宮頸部	5	球磨		
	乳房	27									
宇城	該当部位	各*	菊池	子宮頸部	4	八代			天草	該当部位	各*
有明	子宮頸部	5	阿蘇	該当部位	各*	芦北	該当部位	各*	県外等		

※　件数が同じ部位で枠内に収まらない場合や3件以下の時は、該当部位として集計

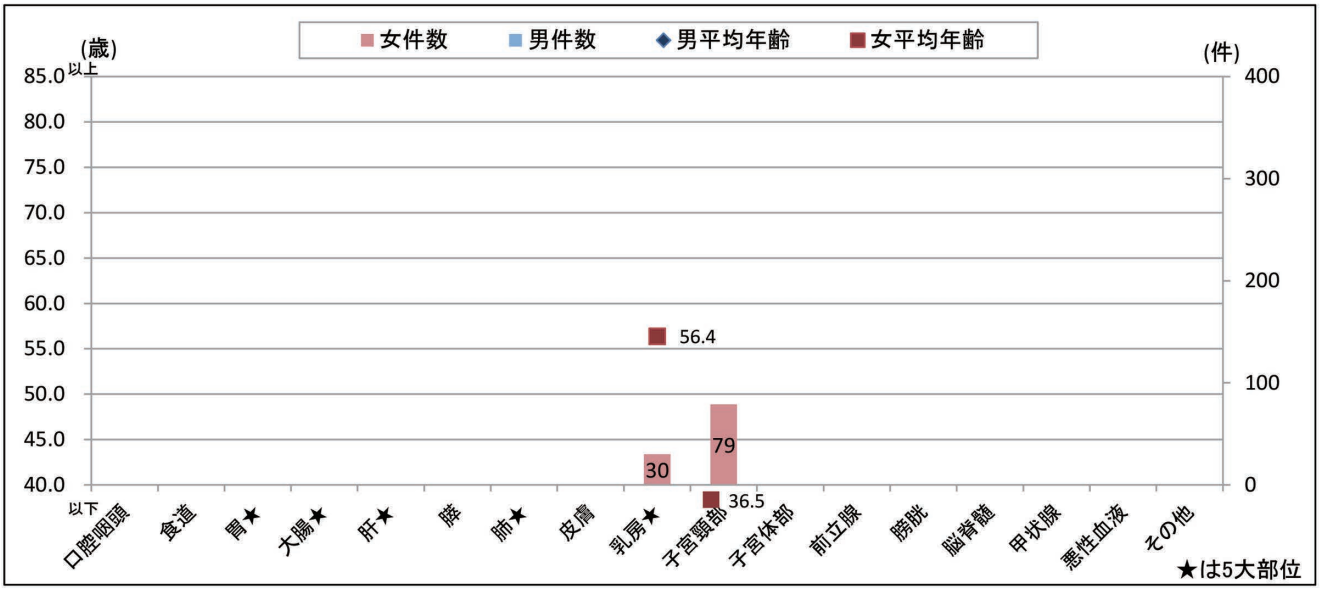
②　平均年齢と年次比較



③　発見経緯 5大部位の内訳



④ 性別主要部位別件数と平均年齢



⑤ 性別年代別登録内訳と年齢分布



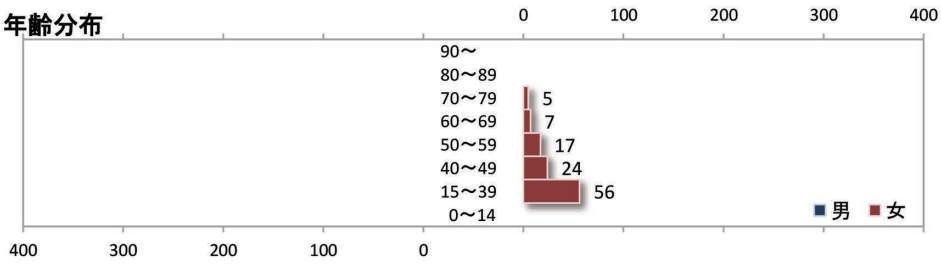
男性全体	
口腔咽頭	
食道	
胃	
大腸	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
乳房	
子宮頸部	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
その他	
計	0

0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	



女性全体	
子宮頸部	79
乳房	30
口腔咽頭	
食道	
胃	
大腸	
肝	
膵	
肺	
皮膚	
子宮体部	
前立腺	
膀胱	
脳脊髄	
甲状腺	
悪性血液	
その他	
計	109

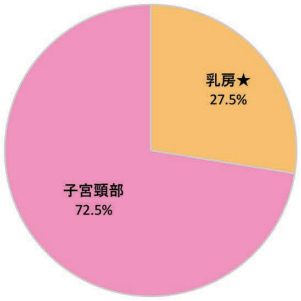
0～14歳		15～39歳		40～49歳		50～59歳	
		子宮頸部	55	子宮頸部	16	乳房	11
		該当部位	各*	乳房	8	子宮頸部	6
		計	56	計	24	計	17
60～69歳		70～79歳		80～89歳		90歳～	
乳房	5	乳房	5				
該当部位	各*						
計	7	計	5				



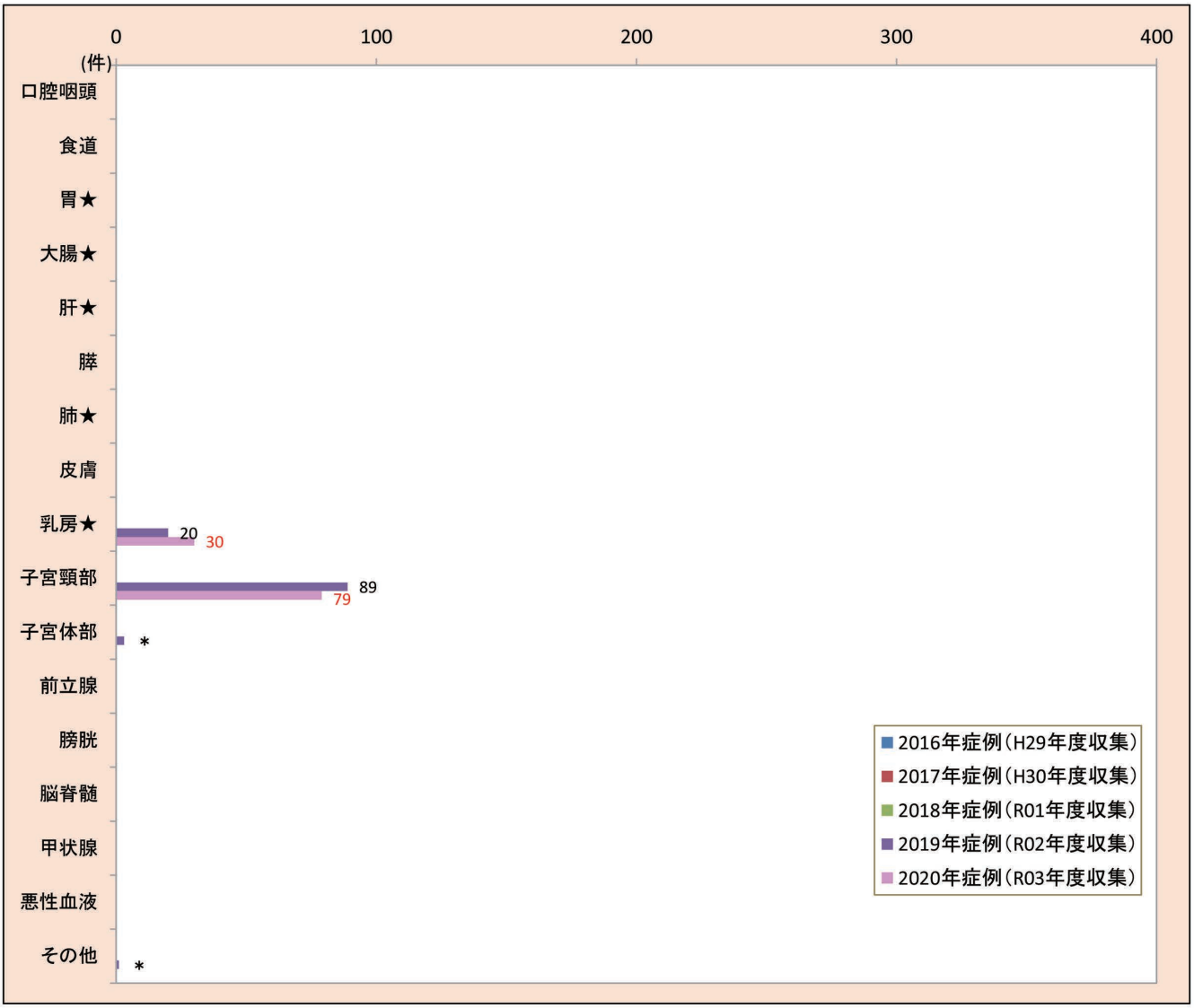
⑥ 診断年別主要部位別登録件数

部位	2016年症例（H29年度収集）	2017年症例（H30年度収集）	2018年症例（R01年度収集）	2019年症例（R02年度収集）	2020年症例（R03年度収集）
口腔咽頭					
食道					
胃★					
大腸★					
肝★					
膵					
肺★					
皮膚					
乳房★				20	30
子宮頸部				89	79
子宮体部				*	
前立腺					
膀胱					
脳脊髄					
甲状腺					
悪性血液疾患					
その他				*	
計				113	109

2020年診断症例　主要部位別割合

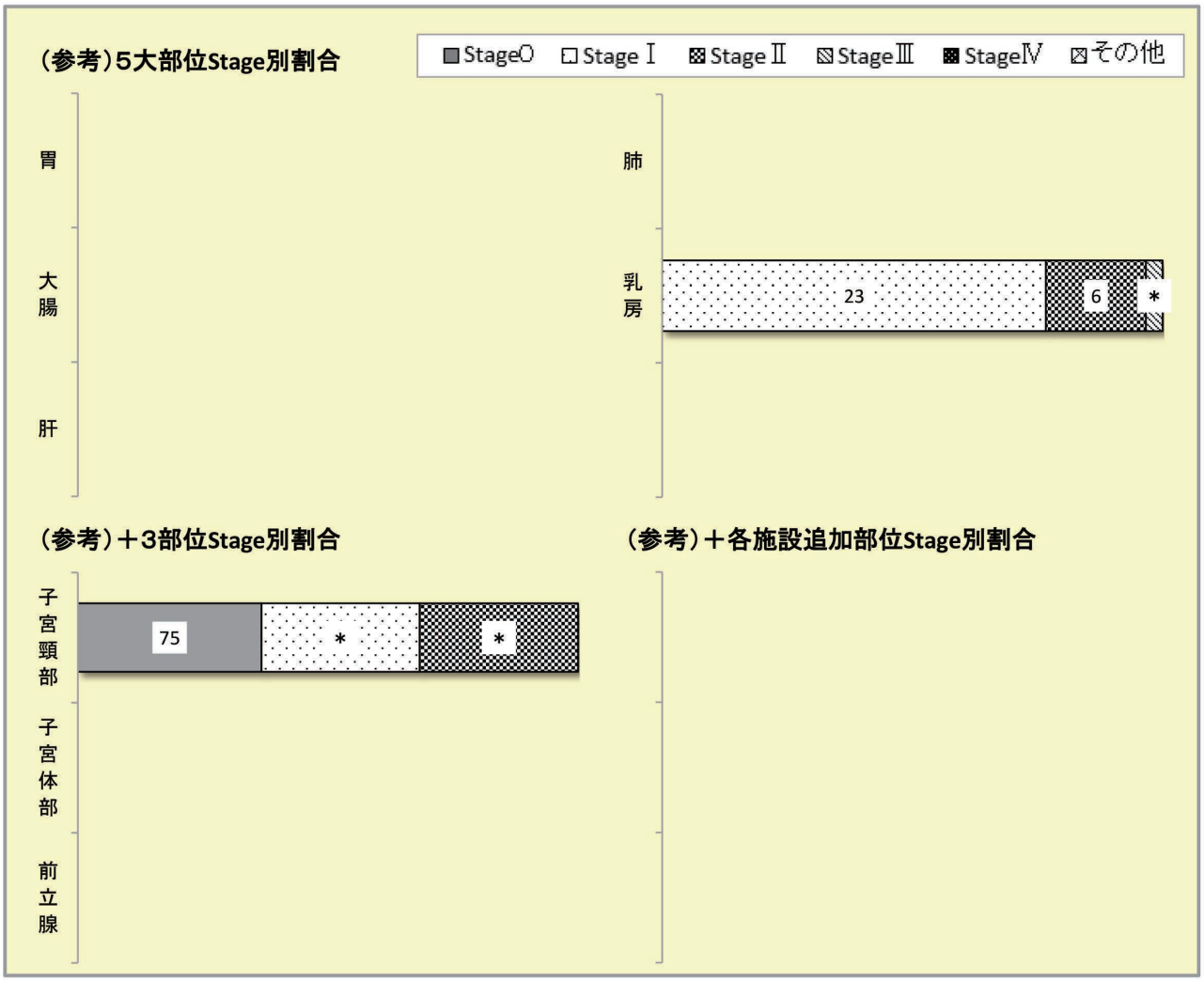


※大腸は結腸と直腸
※悪性血液疾患は白血病、リンパ腫、骨髄腫、他の造血器腫瘍
※その他は分類にないもの全て（胆管、卵巣、骨軟部など）
※2019年症例より子宮を子宮頸部、子宮体部へ分離
※2019年症例より甲状腺をその他から分離



⑦ 主要部位別病期分類（総合Stage）

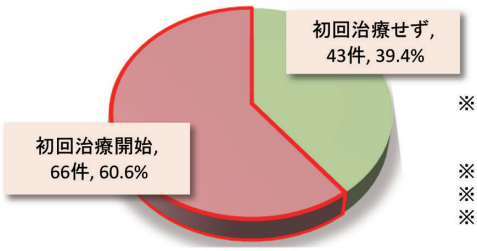
全体	件数	StageO	Stage Ⅰ	Stage Ⅱ	Stage Ⅲ	StageⅣ	その他
口腔咽頭	0						
食道	0						
胃★	0						
大腸★	0						
肝★	0						
膵	0						
肺★	0						
皮膚	0						
乳房★	30		23	6	*		
子宮頸部	79	75	*	*			
子宮体部	0						
前立腺	0						
膀胱	0						
脳脊髄	0						
甲状腺	0						
悪性血液疾患	0						
その他	0						
計	109	75	25	8	*	0	0



※ ステージは総合ステージ（術前治療なし・観血的治療例はp Stage、術前治療あり又は観血的治療なしの場合はc Stage）
※ 初回治療継続症例で、p Stageを前医の情報のみで決定した場合はc Stage
※ UICC病期分類がないもの、分類不明なものはその他で集計
※ リンパ腫はLugano分類、婦人科領域はFIGO分類、その他適応するものはUICC分類第8版

⑧ 治療施設の内訳（自施設における初回治療の状況）

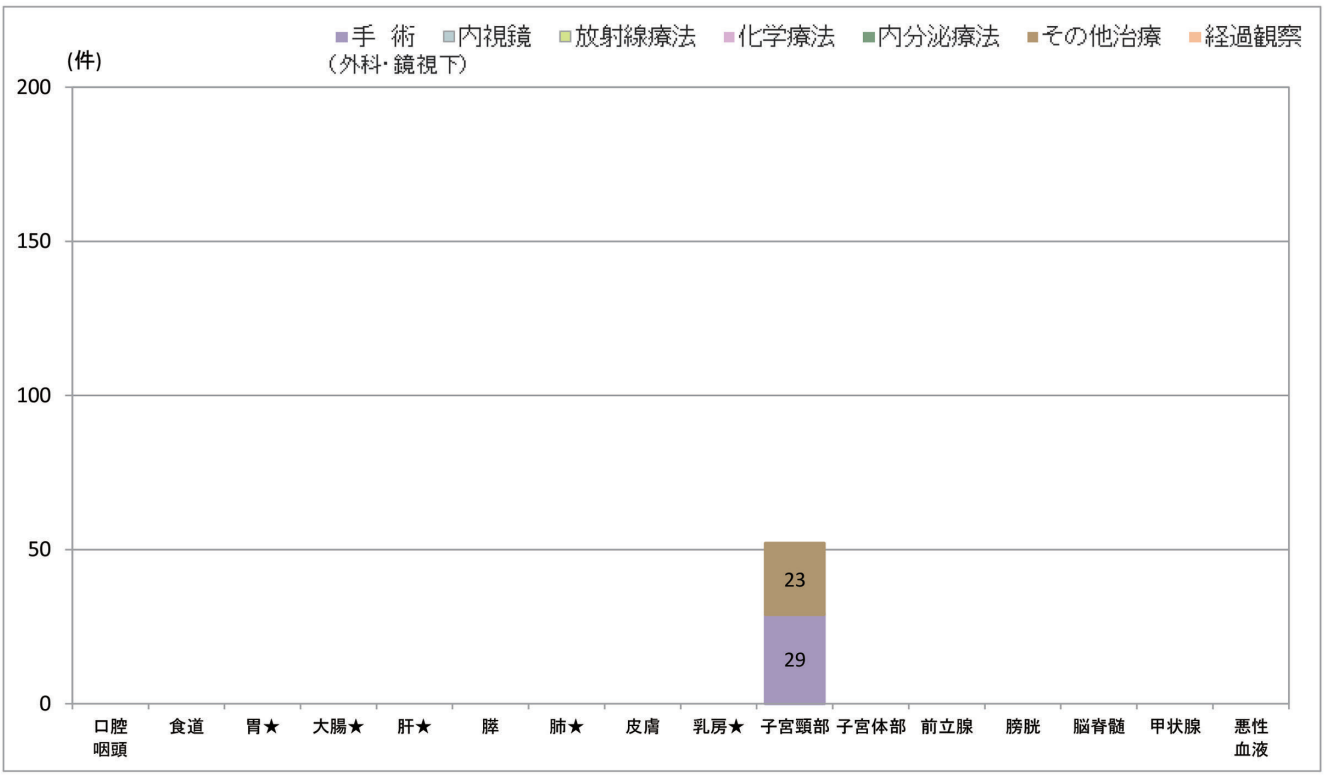
治療施設	件数
1初回治療せず	43
2初回治療開始	66
3初回治療継続	0
4初回治療終了後	0
8その他	0
計	109



※ 治療施設2、3（初回治療開始+初回治療継続）として自施設で施行された治療のうち、「その他」以外の16部位を下記の主要部位別治療の内訳に集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計
※ その他治療とは免疫療法やレーザー治療等、腫瘍の縮小を目的とした治療
※ 表右側の「外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果」は、表左側の手術と内視鏡切除術による結果を%で表示したもの

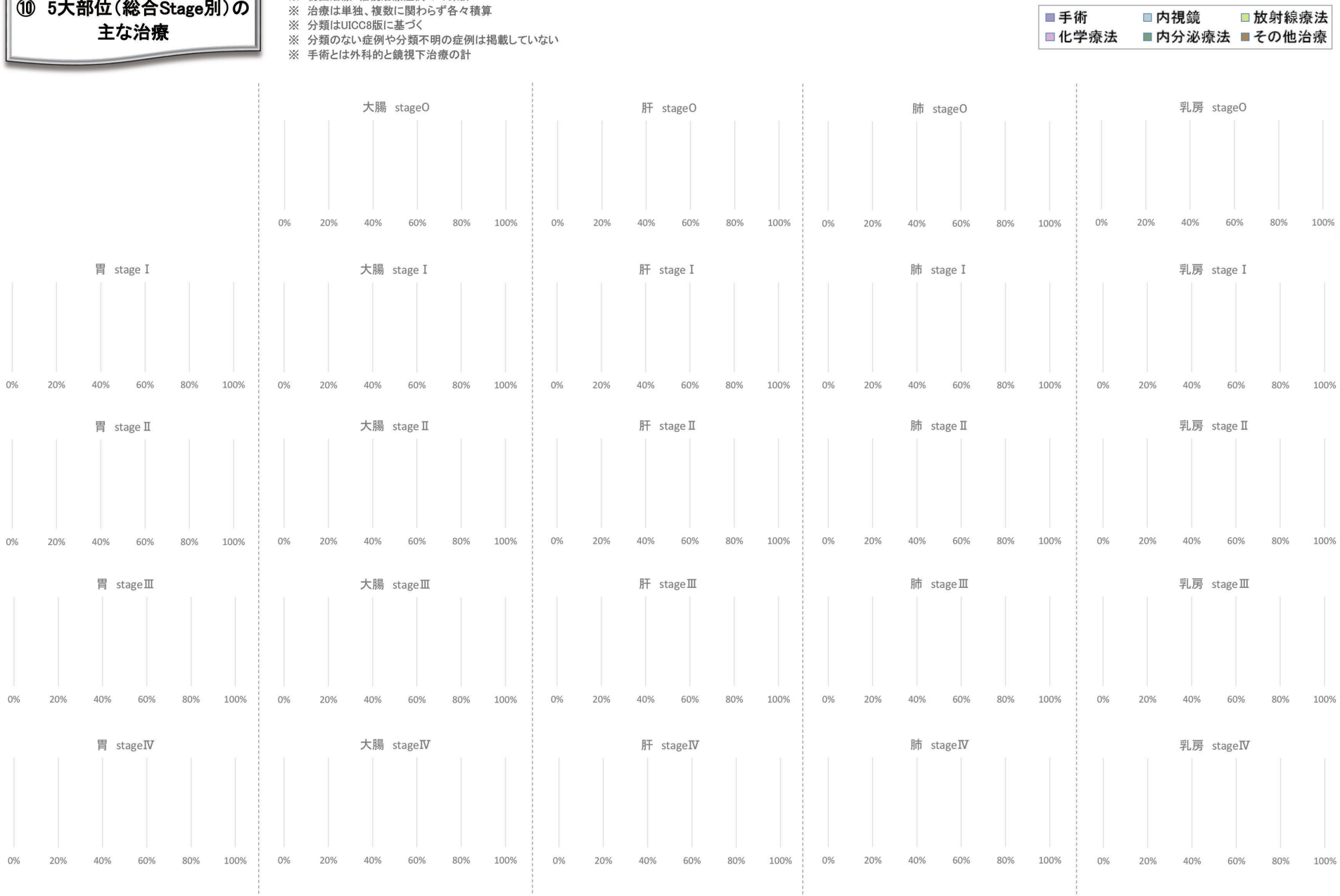
⑨ 主要部位別治療の内訳

	手術（外科・鏡視下）	内視鏡	放射線療法	化学療法	内分泌療法	その他治療	経過観察	計	外科、鏡視下、内視鏡的治療の結果		
									遺残なし（原発巣切除）	遺残あり（原発巣残 転移巣のみ切除など）	不明
口腔咽頭								0			
食道								0			
胃★								0			
大腸★								0			
肝★								0			
膵								0			
肺★								0			
皮膚								0			
乳房★								0			
子宮頸部	29					23		52	100.0%	0.0%	0.0%
子宮体部								0			
前立腺								0			
膀胱								0			
脳脊髄								0			
甲状腺								0			
悪性血液疾患								0			
計	29	0	0	0	0	23	0	52			



⑩ 5大部位（総合Stage別）の主な治療

※ 初回治療+継続治療症例のみ集計
※ 治療は単独、複数に関わらず各々積算
※ 分類はUICC8版に基づく
※ 分類のない症例や分類不明の症例は掲載していない
※ 手術とは外科的と鏡視下治療の計



福田病院

熊本県院内がん登録データに係る統計

－2020 年診断症例－

編集・発行　熊本県がん診療連携協議会幹事会がん登録部会
〒860-8556 熊本市中央区本荘１丁目１番１号
電話：096-344-2111（代表）

令和４年３月